兵庫県文化財調査報告　第 503 冊

西脇市

津万遺跡群3

－　175 号西脇北バイパス事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書　－

平成 31（2019）年 3 月

兵 庫 県 教 育 委 員 会

西脇市

津万遺跡群3

－　175 号西脇北バイパス事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書　－

平成 31（2019）年 3 月

兵 庫 県 教 育 委 員 会

津万遺跡群遠景（南東から）

津万遺跡群遠景（西から）

津万遺跡群 3 遠景（南から）

津万遺跡群 3 遠景（北から）

嶋 5 区出土土器

嶋 6 区出土土器

津万 1E 区　SH03 出土土器

津万 2 区　SH01 出土土器

例　言

1　本書は、西脇市津万地先に所在する津万遺跡群のうち津万遺跡群３としてまとめた嶋５区・嶋６区及び津万１Ｗ区・津万１Ｅ区・津万２区と呼称した地区の発掘調査報告書である。

2　本調査は、国道 175 号西脇北バイパス事業に係る、国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所長の依頼に基づき、兵庫県教育委員会を調査主体として、兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所、兵庫県立考古博物館を調査機関として実施した。また、出土品整理は、国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所長の依頼に基づき、兵庫県教育委員会を主体として、公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部を整理実施機関として実施した。

3　調査の推移

津万遺跡群３の調査は、当該開発事業に伴う分布調査から本発掘調査の終了まで、平成 12 年度から平成 20 年度に亘っており、その詳細は第１章第１節にあげた。また、本報告書に確認調査・本発掘調査についても、第１章第１節に掲載したとおりである。

（発掘調査）

分 布 調 査　　平成 12 年４月 25 日
　　実施機関：兵庫県教育委員会　埋蔵文化財調査事務所
　　平成 19 年８月１日～平成 19 年８月 20 日
　　実施機関：兵庫県立考古博物館

確 認 調 査　　平成 16 年 12 月 13 日～平成 17 年３月 11 日
　　実施機関：兵庫県教育委員会　埋蔵文化財調査事務所

本発掘調査　　平成 20 年６月 19 日～平成 20 年 12 月２日
　　実施機関：兵庫県立考古博物館
　　工事請負：株式会社　大功組
　　空中写真測量委託：伸栄開発　株式会社

（出土品整理作業）

出土品整理期間：平成 24 ～ 25 年度・平成 27 ～ 30 年度（６箇年）
刊行年度契約期間：平成 30 年５月 10 日～平成 31 年３月 29 日
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
遺物写真撮影委託：株式会社　クレアチオ

4　本書の編集・執筆は、整理技術嘱託員の補助のもと、公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部　深江英憲が担当した。なお、補助にあたった整理技術嘱託員の氏名は、第１章第３節に明記している。

5　本調査において出土した遺物や作成した写真･図面類は、兵庫県教育委員会（兵庫県立考古博物館）で保管している。

6　本書に使用した方位は国土座標（第Ⅴ系）の座標北を示す。また､標高値は東京湾平均海水面（T.P.）を基準とした。

（世界測地系に換算）

本文目次

第１章　調査の経緯と経過 ……（深江英憲）１
　第１節　調査に至る経過
　第２節　調査の概要
　第３節　出土品整理作業
第２章　遺跡の位置と環境 ……（深江）７
　第１節　地理的環境
　第２節　歴史的環境
第３章　発掘調査の成果 ……（別府洋二・深江）10
　第１節　遺構
　　１　嶋５区の調査
　　２　嶋６区の調査
　　３　津万１Ｗ区の調査
　　４　津万１Ｅ区の調査
　　５　津万２区の調査
　第２節　遺物
第４章　まとめ ……（深江）46

挿図目次

第１図　遺跡の位置 …… 2
第２図　津万遺跡群周辺の遺跡 …… 8
第３図　津万遺跡群３　竪穴建物跡分類図 …… 47
第４図　津万遺跡群３　掘立柱建物跡分類図 …… 48

表 目 次

第１表　津万遺跡群周辺の遺跡地名表 …… 9
第２表　出土遺物観察表 …… 29

巻頭写真図版目次

巻頭写真図版１　津万遺跡群遠景（南東から）
　　津万遺跡群遠景（西から）
巻頭写真図版２　津万遺跡群３遠景（南から）
　　津万遺跡群３遠景（北から）
巻頭写真図版３　嶋５区出土土器
　　嶋６区出土土器
巻頭写真図版４　津万１Ｅ区　SH03 出土土器
　　津万２区　SH01 出土土器

図版目次

図版１　津万遺跡群３　確認調査グリッド配置図
図版２　津万遺跡群３　調査区位置図
図版３　嶋５区　全体図・溝断面図
図版４　嶋５区　調査区土層断面図
図版５　SH01 平面図・断面図
図版６　土坑平面図・断面図
図版７　嶋６区　全体図
図版８　嶋６区　調査区土層断面図
図版９　SH01 平面図・断面図
図版 10　SB01・02 平面図・断面図
図版 11　SB03・04 平面図・断面図
図版 12　SB05・06 平面図・断面図
図版 13　SB07・08・09 平面図・断面図
図版 14　SB10・柱穴平面図・断面図
図版 15　土坑①平面図・断面図
図版 16　土坑②平面図・断面図
図版 17　井戸平面図・断面図
図版 18　木棺墓平面図・断面図
図版 19　溝・小土坑他平面図・断面図
図版 20　津万１Ｗ区　全体図
図版 21　津万１Ｗ区　調査区土層断面図
図版 22　SH01 平面図・断面図
図版 23　SH01 遺物出土状況図・
　　SH02 平面図・断面図
図版 24　SH03 平面図・断面図
図版 25　SH04・SB01 平面図・断面図
図版 26　SB02・04 平面図・断面図
図版 27　SB03・SA01・SP88 平面図・断面図
図版 28　土坑平面図・断面図
図版 29　津万１Ｅ区　全体図
図版 30　SH01 平面図・断面図
図版 31　SH03 平面図・断面図・遺物出土状況図①
図版 32　SH03 遺物出土状況図②
図版 33　SH02・04 平面図・断面図
図版 34　SB01・土坑①平面図・断面図
図版 35　土坑②平面図・断面図
図版 36　土坑③平面図・断面図
図版 37　溝断面図・不明遺構平面図・断面図
図版 38　津万２区　全体図
図版 39　津万２区　調査区土層断面図
図版 40　SH01 平面図・断面図
図版 41　SH01 遺物出土状況図①
図版 42　SH01 遺物出土状況図②
図版 43　土坑①平面図・断面図
図版 44　土坑②平面図・断面図
図版 45　不明遺構①平面図・断面図
図版 46　不明遺構②平面図・断面図
図版 47　井戸平面図・断面図
図版 48　溝・流路断面図
図版 49　嶋５区　出土土器１
図版 50　嶋６区　出土土器１
図版 51　嶋６区　出土土器２
図版 52　嶋６区　出土土器３
図版 53　嶋６区　出土土器４
図版 54　津万１Ｗ区　出土土器１
図版 55　津万１Ｗ区　出土土器２
図版 56　津万１Ｗ区　出土土器３
図版 57　津万１Ｅ区　出土土器１
図版 58　津万１Ｅ区　出土土器２
図版 59　津万１Ｅ区　出土土器３
図版 60　津万１Ｅ区　出土土器４
図版 61　津万１Ｅ区　出土土器５
図版 62　津万１Ｅ区　出土土器６
図版 63　津万２区　出土土器１
図版 64　津万２区　出土土器２
図版 65　津万２区　出土土器３
図版 66　津万２区　出土土器４
図版 67　津万２区　出土土器５
図版 68　津万２区　出土土器６
図版 69　津万２区　出土土器７
図版 70　津万遺跡群３　旧河道・包含層①
　　出土土器
図版 71　津万遺跡群３　包含層②出土土器
図版 72　津万遺跡群３　包含層③出土土器
図版 73　津万遺跡群３　出土石器・出土金属器
図版 74　津万遺跡群３　出土木器

写真図版目次

写真図版１　嶋５区全景（真上から）
写真図版２　嶋５区調査区全景（北から）
調査区全景（南から）
調査区南西部（南から）
写真図版３　嶋５区調査区北東壁（南西から）
調査区北東壁（西から）
流路畦断面（南東から）
写真図版４　嶋５区 SH01 畦断面（南東から）
SH01（南東から）
写真図版５　嶋５区 SH01（南東から）
SH01 中央土坑（西から）
SH01 中央土坑断面（西から）
SH01 中央土坑土器出土状況（西から）
SH01 中央土坑土器出土状況（北から）
写真図版６　嶋５区 SK02（北から）
SK02 畦断面（南から）
SK02 土器出土状況（南から）
SK05 畦断面（東から）
SK06 畦断面（西から）
SK08 畦断面（西から）
SK09 畦断面（南から）
写真図版７　嶋５区 SK16 畦断面（南東から）
SK21 畦断面（東から）
SD01 畦断面（南西から）
SD02 畦 1(a-a’) 断面（南西から）
SD02 畦 2(b-b’) 断面（南西から）
SD02 畦 3(c-c’) 断面（南東から）
SD02 須恵器出土状況（東から）
写真図版８　嶋６区全景（真上から）
写真図版９　嶋６区調査区全景（北から）
調査区全景（南から）
写真図版 10　嶋６区 SH01（南から）
SH01 中央土坑断面（西から）
SH01 中央土坑（北から）
SH01 SP01 断面（西から）
SH01 SP02 断面（西から）
写真図版 11　嶋６区 SB01（北から）
SB01 SP01 断面（北から）
SB01 SP05 断面（南から）
SB01 SP06 断面（南から）
SB01 SP07 断面（南から）
写真図版 12　嶋６区 SB02（西から）
SB02 SP05 断面（西から）
SB02 SP06 断面（北から）
SB02 SP07 断面（北から）
SB02 SP08 断面（北から）
SB02 SP09 断面（北から）
SB02 SP11 断面（北から）
SB02 SP12 断面（北から）
SB02 SP13 断面（北から）
SB02 SP14 断面（北から）
写真図版 13　嶋６区 SB02 SP16 断面（南から）
SB02 SP17 断面（北から）
SB02 SP18 断面（南から）
SB02 SP19 断面（西から）
SB02 SP21 断面（南から）
SB02 SP22 断面（南から）
SB02 SP23 断面（南から）
SB02 SP24 断面（西から）
写真図版 14　嶋６区 SB03・SB04（東から）
SB03 SP02 断面（東から）
SB03 SP04 断面（南東から）
SB03 SP06 断面（東から）
SB03 SP08 断面（東から）
SB03 SP10a 断面（西から）
SB03 SP10b 断面（東から）
SB03 SP12 断面（東から）
SB03 SP13 断面（東から）
写真図版 15　嶋６区 SB04（東から）
SB04 SP01 断面（南から）
SB04 SP02 断面（南から）
SB04 SP03 断面（南から）
写真図版 16　嶋６区 SB05（北から）
SB05 SP01 断面（北東から）
SB05 SP12 断面（東から）
写真図版 17　嶋６区 SB06（北から）
SB06 SP02 断面（東から）
SB06 SP04 断面（東から）
SB06 SP06 断面（東から）
写真図版 18　嶋６区 SB07（北から）
SB07 SP01 断面（南東から）
SB07 SP02 断面（北から）
SB07 SP03 断面（北から）
SB07 SP04 断面（北から）
SB07 SP05 断面（北西から）
SB07 SP06 断面（西から）
SB07 SP10 断面（東から）
SB07 SP11 断面（西から）
写真図版 19　嶋６区 SB08 SP02 断面（北から）
SB08 SP03 断面（南から）
SB08 SP07 断面（南から）
SB09 SP01 断面（西から）
SP119 断面（南東から）
SP119 土器出土状況（南東から）
SP122 土器出土状況（北西から）
写真図版 20　嶋６区 SK04 畦断面（西から）
SK05（南から）
SK06 畦断面（南西から）
SK06 床面礫検出状況（南西から）
SK07（北から）
SK08 畦断面（北から）
SK09（南から）
SK09 土器出土状況（南から）

写真図版 21　嶋６区 SK10（東から）
SK11 断面（南から）
SK17（西から）
SK18（北から）
SK19（東から）
SK21（東から）
写真図版 22　嶋６区 SE01 断面（東から）
SE01（東から）
SE02 上面検出状況（北から）
SE02（北から）
写真図版 23　嶋６区 SE02 断割り（東から）
SE02 曲物出土状況（東から）
SD01(b-b’) 断面（南から）
写真図版 24　嶋６区 SX01 ①（北から）
SX01 ②（北から）
SX01 土器出土状況　（南西から）
SX01 土器出土状況　（礫除去後）
（南西から）
写真図版 25　津万１Ｗ区全景（真上から）
写真図版 26　津万１Ｗ区調査区全景（南から）
調査区北半部（南から）
写真図版 27　津万１Ｗ区調査区全景（南東から）
調査風景
写真図版 28　津万１Ｗ区 SH01 畦断面（南から）
SH01（南から）
SH01（南から）
写真図版 29　津万１Ｗ区 SH01 中央土坑（西から）
SH01 中央土坑断面（北から）
SH01 主柱穴１断割り（北東から）
SH01 主柱穴２断割り（北西から）
SH01 主柱穴３断割り（南西から）
SH01 主柱穴４断割り（南西から）
写真図版 30　津万１Ｗ区 SH02（東から）
SH03（南から）
写真図版 31　津万１Ｗ区 SH03（南から）
SH03 南北畦（南から）
SH03 床面土器出土状況①（東から）
SH03 床面土器出土状況②（東から）
SH03 床面土器出土状況③（東から）
写真図版 32　津万１Ｗ区 SH03 中央土坑断面
（南から）
SH03 主柱穴１断面（北から）
SH03 主柱穴２断面（北から）
SH03 主柱穴３断面（南から）
SH03 主柱穴４断面（南から）
SH04 畦断面（北から）
写真図版 33　津万１Ｗ区 SB01 SP01 断面（東から）
SB01 SP02 断面（東から）
SB01 SP03 断面（東から）
SB01 SP04 断面（東から）
SB01 SP05 断面（東から）
SB01 SP06 断面（南から）
SB01 SP07 断面（西から）
SB08 SP08 断面（西から）
SB01 SP09 断面（西から）
SB01 SP10 断面（西から）
SB01 SP11 断面（西から）
SB01 SP12 断面（西から）
写真図版 34　津万１Ｗ区 SB02（南から）
SB02 SP01 断面（西から）
SB02 SP02 断面（西から）
SB02 SP03 断面（西から）
SB02 SP04 断面（東から）
SB02 SP05 断面（南から）
SB02 SP06 断面（東から）
SB02 SP07 断面（東から）
SB02 SP08 断面（東から）
SB02 SP09 断面（東から）
写真図版 35　津万１Ｗ区 SB03・SP88（北から）
SP88 土器出土状況（東から）
SP88 断割り後土器出土状況
（南から）
SB03 SP01 断面（西から）
SB03 SP02 断面（西から）
写真図版 36　津万１Ｗ区 SB03 SP03 断面（西から）
SB03 SP04 断面（西から）
SB03 SP05 断面（西から）
SB03 SP06 断面（東から）
SB03 SP07 断面（東から）
SB03 SP08 断面（東から）
SB03 SP09 断面（東から）
SB03 SP11・SP10 断面（東から）
写真図版 37　津万１Ｗ区 SB04（南から）
SB04 SP01 断面（西から）
SB04 SP02 断面（南から）
SB04 SP03・SP04 断面（南から）
SB04 SP04 遺物等検出状況（西から）
SB04 SP05 断面（南から）
SB04 SP06 断面（東から）
SB04 SP07 断面（東から）
SB04 SP08 断面（東から）
SB04 SP09 断面（北から）
写真図版 38　津万１Ｗ区 SA01（南から）
SA01 SP02（東から）
SA01 SP03（東から）
SA01 SP01（東から）
SK01 断面（東から）
SK06（南から）
SK07（南から）
写真図版 39　津万１Ｗ区 SK09 断面（南東から）
SK09（南東から）
SK10 断面（南東から）
SK10（南東から）
SK12 断面（西から）
SK14 断面（南から）
SK15 断面（西から）
写真図版 40　津万１Ｗ区 SD01(a-a’) 断面（北から）
SD01(b-b’) 断面（西から）
SD04 畦断面（東から）
写真図版 41　津万１Ｅ区　全景（真上から）

写真図版 42　津万１Ｅ区 調査区全景（南から）
調査区全景（北から）
調査風景
写真図版 43　津万１Ｅ区 SH01 南北畦断面（東から）
SH01（東から）
写真図版 44　津万１Ｅ区 SH01 中央土坑（東から）
SH01 中央土坑畦断面（東から）
SH01 中央土坑土器出土状況（北から）
SH01 中央土坑土器出土状況（南から）
写真図版 45　津万１Ｅ区 SH01 内土坑１（A-A’）断面（東から）
SH01 内土坑 3(B-B’) 断面（東から）
SH01 土器出土状況（西から）
写真図版 46　津万１Ｅ区 SH02 畦断面（東から）
SH02（東から）
SH02 土器出土状況（東から）
写真図版 47　津万１Ｅ区 SH03（東から）
SH03 下層（東から）
写真図版 48　津万１Ｅ区 SH03 南拡張部（西から）
SH03 南拡張部土器出土状況①
SH03 南拡張部土器出土状況②
SH03 上層土器出土状況
SH03 下層土器出土状況①
SH03 下層土器出土状況②
写真図版 49　津万１Ｅ区 SH03 中層土器出土状況（南から）
SH03 中層土器出土状況（東から）
SH03 中層土器出土状況（西から）
写真図版 50　津万１Ｅ区 SH04（北から）
SH04 床面土器出土状況①
SH04 床面土器出土状況②
SH04 SP01 土器出土状況（西から）
写真図版 51　津万１Ｅ区 SB01（南から）
SB01 SP01 断面（西から）
SB01 SP02 断面（西から）
SB01 SP03 断面（西から）
SB01 SP04 断面（西から）
SB01 SP05 断面（南から）
SB01 SP06 断面（東から）
SB01 SP07 断面（東から）
SB01 SP08 断面（東から）
写真図版 52　津万１Ｅ区 SP15（北から）
SP19 断面（西から）
SP20（南から）
SP08 鉄滓出土状況
SP12 土器出土状況（南から）
SK01 土器出土状況（南西から）
SK01（南西から）
SK02 畦断面（南東から）
SK03 畦断面（南東から）
写真図版 53　津万１Ｅ区 SK04 畦断面（南から）
SK05 畦断面（南から）
SK07 畦断面（西から）
SK08 畦断面（西から）
SK09 畦断面（南西から）
SK10 畦断面（東から）
SK11 畦断面（西から）
SK12 畦断面（西から）
写真図版 54　津万１Ｅ区 SK13 畦断面（南西から）
SK14 畦断面（西から）
SK15 畦断面（西から）
SK17 畦断面（西から）
SK18 畦断面（南から）
SK19 畦断面（南西から）
SX01 畦断面（南から）
SX02 畦断面（南から）
写真図版 55　津万１Ｅ区 SD01 畦断面（西から）
SD02 畦断面（西から）
SD03(d-d’) 断面（西から）
SD04 畦断面（東から）
SD05 畦断面（東から）
調査区内断割り（南西から）
調査区内断割り（南東から）
写真図版 56　津万２区 全景（真上から）
写真図版 57　津万２区 調査区東半部（北から）
調査区西半部（北から）
写真図版 58　津万２区 調査区中央部（北から）
調査区全景（南から）
調査区南壁（北東から）
写真図版 59　津万２区 SH01 畦断面（東から）
SH01（東から）
SH01 土器出土状況（南から）
写真図版 60　津万２区 SH01 土器出土状況（東から）
SH01 中央土坑畦断面（西から）
SH01 調査風景
SH01 床面東側土器出土状況
SH01 床面西側土器出土状況
SH01 下層土器出土状況①
SH01 下層土器出土状況②
写真図版 61　津万２区 SK01 畦断面（西から）
SK02 畦断面（西から）
SK03 断面（南から）
SK04 畦断面（西から）
SK05 畦断面（南から）
SK06 断面（南東から）
SK07 畦断面（南西から）
SK08 畦断面（南から）
写真図版 62　津万２区 SK09 断面（東から）
SK10 断面（南から）
SK11 断面（南西から）
SK12 畦断面（東から）
SK12（東から）
SK13 畦断面（南東から）
SK14 断面（南から）
写真図版 63　津万２区 SK15 断面（南から）
SK16 断面（南から）
SK17 畦断面（西から）
SK18 断面（南から）
SK19 断面（南から）
SK20 断面（南西から）

SK21 畦断面（東から）
SK22 畦断面（西から）
写真図版 64　津万 2 区 SK23 断面（南から）
SK24 畦断面（南から）
SX03 畦断面（南西から）
SX04 畦断面（西から）
SX04（北から）
SX11(D-D’) 断面（東から）
SX11 内石組み（南から）
写真図版 65　津万 2 区 SX11 内敷石（東から）
SX11 内敷石（南から）
SX12 北畦断面（南西から）
SX12 内石組み（南から）
写真図版 66　津万 2 区 SX18・SX19（北から）
SX18 畦断面（南から）
SX19 畦断面（南から）
SX19（南から）
写真図版 67　津万 2 区 SE01 畦断面（南から）
SE01（南から）
SE01 曲物(W3)出土状況（北から）
SE01 土器出土状況（東から）
SE02（南から）
SE02 断割り（南から）
写真図版 68　津万 2 区 SD01 畦断面（南から）
SD02 畦断面（南から）
SD03 畦断面（南から）
SD04 北側畦断面（南から）
SD05 畦断面（南から）
SD06 畦断面（南から）
SD07 畦断面（西から）
SD10 畦断面（西から）
写真図版 69　津万 2 区 SD16 畦断面（南から）
SD17 畦断面（南から）
SD18 畦断面（南西から）
SD19 東畦断面（西から）
SD20 畦断面（西から）
SR01 畦断面（南から）
下層水田（東から）
下層水田（南から）
写真図版 70　津万 2 区調査区内断割り状況①
調査区内断割り状況②
写真図版 71　嶋５区 SH01 出土土器①
写真図版 72　嶋５区 SH01 出土土器②
写真図版 73　嶋６区出土土器①
写真図版 74　嶋６区出土土器②
写真図版 75　嶋６区出土土器③
写真図版 76　嶋６区出土土器④
写真図版 77　嶋６区出土土器⑤
写真図版 78　嶋６区出土土器⑥
写真図版 79　嶋６区出土土器⑦
写真図版 80　津万１W区出土土器①
写真図版 81　津万１W区出土土器②
写真図版 82　津万１W区出土土器③
写真図版 83　津万１W区出土土器④
写真図版 84　津万１W区出土土器⑤
写真図版 85　津万１W区出土土器⑥
津万１Ｅ区出土土器①
写真図版 86　津万１Ｅ区出土土器②
写真図版 87　津万１Ｅ区出土土器③
写真図版 88　津万１Ｅ区出土土器④
写真図版 89　津万１Ｅ区出土土器⑤
写真図版 90　津万１Ｅ区出土土器⑥
写真図版 91　津万１Ｅ区出土土器⑦
写真図版 92　津万１Ｅ区出土土器⑧
写真図版 93　津万１Ｅ区出土土器⑨
写真図版 94　津万１Ｅ区出土土器⑩
写真図版 95　津万１Ｅ区出土土器⑪
写真図版 96　津万１Ｅ区出土土器⑫
写真図版 97　津万１Ｅ区出土土器⑬
津万２区出土土器①
写真図版 98　津万２区出土土器②
写真図版 99　津万２区出土土器③
写真図版 100 津万２区出土土器④
写真図版 101 津万２区出土土器⑤
写真図版 102 津万２区出土土器⑥
写真図版 103 津万２区出土土器⑦
写真図版 104 津万２区出土土器⑧
写真図版 105 津万２区出土土器⑨
写真図版 106 津万２区出土土器⑩
写真図版 107 津万２区出土土器⑪
写真図版 108 津万２区出土土器⑫
写真図版 109 津万２区出土土器⑬
写真図版 110 津万２区出土土器⑭
写真図版 111 津万２区出土土器⑮
津万遺跡群３　旧河道出土土器
写真図版 112 津万遺跡群３　包含層出土土器①
写真図版 113 津万遺跡群３　包含層出土土器②
写真図版 114 津万遺跡群３　包含層出土土器③
写真図版 115 津万遺跡群３　包含層出土土器④
写真図版 116 津万遺跡群３　出土石器・骨
写真図版 117 津万遺跡群３　出土金属器
写真図版 118 津万遺跡群３　出土木器

第１章　調査の経緯と経過

第１節　調査に至る経過

津万遺跡群は、加古川西岸の平野部に位置し、加古川が形成した沖積低地に立地している。本報告書における本発掘調査地は、現国道 175 号とほぼ併行して南北方向に延伸する道路建設予定範囲内で周知の埋蔵文化財包蔵地として登録された「津万遺跡群」（遺跡番号 140481）のうち、発掘調査時に嶋５区、嶋６区、津万１Ｗ区、津万１Ｅ区、津万２区と呼称した地区である。

国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所は、東播丹波連絡道路の一部として、国道 175 号の東播磨内陸部と丹波地域間及び西脇市等からの中国縦貫自動車道滝野社インターチェンジへのアクセス向上、西脇市内の国道 175 号の交通混雑緩和、交通安全の確保等を目的に西脇北バイパスを計画した。

同事業は、西脇市下戸田から同市黒田庄町大伏に至る、南北延長 5.2 ㎞に及ぶバイパス道路である。

本事業が事業化した平成９（1997）年度以降、用地着手を開始した平成 12（2000）年度の４月に、事業予定地内を対象として分布調査（遺跡調査番号 2000102）を実施した。当該事業予定地については、既に周知の埋蔵文化財包蔵地である「上戸田遺跡（遺跡番号 140301)」、「津万井近世窯群（遺跡番号 290450)」、「大門･畑瀬散布地〔大門･畑瀬遺跡〕（遺跡番号 290158)」、「大門北山小テラス群〔大伏･北山遺跡〕（遺跡番号 290452)」が存在していた。調査の結果、これら周知の埋蔵文化財包蔵地の他に、事業予定地内の「津万地区」、「嶋地区」、「西嶋地区」、「寺内地区」において、新たに埋蔵文化財が存在することが判明し、四つの地区を合わせて「津万遺跡群」として登録された。

分布調査の結果を受け、平成 16 年度には国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所長の依頼（平成 16 年２月 17 日付　国近整兵調第 114 号）に基づき、周知の埋蔵文化財包蔵地も含めて当該地区の確認調査〔遺跡調査番号:津万地区（2004245)･嶋地区（2004246)･西嶋地区（2004247)･寺内地区（2004248)〕を実施した。

その結果、各地区において遺構遺物が認められた（平成 17 年３月 23 日付け　教埋文第 4403 号の埋蔵文化財の取扱い回答文書による）ため、平成 20 年度の国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所長からの依頼（平成 20 年３月 14 日付け　国近整兵調第 75 号）に基づき、要調査範囲のうち、「西嶋３区（津万遺跡群２)」、「嶋２区（津万遺跡群２)」、「嶋５区･６区（津万遺跡群３)」、「津万１Ｗ区･Ｅ区（津万遺跡群３)」、「津万２区（津万遺跡群３)」の本発掘調査（遺跡調査番号：2008073）を実施した。

分布調査及び確認調査、本発掘調査の体制は、以下のとおりである。

１　分布調査（遺跡調査番号：2000102）

調 査 主 体：兵庫県教育委員会

調査担当者：兵庫県教育委員会　埋蔵文化財調査事務所　　企画調整班　主査　別府洋二

調査第３班　主査　中川　渉

主査　山上雅弘

技術職員　松岡千寿

調 査 期 間：平成 12 年４月 25 日

調 査 面 積：26,000 ㎡

２　確認調査　津万地区（遺跡調査番号：2004245）

嶋 地 区（遺跡調査番号：2004246）

西嶋地区（遺跡調査番号：2004247）

寺内地区（遺跡調査番号：2004248）

調 査 主 体：兵庫県教育委員会

調査担当者：兵庫県教育委員会　埋蔵文化財調査事務所　　調査第３班　主査　別府洋二

技術職員　上田健太郎

調 査 期 間：平成 16 年 12 月 13 日～平成 17 年３月 11 日

調 査 面 積：1,591 ㎡

３　本発掘調査（遺跡調査番号：2008073）

調 査 主 体：兵庫県教育委員会

調査担当者：兵庫県立考古博物館　埋蔵文化財調査部　　調査第２班　担当課長補佐　渡辺　昇

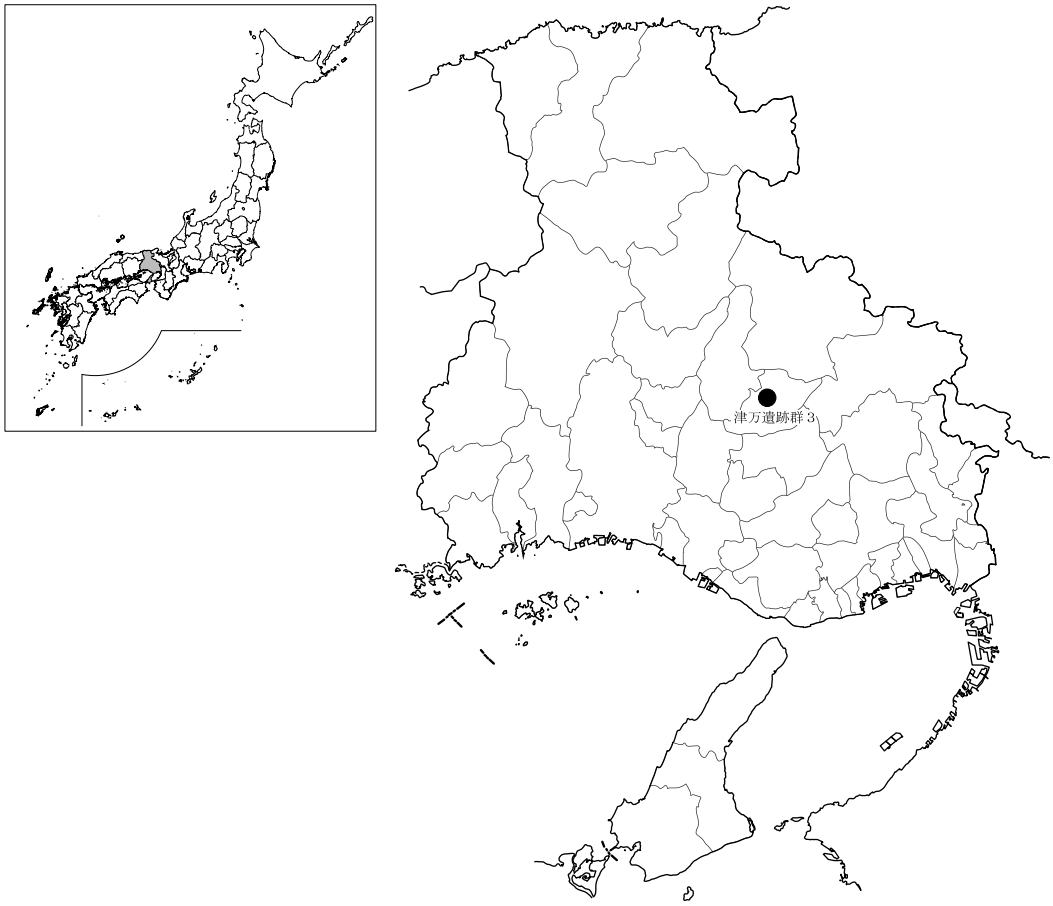
主査　鐵　英記

主任　上田健太郎

調 査 期 間：平成 20 年６月 19 日～平成 20 年 12 月２日

調 査 面 積：6,565 ㎡　（嶋５区：1,340 ㎡、嶋６区：1,401 ㎡）

（津万１W区：1,065 ㎡、津万１Ｅ区：713 ㎡、津万２区：2,046 ㎡）



第１図　遺跡の位置

第２節　調査の概要

津万遺跡群の調査は、要調査地全体の工程として、「寺内地区」、「西嶋地区」、「嶋地区」、「津万地区」と、基本的には北から南への順を基調に、用地買収の進捗や地元調整等を勘案して、進められた。また、調査区は、事業範囲内を通る東西南北の市道及び農道等を考慮して設定され、各地区を北から南へ「１・２・３…」、東西を「Ｅ・Ｗ」として、当該調査区を「嶋５区」、「嶋６区」、「津万１Ｗ区」、「津万１Ｅ区」、「津万２区」と呼称して調査を実施した。各地区の概要については、以下のとおりである。

１　嶋５区

嶋５区では、竪穴建物跡１棟、溝１条、土坑約 20 基、自然流路を検出した。

竪穴建物跡は、隅丸方形を呈し、中央土坑１基と屋内土坑２基を持ち、主柱穴は２基である。床面からは、弥生時代終末期と考えられる甕をはじめとした土器が出土している。

溝は、Ｌ字状に屈曲するもので、古墳時代のものと考えられる須恵器の大甕の破片が出土している。

土坑群は、出土遺物が少量で、性格や時期が判別できるものが殆どないが、長楕円形を呈する SK02 は、土坑内の南西端に奈良時代の須恵器杯２個を並べた形で出土しており、土壙墓と考えられる。

流路は、調査区北半を北西から南東にかけて流れており、遺物は殆ど出土していないが、最下層からは弥生時代終末期の土器が出土している。また、最上層からは鎌倉時代の須恵器と土師器が出土しており、中世段階でほぼ埋没したものと考えられる。

２　嶋６区

嶋６区では、弥生時代後期の竪穴建物跡１棟、掘立柱建物跡 10 棟、土坑 20 基、木棺墓１基、溝、柱穴等を検出した。

竪穴建物跡は、円形を呈し、屋内施設は主柱穴、中央土坑の他、高床部を確認したが、周壁溝は認められなかった。主柱穴は４本で、切り合いから建て替えがあったことが考えられる。中央土坑は緩やかに傾斜する浅い部分から一段深くなっている部分に分かれる。出土土器は小片で時期の判別が難しいが、周囲の調査区の住居形態と比較して、弥生時代終末期の可能性が高い。

掘立柱建物跡は、SB01・SB05 が側柱建物、他は総柱建物である。この内、SB02 は４間以上×５間、SB03 は７間以上×２間以上、SB07 は３間×４間の建物である。SB05・SB07 の柱穴からは、11 世紀後半から 12 世紀前半の須恵器椀が出土しており、他の掘立柱建物跡も主軸方向や規模が近似すること等から、ほぼ同時期である蓋然性が高い。また、土壌化層の除去後に検出した SB10 は、１間×５間の建物で、土器の出土はないものの、弥生時代後期の可能性が考えられる。

土坑の内、SK06・08・17・18 等は、直径、深度共に比較的規模の大きいものである。これらは、掘立柱建物跡と同時期の土器が認められ、井戸 SE01 に近い素掘りの井戸の可能性が考えられる。また、SK16 は、切り合いが認められ、底部に礫敷きがあり、断面形が袋状となる古い段階のものと、それを切る新しい段階のものがあり、新しい段階のものからは円面硯の破片が出土しており、付近の遺構検出面からは、石帯（丸鞆）の破片が出土している。

井戸は、石組みの SE02 を検出した。底部付近は根太で方形に囲み、曲物を設けている。裏込め土中からは 11 世紀代の須恵器椀片が出土している。

木棺墓（SX01）は、南西部際に、棺材の腐食後、土器や礫が棺上より落ち込んだと窺える状況が認められ、11 世紀代の土器が出土している。

３　津万１Ｗ区

津万１Ｗ区では、竪穴建物跡３棟、掘立柱建物跡４棟、柱穴列、柱穴、土坑、溝等を検出した。

竪穴建物跡の内、SH02 は調査区際で遺構の一部を検出した。SH01 は、円形を呈し、周壁溝及び中央土坑を持ち、主柱穴が４本の建物である。中央土坑の周りには、僅かながら周堤が認められる。建物内には、埋没過程で廃棄されたと考えられる土器群が出土している。SH03 は、円形を呈し、周壁溝及び中央土坑を持つ。中央土坑の周りには、明確な周堤が認められ、主柱穴が４本の建物である。床面には、炭化物及び炭化材が残存している。SH02 は、周壁溝と屋内高床部を持つと推測されるが、詳細は不明である。これらの竪穴建物跡は、出土した土器から、弥生時代後期前半に属すると考えられる。

掘立柱建物跡群は、主軸がほぼ南北方向を向いている。SB01 は、２間×４間以上の側柱建物である。SB02 は、２間×３間以上の側柱建物である。SB03 は、１間×４間以上という特殊な形状の側柱建物である。SB04 は、２間×２間の側柱建物である。

柱穴は、柱穴列 SA01 をはじめ、調査区内に散在している状況であり、実際には現状より数件の建物を復元できる可能性がある。これらの建物群は、遺物の出土が少ないものの、平安時代後半期に当たると考えられる。

土坑は、10 基余りを検出したが遺物の出土が殆どなく、時期、性格等は不明である。

溝は、鋤溝と考えられる細く浅い溝を数条検出している。

４　津万１Ｅ区

津万１Ｅ区では、竪穴建物跡４棟、掘立柱建物１棟、土坑 19 基、溝５条、落ち込み２基である。

竪穴建物跡は、円形２棟、方形２棟であり、特に円形の建物跡 SH01、SH03 は、比較的大型で、建物跡内からは多量の遺物が出土している。建物中央には､周堤を持つ中央土坑がある。方形建物跡 SH02 は、長方形状を呈し、遺構の北西側を SX01 に切られているが、主柱穴４本の建物跡と考えられる。方形建物跡 SH04 は、遺構の半分程は調査区西側にあり、全容は判然としない。方形建物については、２棟共須恵器が伴っておらず、古墳時代前期の範疇に入ると考えられる。

掘立柱建物跡は、調査区北側で検出しており、正方位であるほぼ真北に主軸を持っている。２間×３間の側柱建物で、柱穴の形状は方形を呈する。建物の時期は奈良時代と考えられる。

土坑は、SK01 のみが中世の土鍋、土師器皿が出土しており、遺物の時期から 13 世紀の土坑と判断される。それ以外は性格が明確な遺構がなく、落ち込みの中には風倒木の痕跡が多く含まれている。

５　津万２区

津万２区では、竪穴建物跡１棟、土坑 23 基、井戸２基、柱穴数基、溝 18 条、落ち込み 17 基、流路を検出した。

竪穴建物跡 SH01 は、不定円形を呈し、津万１Ｅ区の円形建物跡と同時期の弥生時代後期中葉～後葉と考えられる。中央土坑を持ち、比較的多量の遺物が出土している。

井戸 SE01 は、木組で曲物を井筒としたものである。SE02 は、石組みの井戸である。共に 12 世紀後

半から 13 世紀の遺構と考えられる。また、SX04 も井戸の可能性が考えられる。

溝の多くは、鋤溝である。

落ち込みの多くは、風倒木であるが、方形遺構 SX18・SX19 については、残存状況が悪いものの、古墳時代の竪穴建物跡の可能性がある。また、SX11 は、大きな落ち込み内に石組みを有している。

流路は、床面が水田として利用されており、二時期以上の畦畔を確認している。

なお、当該地区では、包含層出土遺物に「妻」と記された墨書土器（557）があり、鎌倉時代頃に当該地周辺を「妻庄（つまのしょう）」と称したこととの関連が強く窺われる。

第３節　出土品整理作業

本報告書の刊行に至るまでの出土品整理作業は、平成 24・25 年度、平成 27 ～ 30 年度の 6 箇年で実施した。各年の整理作業内容と体制については、以下のとおりである。

１ 平成 24 年度の整理作業

作業は、水洗い、ネーミング、接合・補強、金属器保存処理を行った。整理作業に係る体制は以下の通りである。

公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター　埋蔵文化財調査部

整理保存課　　副課長　篠宮　正

副課長　深江英憲

副課長　岡本一秀

２ 平成 25 年度の整理作業

作業は、実測・拓本、復元、写真撮影、写真整理、遺構図補正である。整理作業に係る体制等は以下の通りである。

公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター　埋蔵文化財調査部

整理保存課　　副課長　長濱誠司

副課長　深江英憲

３ 平成 27 年度の整理作業

作業は、トレース（遺物の一部）を行った。整理作業に係る体制は以下の通りである。

公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター　埋蔵文化財調査部

整理保存課　　副課長　菱田淳子

副課長　長濱誠司

４　平成 28 年度の整理作業

作業は、トレース（遺物の一部）を行った。整理作業に係る体制等は以下の通りである。

公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター　埋蔵文化財調査部

整理保存課　　副課長　菱田淳子

副課長　池田征弘

５　平成 29 年度の整理作業

作業は、トレース（遺構及び遺物の一部）、木器の保存処理を行った。

整理作業に係る体制は以下の通りである。

公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター　埋蔵文化財調査部

整理保存課　　副課長　菱田淳子

副課長　深江英憲

技術職員　大本朋弥

６　平成 30 年度の整理作業

作業は、レイアウト、報告書の刊行を行った。整理作業に係る体制等は以下の通りである。

公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター　埋蔵文化財調査部

整理保存課　　副課長　菱田淳子

副課長　深江英憲

なお、本報告書の刊行に係るレイアウト作業、及び編集作業については、以下の整理技術嘱託員の補助のもと、遅滞なく作業が進められた。本来であれば、各年度の作業従事者を明記するところだが、本書の刊行のために従事した整理技術嘱託員のみを敢えて明記することとする。

主任技術員　池田悦子

企画技術員　佐伯純子　高瀬敬子

図化技術員　柏木明子　平宮可奈子

第２章　遺跡の位置と環境

第１節　地理的環境

津万遺跡群が位置する西脇市は、兵庫県のほぼ中央で、播磨地域の北東部に位置している。市内では、東経 135 度と北緯 35 度が交差している所があり、「日本列島の中心・日本のへそ」と称されている。西脇市域は、中国山地の東端部の山地部で、標高 200 ～ 600 ｍの丘陵に囲まれている。市域中央部には、南北に加古川が流れ、加古川及びその支流である杉原川の周辺に平野が形成されている。遺跡は、西脇市の北部にあり、加古川右岸の平野に所在する。

津万遺跡群の「津万」の地名は、霊亀元年（715 年）の編述とみられる『播磨国風土記』において、「播磨国託賀の郡（はりまのくにたかのこおり）」の里名、「都麻の里（つまのさと）」とされ、「播磨刀売（はりまとめ）」と「丹波刀売（たにわとめ）」とが国境を定めた時の説話で表れる。後世では、「妻庄（つまのしょう）」、「都万村（つまむら）」等と記された。

第２節　歴史的環境

津万遺跡群周辺の歴史的環境については、平成 28 年度刊行の同事業の報告書『兵庫県文化財調査報書第 486 号　西脇市　大門畑瀬遺跡・大伏北山遺跡―175 号西脇北バイパス事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告―』の第２章　位置と環境、第２節　歴史的環境において記述されており、本項では詳細の記述を割愛し、津万遺跡群周辺の遺跡分布図（第２図）と津万遺跡群周辺の遺跡地名表（第１表）のみを掲載することとする。詳細については、上記報告書を参照されたい。

第２図　津万遺跡群周辺の遺跡

第１表　津万遺跡群周辺の遺跡地名表

番号	遺跡の名称	番号	遺跡の名称	番号	遺跡の名称	番号	遺跡の名称
1	**津万遺跡群**	56	黒田・坂ノ西古墳群	110	岡之山東古墳群	51	黒田・末谷窯跡
2	寺内・中田遺跡	57	黒田・構江遺跡	111	岡ノ山古墳	52	黒田・大山谷古墳
3	西嶋・門遺跡	58	黒田庄中学校遺跡	112	岡之山西古墳群	52	黒田・大山谷２号墳
4	嶋・馬渡り遺跡	59	黒田・大年ノ上遺跡	113	岡之山古墳群	53	黒田・大山谷窯跡群
5	嶋・大堂遺跡	60	黒田・前山山頂古墳	114	比延古墳	54	黒田・坂の東古墳群
6	大垣内遺跡	61	前坂・北山山頂１号墳	115	岡之山南古墳群	55	黒田・殿山池１号墳
7	上戸田遺跡	62	前坂・北山遺跡	116	鎌谷下池遺跡	104	北垣内道ノ上遺跡
8	伝島村城跡	62	前坂・北山古墳群	117	比延山城跡	105	谷田遺跡
9	東八日山古墳群	63	前坂・森谷山古墳群	118	横山石棺墓	106	西岡山古墳群
10	応供寺跡	64	前坂・森谷古墳群	119	鹿野窯跡	107	芦谷水塚古墳
11	八日山古墳群	65	前坂・大歳神社古墳群	120	比延前田遺跡	108	滝ノ上古墳群
12	大伏・ヌク谷遺跡	66	前坂・大歳神社窯跡	121	鹿野宮ノ前遺跡	109	岡之山北古墳
13	大伏・マワリ谷散布地	67	前坂・奥谷古墳	122	蒲江・上山古墳	159	富吉・上ノ山遺跡
14	上大伏遺跡	68	喜多・熊野神社１号墳	123	蒲江・大谷窯跡群	160	富吉・上ノ山古墳群
15	上大伏古墳	69	喜多・丸山古墳群	124	蒲江・大谷散布地	161	富吉上遺跡
16	石原・下山遺跡	70	喜多・山西遺跡	125	蒲江・宮池遺跡	162	富吉・北山古墳群
17	石原・尾ノ山Ａ古墳群	71	喜多・天神前１号墳	126	蒲江・大谷古墳	163	富吉・愛宕山古墳群
18	石原・市山古墳群	72	喜多・大門散布地	127	蒲江・西山古墳	164	富吉・愛宕山遺跡
19	尾ノ山散布地	73	喜多・友尾山山頂古墳群	128	寺内古墳群	165	富吉・奥山南古墳群
20	石原・市山谷窯跡	74	喜多・友尾山古墳群	129	坂本古墳群	166	富吉・奥山北１号墳
21	幡上１号墳	75	喜多・大谷池散布地	130	坂本城跡	167	前島・明谷古墳
22	西ノ塔遺跡	76	喜多・城山城跡	131	西林寺遺跡	168	前島遺跡
23	石原経塚	77	岡・古門遺跡	132	西林寺南方山頂遺跡	169	前島古墳
24	得笠寺、建仁寺跡	78	喜多・猪ノ谷遺跡	133	大野古墳群	170	大木・東山石棺墓
25	西ノ塔古墳	79	喜多・猪ノ谷山古墳群	134	大野古墳	171	大木遺跡
26	石原・西光寺遺跡	80	喜多・秋谷池古墳群	135	大門・畑瀬遺跡	172	野中・国影遺跡
27	西畑遺跡	81	秋谷山遺跡	136	大伏・北山遺跡	173	東安田・観音山遺跡
28	石原城跡推定地	82	三角点山山頂遺跡	137	大門１号窯跡	174	東安田・ヒダイ遺跡
29	石原・北山Ａ古墳群	83	三角点山愛宕遺跡	138	津万井近世窯跡	175	善光寺遺跡
30	野尾谷遺跡	84	岡・福谷遺跡	139	津万井・畑瀬散布地	176	東安田・北山遺跡
31	石原・北山古墳	85	岡・福谷池古墳群	140	畑瀬末谷窯跡群	177	東安田古墳群
32	上山・下山１号墳	86	楠丘遺跡	141	大門・畑瀬古墳群	178	東安田・西北山遺跡
33	桜丘古墳群	87	極楽寺遺跡	142	大伏窯跡群	179	東安田中池遺跡
34	田高・下山遺跡	88	岡・前田遺跡	143	津万井・井ノ上遺跡	180	東安田城遺跡
35	黒田・北ノ山古墳群	89	福地・ドンド１号墳	144	大伏・ヲセ谷古墳群	181	東安田中世墓群
36	黒田・栢木谷古墳群	89	岡・ドンド古墳群	145	大伏・南山古墳群	182	滝ヶ谷池遺跡
37	黒田・小松原古墳群	90	岡・福地経塚	146	下戸田古墳群	183	中安田奥池遺跡
38	黒田・城山古墳群	91	蟲生城跡	147	西脇城跡		
39	伝黒田城跡主郭部	92	福地・大谷遺跡	148	キツネ塚古墳		
40	伝黒田城跡	93	福地城跡	149	上本町大塚古墳群		
41	黒田・中池１号墳	94	福地・御料谷遺跡	150	童子山窯跡		
42	黒田・中池窯跡群	95	福地・御霊谷散布地	151	春日山遺跡		
43	黒田・寺内大日堂散布地	96	福地・百合山１古墳群	152	高田井遺跡		
44	黒田・北ノ山散布地	97	芦谷嫁ヶ石古墳	153	富田山古墳群		
45	黒田・北山遺跡	98	伊勢山西古墳	154	西仙寺山砦跡		
46	黒田・寺内北山遺跡	99	伊勢山城跡	154	西仙寺遺跡		
47	瀧尾神社散布地	100	伊勢山古墳群	155	日野・高芝遺跡		
48	黒田・小松山古墳群	101	北山古墳群	156	下山古墳		
49	黒田・南山古墳群	102	北垣内池窯跡	157	富吉南遺跡		
50	黒田１号窯跡	103	安井棒池古墳群	158	富吉南古墳群		

第３章　発掘調査の成果

第１節　遺構

遺構については、嶋５区、嶋６区、津万１Ｗ区、津万１Ｅ区、津万２区の順に掲載する。遺構名は各調査地区で個別に付しているため、同一遺構名が存在する場合がある。また、本報告書の遺構名は、発掘調査時の遺構名表記との齟齬を避けるため、原則的には発掘調査時に付した遺構名をそのまま使用するが、掘立柱建物跡に係る柱穴のみ、遺構以下の例に従って表記する。(例. SB01 － SP01)

なお、各地区の概要については、第１章第２節に記述しており、内容が一部重複する部分がある。また、遺物のみ掲載しているものは、遺構平面図内に明示し、個別の解説は割愛した。

１　嶋５区の調査

本地区は、平成 16 年度の確認調査（2004246 － T58 ～ T61：図版１）の結果、河道及び柱穴等が検出されたため、平成 20 年度に本発掘調査を実施したものである（図版２～６　写真図版１～７)。主な検出遺構は以下の通りである。

（１）竪穴建物跡（図版３・５　写真図版１・４・５）

SH01

調査区中央西端で検出した。一辺約 460 ㎝～ 480 ㎝を測る隅丸方形状を呈し、深度 45 ㎝を測る。中央土坑は、直径約 40 ㎝の円形を呈し、深度５㎝を測る。傍らには台石状の扁平な礫が認められる。屋内土坑２基のうち、土坑１は、長軸約 80 ㎝、短軸約 60 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約６㎝を測る。２基の主柱穴は、直径約 30 ～ 40 ㎝の円形状を呈し、深度約 10 ㎝を測る。中央土坑、屋内土坑、柱穴は、地山上に堆積した地層（４層）を掘り込んでおり、貼床であることが窺われる。遺構の時期は、床面から出土した土器群から弥生時代終末期と考えられる。遺物は、甕（１～６)、台付鉢（７～ 11)、鉢（12)、器台（13 ～ 15）が出土した。

（２）土坑（図版３・６　写真図版１・６・７）

SK02

調査区南西側に位置する。長軸約 205㎝、短軸約 105 ㎝を測る長楕円形状を呈し、深度約 13 ㎝を測る。土坑内の南西端には須恵器杯（16・17）が並列で埋設されており、土壙墓と考えられる。遺物は、上記に挙げた須恵器杯（16・17）が出土した以外は、図化可能な遺物はなかった。

SK03

調査区南西側に位置する。検出長軸約 185 ㎝、短軸約 140 ㎝を測る不定楕円形状を呈すると考えられ、深度約 23 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK05

調査区南西側に位置する。検出長軸約 200 ㎝、短軸約 135 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 25 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK06

調査区南西側に位置する。直径約 85 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 20 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK08

調査区南西側に位置する。直径約 85 ㎝の円形状を呈し、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK09

調査区南西側に位置する。長軸約 220 ㎝、短軸約 83 ㎝の長楕円形状を呈し、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK16

調査区南西側に位置し、北西側の堀方を SD02 に切られる。検出長軸約 77 ㎝、短軸約 50 ㎝を測る楕円形状を呈すると考えられ、深度約 18 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK21

調査区南西側に位置し、東側の掘方を SD02 に切られる。検出長軸約 200 ㎝、短軸約 110 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 28 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

（３）溝（図版３　写真図版１・７）

SD01

調査区南西側に位置する。検出延長約 200 ㎝、幅約 60 ㎝、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD02

調査区南西側に位置する。検出延長約 20 ｍ、幅約 70 ～ 90 ㎝、深度 10 ～ 25 ㎝を測り、北側の流路付近でＬ字状に屈曲する。図化可能な遺物は出土しなかった。

（４）流路（図版３・４　写真図版１・３）

調査区北東側に位置し、調査区全体の半分強を占めている。北西から南東方向に向けて流れる。堆積土は、相対的にシルトを主体としており、比較的緩やかな流れであったことが窺える。図化可能な遺物は出土しなかった。

２　嶋６区の調査

本地区は、平成 16 年度の確認調査（2004246 － T55 ～ T57：図版１）の結果、柱穴及び土坑等が検出されたため、平成 20 年度に本発掘調査を実施したものである（図版２・７～ 19　写真図版８～ 24）。主な検出遺構は以下の通りである。

（１）竪穴建物跡（図版７・９　写真図版６・10）

SH01

調査区北東側に位置する。直径約 580 ㎝を測る円形状を呈し、屋内施設として中央土坑、主柱穴の他、高床部を確認したが、周壁溝は認められなかった。中央土坑は、長軸約 90 ㎝、短軸約 70 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、緩やかに傾斜する浅い部分から一段深くなっている部分に分かれ、低床部からの深度約 30 ㎝を測る。主柱穴は４本で、直径約 30 ㎝、深度約 20 ～ 40 ㎝を測り、SP01・SP04 等に見られるような切り合いが認められることから、建て替えがあった可能性が窺える。高床部は、断面の状況から、盛り出しによるものではなく、低床部と共に地山の削り出しによって設けられたと考えられる。出土遺物は、小片で時期の判別が難しいが、周囲の調査区の住居形態と比較して、弥生時代後期末の可能性が高い。遺物は、須恵器甕（18）、弥生土器高杯（19）、壷（20・21）、鉢？台部（22）、甕（23）、高杯？

脚部（24）が出土しているが、18 の須恵器甕は精査時に包含層の遺物が混入したものである。

（２）掘立柱建物跡（図版７・10 ～ 14　写真図版８・11 ～ 19）

SB01

調査区南東隅に位置する。東西に長い側柱建物で、検出は１間×２間だが、調査区東側へ更に延びることが想定される。柱間は、梁間約 300 ㎝、桁行 210 ～ 230 ㎝とばらつきがあるが、梁間側には広い柱間を補完するように SP04 がある。遺物は、SP07 より須恵器椀（25 ～ 27）が出土している。

SB02

調査区西側に位置する。南北に長い４間×５間の総柱建物である。柱間は、梁間が概ね 200 ㎝程度になるのに対して、桁行は外側から中央部に向かって、約 180 ～ 240 ㎝と広くなって行く。SB03、SB06、SB07 等とほぼ主軸を同じくしており、同時期の建物の可能性が高い。遺物は、SP21 より須恵器椀（28）が出土している。

SB03

調査区北西側に位置する。南北に長い総柱建物で、検出できたのは梁間１間分、桁行７間分である。柱間は、梁間が 200 ㎝前後、桁行が約 200 ～ 220 ㎝を測る。SB02、SB06、SB07 等とほぼ主軸を同じくしており、同時期の可能性が高い。遺物は、SP10 より土師器鍋（29）が出土している。

SB04

調査区北西側に位置し、建物の方向が主軸を異にする SB07 と一部重複する。１間×１間の正方形の建物で、柱間は約 240 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SB05

調査区中央やや北側に位置する。ほぼ正方形の３間×３間の側柱建物である。柱間は、狭い箇所で約 200 ㎝、広い箇所で約 250 ㎝を測る。遺物は、SP02 の柱痕より須恵器椀（31）、SP03 より製塩土器（30）が出土している。

SB06

調査区南西隅に位置する。検出できているのは、東西１間、南北２間であり、１間×２間の側柱建物になる可能性がある。柱間は、約 220 ㎝で、広い箇所では約 240 を測る。SB02、SB03、SB07 等とほぼ主軸を同じくしており、同時期の可能性が高い。遺物は、SP01 より須恵器椀（32 ～ 34）、SP02 より瓦器椀（35）、土師器鍋（38）、弥生土器甕？（39）、SP03 b より須恵器椀（37）、SP06 より須恵器椀（36）が出土しているが、39 は混入である。

SB07

調査区南西側に位置する。東西に長い３間×４間の総柱建物である。柱間は、梁間が約 230 ㎝～ 240 ㎝、桁行が約 240 ㎝を測る。SB02、SB03、SB06 等とほぼ主軸を同じくしており、同時期の可能性が高い。遺物は、SP02 より須恵器椀（40）、SP04 より土師器鍋（45）、SP07 より須恵器椀（41）が出土している。

SB08

調査区東側に位置し、建物の方向が主軸を若干異にする SB02 と重複する。東西に長く、検出できたのは、梁間１間、桁行３間分である。柱間は、概ね 200 ㎝程である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SB09

調査区西端に位置する。梁間１間分を検出できたのみで、規模は不明である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SB10

調査区東側に位置する。南西－北東方向に長い１間×４間の側柱建物である。柱間は梁間が約 210 ㎝、桁行が約 150 ～ 180 ㎝とばらつきがある。図化可能な遺物は出土しなかった。

（３）柱穴（図版７・14　写真図版８・19）

SP110

調査区中央南側に位置する。直径約 50 ㎝、柱痕の直径約 28 ㎝、深度約 53 ㎝を測る。柱痕内には長さ 30 ㎝弱の角礫を埋置し、上層で須恵器椀（52）が出土している。

SP119

調査区北西隅に位置し、隣接の SP200 を切る。直径約 30 ㎝、柱痕の直径約 16 ㎝、深度約 43 ㎝を測る。柱痕内上層では、一辺 10 ㎝前後の角礫の傍らで須恵器椀（54）が出土している。

SP122

調査区北西隅に位置する。直径約 36 ㎝、柱痕の直径約 14 ㎝、深度約 15 ㎝を測る。柱痕内及びその周辺では、須恵器椀（55・56）が出土している。

その他の柱穴では、SP15 より須恵器椀（42・43）、須恵器捏鉢（44）、SP36 より土師器椀（46）、SP47 より須恵器椀（47）、SP56 より須恵器小皿（50）、SP62 より土師器鍋（48）、SP68 より須恵器椀（49）、SP73 より須恵器捏鉢（51）が出土している。

（４）土坑（図版７・15・16・19　写真図版８・20・21）

SK01

調査区南西側に位置し、SK02 の西側に隣接する。直径約 80 ㎝の不定円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK02

調査区南西側に位置し、SK01 の東側に隣接する。直径約 60 ㎝の不定円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK03

調査区東側に位置し、SK09 の東側に隣接する。長辺約 175 ㎝、短辺約 145 ㎝を測る隅丸長方形状を呈し、深度約 12 ㎝を測る浅い土坑である。遺物は、須恵器椀（57）が出土している。

SK04

調査区東側に位置する。長軸約 140 ㎝、短軸約 88 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 10 ㎝を測る浅い土坑である。埋土は SB02 － SP05 に掘削されており、SB02 よりも前出する遺構であることが分かる。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK05

調査区西側に位置し、SK08 の西側の一部を切る。長軸約 147 ㎝、短軸 120 ㎝を測る不定長方形状を呈し、深度約 37 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK06

調査区西側に位置し、SK18 の南側の一部を切り、東側の一部を SK17 に切られる。直径約 192 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 105 ㎝を測る比較的深い土坑である。遺物は、須恵器椀（58 ～ 72）、須恵器杯（65）、須恵器壺（73）、土師器杯（74 ～ 76）、土師器小皿（77 ～ 81）、土師器鍋（82）が出土している。

SK07

調査区南西側に位置する。長軸約235㎝、短軸約135㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約25㎝を測る。遺構東側の一部は、確認トレンチにより、上半部が掘削されている。また、埋土はSB07 － SP01に掘削されており、SB07よりも前出する遺構であることが分かる。遺物は、須恵器椀（83）が出土している。

SK08

調査区西側に位置し、北西側の一部をSK05に切られる。遺構の上半部が削平されており、正確な規模は不明だが、直径200㎝強の円形状を呈すると考えられる。遺構面と残存する土坑床面から深度約75㎝を測る比較的深い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK09

調査区東側に位置し、SK03の西側に隣接する。底辺185㎝、高さ185㎝を測る隅丸三角形状を呈し、深度約15㎝を測る。遺物は、出土状況を図化している弥生土器甕（84）が出土している。

SK10

調査区南西側に位置する。遺構のほぼ西半部は調査区外にあり、推定直径約275㎝の円形状を呈すると考えられ、深度約60㎝を測る。遺物は須恵器椀（85）、須恵器鉢（86）が出土している。

SK11

調査区南東側に位置する。長軸約63㎝、短軸約43㎝を測る楕円形状を呈し、深度約20㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK12

調査区南東側に位置する。直径約62㎝を測る不定円形状を呈し、深度約22㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK13

調査区東側に位置する。直径約95㎝を測る不定円形状を呈し、深度約16㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK14

調査区東側に位置する。直径約63㎝を測る不定円形状を呈し、深度約20㎝を測る。遺構中央部は近世以降の鋤溝により上端の掘方が削平されている。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK15

調査区東側に位置し、遺構の東半部をSD01に切られる。直径約72㎝を測る円形状を呈し、深度約20㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK16

調査区東側に位置する。遺構のほぼ東半部は調査区外にあり、推定直径約115㎝の不定円形状を呈すると考えられ、深度約40㎝を測る。遺物は、須恵器円面硯（87）が出土している。

SK17

調査区西側に位置し、SK06の東側の一部及びSK18の南側の一部を切る。直径約130㎝を測る不定円形状を呈し、深度約62㎝を測る比較的深い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK18

調査区西側に位置し、SK06及びSK17に南側の一部を切られる。直径約190㎝を測る不定円形状を呈し、深度40㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK19

調査区北東側に位置する。遺構の半分以上が調査区外にあり、全体の規模は判然としないが、調査区土層断面から推定すると一辺約 500 ㎝を測る隅丸方形状、若しくは隅丸長方形状を呈すると考えられ、深度約 20 ㎝を測る。遺構の東側の一部は、SB03 － SP12、及び SB04 － SP03 に切られる。遺物は、須恵器鉢（88)、土師器鍋（89）が出土している。

SK20

調査区北西側に位置する。直径約 65 ㎝の円形状を呈し、深度約 20 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK21

調査区北西側に位置する。長軸 120 ㎝、短軸約 92 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 25 ㎝を測る。遺物の集中的に出土しており、出土状況も記録している。遺物は、須恵器椀（90 ～ 97)、須恵器小皿（98)、土師器杯（99）が出土している。

（５）井戸（図版７・17　写真図版８・22・23）

SE01

調査区東側に位置し、遺構中央部の掘方を SD01 に切られる。一辺約 120 ㎝を測る隅丸方形状を呈し、深度約 90 ㎝を測る。内部施設を伴わない素掘りの井戸と考えられる。遺物は、須恵器椀（100）が出土している。

SE02

調査区北西側に位置する。直径約 230 ㎝を測る不定円形状を呈し、検出深度約 160 ㎝を測る。人頭大及びその他大小の角礫を用いた石組みを持ち、石組み内床面付近は方形区画の根太を設け、中央に設けた曲物を囲んでいる。遺物は、須恵器椀（101 ～ 103)、須恵器鉢（104・105)、須恵器甕（106・107)、土師器小皿（108)、土師器鍋（109）の他、曲物側板（W1)・曲物底板（W2）等の木器が出土している。

（６）木棺墓（図版７・18　写真図版８・24）

SX01

調査区中央やや東側に位置する。長軸約 262 ㎝、短軸約 81 ～ 84 ㎝を測る隅丸長方形状を呈し、深度約 24 ㎝を測る。木棺の棺材長約 222 ㎝、棺材幅約 64 ㎝を測る。棺内の南西側、及び北東側には、土器や角礫等が出土しているが、何れも床面より浮いた状態で検出されており、遺骸の埋葬後、棺材の腐食により、棺上から落ち込んだ状況が窺える。遺物は、棺上から落ち込んだ須恵器椀（110 ～ 113)、棺材の裏込土より出土した土師器土錘（114）が出土した。

（７）溝（図版７・19　写真図版８・23）

SD01

調査区東端に位置し、調査区のほぼ南北方向を通っており、延長約 44 ｍを検出している。幅約 70 ～ 80 ㎝、深度約 15 ～ 40 ㎝を測る。検出状況から南方から北方に向けて流れることが窺え、嶋５区の流路へ延伸すると考えられる。遺物は、土師器椀（115･121)、須恵器椀（116 ～ 120)、土師器土錘（122）が出土している。

その他、遺物が出土した溝は、調査区南西側に位置する SD08 より須恵器椀（123）が出土している。

３　津万１W区の調査

本地区は、平成 16 年度の確認調査（2004245 － T52･T54:図版１）の結果、柱穴等が検出されたため、平成 20 年度に本発掘調査を実施したものである（図版２・20 ～ 28　写真図版 25 ～ 40）。主な検出遺構は以下の通りである。

（１）竪穴建物跡（図版 20・22 ～ 24　写真図版 25・28 ～ 32）

SH01

調査区北西側に位置し、SB01 の柱穴に切られる。直径約 680 ㎝を測る円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。建物内部は、周壁溝、中央土坑、小土坑、４本の主柱穴を持つ。中央土坑は、長軸約 160 ㎝、短軸約 130 ㎝を測る不定楕円形を呈し、深度約 40 ㎝を測り、埋土には炭や焼土等を含む。小土坑は、長軸約 80 ㎝、短軸約 60 ㎝を測る不定楕円形を呈し、深度約５㎝を測る極浅い土坑で、埋土には炭化物を含む。遺物は、弥生時代後期前半のものが多く出土しており、ほぼ床面直上の遺物と、その後の埋没過程で投棄された遺物とに分類される。前者には、弥生土器の台付鉢（147）、高杯（149）、器台（155）が出土している。また､後者には､弥生土器の器台（124）､壷（125 ～ 131･143）､甕（132 ～ 141）､鉢（142･144・146）、台付鉢（148）、高杯（150 ～ 154）、蓋？（156）、土錘（157）が出土している。その他、小型鉢（145）が出土しているが、混入の可能性も考えられる。

SH02

調査区南西端に位置する。遺構の殆どが調査区外にあるが、検出部分から、直径 550 ㎝前後の円形状を呈すると推測される。建物内部は、周壁溝の他、高床部を持つことが土層断面から看取され、深度が高床部で約 30 ㎝､低床部で約 45 ㎝を測る。遺物は､弥生土器の壷（158）､高杯（159）が出土している。

SH03

調査区北東側に位置する。SD01 と重複するが、切り合い関係では SD01 が新しい。直径約 470 ～ 490 ㎝の円形状を呈し、深度約 50 ㎝を測る。建物内部は、周壁溝、小土坑、中央土坑、４本の主柱穴を持つ。中央土坑は、直径約 120 ㎝の土坑に、幅約 20 ㎝の周堤が巡り、最大深度 15 ㎝を測る。小土坑は、長軸約 145 ㎝、短軸約 65 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。主柱穴は、直径約 20 ㎝、深度約 15 ㎝である。遺物は、壷（160 ～ 170）、甕（171）、鉢（173 ～ 177）、高杯（178 ～ 180･183）、器台（181･182）が出土している。なお、172 は、鉢状を成すが器種不明である。

SH04

調査区北東端、SH03 の北東側に位置し、遺構の一部を SD02 に切られる。遺構の大半が調査区外にあり､全容は不明である。南北長約 300 ㎝､東西検出長約 140 ㎝の不定方形状であり､深度約 20 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

（２）掘立柱建物跡（図版 20・25 ～ 27　写真図版 25・33 ～ 37）

SB01

調査区北西隅に位置し、SH01 の一部を切る。当該遺構は、梁間２間、桁行４間の側柱建物で、柱間は約 250 ㎝を測る。建物に係る柱穴は直径約 40 ㎝、深度約 30 ～ 40 ㎝、柱痕の直径約 15 ㎝を測る。建物の主軸は、北東側に隣接する SB02 と共にほぼ南北方向を向いている。図化可能な遺物は出土しなかった。

SB02

調査区北端に位置する。梁間２間、桁行３間の側柱建物で、柱間は約 250 ㎝を測るが、桁行側が調査

区外に延びる可能性がある。建物に係る柱穴は直径約 30 ～ 40 ㎝、深度約 20 ㎝、柱痕の直径約 15 ㎝を測る。建物の主軸は、南西側に隣接する SB01 と共にほぼ南北方向を向いている。図化可能な遺物は出土しなかった。

SB03

調査区西側に位置する。梁間１間、桁行４間の側柱建物で、柱間は約 250 ㎝を測る。建物に係る柱穴は直径約 30 ～ 35 ㎝、深度約 30 ～ 50 ㎝、柱痕の直径約 15 ㎝を測る。建物の主軸は、南東側に隣接する SB04 と共に、やや南東－北西方向に振っている。また、建物西側には、桁行側の柱穴列に沿うようにして、柱穴列（SP71 ～ 74）が並列しており、SB03 の一部の可能性が考えられる。建物跡からは、図化可能な遺物は出土しなかったが、柱穴列内の SP72 より須恵器椀（185）が出土している。

SB04

調査区中央やや南側に位置する。梁間２間、桁行２間の側柱建物で、柱間は約 230 ～ 250 ㎝を測る。建物に係る柱穴は直径約 30 ～ 50 ㎝、深度約 40 ～ 70 ㎝、柱痕の直径約 20 ㎝を測る。建物の主軸は、北西側に隣接する SB03 と共に、やや南東－北西方向に振っている。遺物は、SP03・04 より黒色土器椀（184）、SP02 より土師器土錘（192）が出土している。

（３）柱穴列（図版 20・27　写真図版 25・38）

SA01

調査区北側位置し、SB02 の南東側に位置する。３本の柱穴（SP01 ～ 03）からなり、柱間は約 320 ㎝を測る。柱穴は、直径約 30 ～ 40 ㎝、深度約 20 ～ 40 ㎝、柱痕の直径約 15 ㎝を測る。隣接する SB02 とは主軸方向を異にするため、関係性は薄いと考えられる。図化可能な遺物は出土しなかった。

（４）柱穴（図版 20・27　写真図版 25・35）

SP88

調査区西側に位置する。SB03 と重複するため、同建物に関連する柱穴の可能性が考えられる。直径約 42 ㎝の円形を呈し、深度約 20 ㎝を測る。柱穴内には、上層と下層で遺物の廃棄が認められ、それぞれに出土状況を記録した。遺物は、記録をとった上層の須恵器椀（186）、土師器椀（190）、下層の須恵器椀（187・189）、黒色土器椀（191）の他に、須恵器椀（188）が出土した。

（５）土坑（図版 20・28　写真図版 25・38・39）

SK01

調査区北西隅に位置し、遺構の東側で SH01 と接する。遺構の西側は調査区に延びており、全容は不明だが、短軸約 75 ㎝を測る楕円形状を呈すると考えられる。深度約 30 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK06

調査区北東隅に位置する。遺構の一部が失われているが、直径約 90 ㎝の不定円形状を呈し、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK07

調査区北東隅に位置する。長軸約 120 ㎝、短軸約 95 ㎝を測るやや丸味のある楕円形状を呈し、深度約５㎝を測る極浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK09

調査区北東側に位置する。長軸約 90 ㎝、短軸約 65 ㎝を測るやや丸味のある楕円形状を呈し、深度約

10 ㎝を測る浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK10

調査区北東側に位置する。長軸約 110 ㎝、短軸約 75 ㎝を測るやや丸味のある不定楕円形状を呈し、深度約 10 ㎝を測る浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK11

調査区北東隅に位置する。長軸約 90 ㎝、短軸約 35 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約７㎝を測る極浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK12

調査区北東端に位置する。遺構の半分程が失われているが、直径約 65 ㎝を測る円形状を呈すると考えられる。深度約 35 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK14

調査区南側に位置する。直径約 40 ㎝を測るやや面長状の円形状を呈し、深度約 45 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK13

調査区東側に位置し、SD01 に切られる。個別で図示していないが、長軸約 75 ㎝、短軸約 60 ㎝を測るやや丸味のある楕円形状を呈する。遺物は、土師器土錘（623）が出土した。

SK15

調査区北東端に位置する。遺構の半分程が失われているため、全容は不明だが、長軸約 140 ㎝を測る不定楕円形状を呈すると考えられる。深度約 35 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

上記の土坑については、特に調査区北東側に集中する傾向にあるが、決めてとなる遺物も少なく、時期、性格等は不明である。

（６）溝（図版 20　写真図版 25・40）

SD01

調査区東側に位置し、SH30 及び SK13 を切る。遺構は、ほぼ南北に延び、SB01 及び SB02 の主軸と方向を同じくする。延長約 16 ｍ、幅約 25 ㎝、深度約５㎝を測る。遺物は、須恵器杯（193）が出土している。

SD02

調査区北東端に位置し、SH04 を切る。遺構は、やや北西－南東方向に振れて延びる。延長約 250 ㎝、幅約 20 ㎝、深度約５㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD04

調査区南端に位置する。遺構は、東西方向に延び、東側は調査区の南壁に抜けていく。検出長約４ｍ、幅約 40 ㎝、深度約 13 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

４　津万１Ｅ区の調査

本地区は、平成 16 年度の確認調査（2004245 － T50・T51・T53：図版１）の結果、土坑等が検出されたため、平成 20 年度に本発掘調査を実施したものである（図版２・29 ～ 37　写真図版 41 ～ 55）。主な検出遺構は以下の通りである。

（１）竪穴建物跡（図版 29 ～ 33　写真図版 41・43 ～ 50）

SH01

調査区ほぼ中央に位置し、遺構の北東側で SD04 を切る。直径約 830 ㎝を測る円形状を呈し、深度約 20 ㎝を測る。建物内部は、周壁溝、小土坑、中央土坑、５～６本とみられる主柱穴を検出した。周壁溝は遺構北側の張り出し部付近のみ検出した。小土坑は、２基検出しており、幅約 70 ～ 100 ㎝、深度約 10 ～ 15 ㎝を測る浅い土坑である。中央土坑は、一辺約 110 ㎝を測る隅丸方形状を呈する土坑の外縁に幅約 50 ～ 60 ㎝の周堤が巡り、土坑掘方からの深度約 48 ㎝、周堤上部からの深度約 58 ㎝を測る。主柱穴は、直径約 70 ～ 80 ㎝を測る。遺物は、弥生土器壷（194 ～ 200・203・206・208・215・219・226・228)、甕（201 ～ 213・216 ～ 225・)、鉢（214・229 ～ 234)、高杯（235 ～ 247）が出土している。

SH02

調査区南西端に位置し、SX01 に切られる。短辺約 360 ㎝、長辺約 500 ㎝を測る長方形状を呈し、深度約 20 ㎝を測る。遺構の約１/４を SX01 に切られていることもあり、建物の内部構造が判然としないが、主柱穴４本の建物跡と考えられる。図化可能な遺物は出土しなかった。

SH03

調査区南端に位置する。遺構の半分弱が調査区外に延びることから、敷地境界まで拡張した。直径約 890 ㎝を測る円形状を呈し、床面までの深度約 25 ㎝を測る。建物内部は、小土坑、中央土坑、主柱穴を検出した。小土坑は、長軸約 180 ㎝、短軸約 100 ㎝、若しくは長軸約 120 ㎝、短軸約 90 ㎝を測る隅丸長方形状を呈する土坑を中心に全体で４基程の小土坑が認められる。中央土坑は、直径約 140 ㎝の不定円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。主柱穴は、直径約 40 ㎝を測るが、遺構検出状は柱数が４本以上であること以外は判然としない。遺物は、下層（図版 31　写真図版 47・48）と上層・中層（図版 32　写真図版 49）で多量に出土しており、弥生土器壷（248 ～ 253・255 ～ 258・260・261・264・265・281・286 ～ 288・293 ～ 295・299・300・308)、　甕（254・262・263・266 ～ 280・282 ～ 285・289・290・292・295・297・298)、蓋（301・302)、鉢（259・291・296・303 ～ 307)、高杯（309 ～ 319)、器台（320 ～ 323）が出土している。

SH04

調査区南西端に位置する。遺構の２/３程は調査区外にあり、全容は判然としないが、一辺約 340 ㎝の方形状を呈すると考えられ、深度約 20 ㎝を測る。建物内部は、柱穴を２基検出したが、主柱穴になるかは、不明である。遺物は、SP01 より土師器甕（324)、杯（325）が出土している。

（２）掘立柱建物跡（図版 29・34　写真図版 41・51）

SB01

調査区北側に位置し、主軸がほぼ真北と同じくする。北東隅の柱穴を SK02 に、南西側の柱穴を SK07 に削平されているが、梁間２間、桁行３間の側柱建物である。柱穴は、一辺約 60 ～ 70 ㎝を測る隅丸方形状を呈し、深度約 30 ～ 55 ㎝を測る。柱間は約 200 ㎝である。図化可能な遺物は出土しなかった。

（３）柱穴（図版 29　写真図版 41・52）

SP08

調査区中央の SH01 内に位置する。遺構内より鉄滓と考えられる塊を検出した。

SP12

調査区北東側に位置する。遺物は、土師器椀（330・331)、杯（332)、甕（333 ～ 335)、鍋（336・

337）が出土している。

SP15

調査区北側に位置し、SB01 － SP03 を切る。遺物は、土師器杯（338）、鍋（339）が出土している。

（４）土坑（図版 29・34 ～ 36　写真図版 41・52 ～ 54）

SK01

調査区北西端に位置する。遺構の一部が調査区外にあるが、直径約 90 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 10 ㎝の浅い土坑である。遺構内には、礫や土器が廃棄されており、出土状況も記録した。遺物は、土師器壷（326）、甕（327）、須恵器椀（328）、土師器鍋（329）が出土している。

SK02

調査区北東端に位置する。遺構の半分程は失われているが、長軸約 155 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 7 ㎝を測る浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK04

調査区北端に位置する。遺構の一部は失われているが、長軸約 240 ㎝、短軸約 135 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 20 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK05

調査区北側に位置し、SK06 及び SD02 を切る。長辺約 175 ㎝、短辺約 70 ㎝を測る隅丸長方形状を呈し、深度約 22 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK08

調査区中央やや北側に位置し、SK07 に切られる。推定長軸 170 ㎝程で、短軸約 110 ㎝の楕円形状を呈すると考えられ、深度約 27 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK09

調査区北側に位置する長軸約 137 ㎝、短軸約 97 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 18 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK10

調査区中央やや南側に位置する。長軸約 165 ㎝、短軸約 105 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 32 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK12

調査区東側に位置する。直径約 80 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 10 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK13

調査区東側に位置する。長軸約 145 ㎝、短軸約 95 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK15

調査区南東側に位置する。長辺約 190 ㎝、短辺約 115 ㎝を測る隅丸三角形状を呈し、深度約 35 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK16

調査区南東側に位置する。直径約 65 ㎝を測る円形状を呈し、深度約 10 ㎝を測る浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK17

調査区南東隅に位置する。長軸約315㎝、短軸約235㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約20㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK18

調査区南西側に位置する。長軸約170㎝、短軸約70㎝を測る楕円形状を呈し、深度約40㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK19

調査区南西側に位置する。直径約230㎝を測る不定円形状を呈し、深度約７㎝の極浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

（５）不明遺構（図版29・37　写真図版41・54）

SX01

調査区南東側に位置し、SH02を切る。長辺約270㎝、短辺約210㎝を測る不定三角形状を呈し、深度約10㎝を測る浅い土坑状の遺構である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX02

調査区西端に位置する。遺構の西側は調査区外に延び、全容は判然としないが、検出長辺約250㎝、短辺約235㎝を測る長方形状を呈すると考えられ、深度約７㎝を測る極浅い土坑状の遺構である。図化可能な遺物は出土しなかった。

（６）溝（図版29・37　写真図版41・55）

SD01

調査区北側に位置する。延長約1.9ｍ、幅約25㎝、深度約13㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD02

調査区北側に位置し、SK05に切られる。延長約2.0ｍ、幅約40㎝、深度約10㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD03

調査区北側に位置する。遺構は、SB01と同じく、ほぼ真北に向いており、北側は調査区外に延びる。検出延長約14.2ｍ、幅約60～70㎝、深度約７㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD04

調査区東側に位置し、西側をSH01に切られ、東側は調査区外に延びる。検出延長約5.0ｍ、狭小部幅約30㎝、広大部幅約230㎝、深度約13㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD05

調査区南端に位置する。遺構は、東西方向から調査区南壁付近で屈曲し、調査区外に延びる。検出延長約3.0ｍ、幅約65㎝、深度約25㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

５　津万２区の調査

本地区は、平成16年度の確認調査（2004245－T43～T48：図版１）の結果、柱穴、土坑、溝等が検出されたため、平成20年度に本発掘調査を実施したものである（図版２・38～48　写真図版56～70）。主な検出遺構は以下の通りである。

（１）竪穴建物跡（図版 38・40 ～ 42　写真図版 56・59・60）

SH01

調査区北西隅に位置する。遺構の北西側の一部は調査区外にあるが、直径約 700 ～ 740 ㎝を測るやや歪んだ円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。建物内部は、周壁溝、小土坑、中央土坑、４本の主柱穴を検出した。周壁溝は、遺構南側の一部で認められるのみで全周しない。小土坑は、長軸約 110 ～ 160 ㎝、短軸約 100 ～ 110 ㎝を測る不定楕円形状を呈す土坑２基を検出した。中央土坑は、直径約 150 ㎝の不定円形状を呈し、床面からの深度約 40 ㎝を測り、土坑床面中央には直径約 30 ㎝、深度約 30 ㎝を測るピットを検出した。主柱穴は、直径約 40 ～ 60 ㎝、深度約 20 ㎝を測る。遺構の南西側は、やや拡張した痕跡が看取され、建て替えが行われた可能性が考えられる。遺物は、弥生土器壷（340・342 ～ 346・348 ～ 358・361・362 ～ 364・369 ～ 370・375・378・379・381 ～ 383・392・393・403・404・406 ～ 409・422・425 ～ 428・431・436 ～ 438・450）、甕（347・359・360・366 ～ 368・371 ～ 374・376・377・384 ～ 391・394 ～ 401・410 ～ 421・423・424・429・430・432 ～ 435）、鉢（365・380・402・405・439 ～ 449・464）、蓋（451）、高杯（452 ～ 463・465 ～ 468・472 ～ 474）、器台（341・469 ～ 471）が出土した。

（２）柱穴（図版 38　写真図版 56）

SP01

調査区北東側に位置する。直径約 25 ㎝を測る。遺物は、スラグ（M10）が出土している。

SP04

調査区北東側に位置する。直径約 30 ㎝を測る。遺物は、弥生土器底部（475）が出土している。

（３）土坑（図版 38・43・44　写真図版 56・61 ～ 64）

SK01

調査区北東端に位置する。長軸約 150 ㎝、短軸約 50 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 12 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK02

調査区北東端に位置する。長辺約 213 ㎝、短辺約 110 ㎝を測る隅丸長方形状を呈し、深度約 27 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK03

調査区東側に位置する。直径約 95 ㎝を測る円形状を呈し、深度約 40 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK04

調査区東側に位置する。長軸約 250 ㎝、短軸約 83 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK05

調査区東側に位置し、南側の一部を SE01 に切られる。直径約 190 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 13 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK06

調査区北東側に位置する。長軸約 85 ㎝、短軸約 40 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 13 ㎝を測る。遺物は、丹波焼甕（476）が出土している。

SK07

調査区北東側に位置する。長軸約 100 ㎝、短軸約 55 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK09

調査区東側に位置する。長軸約 85 ㎝、短軸約 43 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK11

調査区中央やや東側に位置する。長軸約 130 ㎝、短軸約 40 ㎝を測るやや湾曲した不定楕円形状を呈し、掘削深度約 35 ㎝を測る。堆積状況等から風倒木と考えられ、床面までは掘削していない。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK12

調査区ほぼ中央に位置する。一辺約 150 ㎝を測る隅丸方形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。土坑内には多量の礫が詰められており、中世墓等の可能性も考えられるが、判然としない。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK13

調査区ほぼ中央に位置し、SK14 に切られる。推定長辺約 160 ㎝、短辺約 110 ㎝を測る隅丸三角形状を呈し、掘削深度約 67 ㎝を測る。堆積状況等から風倒木と考えられ、床面までは掘削していない。遺物は、土師器小皿（482 ～ 484）、鍋（485）が出土している。

SK14

調査区ほぼ中央に位置し、SK13 を切る。長軸約 90 ㎝、短軸約 37 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 30 ㎝を測る。遺物は、土師器小皿（486）、椀（487・488）、鍋（489・490）が出土している。

SK15

調査区南西側に位置し、SR01 と接する。長辺約 90 ㎝、短辺約 75 ㎝を測る隅丸長方形状を呈し、深度約 10 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK16

調査区中央よりやや南西側に位置する。一辺約 70 ～ 90 ㎝を測る不定方形状を呈し、深度約 25 ㎝を測る。南北方向の撹乱に削平されているが、辛うじて掘方の一部を止めている。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK17

調査区中央よりやや南西側に位置し、遺構の西側を撹乱により削平されている。検出長辺約 90 ㎝、短辺約 65 ㎝を測る隅丸長方形状を呈すると考えられ、深度約 7 ㎝を測る極浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK18

調査区中央よりやや南西側に位置する。長軸約 95 ㎝、短軸約 65 ㎝を測る円形に近い楕円形状を呈し、深度約 12 ㎝を測る浅い土坑である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK19

調査区西端に位置し、SR01 と切り合い関係にある。直径約 80 ～ 85 ㎝を測る円形状を呈し、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK21

調査区中央よりやや西側に位置する。長辺約 95 ㎝、短辺約 50 ㎝を測る不定隅丸長方形状を呈し、深度約 33 ㎝を測る。土坑内には、柱穴が１基存在していたようで、土層断面には、柱穴の掘方や柱痕の一部が認められる。また、掘方付近には、扁平な礫が認められる。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK22

調査区南西側に位置する。長軸約 175 ㎝、短軸約 95 ㎝を測る楕円形状を呈し、深度約 35 ㎝を測る。土層中層部に扁平な礫が認められる。図化可能な遺物は出土しなかった。

SK24

調査区中央よりやや西側に位置する。直径約 180 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 40 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

（４）不明遺構（図版 38・45・46　写真図版 56・64 ～ 66）

SX03

調査区東側に位置する。最大長約 13 ｍ、最大幅約６ｍ、深度約 15 ㎝を測る不定形で浅い落ち込みである。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX04

調査区中央よりやや東側に位置し、SX09 を切る。直径約 270 ㎝を測る円形状を呈し、深度約 65 ㎝を測る。土坑内には、遺物と共に多量の拳大から人頭大を超える様な礫が多量に投棄されており、井戸の可能性も考えられる。遺物は、無釉陶器甕（491）、平瓦（492）、丹波焼甕（493）が出土している。

SX09

調査区中央よりやや東側に位置し、SX04 に切られる。遺構の全容は不明ながら幅約 200 ㎝を測る不定方形状の落ち込みである。遺物は、土師器鍋（494）が出土している。

SX11

調査区南西側に位置し、遺構の東側で SX12 と幅狭小な溝で連結する。最大長約 9.5 ｍ、最大幅約 2.3 ｍ、深度約 20 ～ 50 ㎝を測る不定形で細長い土坑である。遺構は、主に SX12 と連結する東側不定方形状土坑と西側にある不定方形状土坑からなり、特に西側の土坑は、人頭大超の礫を北辺に面を持たせる様に配置し、石組み状を成す。また、対面には木枠状の木質も認められることから、集水枡状の施設ではないかと考えられ、東側で連結する SX12 と共に、隣接する井戸 SE02 との関連が窺われる。遺物は、土師器鍋（495・496）、無釉陶器擂鉢（497）、把手（498）、青磁椀（499）が出土している。

SX12

調査区南西側に位置し、遺構の西側で SX11 と幅狭小な溝で連結する。最大長約 10 ｍ、最大幅約４ｍ、深度約 20 ～ 25 ㎝を測る湾曲する不定形の土坑である。遺構の南側は溝状になり、SR01 に連結する。北側の土坑では、人頭大超の礫が集積している。遺構は、西側で連結する SX11 と共に、隣接する井戸 SE02 との関連が窺えることから、SX11 と SX12 は SE02 に付帯する一連の遺構と判断される。遺物は、土師器鍋（500 ～ 504）、須恵器鉢（505・506）、杯蓋（507）が出土している。

SX13

調査区西側に位置する。長軸約 190 ㎝、短軸約 150 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 55 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX14

調査区北西側に位置する。直径約 110 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 50 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX15

調査区西側に位置する。長軸約 170 ㎝、短軸約 95 ㎝の楕円形状を呈する土坑から、50 ㎝程北側に大きく張り出す「くの字」状を呈する土坑で、深度約 20 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX16

調査区西側に位置する。長軸約 145 ㎝、短軸約 90 ㎝を測る不定楕円形状を呈し、深度約 35 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX17

調査区西側に位置する。SX18 に切られており、全容は判然としないが、検出長軸約 120 ㎝、短軸約 85 ㎝を測る不定楕円形状を呈すると考えられ、深度約 23 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX18

調査区中央よりやや西側に位置し、SX19 を切る。一辺約 400 ㎝の方形状を呈し、深度約７㎝を測る極浅い遺構である。掘方の形状から竪穴建物跡の可能性も考えられるが、遺構内で検出した柱穴にあまり規則性が見られないため、判然としない。図化可能な遺物は出土しなかった。

SX19

調査区中央よりやや西側に位置し、SX18 に切られる。一辺約 500 ㎝の方形状を呈し、深度約４㎝を測る極々浅い遺構である。掘方の形状から竪穴建物跡の可能性も考えられ、遺構内で検出した柱穴が主柱４本を窺わせるが、配置にバランスを欠き、判然としない。図化可能な遺物は出土しなかった。

（５）井戸（図版 38・47　写真図版 56・67）

SE01

調査区東側の SR01 内に位置し、SK05 を切る。直径約 310 ㎝を測る不定円形状を呈し、深度約 70 ㎝を測る木組みの井戸と考えられる。遺構の中心よりやや北側で曲物を配して井筒を設けている。遺構のほぼ中央部床面付近では、土器や礫、木材片等の集積が認められる。遺物は、須恵器椀（477 ～ 479）が出土している。

SE02

調査区中央よりやや南側に位置する。直径約 170 ㎝を測る円形状を呈し、深度約 160 ㎝を測る石組みの井戸である。隣接する SX11 と SX12 は、SE02 を取り囲むように配されており、井戸を中心とした一連の遺構と考えられる。遺物は、無釉陶器擂鉢（480）、瓦質土器茶釜（481）が出土している。

（６）溝（図版 38・48　写真図版 56・68・69）

SD01 ～ SD05

調査区北東側に位置する。幅約 15 ～ 20 ㎝、深度約５～ 10 ㎝を測る、南北方向に延びる鋤溝である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD06

調査区北東側に位置し、SK02 に切られる。検出長約４ｍ、幅約 40 ㎝、深度約 10 ㎝を測る。SD01 ～ SD05 と方向が近似するため、鋤溝の一部と考えられる。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD07

調査区東側の SR01 内に位置する。東西長約 3.5 ｍ、幅約 40 ㎝、深度約 13 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD10

調査区東側の SR01 内に位置する。東西長約１ｍ、幅約 25 ㎝、深度約 13 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD16

調査区北端に位置する。南北検出長約４ｍ、幅約 35 ㎝、深度約 15 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD17

調査区北側に位置する。南北長約１ｍ、幅約 25 ㎝、深度約７㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD18

調査区北西側に位置する。東西長約 3.7 ｍ、幅約 53 ㎝、深度約 30 ㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD19

調査区中央よりやや西側に位置する。東西長約 4.5 ｍ、幅約 35 ～ 40 ㎝、深度約４㎝を測る極々浅い溝である。図化可能な遺物は出土しなかった。

SD20

調査区中央に位置する。東西長約 2.5 ｍ、幅約 30 ㎝、深度約７㎝を測る。図化可能な遺物は出土しなかった。

（７）流路（図版 38・48　写真図版 56・69）

SR01

調査区南半部、及び西端に位置し、調査区外に広がっている。掘方から床面まで緩やかな傾斜で下がり、深度約 40 ㎝を測る。流路内の堆積は、黒色或いは黒褐色のシルト質極細砂であり、流れが極めて緩やかな状態であったことが窺える。また、その様な状況下で、流路床面が水田として利用されており、上下二時期以上に亘る畦畔を検出した。遺物は、弥生土器壷（508･509）、ミニチュア土器（510）、蓋（511）、鉢（512）高杯（513）が出土した。

以上、本節では、各地区の遺構について記述し、各遺構から出土した遺物の内訳について明記した。

第２節　遺物

遺物は、全地区で弥生時代後期から古墳時代前期、奈良時代から中世までの弥生土器、土師器、須恵器、瓦質土器、無釉陶器、施釉陶器に加え、石帯や石鏃等の石器、鉄鏃や刀子等の金属器、曲物等の木器が出土している。以下、各遺物について述べる。

１．土器

①各地区の土器（図版 49 ～ 72、写真図版 71 ～ 115）

土器については、前節において各地区の各遺構における出土遺物構成を記述した。また、遺構以外の

包含層等を含めた出土土器は遺物量も多く、紙面の都合上、個別の解説が困難なため、これを割愛し、出土遺物観察表（第２表）に替えるものとした。ご了承いただきたい。

なお、土器の図版に掲載した図面の断面については、弥生土器と土師器類を白ぬき、須恵器を黒ぬり、陶磁器と磁器類を灰色の網かけで表現している。

２．石器

津万１Ｗ区の住居跡や津万１Ｅ区、嶋６区から石器が出土している。

①津万１区出土の石器（図版 73、写真図版 116）

S1 は、津万１Ｗ区の SH03 から出土した平茎式の石鏃で、長さ 1.6 ㎝、幅 1.35 ㎝、厚さ 0.25㎝、重量 0.6g を測る。材質はサヌカイト製で、未製品と考えられる。

S3 は、津万１Ｅ区の包含層で出土した砥石である。長さ 20.5 ㎝、幅 22.2 ㎝、厚さ 5.0 ㎝、重量 3670g を測る。材質は砂岩製である。

①嶋６区出土の石器（図版 73、写真図版 116）

S2 は、嶋６区の包含層から出土した石帯（丸鞆）である。残存長 2.75 ㎝、残存幅 2.4 ㎝、厚さ 0.7㎝、重量 7.5g を測る。材質は蛇紋岩製で、ほぼ半分欠損している。

３．金属器

津万１区の竪穴建物跡や嶋６区から鉄器が出土している。

①津万１区出土の金属製品（図版 73、写真図版 117）

M1・M2 は、津万１Ｗ区の SH03 から出土した。

M1 は、SH03 の南東区から出土した鉄製品で、幅 0.85 ㎝、厚さ 0.5㎝の板状を呈し、長さ 3.3㎝残存した棒状のもので、断面の一部は「へ」字状を残しているが、錆によるものか楕円形を呈している。両側面には明瞭な刃は観察されないが、ヤリガンナの可能性がある。

M2 は、SH03 北東区２面出土の鉄製品で、幅 0.8 ㎝、厚さ 0.3 ㎝の方形断面を呈した板状のもので、長さは約 7.55㎝を測る。下端は薄く尖るが両側面には刃はつかない。上端部はやや薄く、丸く仕上げているが、明瞭な刃は観察できない。鑿状を呈してはいるが、薄く軽い。

M3・M4 は、津万１Ｅ区の SH01 炉跡周堤から出土した鉄製品である。

M3 は、刀子の切先部と思われる鉄製品で、幅 1.3 ㎝、厚さ 0.2㎝の薄い板状を呈し、一部が尖っている。一側縁が薄く刃を有す。長さは 4.95㎝以上のものである。

M4 は、幅 0.97 ㎝、厚さ 0.25㎝の板状を呈し、一端が細くなる。残存長は 3.1㎝。出土時の状況から M3 と同一個体の茎部と思われるが、一側縁に刃をつけており、茎部ではなく別個の刀子切先の可能性がある。

M5・M6 は、津万１Ｅ区の SH03 から出土した。

M5 は、SH03 の東西あぜから出土した鉄鏃で、幅 2.95 ㎝、厚さ 0.35㎝の扁平な板状を呈し、下端部を欠くが長さ 6.4㎝残存する。鏃身部は直線的に広がって最大幅となり、屈曲してやや丸みを帯びた先端部に至る。刃は屈曲部から先端にかけて付けられ、一部側縁部にも及んでいる。茎部を欠損した鏃身部のみの可能性もあるが、このまま細くなって茎部をなす形態と思われる。

M6 は、SH03 低床部西半から出土した柳葉形の鉄鏃。幅 1.65 ㎝、厚さ 0.25㎝の板状を呈し、下端部

を失い、長さ 4.05cm を測る。扁平な断面の両側縁に刃をつけており。撫関以下には刃をつけていない。茎部は断面長方形を呈している。

M7・M8 は、津万２区包含層出土の鉄製品で、人力掘削時、面精査時に出土している。

M7 は、残存長 5.2 cmの方柱状を呈しており、下端が細くなっていく。上端部は幅を広げるが、上下から薄くし、鈍い刃を作っている。楔・鏨の可能性がある。

M8 は、所謂角釘で、長さ 3.1 cm、幅厚さ 0.35 × 0.45cm を測る。下端部を尖らせ、上端部は叩き広げた後、折り曲げている。本体が曲がっており、使用されたものであろう。

この他、SP01 や包含層から鉄滓が出土している。（M 10 ～ 12）

②嶋６区出土の金属製品（図版 73、写真図版 117）

M9 は、嶋６区中南部の SX01 北東付近から出土した。幅 2.4 cmの鉄製薄板の一端を直角に 1.0cm の長さで、本体に接するまで折り返したもので、両側縁には刃は観察できない。鎌あるいは鋤鍬先のミニチュアかもしれない。

４．木器

嶋６区及び津万２区の井戸から木器が出土している。

①嶋６区出土の木器（図版 74、写真図版 118）

W1・W2 は、嶋６区 SE02 から出土した。

W1 は、大型の曲物の側板で、底板は失われている。針葉樹の半柾目取りした幅 18.0 cmの板を円形に丸めて直径 40.5 cmの円筒を作っている。内面には幅１cmほどの間隔で細い切れ目を入れて曲げやすくしており、約 8.2 cm重ねあわせて、幅 1.4 cmの樺紐で綴じている。綴じ孔は８ヶ所残存する。図化にあたっては器壁の厚い方を上端部としたが、綴じ合わせの状況等から天地逆の可能性もある。

W2 は、直径 13.3 ～ 12.9 cm、厚さ 0.65 cmの針葉樹を用いた曲物底板である。少し歪な円盤で、側面に３ヶ所の深さ１cm以上の穿孔が確認でき、側板との接合に備えている。

②津万２区出土の木器（図版 74、写真図版 118）

W3・W4 は、津万２区 SE01 から出土した。

W3 は、大型の曲物の側板で、底板は失われている。針葉樹の半柾目取りした幅 7.8 cmの板を円形に丸めて直径 40.9 cmの円筒を作っている。内面には幅１cmほどの間隔で細く浅い切れ目を入れて曲げやすくしており、約 10.5 cm重ねあわせて、幅 1.2 cmの樺紐で綴じている。綴じ孔は４ヶ所残存している。器高が低いことから曲物本体の外面下部に巻いた箍の可能性が高い。

W4 は、直径 12.5 cmの円盤を復元する曲物蓋板である。厚さ 0.65 cmの針葉樹の柾目板を用いている。円盤の上縁がやや径を減じており、角が丸くなっている。側面の穿孔は確認できない。

第２表　津万遺跡群３ 出土遺物観察表

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
1	49	71	嶋５区	SH01		弥生土器	甕	(15.8)	(18.3)	*19.2					
2	49	71	嶋５区	SH01		弥生土器	甕	14.3	(15.5)	*(17.3)					
3	49	71	嶋５区	SH01		弥生土器	甕	(13.9)	(13.0)	*(19.4)					報６と同一か？
4	49	71	嶋５区	SH01		弥生土器	甕	(14.4)	(15.85)	*18.85					
5	49	71	嶋５区	SH01		弥生土器	甕	(16.9)	(14.9)	*(18.0)					
6	49	72	嶋５区	SH01		弥生土器	甕(底部)	-	(14.3)	2.7 *(19.4)					報３と同一か？
7	49	71	嶋５区	SH01 畦	上層	弥生土器	台付鉢	(11.6)	(6.85)	-					
8	49	72	嶋５区	SH01	床面直上	弥生土器	台付鉢	(10.3)	8.6	8.0					
9	49	72	嶋５区	SH01	床面直上	弥生土器	台付鉢	-	(5.75)	5.5					
10	49	72	嶋５区	SH01	床面直上	弥生土器	台付鉢	(12.5)	(10.0)	(9.5)					
11	49	72	嶋５区	SH01	床面直上	弥生土器	台付鉢	(15.8)	12.2	(9.2)					
12	49	72	嶋５区	SH01 土抗２		弥生土器	鉢	(38.8)	(11.6)	-					
13	49	72	嶋５区	SH01		弥生土器	器台	(18.3)	(13.5)	-					
14	49	71	嶋５区	SH01	床面直上	弥生土器	器台	-	(7.6)	(15.2)					
15	49	71	嶋５区	SH01		弥生土器	器台	(8.3)	9.0	(7.1)					
16	49	72	嶋５区	SK02		須恵器	杯	12.0	3.5	8.2					
17	49	72	嶋５区	SK02		須恵器	杯	12.7	4.0	9.2					
18	50	73	嶋６区	SH01		須恵器	甕	(37.0)	(4.25)	-					
19	50	73	嶋６区	SH01	検出面～床面付近	弥生土器	高杯	(28.3)	(3.4)	-					
20	50	73	嶋６区	SH01	検出面～床面付近	弥生土器	壺	(10.5)	(12.8)	*(16.3)					
21	50	73	嶋６区	SH01	検出面～床面付近	弥生土器	壺？(口縁部)	(9.3)	(3.85)	-					
22	50	73	嶋６区	SH01	検出面～床面付近	弥生土器	鉢？(台部)	-	(7.6)	(11.8)					
23	50	73	嶋６区	SH01	検出面～床面付近	弥生土器	甕	(18.7)	(4.8)	-					
24	50	73	嶋６区	SH01	検出面	弥生土器	高杯？(脚部)	-	(1.8)	(15.1)					
25	50	73	嶋６区	SB01 SP07		須恵器	椀	(16.0)	(1.85)	-					
26	50	73	嶋６区	SB01 SP07		須恵器	椀	(16.0)	(2.8)	-					
27	50	73	嶋６区	SB01 SP07		須恵器	椀	(15.3)	(2.8)	-					
28	50	73	嶋６区	SB02 SP21		須恵器	椀	(15.4)	(2.5)	-					
29	50	73	嶋６区	SB03 SP10		土師器	鍋	(21.2)	(4.8)	-					
30	50	73	嶋６区	SB05 SP03		土師器	製塩土器？	-	(2.45)	-					
31	50	73	嶋６区	SB05 SP02	柱痕	須恵器	椀	-	(1.95)	(5.1)					
32	50	73	嶋６区	SB06 SP01		須恵器	椀	(15.4)	(3.45)	-					
33	50	73	嶋６区	SB06 SP01		須恵器	椀	(16.0)	(3.55)	-					
34	50	73	嶋６区	SB06 SP01		須恵器	椀	-	(3.05)	(6.4)					
35	50	73	嶋６区	SB06 SP02		瓦器	椀	(15.7)	(3.65)	-					
36	50	73	嶋６区	SB06 SP06		須恵器	椀	-	(1.55)	(6.2)					
37	50	73	嶋６区	SB06 SP03b		須恵器	椀	-	(1.15)	(4.8)					
38	50	74	嶋６区	SB06 SP02		土師器	鍋	(28.3)	(3.75)	-					
39	50	74	嶋６区	SB06 SP02		弥生土器	甕？	(27.8)	(2.5)	-					混入

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
40	50	74	嶋６区	SB07 SP02		須恵器	椀	(16.8)	4.75	5.85					
41	50	74	嶋６区	SB07 SP07		須恵器	椀	(15.7)	4.0	(6.7)					
42	50	74	嶋６区	SP15	底付近	須恵器	椀	12.65	4.6	5.25					
43	50	74	嶋６区	SP15		須恵器	椀	(15.6)	5.75	(5.1)					
44	50	74	嶋６区	SP15		須恵器	(片口)鉢	(16.5)	7.15	(9.5)					
45	50	74	嶋６区	SB07 SP04		土師器	鍋	(28.3)	(5.0)	-					
46	50	74	嶋６区	SP36		土師器	椀	(13.8)	4.35	(7.2)					
47	50	74	嶋６区	SP47		須恵器	椀	(16.5)	(4.65)	-					
48	50	74	嶋６区	SP62		土師器	鍋	(36.7)	(5.3)	-					
49	50	74	嶋６区	SP68		須恵器	椀	(15.0)	4.6	(7.5)					
50	50	74	嶋６区	SP56		須恵器	小皿	7.45	1.55	4.65					
51	51	75	嶋６区	SP73		須恵器	片口鉢	(31.9)	(8.9)	-					
52	51	74	嶋６区	SP110		須恵器	椀	(15.0)	5.55	6.0					
53	51	75	嶋６区	SP116		土師器	鍋	(31.3)	(5.2)	-					
54	51	75	嶋６区	SP119		須恵器	椀	14.2	5.9	6.0					
55	51	75	嶋６区	SP122		須恵器	椀	(10.95)	4.55	(5.35)					
56	51	75	嶋６区	SP122		須恵器	椀	(13.5)	4.75	6.1					
57	51	75	嶋６区	SK03	底面直上	須恵器	椀	(16.2)	(4.8)	-					
58	51	75	嶋６区	SK06		須恵器	椀	10.4	4.1	4.2					
59	51	75	嶋６区	SK06		須恵器	椀	(12.9)	4.7	(6.2)					
60	51	75	嶋６区	SK06		須恵器	椀	15.3	5.0	5.8					
61	51	75	嶋６区	SK06	下層	須恵器	椀	(14.6)	5.3	5.0					
62	51	75	嶋６区	SK06		須恵器	椀	(14.7)	5.3	5.1					
63	51	75	嶋６区	SK06	下層	須恵器	椀	(16.2)	6.35	5.8					
64	51	75	嶋６区	SK06	最下層	須恵器	椀	(17.3)	(4.8)	-					
65	51	75	嶋６区	SK06	下層	須恵器	杯	(16.6)	(4.1)	-					
66	51	75	嶋６区	SK06		須恵器	椀(底部)	-	(4.1)	5.7					
67	51	76	嶋６区	SK06		須恵器	椀(底部)	-	(3.0)	6.0					
68	51	76	嶋６区	SK06	下層	須恵器	椀(底部)	-	(3.1)	5.6					
69	51	76	嶋６区	SK06	最下層	須恵器	椀(底部)	-	(5.1)	5.2					
70	51	76	嶋６区	SK06	下層	須恵器	椀(底部)	-	(3.15)	5.2					
71	51	76	嶋６区	SK06	最下層	須恵器	椀(底部)	-	(2.5)	(6.2)					
72	51	76	嶋６区	SK06		須恵器	椀(底部)	-	(2.4)	5.7					
73	51	76	嶋６区	SK06		須恵器	壺(底部)	-	(5.35)	(13.0)					
74	51	77	嶋６区	SK06	下層	土師器	杯	(13.9)	3.65	7.0					
75	51	76	嶋６区	SK06		土師器	椀 or 杯	(14.2)	(3.3)	-					
76	51	76	嶋６区	SK06		土師器	椀 or 杯	-	(3.5)	6.9					
77	51	77	嶋６区	SK06		土師器	小皿	9.1	1.55	5.6					
78	51	77	嶋６区	SK06		土師器	小皿	8.7	1.5	6.5					
79	51	76	嶋６区	SK06		土師器	小皿	(10.1)	2.4	5.5					
80	51	77	嶋６区	SK06		土師器	小皿	(10.3)	2.2	4.5					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
81	51	77	嶋６区	SK06	下層	土師器	小皿	9.0	1.7	6.0					
82	51	76	嶋６区	SK06		土師器	鍋	(17.5)	(6.65)	-					
83	51	76	嶋６区	SK07		須恵器	椀	(16.5)	(5.2)	-					
84	52	76	嶋６区	SK09		弥生土器	甕	(27.0)	(12.0)	-					
85	52	76	嶋６区	SK10	上層	須恵器	椀	(15.1)	(3.9)	-					
86	52	77	嶋６区	SK10		須恵器	鉢	(33.2)	12.0	(14.4)					
87	52	76	嶋６区	SK16		須恵器	円面硯	(10.8)	(3.3)	-					
88	52	77	嶋６区	SK19		須恵器	鉢	(33.7)	(12.0)	-					
89	52	77	嶋６区	SK19		土師器	鍋	(24.2)	(5.2)	-					
90	52	78	嶋６区	SK21		須恵器	椀	10.6	4.5	4.45					
91	52	78	嶋６区	SK21		須恵器	椀	(10.8)	4.0	4.1					
92	52	77	嶋６区	SK21		須恵器	椀	(13.3)	5.3	(4.7)					
93	52	77	嶋６区	SK21		須恵器	椀	(11.0)	(2.9)	-					
94	52	78	嶋６区	SK21		須恵器	椀	(14.7)	6.9	5.1					
95	52	78	嶋６区	SK21		須恵器	椀	15.7	6.5	5.1					
96	52	77	嶋６区	SK21		須恵器	椀	(15.6)	(4.75)	-					
97	52	77	嶋６区	SK21		須恵器	椀	(16.0)	(3.5)	-					
98	52	78	嶋６区	SK21		須恵器	小皿	10.9	2.6	5.1					
99	52	77	嶋６区	SK21		土師器	杯	(12.6)	3.5	(6.2)					
100	52	78	嶋６区	SE01		須恵器	椀	14.3	5.8	5.35					
101	52	78	嶋６区	SE02	底部	須恵器	椀	15.1	3.9	6.7					
102	52	77	嶋６区	SE02	中層以下	須恵器	椀	(16.5)	(3.75)	-					
103	52	77	嶋６区	SE02		須恵器	椀(底部)	-	(1.7)	(5.8)					
104	52	77	嶋６区	SE02	中層以下	須恵器	鉢(口縁部)	-	(5.2)	-					
105	52	79	嶋６区	SE02	中層以下	須恵器	鉢(底部)	-	(6.35)	(10.4)					
106	52	79	嶋６区	SE02	中層以下	須恵器	甕	(37.9)	(5.95)	-					
107	53	79	嶋６区	SE02	底部	須恵器	甕	(31.4)	(9.5)	-					
108	53	79	嶋６区	SE02		土師器	小皿	(11.5)	(2.6)	-					
109	53	79	嶋６区	SE02		土師器	鍋	(24.0)	(3.6)	-					
110	53	78	嶋６区	SX01	棺内上半層	須恵器	椀	15.9	5.9	5.7					
111	53	79	嶋６区	SX01	棺内上半層	須恵器	椀	(14.7)	(4.3)	-					
112	53	79	嶋６区	SX01	棺内上半層	須恵器	椀(底部)	-	(3.2)	5.0					
113	53	79	嶋６区	SX01	棺内上半層	須恵器	椀(底部)	-	(4.05)	6.1					
114	53	79	嶋６区	SX01	棺裏込土上部	土師器	土錘	-	-	-	4.8	2.0	孔径 0.7	17.9	
115	53	79	嶋６区	SD01		土師器	椀	(12.5)	(4.1)	-					
116	53	79	嶋６区	SD01		須恵器	椀	(13.0)	4.0	(6.1)					
117	53	79	嶋６区	SD01		須恵器	椀	-	(5.0)	(5.8)					
118	53	78	嶋６区	SD01		須恵器	椀	(16.2)	5.6	6.6					
119	53	79	嶋６区	SD01		須恵器	椀	(15.0)	(4.7)	-					
120	53	79	嶋６区	SD01		須恵器	椀(底部)	-	(4.75)	(6.6)					
121	53	78	嶋６区	SD01		土師器？	椀	(15.6)	6.6	6.2					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
122	53	79	嶋６区	SD01		土師器	土錘	－	－	－	5.25	1.2	孔径 0.5	6.4	
123	53	79	嶋６区	SD08		須恵器	椀(口縁部)	(15.5)	(3.05)	－					
124	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	器台	(30.7)	(4.1)	－					
125	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺(口縁部)	(14.0)	(4.7)	－					
126	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺(口縁部)	(19.4)	(1.4)	－					
127	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺	(22.3)	(9.8)	－					
128	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺	12.4	(16.25)	－					
129	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺	(11.4)	(12.05)	－					
130	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺(口縁部)	(13.2)	(6.1)	－					
131	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺	12.0	(9.5)	*(15.0)					
132	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	(12.5)	(10.7)	*(16.8)					
133	54	80	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	(15.3)	(9.1)	－					
134	54	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	12.75	19.1	3.25 *15.0					
135	54	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	－	(15.4)	5.1 *(15.5)					
136	54	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	(14.25)	(13.1)	*(17.35)					
137	54	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	(15.1)	(4.35)	－					
138	54	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	(15.4)	(10.2)	*(15.6)					
139	54	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	(15.7)	(6.4)	*(15.8)					
140	54	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	(16.1)	(18.95)	*(18.1)					
141	54	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	甕	－	(10.3)	*(13.4)					
142	55	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	鉢	13.2	10.9	4.7					
143	55	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	壺	－	(11.5)	4.7					
144	55	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	鉢	(9.25)	7.3	4.25					
145	55	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	小型鉢	6.15	2.05	2.95					
146	55	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	鉢	(8.6)	7.25	3.4					
147	55	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	台付鉢	(10.15)	(7.45)	－					
148	55	81	津万 1W 区	SH01		弥生土器	台付鉢	(10.75)	7.55	5.8					
149	55	81	津万 1W 区	SH01 周壁溝	床面	弥生土器	高杯	(14.0)	(6.1)	－					
150	55	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	－	(7.45)	筒径 (7.1)					装飾あり
151	55	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	－	(9.4)	－					
152	55	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	－	(4.7)	(22.0)					
153	55	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	－	(3.65)	(23.9)					円孔すかしあり
154	55	82	津万 1W 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	－	(2.3)	－					
155	55	83	津万 1W 区	SH01		弥生土器	器台(脚部)	－	(7.05)	(34.0)					
156	55	83	津万 1W 区	SH01		弥生土器	蓋？	(6.0)	(4.75)	－					
157	55	83	津万 1W 区	SH01		弥生土器	土錘	－	－	－	(4.15)	1.2	孔径 0.4	4.7	
158	55	83	津万 1W 区	SH02		弥生土器	広口壺	(20.4)	(1.95)	－					
159	55	83	津万 1W 区	SH02		弥生土器	高杯	(25.5)	(4.45)	－					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
160	55	83	津万 1W 区	SH03		弥生土器	壺	(18.85)	(2.8)	-					
161	55	83	津万 1W 区	SH03	床面直上	弥生土器	壺	(12.5)	(8.9)	*(18.5)					
162	55	83	津万 1W 区	SH03		弥生土器	壺	(7.8)	(2.85)	-					
163	55	83	津万 1W 区	SH03	床面～中層	弥生土器	壺	(11.9)	(5.3)	-					
164	55	83	津万 1W 区	SH03	中層	弥生土器	壺	(12.8)	(4.6)	-					
165	55	83	津万 1W 区	SH03		弥生土器	壺	(9.9)	(6.8)	-					
166	55	83	津万 1W 区	SH03		弥生土器	長頸壺	(12.5)	28.0	(5.9) *(18.8)					
167	56	83	津万 1W 区	SH03	床面～中層	弥生土器	長頸壺	10.35	(14.75)	*(16.65)					
168	56	84	津万 1W 区	SH03		弥生土器	長頸壺	(11.8)	(13.9)	*(17.2)					
169	56	83	津万 1W 区	SH03	床面直上	弥生土器	長頸壺	11.5	(21.6)	*(14.9)					
170	56	83	津万 1W 区	SH03	床面 焼土	弥生土器	壺	(5.45)	7.7	3.9 *(7.3)					
171	56	84	津万 1W 区	SH03		弥生土器	甕	(11.4)	(13.2)	*(14.2)					
172	56	84	津万 1W 区	SH03		弥生土器	用途不明	(18.8)	(6.6)	-					
173	56	84	津万 1W 区	SH03		弥生土器	鉢	(18.5)	16.3	(3.3)					
174	56	84	津万 1W 区	SH03	床面～中層	弥生土器	鉢	(17.65)	14.95	4.45					
175	56	84	津万 1W 区	SH03	床面～中層	弥生土器	鉢	(17.2)	(4.4)	-					
176	56	84	津万 1W 区	SH03	中層	弥生土器	鉢	(16.2)	(8.7)	-					
177	56	84	津万 1W 区	SH03		弥生土器	鉢	(16.3)	8.5	4.5					
178	56	84	津万 1W 区	SH03		弥生土器	高杯	(19.4)	(5.9)	-					
179	56	85	津万 1W 区	SH03	中層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.3)	(18.6)					
180	56	85	津万 1W 区	SH03		弥生土器	高杯(脚部)	-	(6.9)	-					
181	56	85	津万 1W 区	SH03	床面～中層	弥生土器	器台	(24.1)	(3.2)	-					
182	56	85	津万 1W 区	SH03	床面～中層	弥生土器	器台	(25.0)	(2.45)	-					
183	56	85	津万 1W 区	SH03 中央土坑	床面～中層	弥生土器	高杯(脚部)	(19.4)	(1.95)	-					
184	56	85	津万 1W 区	SB04 SP03・04		黒色土器	椀(底部)	-	(2.0)	(8.3)					
185	56	85	津万 1W 区	SP72		須恵器	椀	(13.8)	(4.4)	-					
186	56	85	津万 1W 区	SP88		須恵器	椀	(14.0)	(4.85)	(6.0)					
187	56	85	津万 1W 区	SP88		須恵器	椀	(14.6)	5.0	(6.8)					
188	56	85	津万 1W 区	SP88		須恵器	椀	(16.0)	(4.2)	-					
189	56	84	津万 1W 区	SP88		須恵器	椀	(14.0)	(3.35)	-					
190	56	85	津万 1W 区	SP88		須恵器	椀	(13.5)	(2.5)	-					
191	56	84	津万 1W 区	SP88		黒色土器	椀	(15.2)	6.1	(8.0)					
192	56	85	津万 1W 区	SB04 SP02		土師器	土錘	-	-	-	(2.7)	1.1	孔径 0.55	2.7	
193	56	85	津万 1W 区	SD01		須恵器	杯	-	(1.25)	(10.6)					
194	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺(口縁)	(20.6)	(2.2)	-					
195	57	85	津万 1E 区	SH01 中央土坑	炭層	弥生土器	壺(口縁)	(23.5)	(1.9)	-					
196	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	二重口縁壺	-	(3.0)+ (6.5)	-					
197	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺	(18.0)	(3.2)	-					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
198	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺	(11.6)	(3.4)	-					
199	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	長頸壺	11.5	(6.2)	-					
200	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	長頸壺	(12.4)	(6.6)	-					
201	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕？(体部)	-	(7.4)	-					
202	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕(底部)	-	(3.5)	(5.0)					
203	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕(底部)	-	(2.8)	4.6					
204	57	85	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(2.4)	(5.8)					
205	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕	(15.5)	(6.3)	-					
206	57	86	津万 1E 区	SH01 中央土坑	炭層	弥生土器	壺	11.75	(14.5) +(4.4)	(3.25) *(19.5)					
207	57	86	津万 1E 区	SH01 中央土坑	炭層	弥生土器	甕	14.1	(18.2)	*(17.3)					
208	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺	-	(12.35)	4.3 *(15.5)					
209	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕	(16.0)	(7.0)	-					
210	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕	(12.1)	(9.7)	*(16.3)					
211	57	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕	(14.3)	(7.9)	*(16.5)					報 222 と同一か？
212	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕(口縁部)	(17.7)	(3.3)	-					
213	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕(口縁部)	(13.3)	(2.9)	-					
214	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	鉢	(20.4)	(4.5)	-					
215	57	86	津万 1E 区	SH01		弥生土器	短頸壺	(9.1)	(5.4)	-					
216	57	86	津万 1E 区	SH01 中央土坑		弥生土器	甕？(底部)	-	(6.25)	5.0					
217	57	87	津万 1E 区	SH01		土師器	甕？(底部)	-	(2.8)	3.6					
218	57	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(2.5)	3.3					
219	57	87	津万 1E 区	SH01 中央土坑	炭層	弥生土器	壺？(底部)	-	(2.5)	4.0					
220	57	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	-	(3.8)	(5.35)					
221	57	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(3.7)	3.7					
222	57	87	津万 1E 区	SH01 中央土坑		弥生土器	甕？(底部)	-	(3.8)	4.6					報 211 と同一か？
223	57	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(4.5)	4.5					
224	57	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	-	(3.7)	(3.0)					
225	57	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	甕(底部)	-	(8.5)	5.45					
226	58	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(4.75)	3.95					
227	58	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	鉢？	(10.1)	(4.3)	-					
228	58	87	津万 1E 区	SH01	床面直上	弥生土器	長頸壺(口縁部)	(9.0)	(7.9)	-					
229	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	鉢？	-	(8.05)	(5.1)					
230	58	87	津万 1E 区	SH01		弥生土器	鉢	(12.75)	6.5	5.15					
231	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	鉢(底部)	-	(4.7)	5.5					
232	58	88	津万 1E 区	SH01 中央土坑	炭層	弥生土器	鉢？(底部)	-	(3.6)	4.8					
233	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	鉢？(底部)	-	(3.6)	5.15					
234	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	鉢？(底部部)	-	(2.8)	-					
235	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯(口縁部)	(21.4)	(5.0)	-					
236	58	87	津万 1E 区	SH01 中央土坑	炭層	弥生土器	高杯	27.8	(7.95)	-					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
237	58	87	津万 1E 区	SH01	床面直上	弥生土器	高杯	(27.0)	(14.1)	-					
238	58	88	津万 1E 区	SH01 中央土坑		弥生土器	高杯(杯部)	(28.0)	(5.9)	-					報 245 と同一か？
239	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯(口縁部)	(27.0)	(5.1)	-					
240	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯(口縁部)	(25.4)	(5.0)	-					
241	58	87	津万 1E 区	SH01	床面	弥生土器	高杯	(27.2)	(8.3)	-					
242	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯	(18.1)	(4.55)	-					
243	58	88	津万 1E 区	SH01	床面直上	弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.1)	(22.7)					
244	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	-	(2.1)	(19.0)					
245	58	88	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	-	(9.4)	(17.5)					報 238 と同一か？
246	58	89	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.2)	(20.0)					
247	58	89	津万 1E 区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.9)	(16.6)					
248	59	89	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	長頸壺	(8.4)	(22.0)	5.7 *(18.1)					
249	59	89	津万 1E 区	SH03		弥生土器	長頸壺	(10.4)	(14.0)	-					
250	59	89	津万 1E 区	SH03		弥生土器	長頸壺	11.25	(18.1)	*(15.8)					
251	59	89	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	長頸壺	13.8	(17.35)	*(16.5)					
252	59	89	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	壺？(底部)	-	(7.2)	5.8					
253	59	89	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	壺(底部)	-	(2.05)	4.6					
254	59	89	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕？(底部)	-	(3.3)	6.7					
255	59	89	津万 1E 区	SH03		弥生土器	壺？(底部)	-	(2.6)	5.8					
256	59	90	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	壺(底部)	-	(2.8)	8.8					
257	59	90	津万 1E 区	SH03		弥生土器	壺？(底部)	-	(4.4)	7.0					
258	59	90	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	壺	-	(6.6)	(5.0)					
259	59	90	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	鉢(底部)	-	(4.8)	(4.8)					
260	59	90	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	壺(底部)	-	(6.2)	3.8					
261	59	90	津万 1E 区	SH03	低床部	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ壺	(6.8)	(3.25)	-					
262	59	90	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ甕	(9.65)	(4.75)	*(6.9)					
263	59	91	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ甕	8.05	8.0	2.9 *7.6					
264	59	90	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	壺(口縁部)	(11.1)	(2.4)	-					
265	59	91	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	壺(口縁部)	14.2	(4.3)	-					
266	59	90	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕	(14.6)	(5.9)	-					
267	59	90	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕	(14.6)	(5.55)	-					
268	59	90	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕	(12.4)	(6.25)	-					
269	59	90	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕	(13.9)	(10.95)	*(15.0)					
270	59	90	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	甕	(15.9)	(8.45)	-					
271	59	90	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕	(15.5)	(9.85)	-					
272	59	91	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	甕	(15.8)	(14.8)	*(20.2)					
273	59	91	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	甕	(16.0)	(14.8)	*(20.5)					
274	60	91	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	甕	(13.2)	24.0	4.7 *(20.1)					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
275	60	91	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	甕	16.1	(17.2)	*(19.5)					
276	60	90	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	甕	(14.0)	(9.85) +(8.75)	(4.2) *(18.8)					
277	60	91	津万 1E 区	SH03	低床部	弥生土器	甕	-	(14.25)	3.45 *15.85					
278	60	92	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	甕(底部)	-	(8.3)	(6.4)					
279	60	92	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	甕	19.55	(22.15)	*(28.6)					
280	60	92	津万 1E 区	SH03	低床部	弥生土器	甕	-	(26.9)	5.2 *23.3					
281	60	92	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	壺？(底部)	-	(3.4)	(4.7)					
282	60	92	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	甕(底部)	-	(4.35)	(5.6)					
283	60	92	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕(底部)	-	(6.0)	3.8					
284	60	92	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	甕(底部)	-	(6.4)	5.3					
285	60	92	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	甕	-	(9.5)	4.95					
286	60	92	津万 1E 区	SH03		弥生土器	壺？(底部)	-	(8.15)	4.75					
287	60	92	津万 1E 区	SH03		弥生土器	壺？(底部)	-	(7.1)	4.3					
288	60	93	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	壺？(底部)	-	(6.4)	-					
289	60	93	津万 1E 区	SH03	低床部	弥生土器	甕(底部)	-	(7.4)	5.5					
290	60	93	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕？(底部)	-	(8.6)	4.65					
291	61	93	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	鉢？(底部)	-	(2.6)	0.9					
292	61	93	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	甕？(底部)	-	(4.25)	3.8					
293	61	93	津万 1E 区	SH03	低床部	弥生土器	壺？(底部)	-	(2.1)	4.5					
294	61	93	津万 1E 区	SH03 中央土坑		弥生土器	壺？(底部)	-	(2.8)	4.8					
295	61	93	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	壺？(底部)	-	(3.25)	4.3					
296	61	93	津万 1E 区	SH03		弥生土器	鉢？(底部)	-	(2.5)	4.3					
297	61	93	津万 1E 区	SH03		弥生土器	甕？(底部)	-	(5.1)	3.8					
298	61	93	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	甕(底部)	-	(7.6)	5.2					
299	61	93	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	壺？(底部)	-	(5.3)	3.45					
300	61	93	津万 1E 区	SH03	低床部	弥生土器	壺？(底部)	-	(5.55)	3.2					
301	61	93	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	蓋	-	(6.4)	つまみ 3.6					
302	61	93	津万 1E 区	SH03		弥生土器	蓋	13.4	5.6	つまみ 3.4					
303	61	93	津万 1E 区	SH03		弥生土器	鉢	(12.1)	6.6	4.2					
304	61	93	津万 1E 区	SH03		弥生土器	鉢	(13.7)	(6.0)	-					
305	61	94	津万 1E 区	SH03		弥生土器	鉢	(16.2)	7.5	(4.6)					
306	61	95	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	鉢	(17.65)	(8.85)	5.05					
307	61	95	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	有孔鉢	(18.2)	(14.2)	3.2					
308	61	94	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	壺？(底部)	-	(2.8)	2.25					底部外面に穿孔あり
309	61	94	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(7.0)	-					
310	61	94	津万 1E 区	SH03		弥生土器	高杯(脚部)	-	(11.8)	-					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
311	61	94	津万 1E 区	SH03		弥生土器	高杯	(18.6)	(8.9)	-					
312	61	94	津万 1E 区	SH03	中層	弥生土器	高杯(口縁部)	(21.6)	(4.1)	-					
313	61	94	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	高杯(口縁部)	(21.8)	(5.1)	-					報 317 と同一個体？
314	61	94	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	高杯(口縁部)	(25.2)	(6.2)	-					
315	61	94	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	高杯(口縁部)	(25.75)	(4.0)	-					
316	61	95	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.5)	17.05					
317	61	94	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.9)	(20.0)					報 313 と同一個体？
318	61	94	津万 1E 区	SH03		弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.8)	(19.7)					
319	61	94	津万 1E 区	SH03	下層	弥生土器	高杯？(脚部)	-	(4.15)	(19.3)					
320	61	94	津万 1E 区	SH03		弥生土器	器台	-	(7.7)	-					
321	61	95	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	器台	-	(10.4)	-					
322	61	95	津万 1E 区	SH03		弥生土器	器台(脚柱部)	-	(14.2)	-					
323	61	95	津万 1E 区	SH03	上層	弥生土器	器台	(20.3)	(17.8)	(18.1)					
324	62	96	津万 1E 区	SH04 SP01		土師器	甕	(13.4)	(4.2)	-					
325	62	96	津万 1E 区	SH04 SP01		土師器	杯？	(13.6)	(4.25)	-					
326	62	96	津万 1E 区	SK01		土師器	壺？(口縁部)	(21.5)	(5.45)	-					
327	62	96	津万 1E 区	SK01		土師器	甕(口縁部)	(23.8)	(3.25)	-					
328	62	96	津万 1E 区	SK01		須恵器	椀	(15.4)	(3.7)	-					
329	62	96	津万 1E 区	SK01		土師器	鍋	(30.8)	(15.0)	*(26.9)					
330	62	96	津万 1E 区	SP12		土師器	椀(底部)	-	(2.55)	6.8					
331	62	96	津万 1E 区	SP12		土師器	椀(底部)	-	(3.05)	5.7					
332	62	95	津万 1E 区	SP11・SP12・SP15		土師器	杯	(16.95)	4.25	8.05					
333	62	96	津万 1E 区	SP12		土師器	甕(口縁部)	(18.9)	(3.05)	-					
334	62	96	津万 1E 区	SP12		土師器	甕	(14.6)	(15.1)	*(18.3)					
335	62	96	津万 1E 区	SP12		土師器	甕	(19.0)	(7.5)	-					
336	62	96	津万 1E 区	SP12		土師器	鍋	(23.5)	(10.2)	-					
337	62	97	津万 1E 区	SP12		土師器	鍋	(25.6)	(14.0)	*(29.3)					
338	62	97	津万 1E 区	SP15		土師器	杯	(15.0)	4.0	(8.0)					
339	62	97	津万 1E 区	SP15		土師器	鍋？	(29.2)	(20.0)	*(28.0)					
340	63	98	津万 2 区	SH01	第 2 層	弥生土器	壺	24.75	45.85	8.85 *38.9					
341	63	97	津万 2 区	SH01	第 3 層	弥生土器	器台	-	(1.8)	-					
342	63	97	津万 2 区	SH01	第 2 層	弥生土器	壺	-	(3.9)	-					
343	63	97	津万 2 区	SH01		弥生土器	壺(体部)	-	(7.2)	*(19.0)					
344	63	98	津万 2 区	SH01	第 2 層	弥生土器	壺(口縁部)	15.5	(6.5)	-					
345	63	97	津万 2 区	SH01	第 2 層	弥生土器	壺	(13.1)	(10.6)	-					
346	63	97	津万 2 区	SH01		弥生土器	壺	(14.5)	(4.1)	-					
347	63	97	津万 2 区	SH01	第 3 層	弥生土器	甕	(18.8)	(3.8)	-					
348	63	98	津万 2 区	SH01	第 2 層	弥生土器	壺	9.9	(10.4)	-					
349	63	98	津万 2 区	SH01	第 2 層	弥生土器	壺	(10.3)	(12.0)	-					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
350	63	98	津万２区	SH01		弥生土器	壺	(7.3)	(10.0)	*(11.9)					
351	63	98	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺	(13.9)	(17.2)	5.0 *(15.0)					
352	63	98	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	長頸壺	(12.5)	(10.5)	-					
353	63	97	津万２区	SH01		弥生土器	長頸壺	(12.1)	(10.55)	-					
354	63	99	津万２区	SH01		弥生土器	長頸壺	(8.75)	(10.8)	-					
355	63	99	津万２区	SH01		弥生土器	長頸壺(口縁部)	(11.0)	(6.0)	-					
356	63	98	津万２区	SH01		弥生土器	壺	10.0	(12.7)	*12.3					
357	63	98	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ無頸壺	(2.35)	4.2	*4.8					
358	64	99	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺	(11.8)	23.5	4.75 *20.8					
359	64	99	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕	(14.6)	(23.0)	(5.7) *19.1					
360	64	100	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕	(16.0)	31.6	6.3 *24.7					
361	64	99	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺(体部)	-	(13.0)	*(19.4)					
362	64	99	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	甕(口縁部)	(18.85)	(2.1)	-					
363	64	99	津万２区	SH01		弥生土器	甕(口縁部)	(18.9)	(3.0)	-					
364	64	99	津万２区	SH01 中央土坑		弥生土器	甕(口縁部)	(16.9)	(4.25)	-					
365	64	99	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	鉢(口縁部)	(19.7)	(4.2)	-					
366	64	99	津万２区	SH01		弥生土器	甕(口縁部)	(19.7)	(2.0)	-					
367	64	99	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕(口縁部)	(15.3)	(2.7)	-					
368	64	99	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕？(口縁部)	(14.05)	(3.3)	-					
369	64	99	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺(口縁部)	(14.2)	(2.6)	-					
370	64	99	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺(口縁部)	(13.0)	(4.15)	-					
371	64	100	津万２区	SH01		弥生土器	甕(口縁部)	(13.0)	(2.0)	-					
372	64	100	津万２区	SH01		弥生土器	甕(口縁部)	(12.8)	(5.6)	-					
373	64	100	津万２区	SH01		弥生土器	甕	(12.8)	(10.6)	*(14.2)					
374	64	100	津万２区	SH01		弥生土器	甕	15.7	(17.4)	*16.75					
375	64	100	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(9.6)	(3.0)					
376	64	100	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕	-	(12.7)	4.95 *16.6					
377	64	100	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕？(底部)	-	(7.1)	(5.9)					
378	64	100	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺？(底部)	-	(9.7)	(4.8)					
379	64	100	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺？(底部)	-	(3.0)	4.4					
380	64	101	津万２区	SH01		弥生土器	鉢(底部)	-	(4.0)	(4.1)					
381	64	101	津万２区	SH01		弥生土器	壺(底部)	-	(3.8)	(6.0)					
382	64	101	津万２区	SH01		弥生土器	壺(底部)	-	(4.35)	5.2					
383	64	101	津万２区	SH01		弥生土器	壺(底部)	-	(5.0)	(3.4)					
384	65	101	津万２区	SH01		弥生土器	甕	(15.9)	(7.5)	-					
385	65	101	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕	(15.3)	(8.4)	-					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
386	65	102	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(14.0)	(10.4)	*(20.4)					
387	65	101	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	15.5	(13.0)	*(23.4)					
388	65	102	津万2区	SH01		弥生土器	甕	(15.0)	(8.3)	-					
389	65	101	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(13.8)	(10.4)	*(17.1)					
390	65	101	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(15.25)	24.6	4.7 *20.0					
391	65	102	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕(口縁部)	(14.0)	(3.2)	-					
392	65	102	津万2区	SH01		弥生土器	壺(口縁部)	(11.85)	(2.3)	-					
393	65	102	津万2区	SH01		弥生土器	壺？(口縁部)	(16.1)	(2.2)	-					
394	65	102	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(14.05)	(10.9)	*(15.6)					
395	65	101	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	11.2	17.8	6.5 *14.9					
396	65	102	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(15.7)	(15.4)	*(21.6)					
397	65	102	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	17.3	27.75	4.5 *21.6					
398	65	102	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(13.0)	(6.4)	-					
399	65	102	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(13.6)	(8.0)	-					
400	65	103	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕(口縁部)	(16.8)	(4.7)	-					
401	65	103	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕(口縁部)	(17.0)	(4.5)	-					
402	65	102	津万2区	SH01		弥生土器	鉢	-	(12.2)	4.3 *(15.0)					
403	65	103	津万2区	SH01 中央土坑		弥生土器	壺？(底部)	-	(3.9)	4.9					
404	65	103	津万2区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(6.0)	4.4					
405	65	102	津万2区	SH01		弥生土器	鉢？	-	(7.95)	2.85 *(14.0)					
406	65	103	津万2区	SH01	第3層	弥生土器	壺(底部)	-	(2.7)	3.6					
407	65	103	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	壺？(底部)	-	(4.8)	(5.0)					
408	65	103	津万2区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(3.8)	3.7					
409	65	103	津万2区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	-	(2.25)	(6.4)					
410	66	103	津万2区	SH01		弥生土器	甕	(15.0)	24.7	(4.6) *20.2					
411	66	103	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(18.6)	29.8	4.8 *22.4					
412	66	104	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	16.1	27.7	5.1 *21.95					
413	66	104	津万2区	SH01		弥生土器	甕	(14.7)	25.4	(5.4) *(19.15)					
414	66	105	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(12.5)	(6.8)	-					報425と同一個体？
415	66	105	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(12.6)	(7.75)	*(14.0)					
416	66	104	津万2区	SH01		弥生土器	甕	(16.6)	(17.45)	*(17.6)					
417	66	105	津万2区	SH01	第2層	弥生土器	甕	(13.05)	(13.6)	*(19.6)					
418	66	104	津万2区	SH01		弥生土器	甕	16.2	(20.0)	*(22.7)					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
419	66	104	津万２区	SH01		弥生土器	甕	16.0	23.9	5.5 *20.6					
420	66	105	津万２区	SH01		弥生土器	甕？	－	(7.4)	(4.0)					
421	66	104	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	甕	－	(9.15)	(5.1)					
422	66	105	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(4.35)	(6.0)					
423	66	105	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	甕？(底部)	－	(4.0)	5.0					
424	66	105	津万２区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	－	(3.2)	(5.3)					
425	66	105	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(5.3)	3.4					報 414 と同一個体？
426	66	105	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(4.2)	4.3					
427	67	105	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(2.6)	3.1					
428	67	105	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(2.1)	3.0					
429	67	105	津万２区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	－	(3.5)	6.0					
430	67	105	津万２区	SH01	第３層	弥生土器	甕？(底部)	－	(2.6)	4.1					
431	67	105	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺？(底部)	－	(2.7)	(4.25)					
432	67	105	津万２区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	－	(2.9)	5.1					
433	67	105	津万２区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	－	(3.1)	3.0					
434	67	105	津万２区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	－	(3.8)	3.65					
435	67	105	津万２区	SH01		弥生土器	甕？(底部)	－	(2.85)	2.85					
436	67	106	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(2.75)	2.85					
437	67	106	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(2.8)	(5.45)					
438	67	106	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	壺？(底部)	－	(3.7)	(7.6)					
439	67	106	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	鉢	－	(5.5)	(6.0)					
440	67	106	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	鉢	－	(5.8)	(6.3)					
441	67	106	津万２区	SH01		弥生土器	鉢	(25.5)	(7.8)	－					
442	67	106	津万２区	SH01		弥生土器	鉢	(29.8)	(16.2)	*(28.75)					
443	67	106	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	鉢	11.6	6.8	4.3					
444	67	106	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	鉢	(13.1)	(8.6)	(3.5)					
445	67	106	津万２区	SH01		弥生土器	鉢	(18.5)	13.9	3.7					
446	67	106	津万２区	SH01		弥生土器	鉢	(14.55)	9.2	4.4					
447	67	106	津万２区	SH01		弥生土器	有孔鉢(底部)	－	(4.8)	4.0					
448	67	107	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	有孔鉢	(13.8)	13.5	2.0 *14.7					
449	67	107	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	有孔鉢	16.3	13.5	1.4					
450	67	108	津万２区	SH01		弥生土器	壺？(底部)	－	(8.9)	4.3					焼成前穿孔あり
451	67	107	津万２区	SH01		弥生土器	蓋	16.2	5.8	－					
452	67	108	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(口縁部)	(15.4)	(2.5)	－					
453	67	107	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	高杯	26.1	21.5	19.25					
454	67	108	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(口縁部)	(23.2)	(3.9)	－					
455	67	107	津万２区	SH01		弥生土器	高杯	27.8	(8.6)	－					
456	68	107	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(口縁部)	24.6	(6.5)	－					
457	68	108	津万２区	SH01	第３層	弥生土器	高杯(口縁部)	(29.0)	(3.5)	－					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
458	68	108	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	高杯(口縁部)	(32.8)	(3.4)	-					報 473 と同一個体
459	68	107	津万２区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	-	(10.8)	16.4					
460	68	107	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(6.65)	16.25					
461	68	108	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(8.4)	-					
462	68	108	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	高杯(脚部)	-	(11.85)	-					
463	68	108	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	高杯(脚部)	-	(15.8)	-					
464	68	108	津万２区	SH01		弥生土器	鉢？(底部)	-	(2.95)	-					
465	68	108	津万２区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	-	(13.7)	-					
466	68	108	津万２区	SH01		弥生土器	高杯(脚部)	-	(7.65)	-					
467	68	108	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(8.5)	-					
468	68	107	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(4.4)	17.3					
469	68	108	津万２区	SH01	第３層	弥生土器	器台	(28.8)	(2.3)	-					
470	68	108	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	器台	(21.0)	(2.75)	-					
471	68	108	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	器台	(25.8)	(5.9)	-					
472	68	109	津万２区	SH01	第３層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(1.85)	(20.0)					
473	68	109	津万２区	SH01	床面直上	弥生土器	高杯(脚部)	-	(3.6)	(19.8)					報 458 と同一個体
474	68	109	津万２区	SH01	第２層	弥生土器	高杯(脚部)	-	(5.3)	(23.8)					
475	68	109	津万２区	SP04		弥生土器	壺？(底部)	-	(3.5)	5.1					
476	68	109	津万２区	SK06		無釉陶器 (丹波焼)	甕	(23.4)	(11.7)	-					
477	68	109	津万２区	SE01		須恵器	椀	(16.4)	(3.05)	-					
478	68	109	津万２区	SE01		須恵器	椀	15.25	3.9	7.4					
479	68	109	津万２区	SE01		須恵器	椀	16.2	4.9	5.95					
480	68	109	津万２区	SE02		無釉陶器	擂鉢	(29.5)	(4.65)	-					
481	68	109	津万２区	SE02		瓦質土器	茶釜	-	(6.25)	*(27.6)					
482	69	109	津万２区	SK13		土師器	小皿	(6.6)	2.1	(7.8)					
483	69	109	津万２区	SK13		土師器	小皿	(8.2)	1.25	(6.0)					
484	69	110	津万２区	SK13		土師器	小皿	8.5	(2.2)	6.2					
485	69	109	津万２区	SK13		土師器	鍋	(21.5)	(4.75)	*(24.3)					
486	69	110	津万２区	SK14		土師器	小皿	7.35	1.7	6.85					
487	69	109	津万２区	SK14		土師器	椀	(13.8)	(3.7)	-					
488	69	109	津万２区	SK14		土師器	椀	(13.7)	(2.7)	-					
489	69	109	津万２区	SK14		土師器	鍋	(22.4)	(4.95)	-					
490	69	109	津万２区	SK14		土師器	鍋	(28.3)	(5.5)	*(32.6)					
491	69	109	津万２区	SX04		無釉陶器	甕	(19.5)	(6.4)	-					
492	69	110	津万２区	SX04		瓦	平瓦	-	-	-	(9.8)	(9.4)	2.75		
493	69	110	津万２区	SX04		無釉陶器 (丹波焼)	甕	-	(18.65)	17.9					
494	69	110	津万２区	SX09		土師器	鍋	(29.0)	(5.6)	-					
495	69	110	津万２区	SX11		土師器	鍋	(20.4)	(5.05)	-					
496	69	110	津万２区	SX11		土師器	鍋	(19.4)	(8.75)	*(22.1)					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
497	69	110	津万２区	SX11		無釉陶器	擂鉢	(28.3)	(4.2)	-					
498	69	110	津万２区	SX11		無釉陶器	(把手)				4.7	5.0	高 3.95		
499	69	110	津万２区	SX11		青磁	碗	-	(2.35)	(6.3)					
500	69	111	津万２区	SX12		土師器	鍋	(19.35)	(4.15)	-					
501	69	111	津万２区	SX12		土師器	鍋	(25.5)	(4.1)	-					
502	69	111	津万２区	SX12		土師器	鍋	(25.4)	(5.1)	-					
503	69	111	津万２区	SX12		土師器	鍋	(21.4)	(5.8)	-					
504	69	111	津万２区	SX12		土師器	鍋	(27.6)	(7.8)	-					
505	69	111	津万２区	SX12		須恵器	片口鉢	(26.2)	(3.25)	-					
506	69	111	津万２区	SX12		須恵器	鉢	-	(3.8)	(11.0)					
507	69	111	津万２区	SX12		須恵器	蓋	(16.0)	(0.9)	-					
508	70	111	津万２区	旧河道内	下層	弥生土器	壺	(13.7)	(3.7)	-					
509	70	111	津万２区	旧河道内	下層	弥生土器	壺(底部)	-	(4.95)	(6.4)					
510	70	111	津万２区	旧河道内	下層	土師器	ﾐﾆﾁｭｱ土器	(4.65)	3.5	2.9					
511	70	111	津万２区	旧河道内	下層	弥生土器	蓋？	-	(4.0)	-					
512	70	111	津万２区	旧河道内	下層	弥生土器	鉢？(底部)	-	(4.35)	4.0					
513	70	111	津万２区	旧河道内	下層	弥生土器	高杯	(38.2)	(4.95)	-					
514	70	111	嶋５区	流路		土師器	器台	(21.9)	(1.75)	-					
515	70	111	嶋５区	流路		須恵器	甕	(28.8)	(7.2)	-					
516	70	111	津万２区	旧河道内	下層	須恵器	鉢	(19.8)	(6.75)	-					
517	70	111	嶋５区	流路		須恵器	小皿	7.7	1.75	5.55					
518	70	111	津万２区		残土内	無釉陶器 (丹波焼)	擂鉢	-	(5.85)	(13.0)					
519	70	111	津万２区		残土内	土師器	土錘				3.6	1.3	孔径 0.35	4.9	
520	70	112	嶋５区		包含層	弥生土器	長頸壺(口縁部)	(15.0)	(7.75)	-					
521	70	112	嶋５区		包含層	弥生土器	壺	(15.4)	(5.7)	-					
522	70	112	津万２区		包含層	弥生土器	壺	(14.9)	(4.2)	-					
523	70	113	嶋５区		包含層	弥生土器	壺	-	(11.5)	3.6 *12.2					SK02 と SD02 の間
524	70	112	嶋５区	流路		土師器	甕	(15.4)	(13.4)	*(23.2)					
525	70	112	津万 1E 区		機械掘削土	土師器	壺？	(22.6)	(4.0)	-					
526	70	112	嶋５区		包含層	土師器	壺	(9.9)	(5.95)	*(10.0)					
527	70	112	嶋５区		包含層	弥生土器	甕	(13.4)	(6.45)	-					
528	70	112	津万 1W 区		包含層	弥生土器	壺(底部)	-	(2.2)	(5.1)					
529	70	112	津万 1W 区		包含層	弥生土器	壺？(底部)	-	(3.1)	(5.4)					
530	70	112	嶋５区		包含層	弥生土器	壺？(底部)	-	(3.4)	(4.8)					
531	70	112	津万 1E 区		残土内	弥生土器	壺？(底部)	-	(3.2)	(3.8)					
532	70	112	津万 1E 区		機械掘削土	弥生土器	甕？(底部)	-	(2.7)	(4.8)					
533	70	112	嶋５区		包含層	弥生土器	壺？(底部)	-	(2.2)	4.0					
534	70	112	津万 1E 区		包含層	弥生土器	壺？(底部)	-	(1.7)	4.3					
535	70	112	津万 1E 区			弥生土器	甕？(底部)	-	(1.9)	(5.4)					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
536	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	甕？(底部)	-	(1.9)	4.9					
537	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	壺？(底部)	-	(1.4)	3.0					
538	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	甕？(底部)	-	(2.5)	5.3					
539	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	鉢？(底部)	-	(2.6)	(4.4)					
540	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	鉢？(底部)	-	(1.7)	5.5					
541	70	112	T43			土師器	小型丸底壺	-	(5.2)	*(8.5)					
542	70	112	津万1E区		機械掘削土	弥生土器	高杯	(9.9)	(4.9)	-					
543	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	高杯	(12.4)	(8.2)	-					
544	70	112	津万1E区		機械掘削	弥生土器	鉢	(15.2)	(3.9)	-					
545	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	高杯(口縁部)	(15.7)	(4.4)	-					
546	70	112	嶋5区		包含層	弥生土器	高杯(口縁部)	(21.8)	(1.9)	-					
547	71	113	嶋5区	流路		須恵器	杯	(10.0)	4.0	-					
548	71	113	津万2区		包含層	須恵器	器台	(28.4)	(7.2)	-					
549	71	113	嶋5区		包含層	須恵器	甕	(21.0)	(6.0)	-					
550	71	113	津万2区		包含層	須恵器	甕	(20.4)	(8.05)	-					
551	71	113	津万1W区		包含層	須恵器	蓋？	(15.8)	(3.8)	-					
552	71	113	津万2区		包含層	須恵器	杯	(14.4)	4.3	(10.9)					
553	71	113	津万2区		包含層	須恵器	杯	(10.8)	(4.65)	(8.4)					
554	71	113	嶋5区		包含層	須恵器	杯	(11.7)	4.2	(7.8)					
555	71	113	津万2区		包含層	須恵器	杯	12.6	4.1	(10.35)					
556	71	113	嶋5区		包含層	須恵器	杯	(12.8)	2.5	-					
557	71	113	津万2区		包含層	須恵器	杯(底部)	-	(1.2)	(12.6)					「妻」の墨書あり
558	71	113	津万1E区		包含層	須恵器	蓋	(18.3)	(1.8)	-					
559	71	113	津万2区		包含層	須恵器	蓋	(16.0)	(2.1)	-					
560	71	113	津万2区		包含層	須恵器	蓋	(20.2)	(2.45)	-					
561	71	113	津万2区		包含層	須恵器	蓋	(17.6)	(2.1)	-					
562	71	113	津万2区		包含層	須恵器	蓋	(17.3)	(2.8)	-					
563	71	113	津万2区		包含層	須恵器	蓋	-	(1.55)	-					
564	71	114	津万1W区		包含層	須恵器	稜椀	-	(3.4)	(8.0)					
565	71	114	嶋5区		包含層	須恵器	杯(底部)	-	(2.0)	(6.9)					
566	71	114	嶋5区		包含層	須恵器	(底部)	-	(1.8)	(11.4)					
567	71	114	津万2区		機械掘削土	須恵器	壺(底部)	-	(1.85)	(8.6)					
568	71	114	津万2区		包含層	須恵器	杯	(14.4)	2.8	(12.0)					
569	71	114	津万2区		包含層	須恵器	皿	(16.2)	2.0	(14.4)					
570	71	114	津万2区		包含層	須恵器	杯	(15.0)	2.6	(12.1)					
571	71	114	津万1E区		残土内	須恵器	皿	(19.1)	1.9	(16.1)					
572	71	114	津万1W区		包含層	須恵器	皿	(17.7)	(2.3)	-					
573	71	114	嶋6区		包含層	須恵器	小皿	(7.7)	1.1	(5.8)					
574	71	114	嶋6区		包含層	須恵器	小皿	(8.2)	(1.3)	(6.4)					
575	71	114	津万1E区		包含層	須恵器	小皿	(7.9)	1.5	(5.0)					
576	71	114	嶋6区	南東部	包含層	須恵器	壺(底部)	-	(2.5)	(10.4)					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
577	71	114	津万 1E 区		残土内	須恵器	壺(底部)	-	(4.4)	(12.9)					
578	71	114	津万 1W 区		包含層	黒色土器	椀	(17.1)	(5.0)	-					
579	71	114	嶋 5 区		包含層	須恵器	椀	(14.3)	(4.0)	-					
580	71	114	嶋 6 区	中南～中西部	包含層	須恵器	椀	(16.8)	(2.4)	-					
581	71	114	嶋 6 区		包含層	須恵器	椀	(15.1)	(3.3)	-					
582	71	114	T55		包含層	須恵器	椀	(15.3)	(3.25)	-					
583	71	114	津万 1E 区		包含層	須恵器	椀	(15.0)	(4.8)	-					
584	71	113	津万 1E 区		機械掘削土	須恵器	椀	15.6	5.0	5.3					
585	71	114	津万 2 区		包含層	須恵器	椀	-	(3.9)	(5.8)					
586	71	114	津万 2 区		包含層	須恵器	椀	-	(3.2)	(6.2)					墨書か？
587	72	114	嶋 6 区		包含層	須恵器	椀	(13.4)	(2.5)	-					
588	72	114	嶋 6 区	北半	包含層	須恵器	椀	(16.7)	(2.2)	-					
589	72	114	嶋 6 区		包含層	須恵器	椀	(15.5)	(2.1)	-					
590	72	114	津万 1E 区		包含層	須恵器	椀	(13.6)	(2.3)	-					
591	72	114	嶋 5 区		包含層	須恵器	椀	(12.4)	(3.2)	-					
592	72	114	津万 2 区		包含層	須恵器	椀	(12.7)	(3.6)	-					
593	72	114	嶋 5 区		包含層	須恵器	椀	(9.6)	3.8	(4.4)					
594	72	114	嶋 6 区	中南～中西部	包含層	須恵器	椀(底部)	-	(2.6)	(6.6)					
595	72	114	嶋 5 区		包含層	須恵器	椀(底部)	-	(2.1)	(5.7)					
596	72	115	嶋 5 区		包含層	須恵器	椀(底部)	-	(2.8)	5.4					
597	72	115	津万 2 区		包含層	須恵器	椀(底部)	-	(2.0)	6.0					
598	72	115	嶋 6 区	中南～中西部	包含層	須恵器	椀(底部)	-	(1.8)	(6.0)					
599	72	115	嶋 6 区		包含層	須恵器	椀(底部)	-	(2.1)	(5.8)					
600	72	115	津万 2 区		包含層	須恵器	椀(底部)	-	(1.4)	(3.75)					
601	72	115	嶋 6 区	中南～中西部	包含層	須恵器	椀(底部)	-	(1.0)	(4.8)					
602	72	115	嶋 5 区		包含層	須恵器	椀(底部)	-	(1.5)	(4.3)					
603	72	115	嶋 6 区	北半	包含層	土師器	甕(口縁部)	(19.6)	(3.2)	-					
604	72	115	津万 1E 区		機械掘削土	土師器	甕(口縁部)	(25.8)	(2.6)	-					
605	72	115	嶋 5 区		包含層	土師器	鍋(口縁部)	(28.8)	(4.3)	-					
606	72	115	津万 2 区		包含層	土師器	鍋(口縁部)	(18.8)	(3.45)	-					
607	72	115	嶋 6 区		包含層	土師器	鍋(口縁部)	(19.7)	(5.3)	-					
608	72	115	津万 1E 区		機械掘削土	土師器	鉢？(底部)	-	(0.9)	(6.9)					
609	72	115	津万 2 区		包含層	無釉陶器(備前焼)	擂鉢	(28.7)	(4.6)	-					
610	72	115	津万 2 区		包含層	須恵器	鉢	(26.4)	(3.5)	-					
611	72	115	津万 2 区		包含層	須恵器	鉢	(28.4)	(5.7)	-					
612	72	115	T44	溝	包含層	須恵器	鉢	(23.65)	9.85	(8.0)					
613	72	115	津万 2 区		包含層	緑釉陶器	面子	-	-	-	(3.5)	4.65	1.05	22.9	底部転用
614	72	115	津万 2 区		包含層	白磁	碗	-	(3.3)	-					
615	72	115	津万 1E 区		機械掘削土	白磁	碗	(16.2)	(2.2)	-					
616	72	115	津万 2 区		包含層	白磁	碗	(15.5)	(3.75)	-					

報告番号	図版番号	写真図版	出土地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm)						重量(g)	備考
								口径	器高	底径 *= 腹径	長さ	幅	厚み		
617	72	115	津万2区		残土内	青磁	碗	(15.2)	(4.8)	-					
618	72	115	津万2区		包含層	青磁	碗	(15.8)	(3.6)	-					
619	72	115	津万2区		包含層	青磁	碗	-	(3.2)	-					
620	72	115	津万2区		包含層	青磁	碗	-	(2.0)	(5.6)					
621	72	115	津万2区		包含層	土師器	土錘	-	-	-	(3.6)	1.15	孔径0.25	3.9	
622	72	115	嶋6区	南東部	包含層	土師器	土錘	-	-	-	3.15	1.1	孔径0.3	3.8	
623	72	115	津万1W区	SK13	包含層	土師器	土錘	-	-	-	(3.55)	1.25	孔径0.25	4.1	
624	72	115	津万2区		包含層	土師器	土錘				8.0	2.8	孔径0.75	34.6	
S1	73	116	津万1W区	SH03	-	石器	石鏃				1.6	1.35	0.25	0.6	未製品
S2	73	116	嶋6区		包含層	石製品	石帯	-	-	-	(2.75)	(2.4)	0.7	7.5	
S3	73	116	津万1E区		包含層	石製品	砥石	-	-	-	20.5	22.2	5.0	3670	遺構面直上
B1	―	116	津万2区	SE01		骨					-	-	-	65.8	写真のみ
M1	73	117	津万1W区	SH03	-	鉄器	鏃の柄？				(3.3)	0.85	0.5		
M2	73	117	津万1W区	SH03	-	鉄器	不明				7.55	0.8	0.3		
M3	73	117	津万1E区	SH01中央土坑周堤	-	鉄器	刀子				(1.55) +(3.4)	(1.3)	0.2		
M4	73	117	津万1E区	SH01中央土坑周堤	-	鉄器	刀子				(3.1)	(0.97)	0.25		
M5	73	117	津万1E区	SH03	-	鉄器	鏃				(6.4)	2.95	0.35		
M6	73	117	津万1E区	SH03	床底部	鉄器	鏃				(4.05)	1.7	0.25		
M7	73	117	津万2区	-	包含層	鉄器	楔				(5.2)	1.0	0.6		
M8	73	117	津万2区	-	包含層	鉄器	釘				3.1	0.35	0.45		
M9	73	117	嶋6区	SX01北東付近	包含層	鉄器	不明				(1.75)	(2.4)	0.6		
M10	―	117	津万2区	SP01	-	鉄器	スラッグ								写真のみ
M11	―	117	津万2区	-	包含層	鉄器	スラッグ								写真のみ
M12	―	117	津万2区	-	包含層	鉄器	スラッグ								写真のみ
W1	74	118	嶋6区	SE02	最下層	木器	曲物側板				40.4	40.5	0.85		
W2	74	118	嶋6区	SE02	最下層	木器	曲物底板				13.3	12.9	0.65		
W3	74	118	津万2区	SE01	-	木器	曲物側板				33.6	40.9	0.5		
W4	74	118	津万2区	SE01	底	木器	曲物底板				12.5	(9.85)	0.65		

第４章　まとめ

以上、第３章では、津万遺跡群３の調査成果を述べた。第１章第２節の本調査の概要において、当該地区が、奈良時代の遺構遺物も認められるものの、①弥生時代後期前半～古墳時代前期、及び②平安時代～中世の、大きく二つの時期で構成される集落遺跡であることが想定された。本項では、①、②それぞれの時期の集落を構成する遺構として竪穴建物跡、及び掘立柱建物跡について触れ、本書のまとめとしたい。また、津万遺跡群の調査にあたっては、本地区も含め、当該遺跡群における地形環境について、立命館大学非常勤講師　青木哲哉氏による現地指導をいただいており、本来であれば本報告書においても当該地区における地形環境について執筆をお願いするところであるが、今後、津万遺跡群全体を通した地形環境の復元として、最終報告（津万遺跡群２）で執筆いただこうと考えているため、本報告書では掲載を見送った。

①竪穴建物跡について

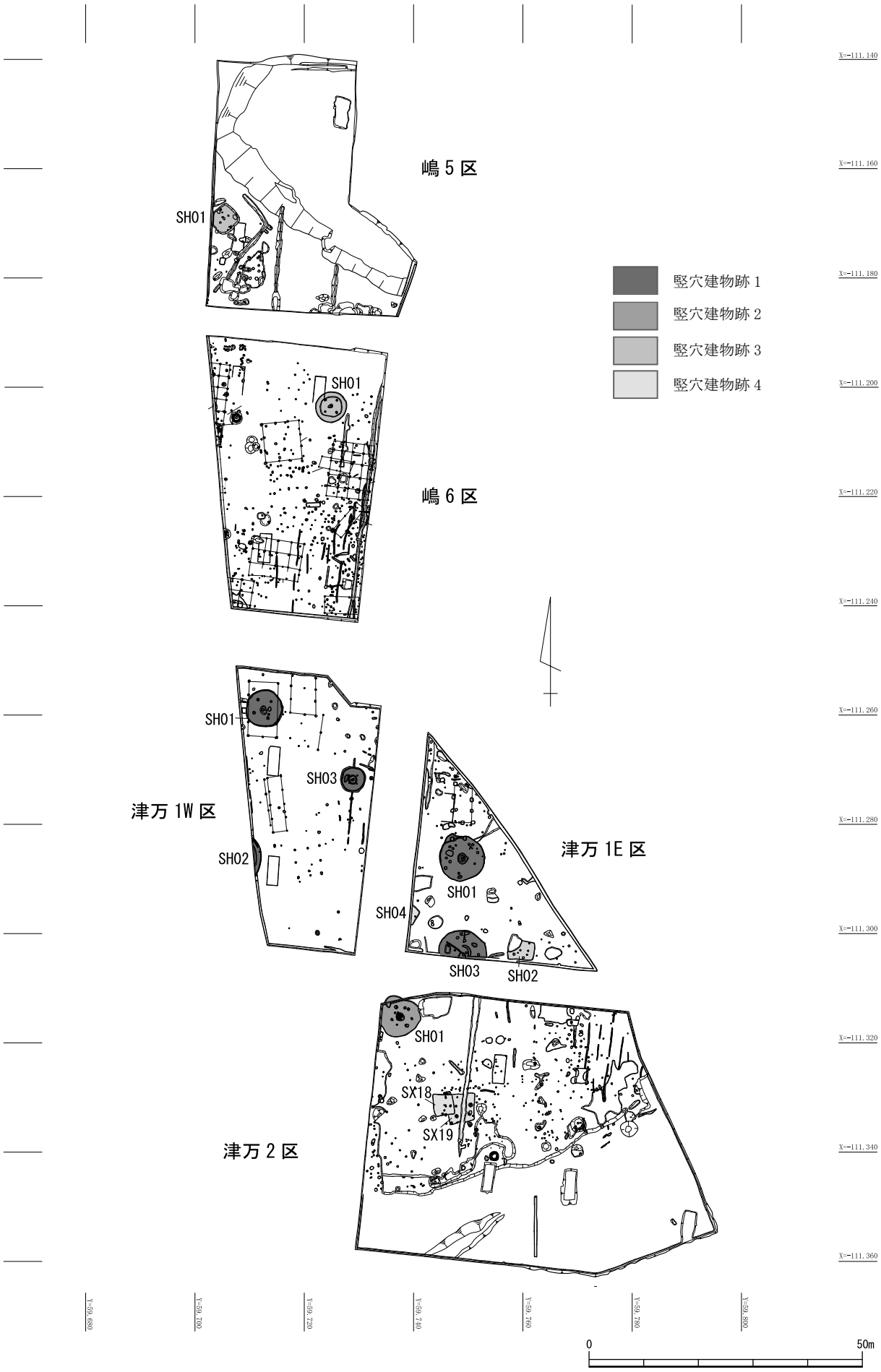
竪穴建物跡は、方形建物の可能性がある遺構（津万２区 SX18・SX19）も含め、地区全体で 12 棟を検出しており、遺構の形状、及び出土遺物から概ね４つの時期（竪穴建物跡１～２）に分類できると考えられる。最も古い竪穴建物跡１は、弥生時代後期前葉と考えられる円形建物からなり、津万１Ｗ区 SH01・SH02・SH03 の周辺で一群を形成すると考えられる。次に竪穴建物跡２は、弥生時代後期中葉～後葉と考えられる円形建物からなり、津万１Ｅ区 SH01・SH03、津万２区 SH01 周辺で一群を形成すると考えられる。また、竪穴建物跡３は、弥生時代終末期と考えられる円形建物、及び隅丸方形建物からなり、嶋５区 SH01、嶋６区 SH01 の周辺で一群を形成すると考えられる。更に、竪穴建物跡４は、古墳時代前期と考えられる方形建物からなり、津万１Ｅ区 SH02・SH04、津万２区 SX18・SX19 の周辺で一群を形成すると考えられる。

上記の竪穴建物跡の分布状況は、津万遺跡群３の５地区全体を通して見ると、同時期の建物群が、後期前葉から古墳時代前期にかけて少しずつ移動していたと考えられる。また、嶋５区の北半部、及び津万２区の南半部では、それぞれ流路が認められ、津万遺跡群の全地区を通してこの様な流路が集落を画する様に存在しており、この流路が集落形成時の規制となったと考えられ、同時期の竪穴建物の一群が、同時期集落の一単位として捉えられるのである。

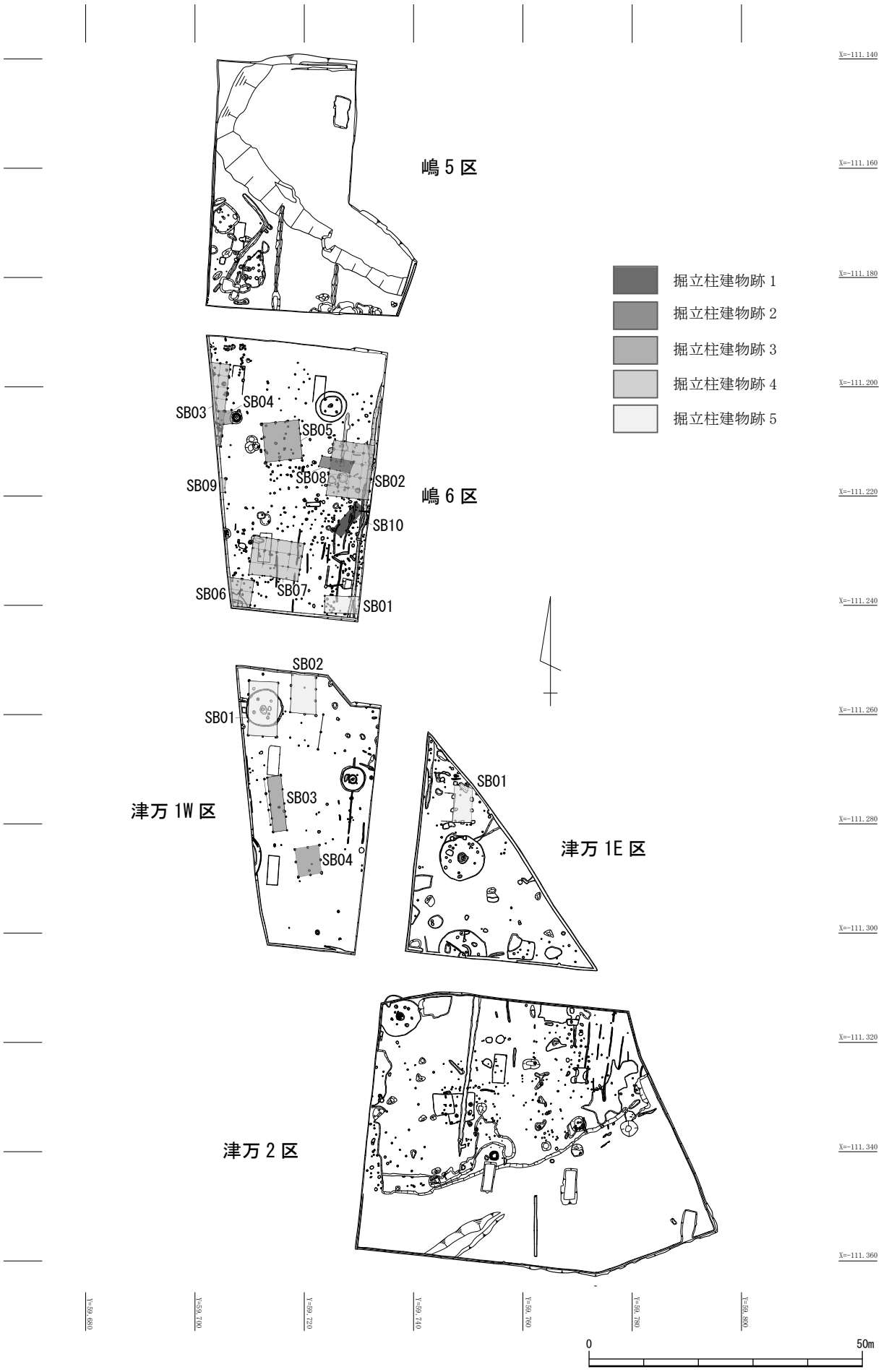
②掘立柱建物跡について

掘立柱建物跡は、全地区のうち、嶋６区、津万１Ｗ区、津万１Ｅ区で合計 14 棟検出しており、主軸方向の同一性から概ね５つの時期（掘立柱建物跡１～５）に分類できる。掘立柱建物跡１は、嶋６区 SB10 であり、他の建物の主軸とは大きく異なり、調査段階から弥生時代以降の可能性が指摘されている。次に、掘立柱建物跡２は、嶋６区 SB08 であり、時期は不明で、他の建物と主軸を異にしていることに加え、掘立柱建物跡４と重複しており、時期の違う建物と判断される。また、掘立柱建物跡３は、嶋６区 SB04・SB05、津万１Ｗ区 SB03・SB04 であり、主軸が真北からやや北西側に振っており、全て側柱建物である。更に、掘立柱建物跡４は、嶋６区 SB02・SB03・SB06・SB07 であり、主軸は真北からやや北東側に振っており、全て総柱建物である。最後に、掘立柱建物跡５は、嶋６区 SB01、津万１Ｗ区 SB01・SB02、津万１Ｅ区 SB01 であり、主軸はほぼ真北方向で、全て側柱建物である。

各掘立柱建物は、嶋６区の６棟の建物を除いて図化可能な遺物が出土していない為、時期の特定が難しいものがあるが、このうち掘立柱建物跡３・４は中世前後、掘立柱建物跡５については、奈良時代に属する一群ではないかと考えられる。

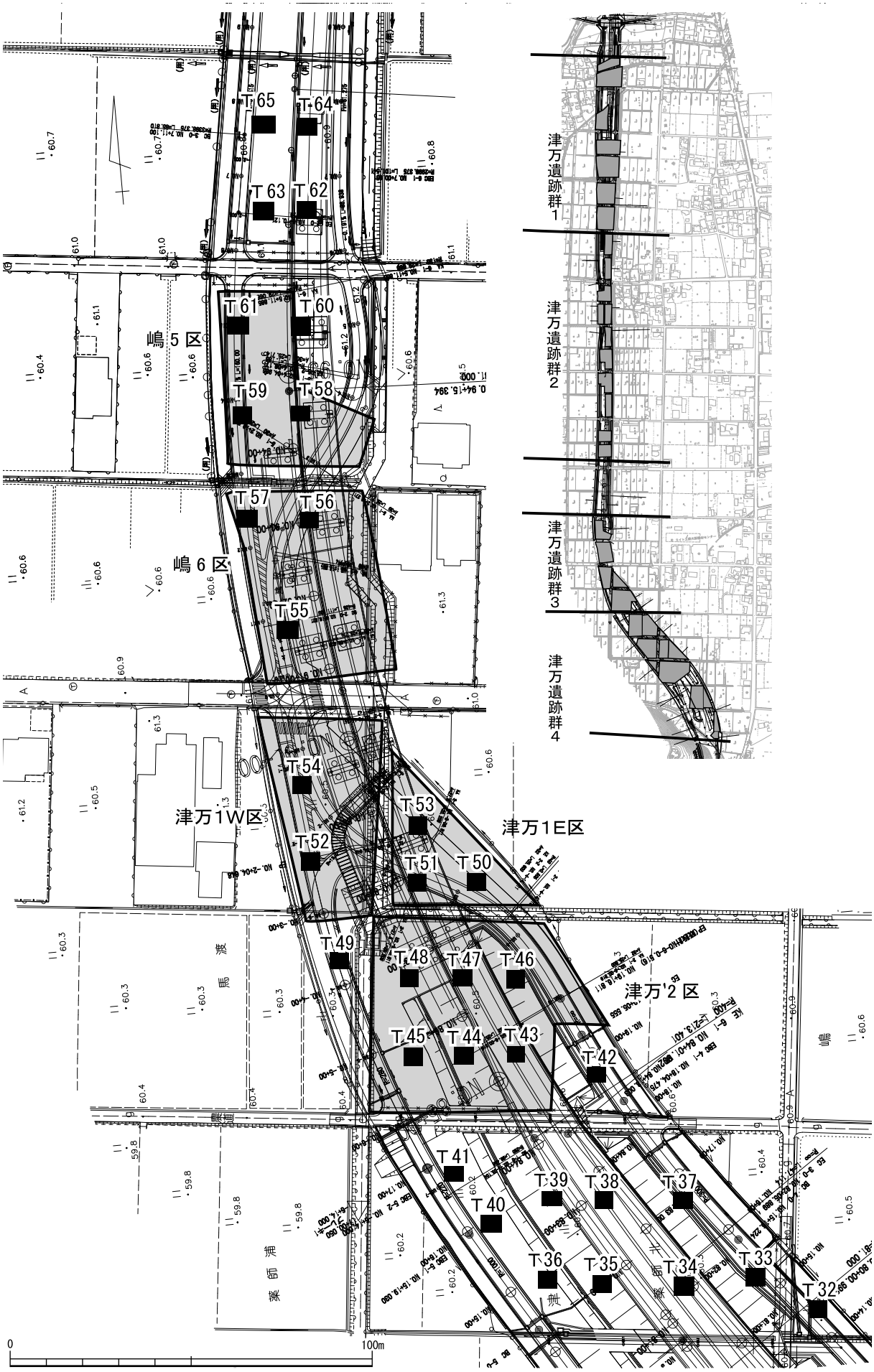


第３図　津万遺跡群３　竪穴建物跡分類図

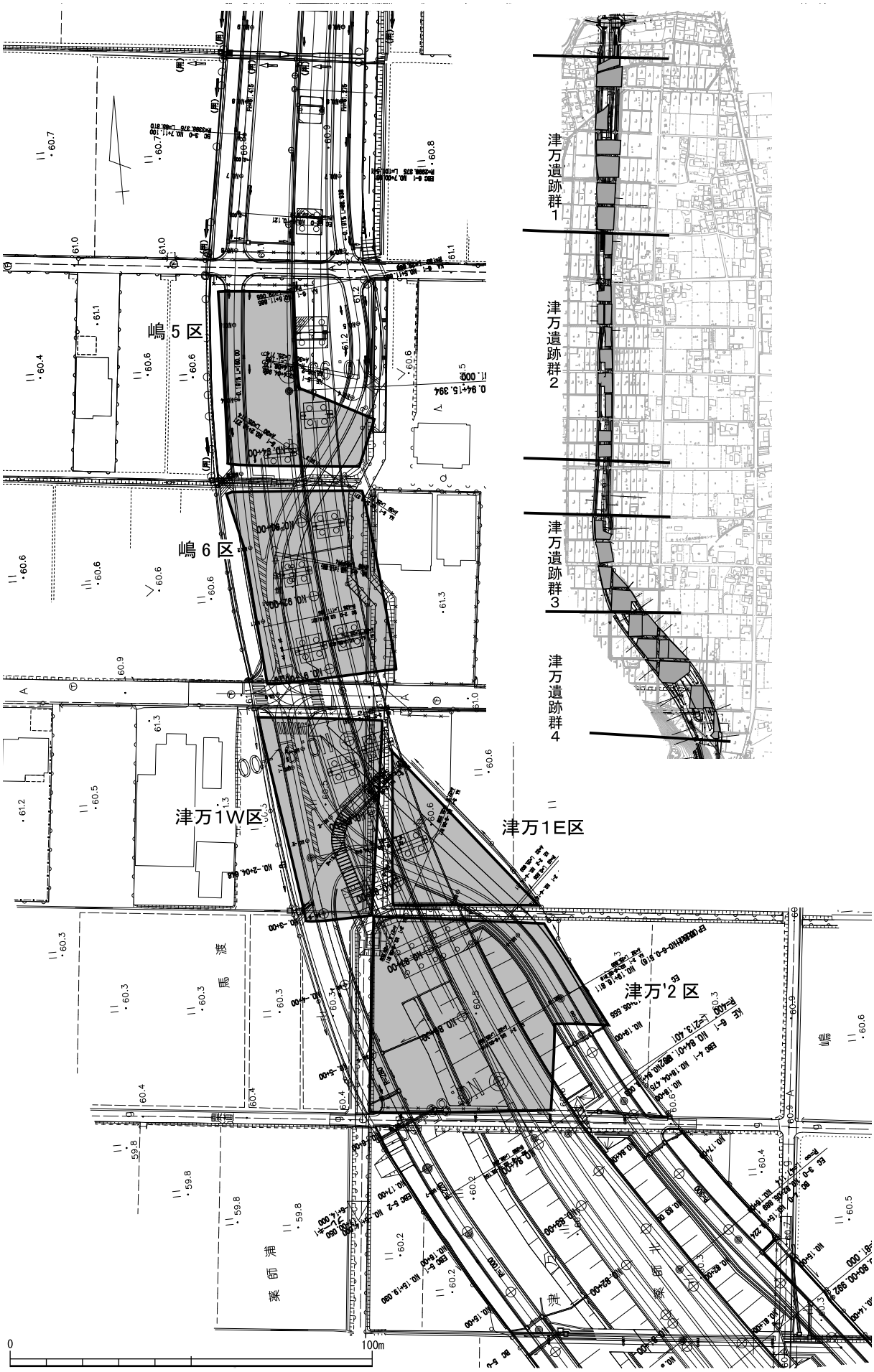


第４図　津万遺跡群３　掘立柱建物跡分類図

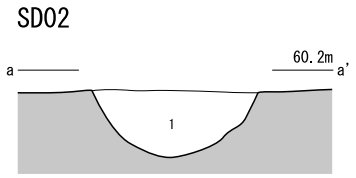
図　　版



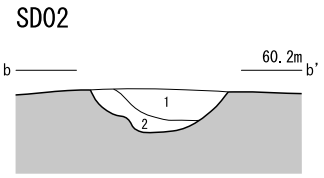
津万遺跡群3　確認調査グリッド配置図



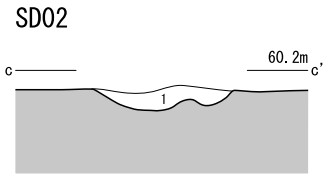
津万遺跡群3　調査区位置図



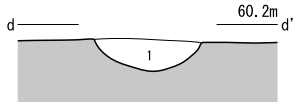
1. 10YR3/3　暗褐　細砂



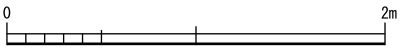
1. 10YR4/3　にぶい黄褐　細砂
2. 10YR3/3　暗褐　　細砂～極細砂
2の上に10YR4/4　褐　粗砂挟む



1. 10YR3/4　暗褐　シルト　小レキ含む

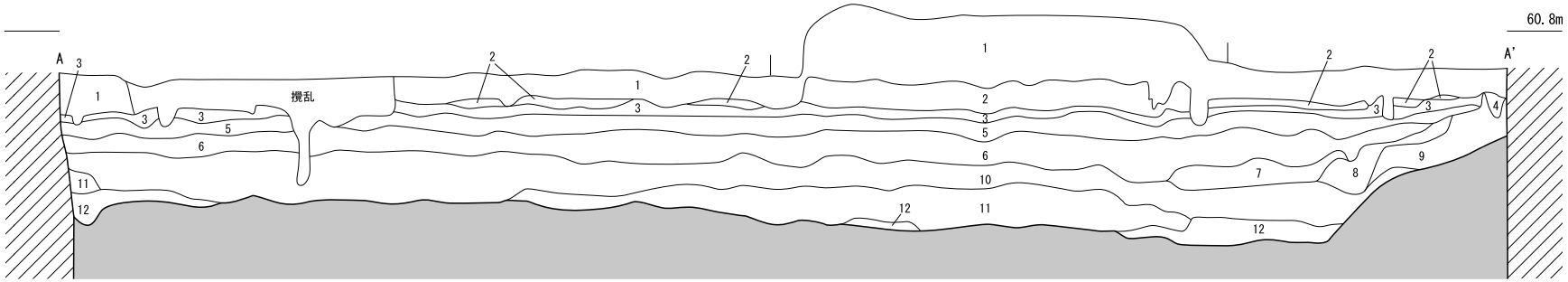


1. 10YR3/2　黒褐　細砂　粗砂～小レキ含む

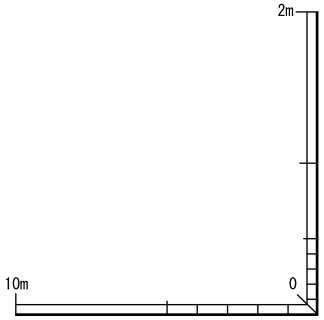


嶋5区　全体図・溝断面図

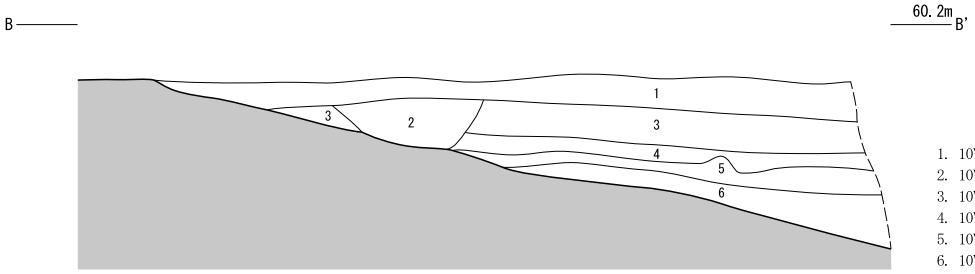
東壁



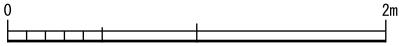
1. 耕土
2. 10YR4/2　灰黄褐　細砂～粗砂　Fe・Mn 含む　旧耕土
3. 10YR5/4　にぶい黄褐　シルト～細砂　Fe 多い　床土
4. 10YR4/2　灰黄褐　粘質シルト　小レキ混じる
5. 10YR5/2　灰黄褐　粗砂混じり細砂　Fe・Mn 含む
6. 10YR3/2　黒褐　粘質シルト　粗砂少量含む
7. 10YR2/3　黒褐　粗砂混じり粘質シルト　レキ含む
8. 10YR2/3　黒褐　粗砂混じり粘質シルト　拳大のレキ多量に含む
9. 10YR3/3　暗褐　シルト混じり粗砂　小レキ～拳大のレキ多く含む
10. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト
11. 10YR2/3　黒褐　極細砂混じり粘質シルト
12. 10YR1.7/1　黒　粘質シルト



流路

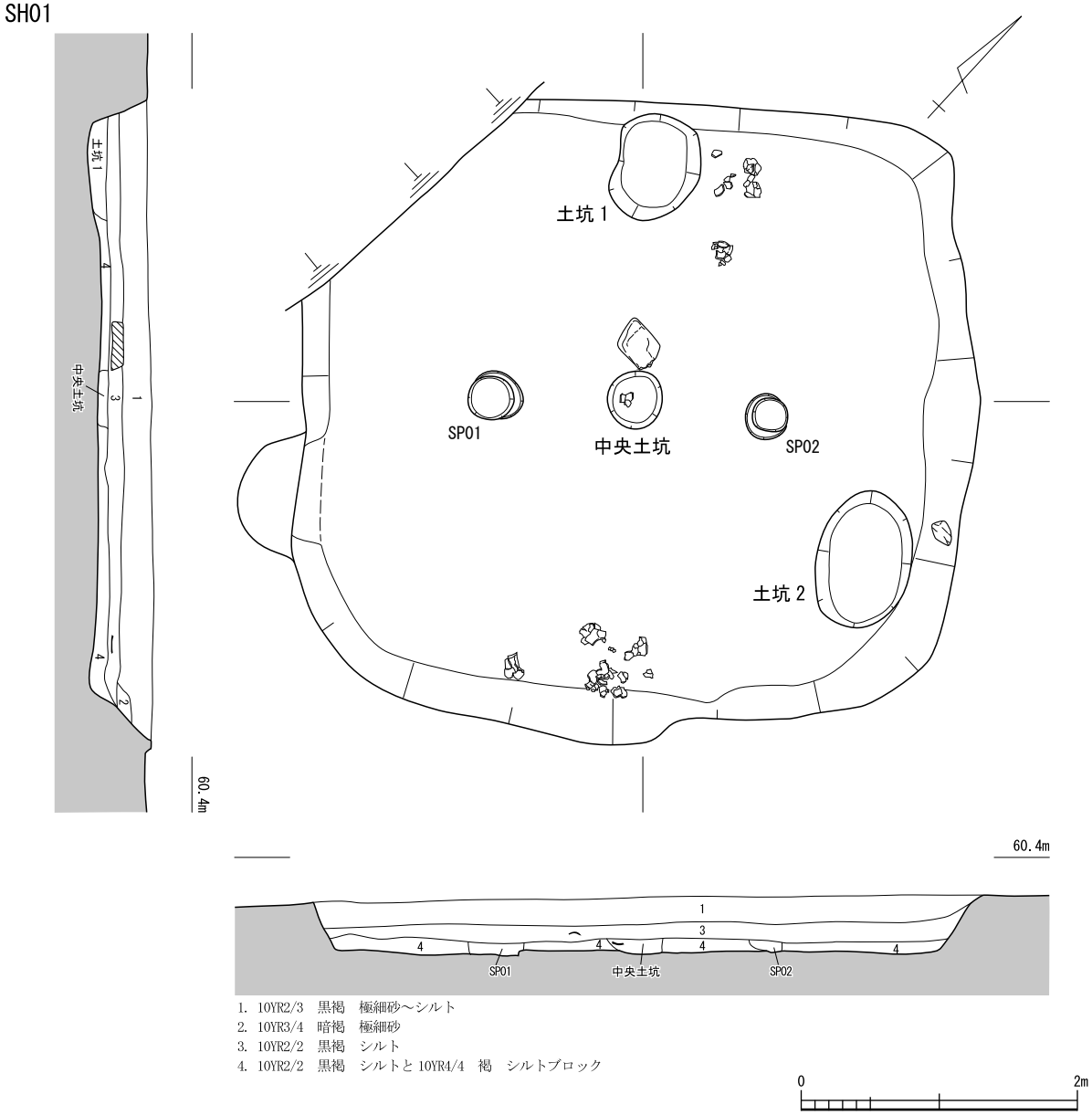


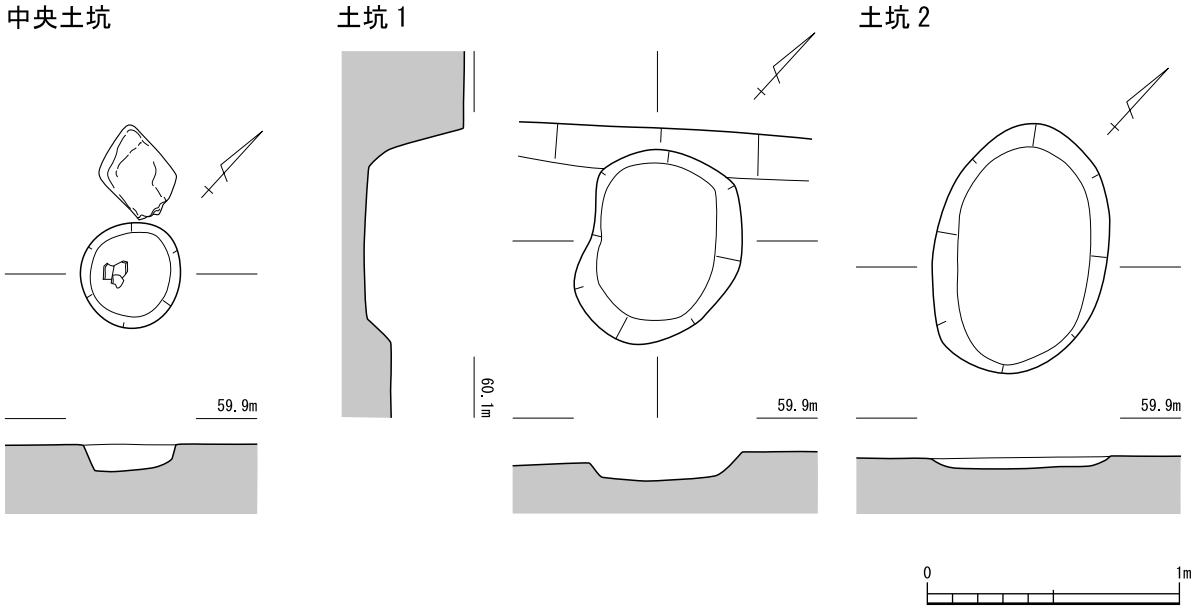
1. 10YR3/2　黒褐　シルト混じり細砂～粗砂　小レキ含む
2. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じりシルト～細砂　2.5Y4/2　暗灰黄　粗砂含む　溝埋土？
3. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じり粘質シルト　小レキ含む
4. 10YR2/1　黒　粗砂混じり粘質シルト
5. 10YR1.7/1　黒　粘質シルト
6. 10YR2/1　黒　粘質シルト



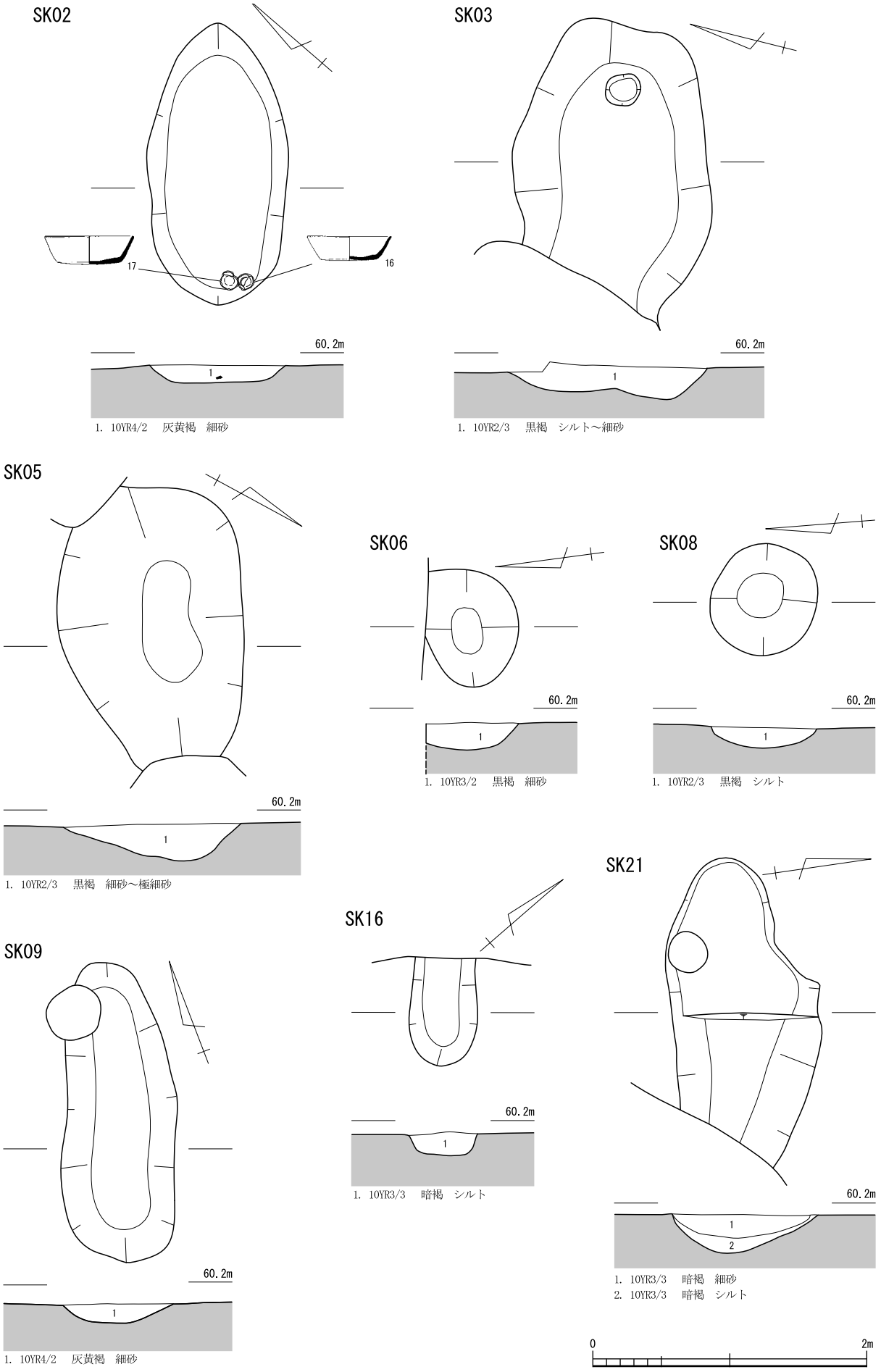
嶋5区　調査区土層断面図

SH01

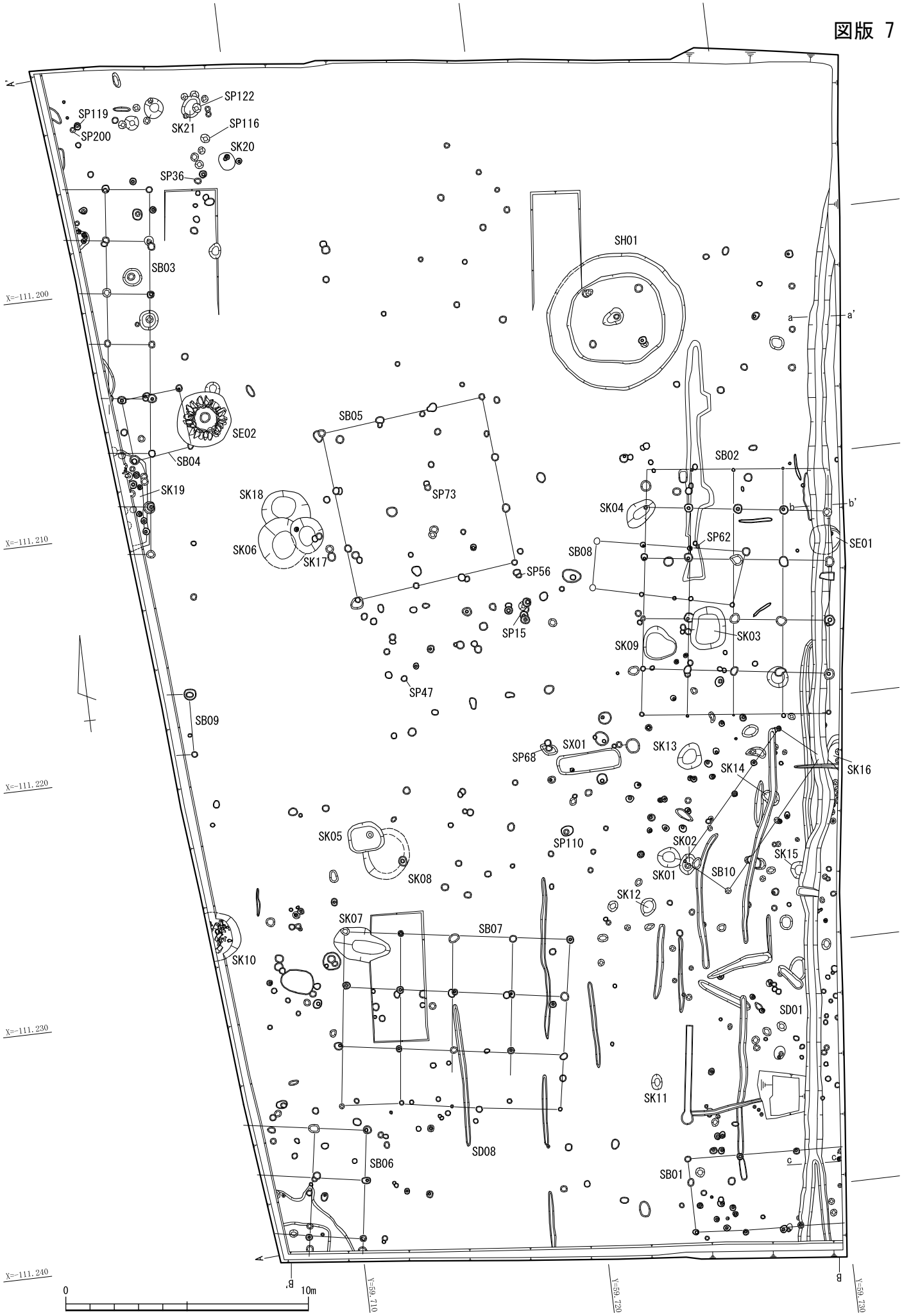




嶋5区　SH01 平面図・断面図



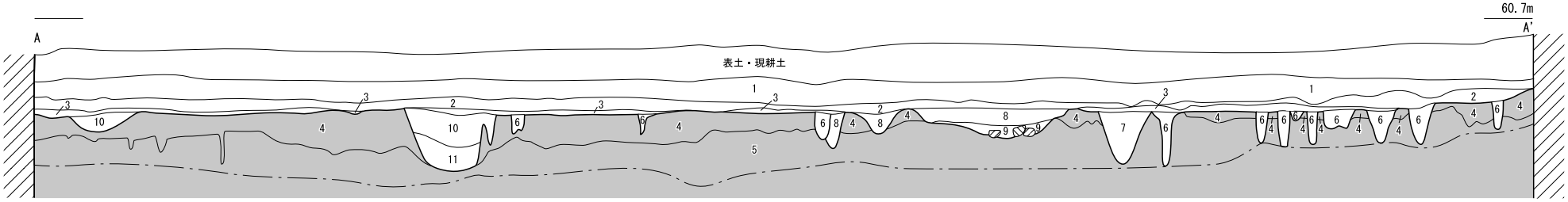
嶋5区　土坑平面図・断面図


SP122
SP119
SP200
SK21
SP116
SK20
SP36
SB03
SH01
a
a'
SB05
SE02
SB04
SK19
SP73
SB02
SK18
SK04
b
b'
SK06
SK17
SP62
SE01
SB08
SP56
SP15
SK03
SK09
SP47
SB09
SX01
SK13
SP68
SK14
SK16
SK05
SP110
SK02
SK15
SK08
SK01
SB10
SK12
SK07
SB07
SK10
SD01
SK11
SD08
SB06
SB01
c
c'
A
A'
B
B'
X=-111.200
X=-111.210
X=-111.220
X=-111.230
X=-111.240
Y=59.710
Y=59.720
Y=59.730
0
10m

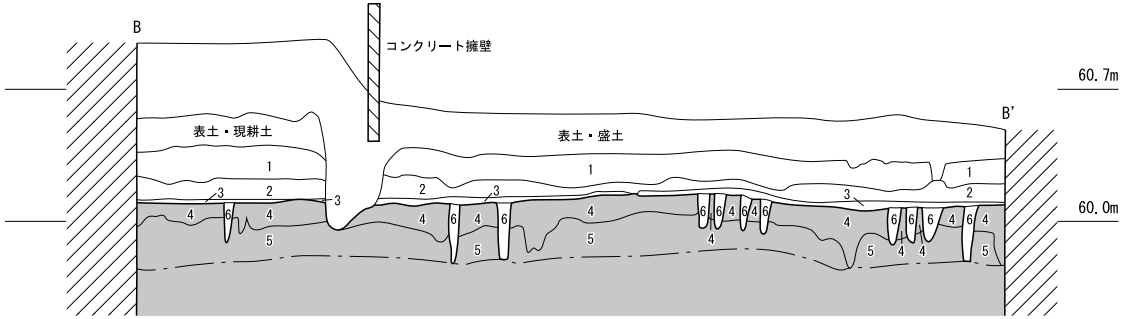
嶋６区　全体図

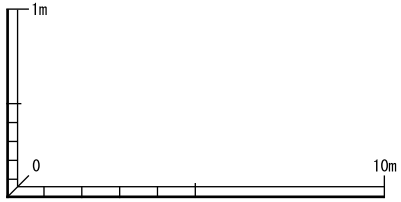
嶋6区　調査区土層断面図

西壁



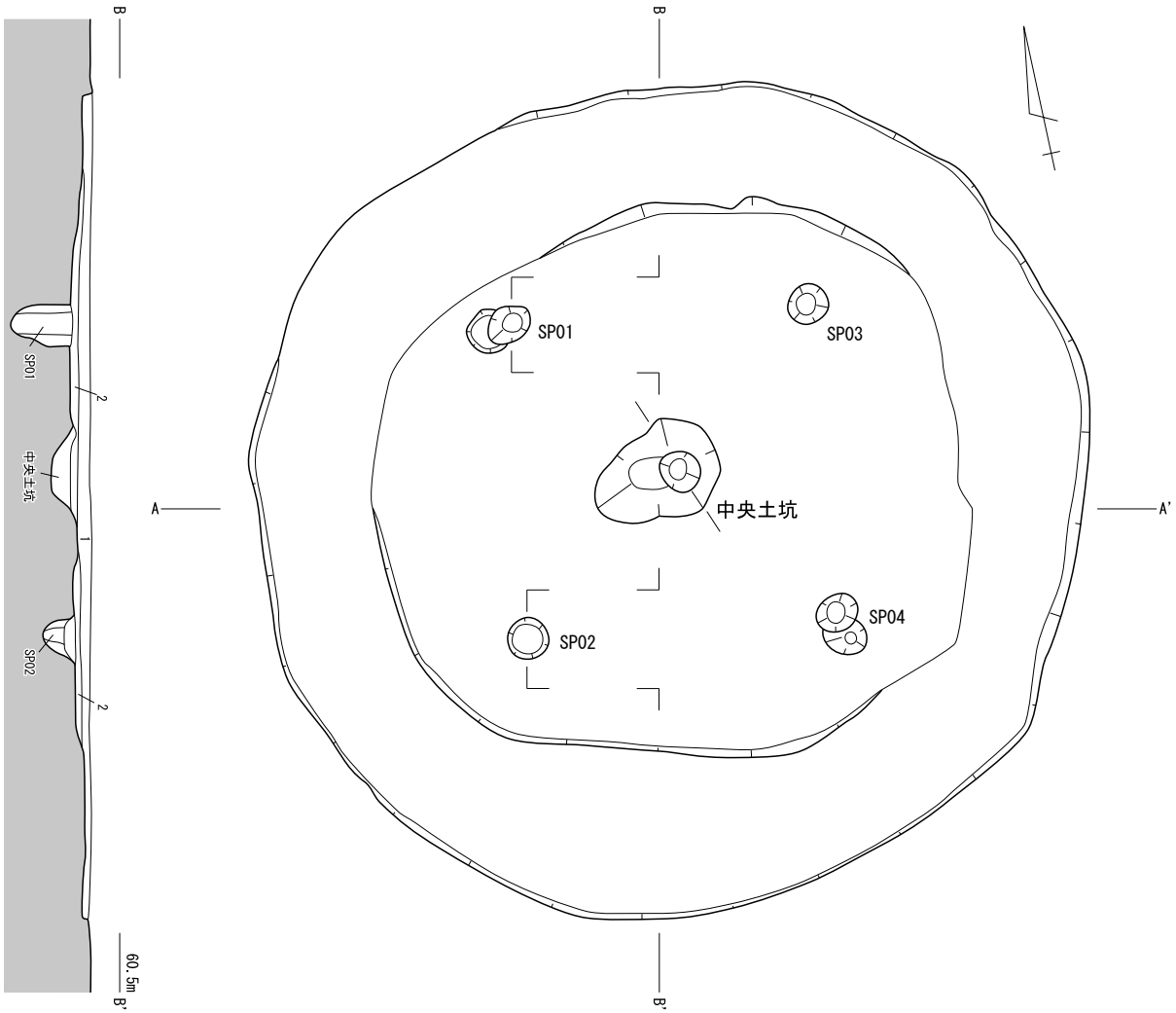
南壁





1. 2.5Y5/3　黄褐　シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性やや強い
2. 2.5Y4/2　暗灰黄　シルト～細砂　しまり中　粘性中
3. 2.5Y4/4　オリーブ褐　シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性中
4. 10YR2/1　黒　粘質シルト～極細砂　しまり強い　粘性やや強い
5. 10YR4/3　にぶい黄褐　粘質シルト　しまり強い　粘性強い
6. 10YR5/2　灰黄褐　シルト～細砂　しまりやや弱い　粘性弱い
7. 10YR3/3　暗褐　中砂混じりシルト～細砂
8. 10YR4/2　灰黄褐　シルト～細砂　しまり中　粘性弱い（SK19）
9. 10YR4/1　褐灰　粘質シルト～細砂　しまりやや強い　粘性（SK19）
10. 10YR3/3　暗褐　極細砂　Mn・小レキ含む（SK10）
11. 10YR2/3　黒褐　極細砂　Mn 含む（SK10）

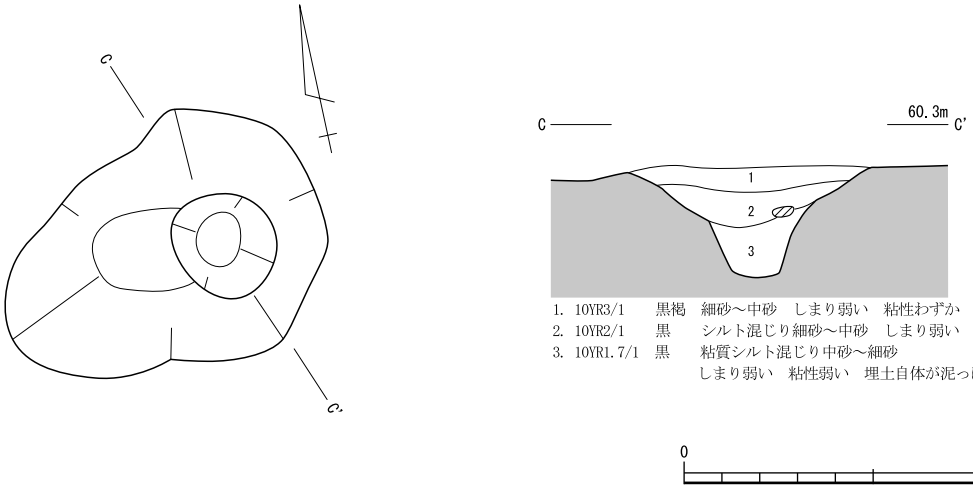
SH01



1. 10YR3/2　黒褐　極細砂～細砂　しまり弱い　粘性無し
2. 10YR3/2　黒褐　シルト～細砂　しまりやや弱い　粘性弱い　直径0.5～4cm大のレキ含む
3. 2.5Y3/1　黒褐　細砂～小レキ　しまりやや弱い　粘性無し　直径0.5～4cm大のレキ多く含む

0　2m

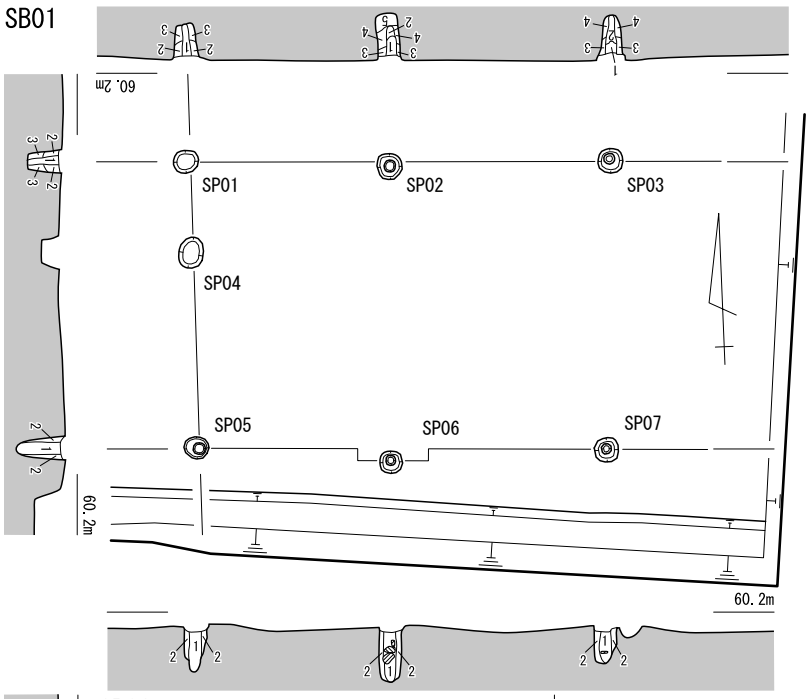
中央土坑



1. 10YR3/1　黒褐　細砂～中砂　しまり弱い　粘性わずか
2. 10YR2/1　黒　シルト混じり細砂～中砂　しまり弱い　粘性わずか
3. 10YR1.7/1　黒　粘質シルト混じり中砂～細砂
しまり弱い　粘性弱い　埋土自体が泥っぽい

0　1m

嶋6区　SH01 平面図・断面図



SP01
1. 10YR4/3 にぶい黄褐 シルト～細砂 しまり中 粘性中
2. 10YR4/1 褐灰 粘質シルト～極細砂 しまり強い 粘性やや強い
3. 10YR2/2 黒褐 粘質シルト～極細砂 しまり中 粘性中

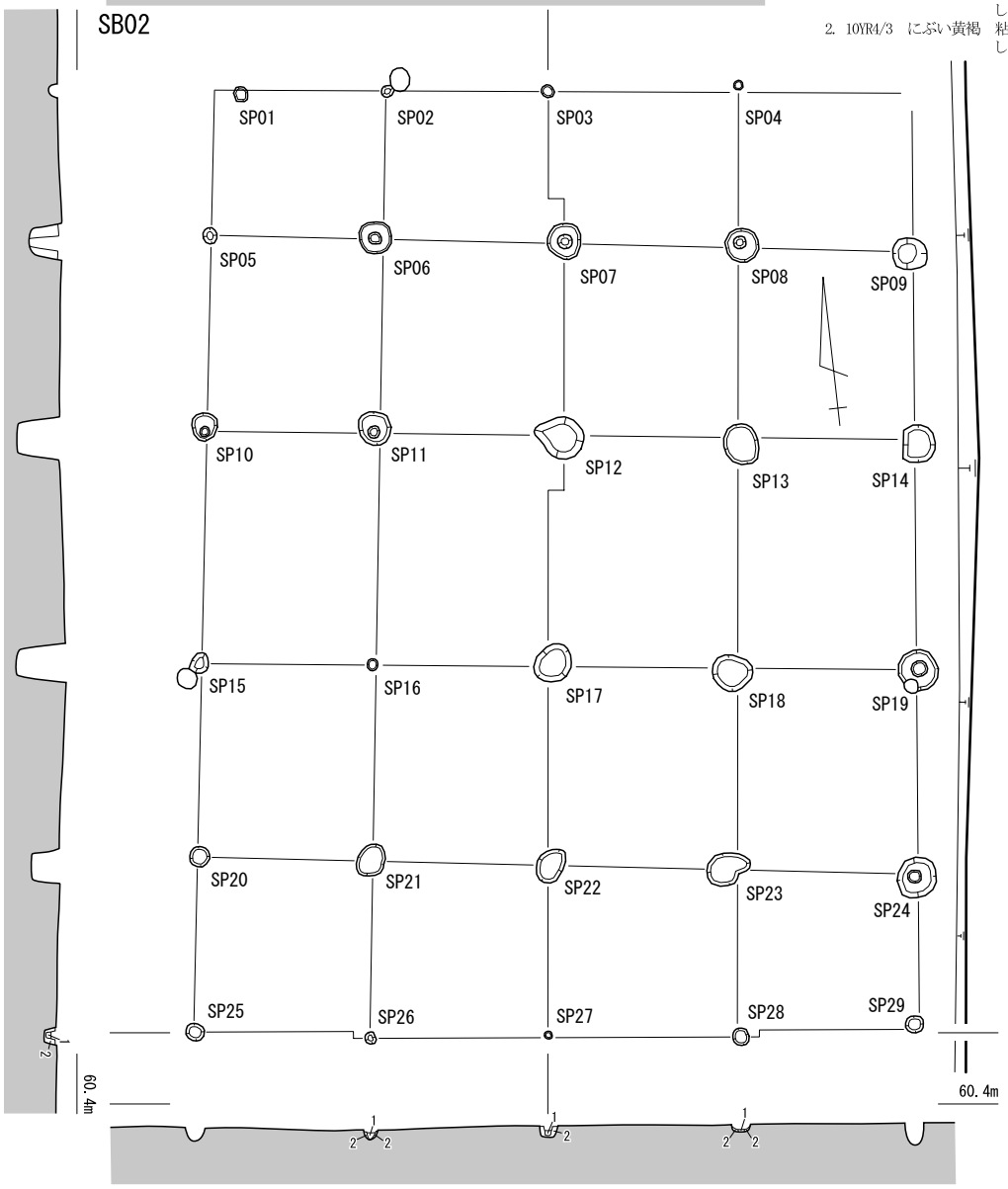
SP02
1. 10YR4/2 灰黄褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中
2. 10YR2/3 黒褐 粘質シルト～細砂 しまり中 粘性やや強い
3. 10YR4/1 褐灰 粘質シルト～細砂 しまりやや強い 粘性中
4. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト～細砂 しまりやや強い 粘性強い
5. 10YR2/2 黒褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性強い

SP03
1. 10YR4/2 灰黄褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中
2. 10YR4/3 にぶい黄褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性やや強い
3. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性やや強い
4. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性やや強い

SP05
1. 10YR4/2 灰黄褐 粘質シルト～極細砂 しまり中 粘性中
2. 10YR4/3 にぶい黄褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中

SP06
1. 10YR4/3 にぶい黄褐 粘質シルト～極細砂 しまり中 粘性やや弱い
2. 10YR4/4 褐 シルト混じり極細砂～細砂 しまりやや強い 粘性中

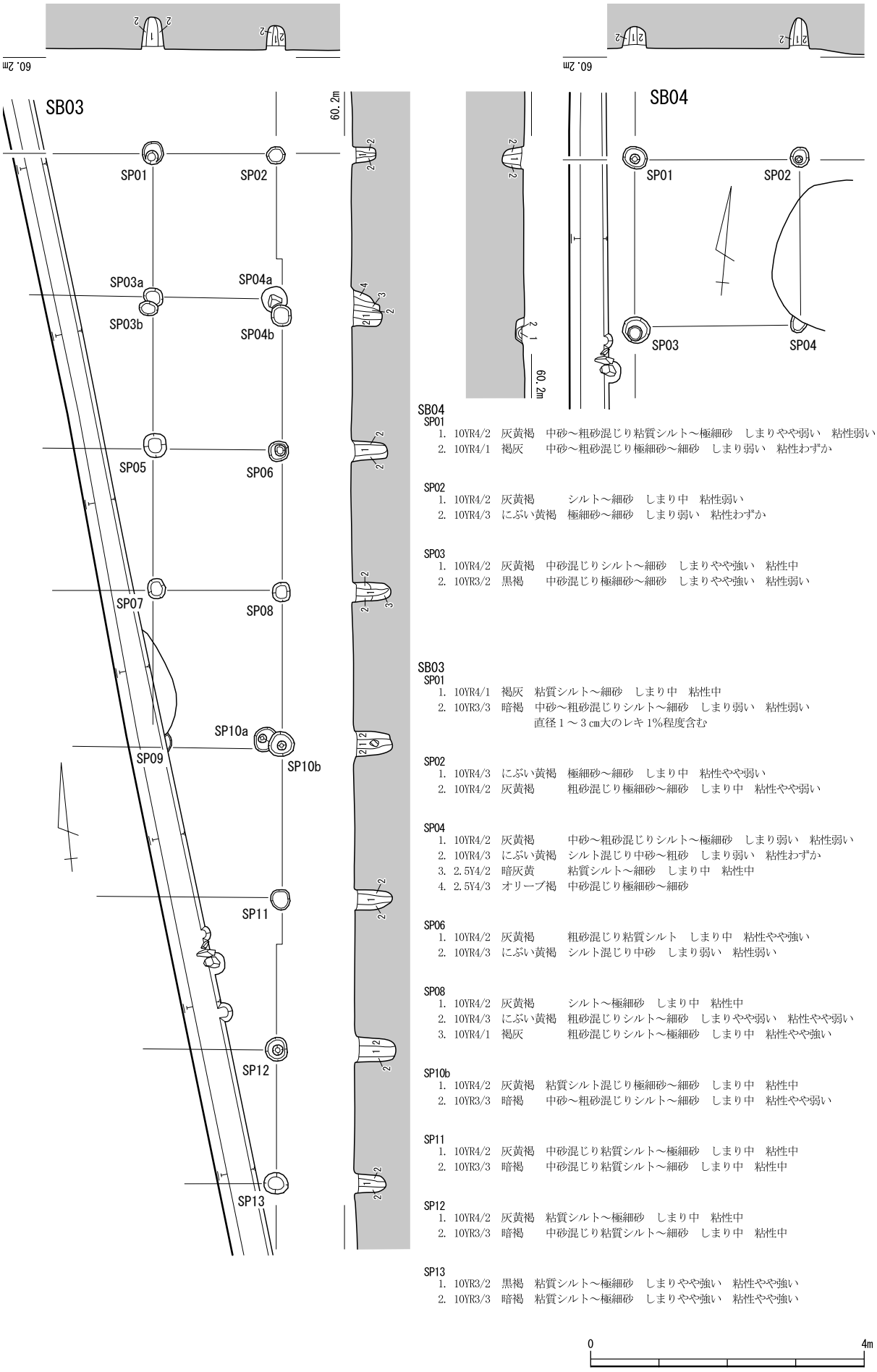
SP07
1. 10YR4/2 灰黄褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中
2. 10YR4/3 にぶい黄褐 粘質シルト～極細砂 しまり中 粘性中



SP26～28 1. 10YR4/2 灰黄褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中
2. 10YR3/2 黒褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中

0 4m

嶋6区 SB01・02 平面図・断面図



SB04

SP01
1. 10YR4/2　灰黄褐　中砂～粗砂混じり粘質シルト～極細砂　しまりやや弱い　粘性弱い
2. 10YR4/1　褐灰　中砂～粗砂混じり極細砂～細砂　しまり弱い　粘性わずか

SP02
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト～細砂　しまり中　粘性弱い
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　極細砂～細砂　しまり弱い　粘性わずか

SP03
1. 10YR4/2　灰黄褐　中砂混じりシルト～細砂　しまりやや強い　粘性中
2. 10YR3/2　黒褐　中砂混じり極細砂～細砂　しまりやや強い　粘性弱い

SB03

SP01
1. 10YR4/1　褐灰　粘質シルト～細砂　しまり中　粘性中
2. 10YR3/3　暗褐　中砂～粗砂混じりシルト～細砂　しまり弱い　粘性弱い
直径1～3㎝大のレキ1%程度含む

SP02
1. 10YR4/3　にぶい黄褐　極細砂～細砂　しまり中　粘性やや弱い
2. 10YR4/2　灰黄褐　粗砂混じり極細砂～細砂　しまり中　粘性やや弱い

SP04
1. 10YR4/2　灰黄褐　中砂～粗砂混じりシルト～極細砂　しまり弱い　粘性弱い
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　シルト混じり中砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか
3. 2.5Y4/2　暗灰黄　粘質シルト～細砂　しまり中　粘性中
4. 2.5Y4/3　オリーブ褐　中砂混じり極細砂～細砂

SP06
1. 10YR4/2　灰黄褐　粗砂混じり粘質シルト　しまり中　粘性やや強い
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　シルト混じり中砂　しまり弱い　粘性弱い

SP08
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト～極細砂　しまり中　粘性中
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　粗砂混じりシルト～細砂　しまりやや弱い　粘性やや弱い
3. 10YR4/1　褐灰　粗砂混じりシルト～極細砂　しまり中　粘性やや強い

SP10b
1. 10YR4/2　灰黄褐　粘質シルト混じり極細砂～細砂　しまり中　粘性中
2. 10YR3/3　暗褐　中砂～粗砂混じりシルト～細砂　しまり中　粘性やや弱い

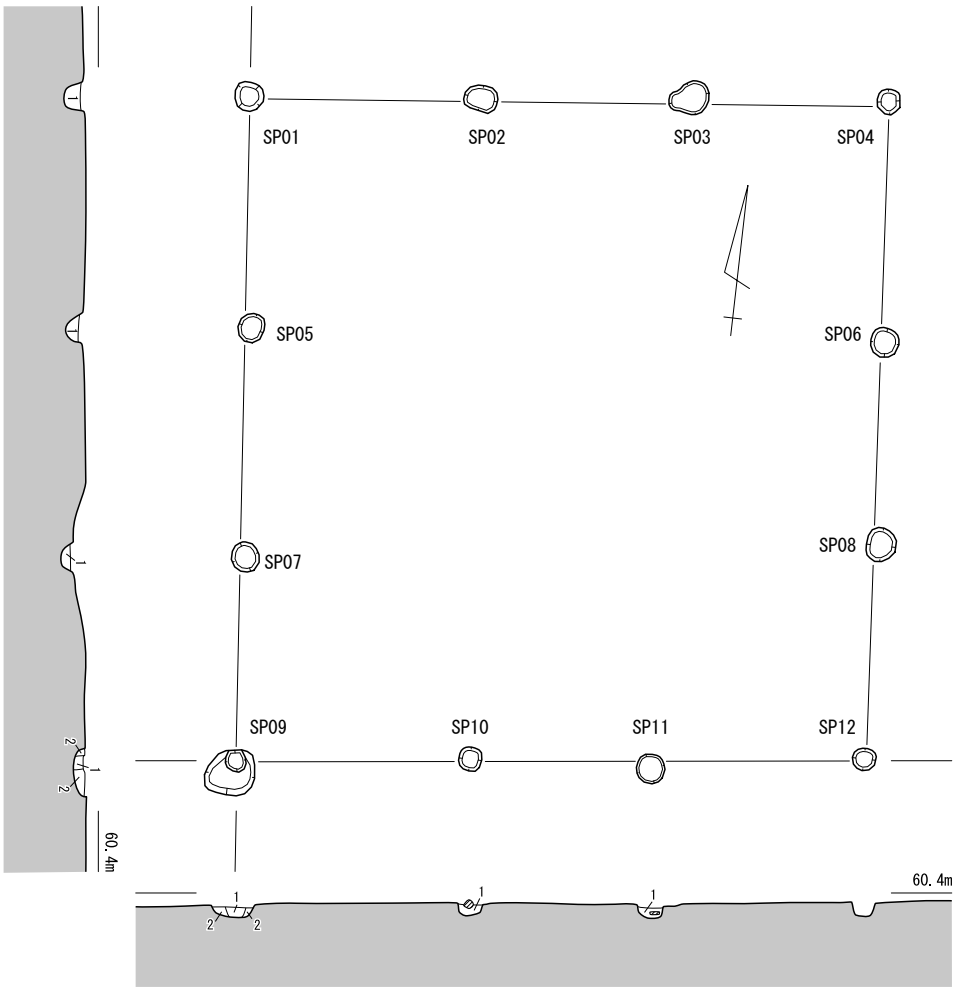
SP11
1. 10YR4/2　灰黄褐　中砂混じり粘質シルト～極細砂　しまり中　粘性中
2. 10YR3/3　暗褐　中砂混じり粘質シルト～細砂　しまり中　粘性中

SP12
1. 10YR4/2　灰黄褐　粘質シルト～極細砂　しまり中　粘性中
2. 10YR3/3　暗褐　中砂混じり粘質シルト～細砂　しまり中　粘性中

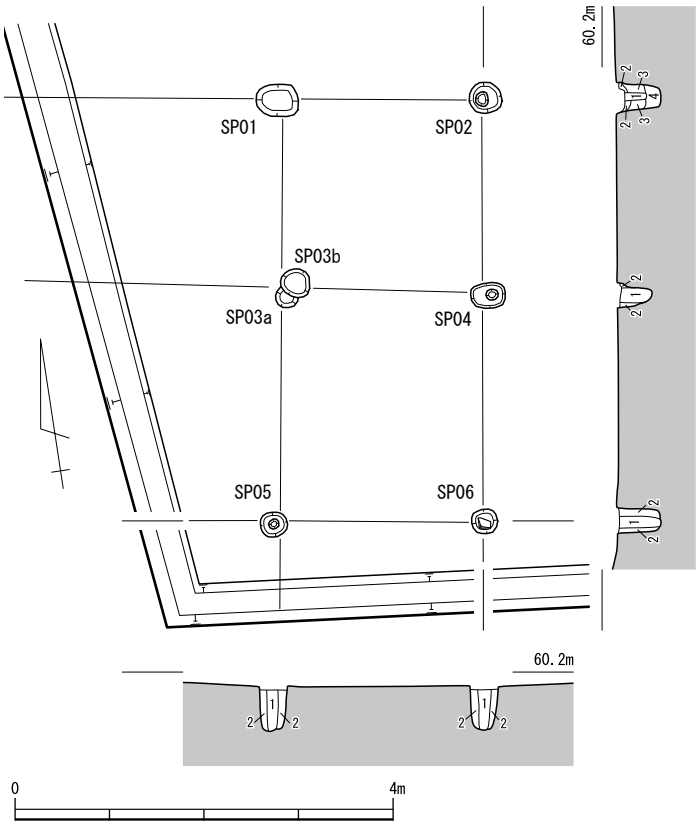
SP13
1. 10YR3/2　黒褐　粘質シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性やや強い
2. 10YR3/3　暗褐　粘質シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性やや強い

嶋6区　SB03・04平面図・断面図

SB05



SB06



SB05

SP01
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト混じり中砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか
　直径２～８cm大のレキ 10%程度含む

SP05
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト混じり中砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか
　直径２～８cm大のレキ 5%程度含む

SP07
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト混じり中砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか
　直径２～８cm大のレキ 10%程度含む

SP09
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト混じり中砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか
　直径２～８cm大のレキ 10%程度含む
2. 10YR4/2　灰黄褐　細砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか

SP10
1. 10YR4/2　灰黄褐　細砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか
　直径１～12cm大のレキ 20%程度含む

SP11
1. 10YR4/2　灰黄褐　しまり弱い　粘性わずか
　直径１～10cm大のレキ 20%程度含む

SB06

SP02
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト～極細砂　しまり中　粘性中
2. 10YR3/2　黒褐　シルト～極細砂　しまり中　粘性中
3. 10YR3/3　暗褐　シルト～細砂　しまり中　粘性中
4. 10YR3/1　黒褐　シルト～極細砂　しまり中　粘性中

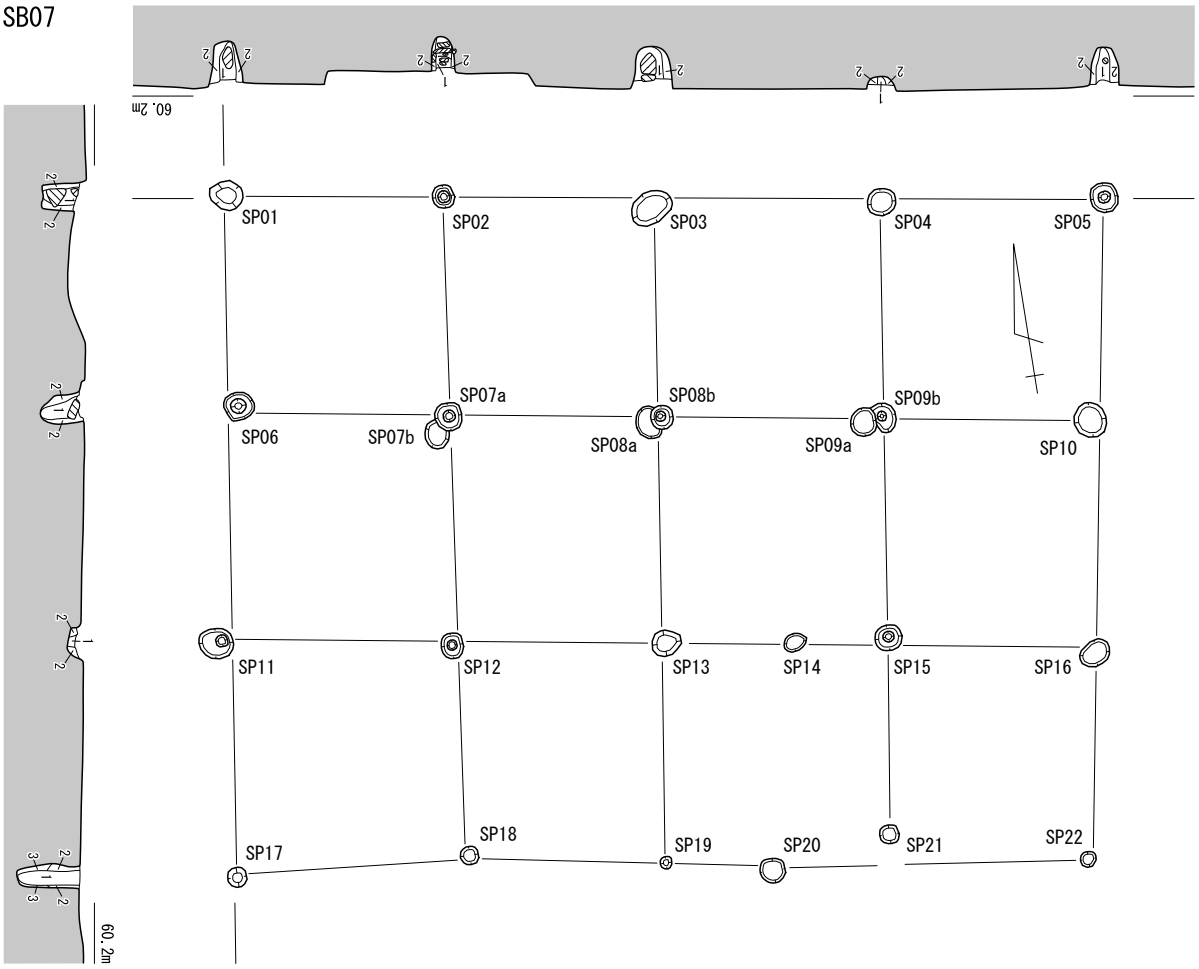
SP04
1. 10YR3/2　黒褐　粘質シルト～細砂　しまりやや強い　粘性やや弱い
2. 10YR4/1　褐灰　粘質シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性中

SP05
1. 10YR3/2　黒褐　極細砂～細砂　しまりやや強い　粘性中
2. 10YR4/1　褐灰　シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性やや弱い

SP06
1. 10YR2/2　黒褐　シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性中
2. 10YR3/2　黒褐　シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性中

嶋６区　SB05・06 平面図・断面図

SB07



SB07

SP01 1. 10YR2/3 黒褐 粘質シルト～細砂 しまりやや強い 粘性強い
2. 10YR4/1 褐灰 中砂混じり粘質シルト～極細砂 しまり強い 粘性やや強い

SP02 1. 10YR4/2 灰黄褐 中砂～粗砂混じり粘質シルト～極細砂 しまり中 粘性強い
2. 10YR3/3 暗褐 中砂混じりシルト～細砂 しまり弱い 粘性やや強い

SP03 1. 10YR4/1 褐灰 粘質シルト混じり中砂～粗砂 しまり中 粘性強い
2. 10YR4/2 灰黄褐 粘質シルト混じり細砂～粗砂 しまり中 粘性中

SP04 1. 10YR4/2 灰黄褐 中砂混じり粘質シルト～極細砂 しまり弱い 粘性中
2. 10YR3/3 暗褐 中砂混じり粘質シルト～細砂 しまり弱い 粘性中

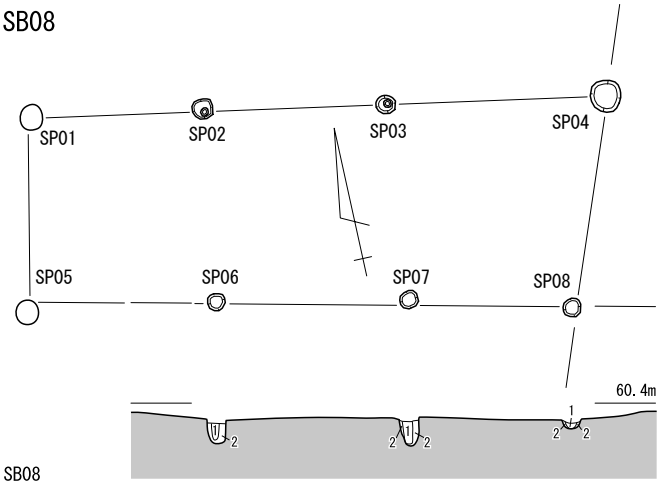
SP05 1. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト～極細砂 しまり中 粘性やや弱い
2. 10YR4/1 褐灰 中砂混じり粘質シルト～極細砂 しまり中 粘性弱い

SP06 1. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト～極細砂 しまり強い 粘性強い
2. 10YR3/3 暗褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性やや強い

SP11 1. 10YR4/2 灰黄褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中
2. 10YR3/2 黒褐 極細砂～細砂 しまりやや強い 粘性中

SP17 1. 10YR2/2 黒褐 シルト～極細砂 しまり中 粘性中
2. 10YR3/2 黒褐 シルト～細砂 しまりやや強い 粘性やや強い
3. 10YR4/3 にぶい黄褐 中砂混じりシルト～細砂 しまり弱い 粘性弱い

SB08



SB08

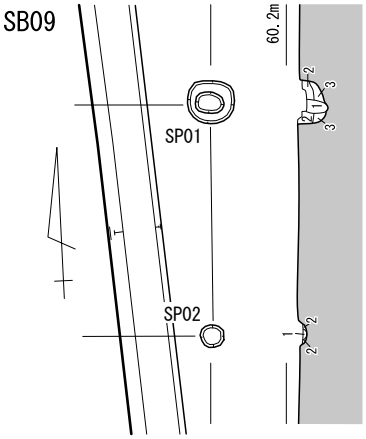
SP04 1. 10YR4/1 褐灰 シルト～極細砂 しまり中 粘性中
2. 10YR3/2 黒褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中

SP06 1. 10YR3/3 暗褐 シルト～細砂 しまりやや強い 粘性やや弱い
2. 10YR3/2 黒褐 シルト～細砂 しまりやや強い 粘性中

SP07 1. 10YR3/2 黒褐 シルト～細砂 しまり中 粘性中
2. 10YR3/3 暗褐 極細砂～細砂 しまり中 粘性中

SP08 1. 10YR4/1 褐灰 シルト～極細砂 しまり中 粘性中
2. 10YR3/2 黒褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中

SB09



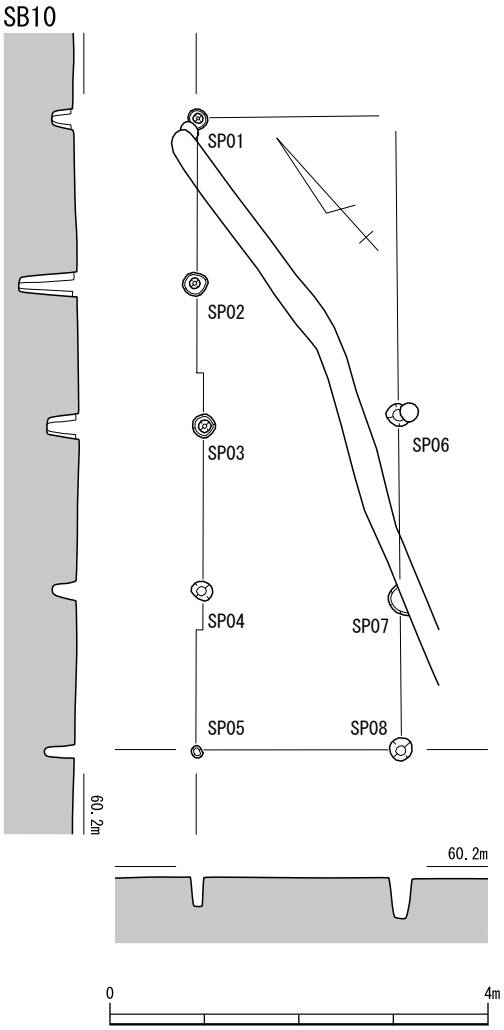
SB09

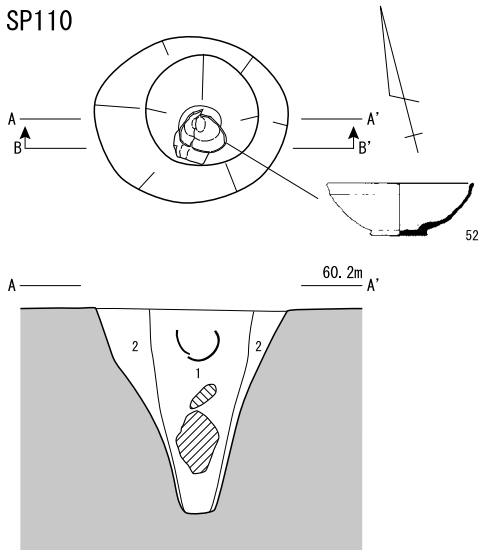
SP01
1. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中
2. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト～細砂 しまりやや強い 粘性中
3. 10YR4/4 褐 粘質シルト～細砂 しまりやや強い 粘性やや強い

SP02
1. 10YR4/2 灰黄褐 粘質シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性やや強い
2. 10YR2/2 黒褐 シルト～極細砂 しまりやや強い 粘性中

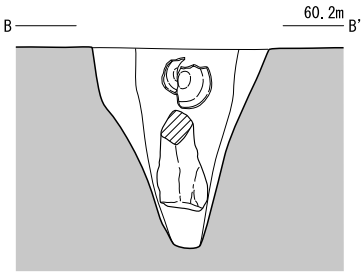
0 4m

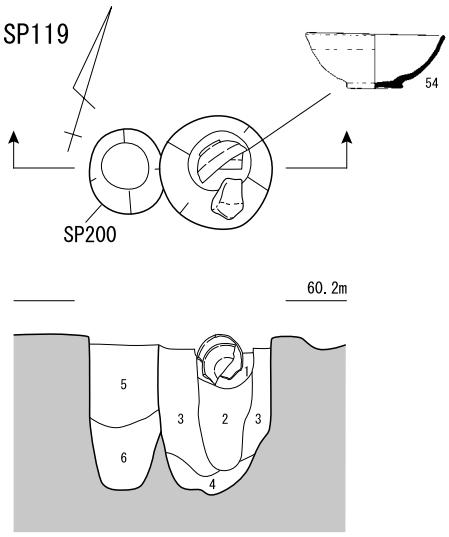
嶋6区 SB07・08・09 平面図・断面図



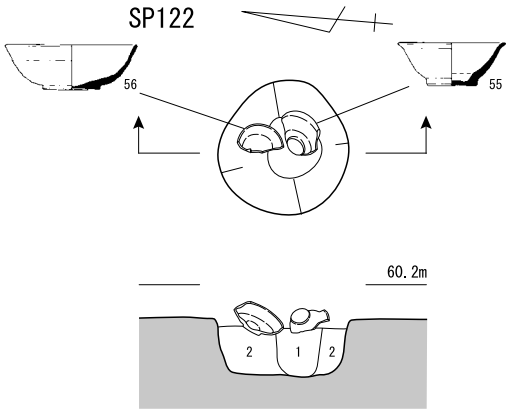


1. 10YR3/2　黒褐　　極細砂～細砂　しまり中　粘性弱い
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　細砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか





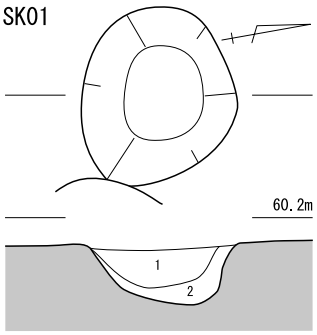
1. 10YR3/2　黒褐　　シルト質細砂　しまり中　粘性強い　炭粒含む
2. 10YR2/2　黒褐　　粘質シルト～細砂　しまりやや強い　粘性やや強い　炭粒含む
3. 10YR4/2　灰黄褐　　シルト～細砂　しまりやや強い　粘性中
4. 10YR3/2　黒褐　　細砂混じり粘質シルト　しまり中　粘性やや強い
5. 10YR4/3　にぶい黄褐　中砂混じり極細砂～細砂　しまりやや弱い　粘性弱い
6. 10YR5/3　にぶい黄褐　中砂混じりシルト～細砂　しまりやや弱い　粘性弱い



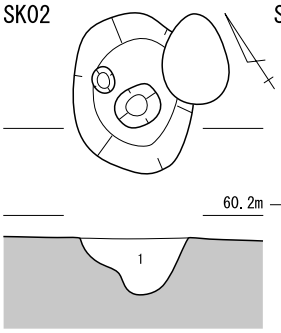
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト質極細砂～細砂　しまり弱い　粘性やや弱い
2. 10YR3/2　黒褐　　粗砂混じり細砂　しまり弱い　粘性弱い

0　1m

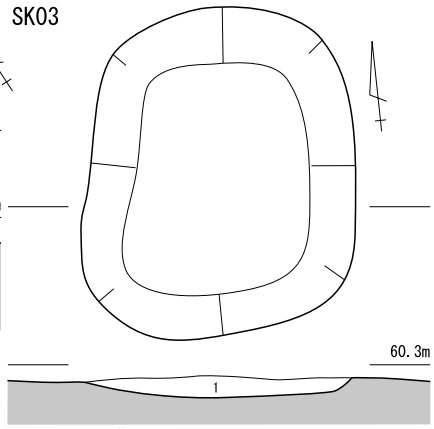
嶋6区　SB10・柱穴平面図・断面図



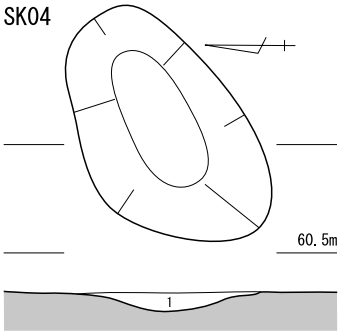
1. 10YR4/2　灰黄褐　極細砂～細砂
　しまり弱い　粘性弱い　炭化物わずかに含む
2. 10YR3/2　黒褐　　粘質シルト～細砂
　しまり中　粘性やや強い　炭化物わずかに含む



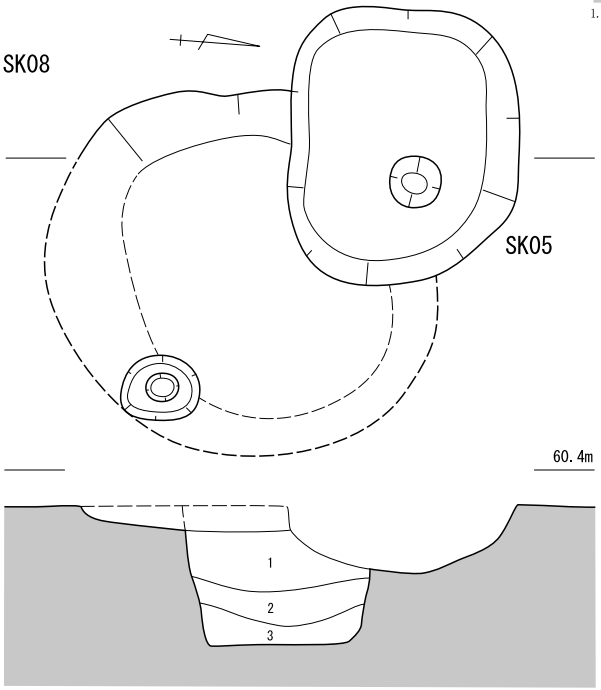
1. 10YR2/2　黒褐　シルト～極細砂
　しまり中　粘性中



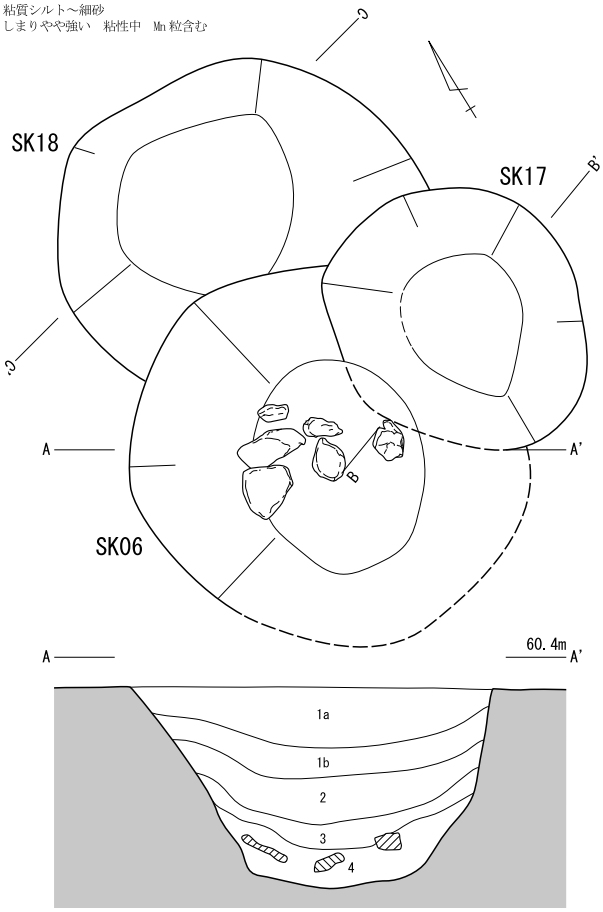
1. 10YR5/3　にぶい黄褐　粘質シルト～細砂
　しまりやや強い　粘性中　Mn 粒含む



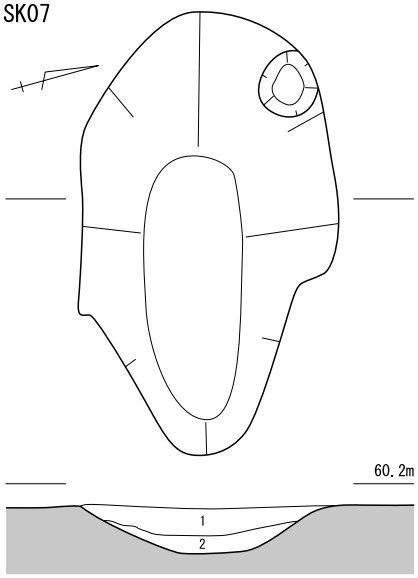
1. 10YR4/2　灰黄褐　極細砂　しまりやや強い　粘性中



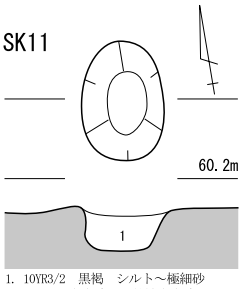
1. 10YR3/2　黒褐　　粘質シルト混じり細砂～粗砂　しまり弱い　粘性弱い　1～3㎝大のレキ 1% 未満含む
2. 10YR4/2　灰黄褐　粘質シルト混じり中砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか　0.5～5㎝大のレキ 2% 程度含む
3. 10YR4/1　褐灰　　中砂～粗砂　しまり弱い　粘性ほんのわずか　0.5～4㎝大のレキ 5% 程度含む



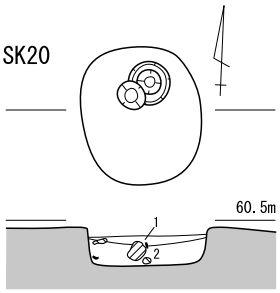
1a. 10YR4/1　褐灰　　細砂～中砂　しまり弱い　粘性なし　2～4㎝大のレキ 5% 程度含む
1b. 10YR4/2　灰黄褐　　シルト混じり細砂～粗砂　しまり中　粘性やや弱い　2～4㎝大のレキ 7%程度含む
2. 10YR3/3　暗褐　　中砂混じりシルト～細砂　2～4㎝大のレキ 3% 程度含む
3. 10YR2/2　黒褐　　中砂混じり粘質シルト～細砂　2～4㎝大のレキ 3% 程度含む
4. 10YR4/3　にぶい黄褐　細砂～中砂　炭顕著　1.5～7㎝大のレキ 20% 程度含む



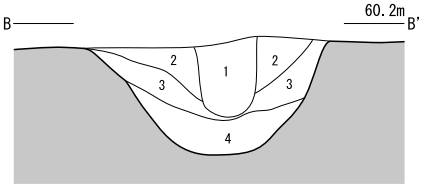
1. 10YR5/2　灰黄褐　中砂～粗砂混じり粘質シルト～細砂
　しまり中　粘性中　Mn 粒含む
2. 10YR3/2　黒褐　　粘質シルト～極細砂
　しまり中　粘性やや強い



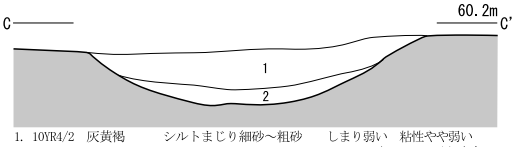
1. 10YR3/2　黒褐　シルト～極細砂
　しまりやや強い　粘性やや強い



1. 10YR4/3　にぶい黄褐　極細砂～細砂
　しまり中　粘性弱い
2. 10YR3/2　黒褐　　中砂混じり極細砂～細砂
　しまり中　粘性弱い



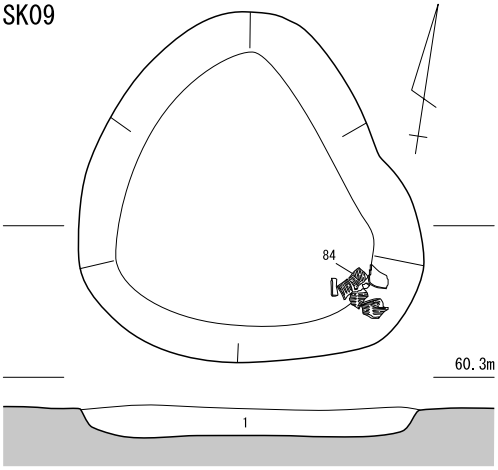
1. 10YR4/3　にぶい黄褐　粗砂まじり極細砂～細砂　しまり中　粘性弱い　1～2㎝大のレキ 1% 未満含む
2. 10YR4/2　灰黄褐　　粗砂まじり細砂　しまり弱い　粘性弱い　2㎝大のレキ 2% 程度含む
3. 10YR3/3　暗褐　　粗砂まじりシルト～細砂　しまり弱い　粘性弱い　2～3㎝大のレキ 5% 程度含む
4. 10YR3/2　黒褐　　シルトまじり細砂～粗砂　しまり弱い　粘性わずか　1～3㎝大のレキ 10% 程度含む



1. 10YR4/2　灰黄褐　　シルトまじり細砂～粗砂　　しまり弱い　粘性やや弱い
　　2～5㎝大のレキ 3%程度含む
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　中砂～粗砂 しまりなし　粘性なし　2～5㎝大のレキ 2% 程度含む

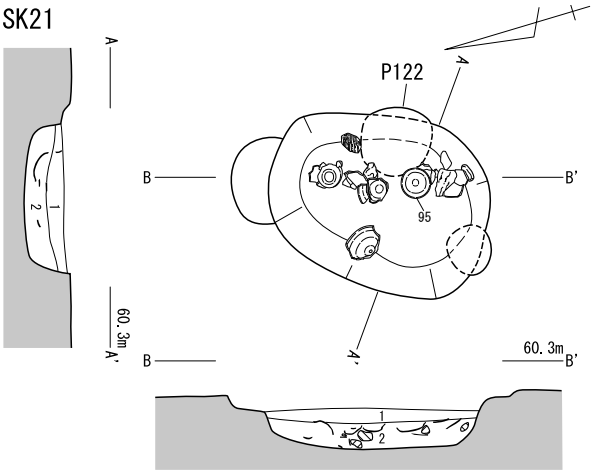
嶋6区　土坑①平面図・断面図

SK09



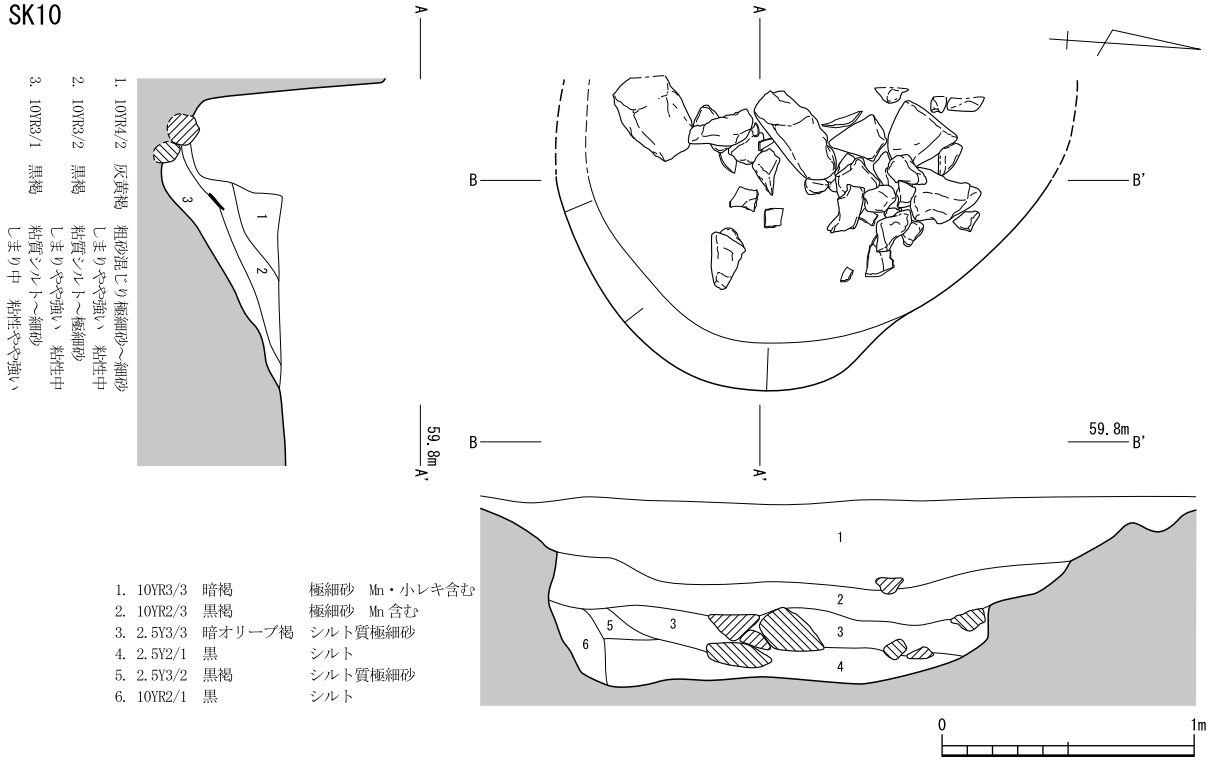
1. 10YR4/3　にぶい黄褐　極細砂～細砂　しまりやや強い　粘性中　Mn 粒含む

SK21



1. 10YR4/2　灰黄褐　中砂混じりシルト～細砂　しまり中　粘性弱い
2. 10YR3/2　黒褐　中砂混じりシルト～細砂　しまり中　粘性弱い

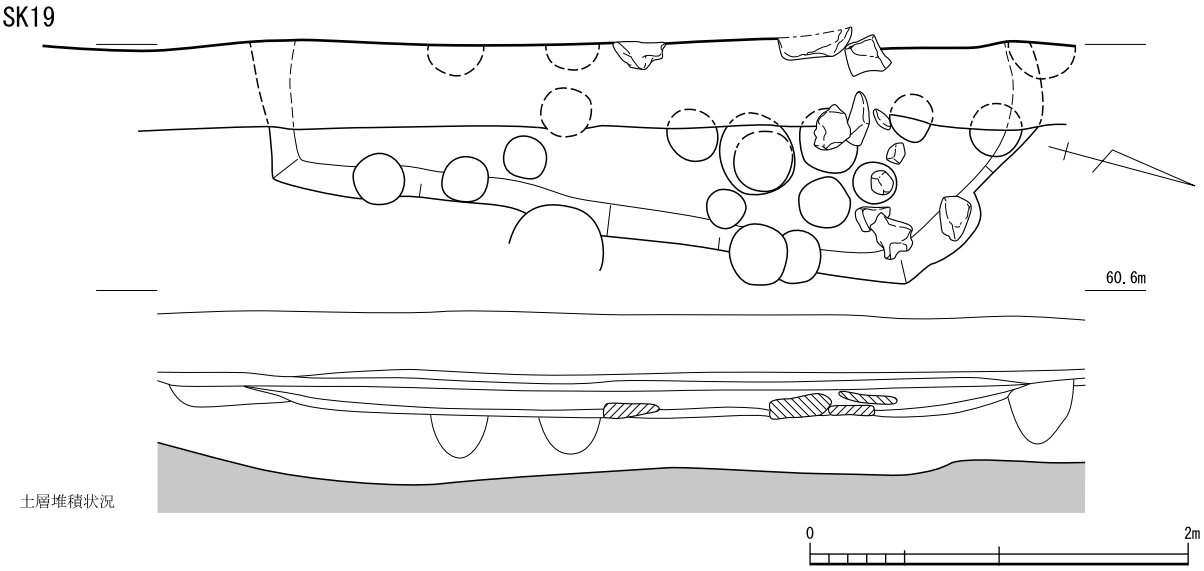
SK10



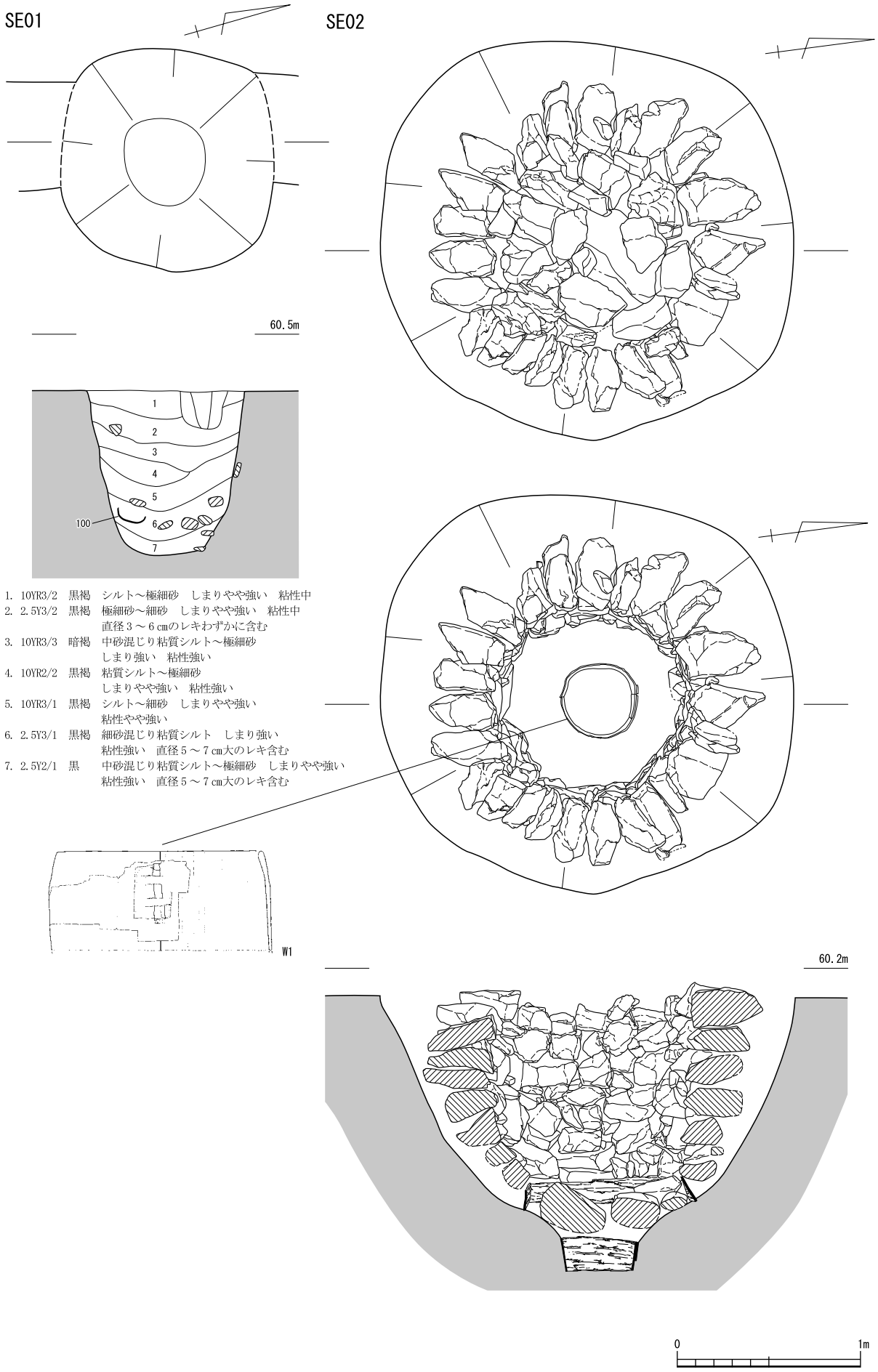
1. 10YR4/2　灰黄褐　粗砂混じり極細砂～細砂　しまりやや強い　粘性中
2. 10YR3/2　黒褐　粘質シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性中
3. 10YR3/1　黒褐　粘質シルト～細砂　しまり中　粘性やや強い

1. 10YR3/3　暗褐　極細砂　Mn・小レキ含む
2. 10YR2/3　黒褐　極細砂　Mn 含む
3. 2.5Y3/3　暗オリーブ褐　シルト質極細砂
4. 2.5Y2/1　黒　シルト
5. 2.5Y3/2　黒褐　シルト質極細砂
6. 10YR2/1　黒　シルト

SK19

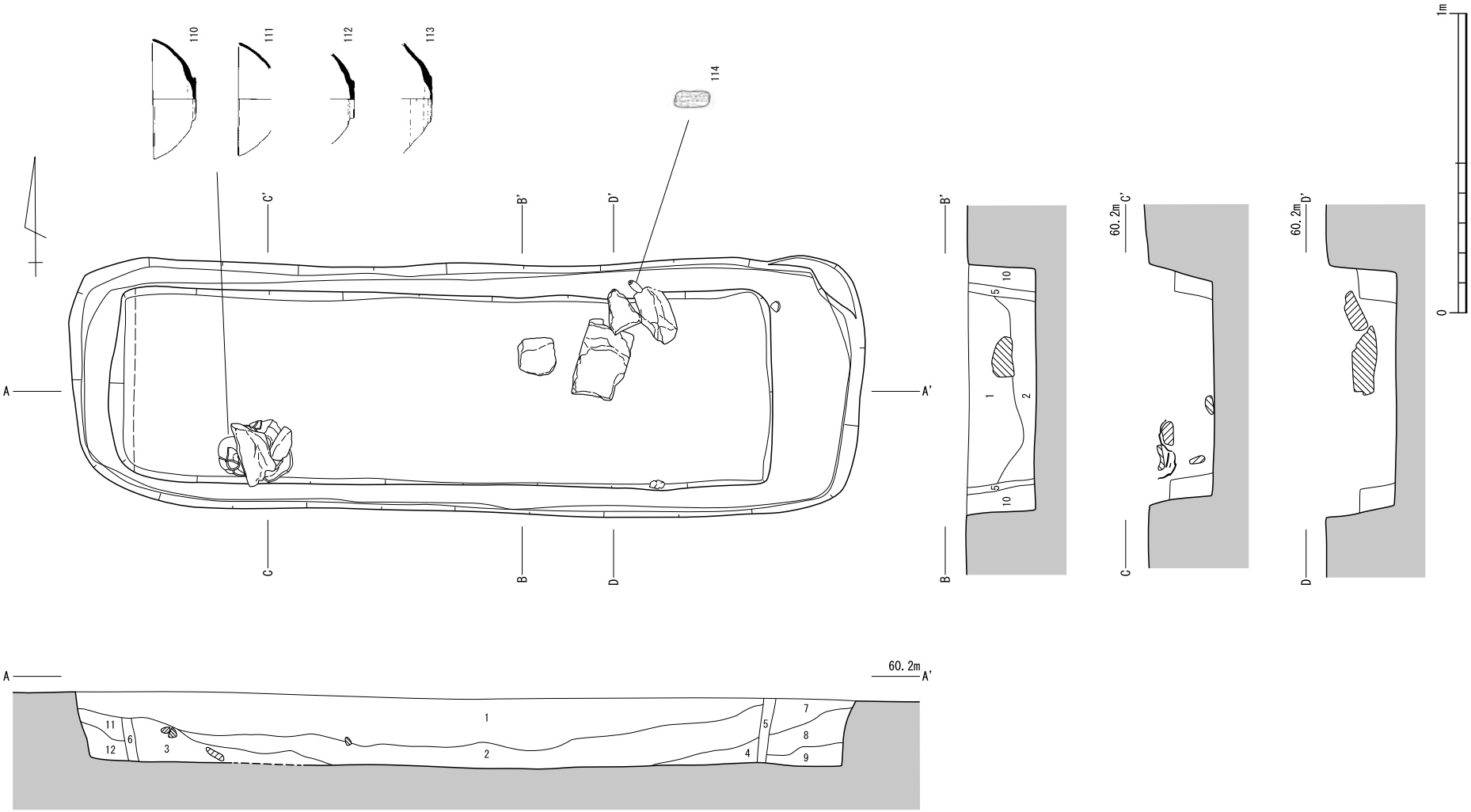


嶋６区　土坑②平面図・断面図



1. 10YR3/2　黒褐　シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性中
2. 2.5Y3/2　黒褐　極細砂～細砂　しまりやや強い　粘性中
直径３～６㎝のレキわずかに含む
3. 10YR3/3　暗褐　中砂混じり粘質シルト～極細砂
しまり強い　粘性強い
4. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト～極細砂
しまりやや強い　粘性強い
5. 10YR3/1　黒褐　シルト～細砂　しまりやや強い
粘性やや強い
6. 2.5Y3/1　黒褐　細砂混じり粘質シルト　しまり強い
粘性強い　直径５～７㎝大のレキ含む
7. 2.5Y2/1　黒　中砂混じり粘質シルト～極細砂　しまりやや強い
粘性強い　直径５～７㎝大のレキ含む

嶋６区　井戸平面図・断面図

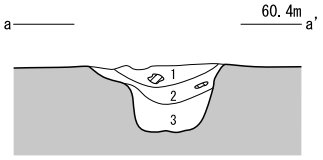


嶋６区　木棺墓平面図・断面図

SX01

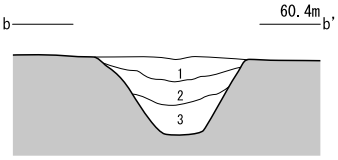
1. 10YR3/2　黒褐　シルト～極細砂　しまり中　粘性中　炭化物含む
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　中砂混じり極細砂～細砂　しまり弱い　粘性中
3. 10YR5/3　にぶい黄褐　極細砂～細砂混じり中砂～粗砂　しまりわずか　粘性無し　直径２～６㎝大のレキ 1%程度含む
4. 10YR4/4　褐　細砂～中砂　しまりわずか　粘性わずか
5. 10YR3/4　暗褐　シルト～細砂　しまり中　粘性中
6. 10YR3/2　黒褐　シルト～極細砂　しまり中　粘性中
7. 10YR3/3　暗褐　シルト～細砂　しまり中　粘性弱い　炭化物含む
8. 10YR4/2　灰黄褐　細砂混じり粘質シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性やや強い　直径２～４㎝大のレキ 3%程度含む
9. 10YR4/1　褐灰　シルト混じり細砂～中砂　しまり弱い　粘性わずか
10. 10YR3/3　暗褐　中砂混じりシルト～細砂　しまり弱い　粘性わずか
11. 10YR4/2　灰黄褐　シルト～細砂混じり中砂～中レキ　しまり弱い　粘性わずか　直径２～４㎝大のレキ 5%程度含む
12. 10YR4/1　褐灰　シルト混じり細砂～中砂　しまり弱い　粘性わずか

SD01



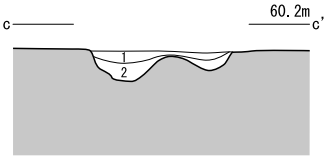
1. 10YR4/2　灰黄褐　極細砂～細砂
　しまりやや強い　粘性中
2. 10YR3/2　黒褐　シルト～細砂
　しまり中　粘性中
3. 10YR3/3　暗褐　細砂～中砂混じり粘質シルト～極細砂
　しまり中　粘性中
　ベース及びベース上部の土壌化層を
　直径２cm大のブロック状に７%程度含む

SD01



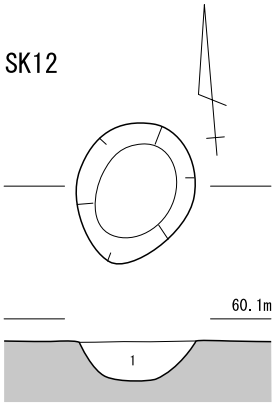
1. 10YR4/2　灰黄褐　シルト～細砂
　しまりやや強い　粘性中
2. 10YR3/3　暗褐　シルト～極細砂
　しまりやや強い　粘性やや強い
3. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト～極細砂
　しまり中　粘性中
　両端にベースをブロック状に含む

SD01



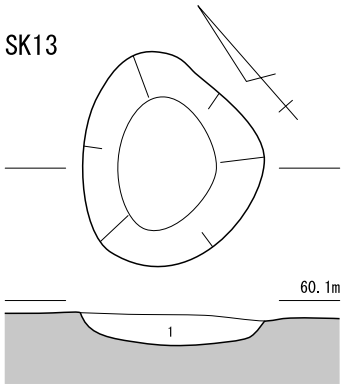
1. 10YR4/2　灰黄褐　極細砂～細砂
　しまり中　粘性中
2. 10YR3/3　暗褐　粘質シルト～細砂
　しまりやや弱い　粘性中

SK12



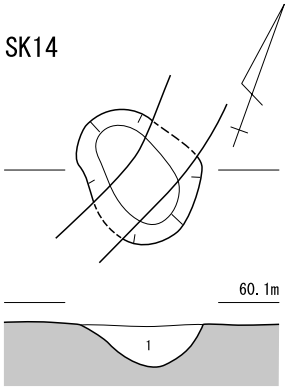
1. 10YR4/2　灰黄褐　極細砂～細砂
　しまり中　粘性弱い

SK13



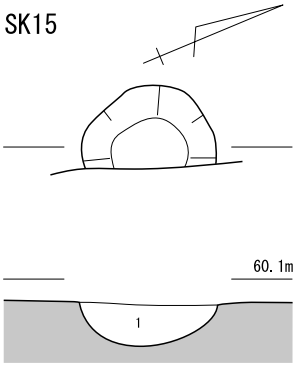
1. 10YR2/2　黒褐　極細砂～細砂
　しまりやや強い　粘性中

SK14



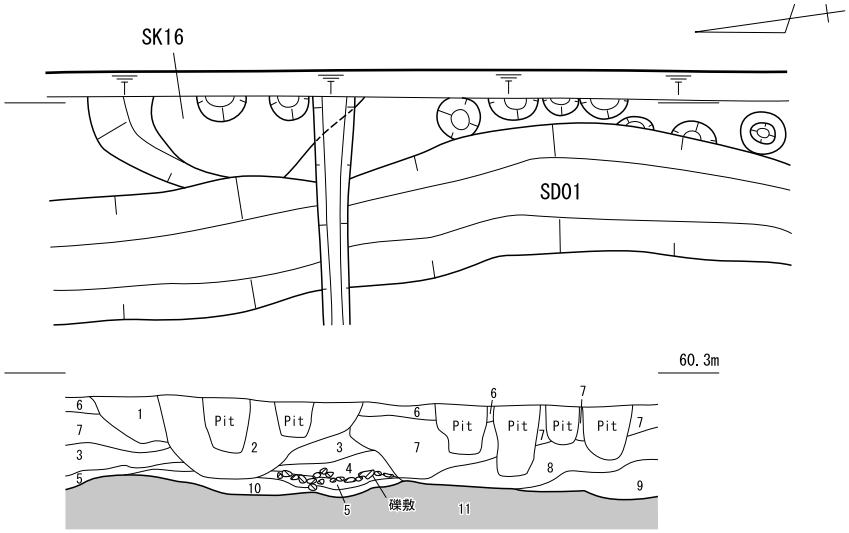
1. 10YR2/3　黒褐　シルト～極細砂
　しまりやや強い　粘性中

SK15

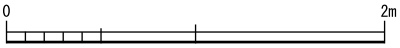


1. 10YR3/2　黒褐　シルト～細砂
　しまり中　粘性中

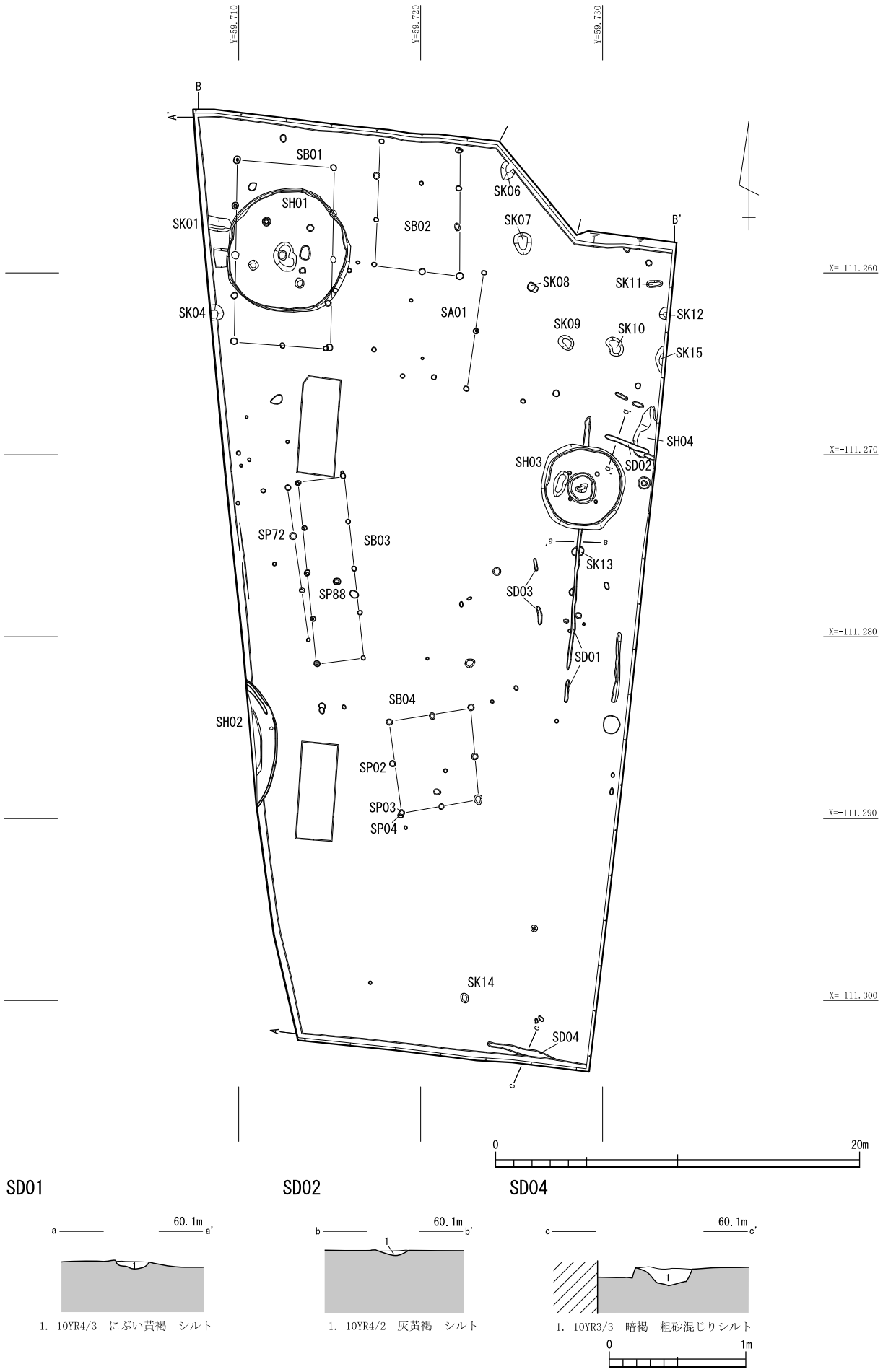
SK16 周辺



1. 10YR3/3　暗褐　粘質シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性やや強い
2. 10YR3/2　黒褐　粘質シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性強い
　炭粒・中世須恵器含む
3. 10YR2/2　黒褐　シルト～極細砂　しまりやや強い　粘性やや強い
4. 10YR3/2　黒褐　粘質シルト～極細砂　しまり強い　粘性強い
5. 10YR3/3　暗褐　粘質シルト～極細砂　しまり強い　粘性やや強い
6. 10YR2/1　黒　粘質シルト～極細砂　しまり強い　粘性やや強い
7. 10YR4/3　にぶい黄褐　シルト～細砂　しまり中　粘性中
8. 10YR4/3　にぶい黄褐　シルト～細砂　しまり中　粘性やや強い
9. 10YR4/4　褐　シルト～細砂　しまり中　粘性やや強い　小レキ～中レキ混じる
10. 10YR4/4　褐　中砂～粗砂混じり粘質シルト～細砂　しまり弱い　粘性弱い
11. 10YR3/4　暗褐　シルト混じり中砂～粗砂　しまりなし　粘性わずか

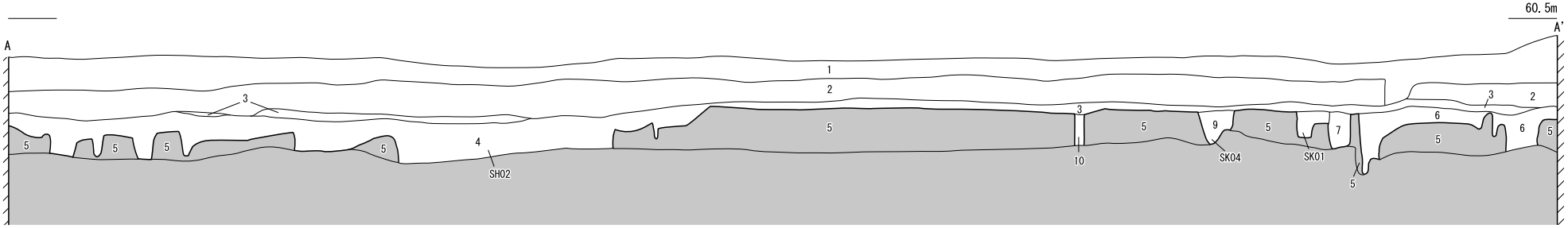


嶋６区　溝・小土坑他平面図・断面図

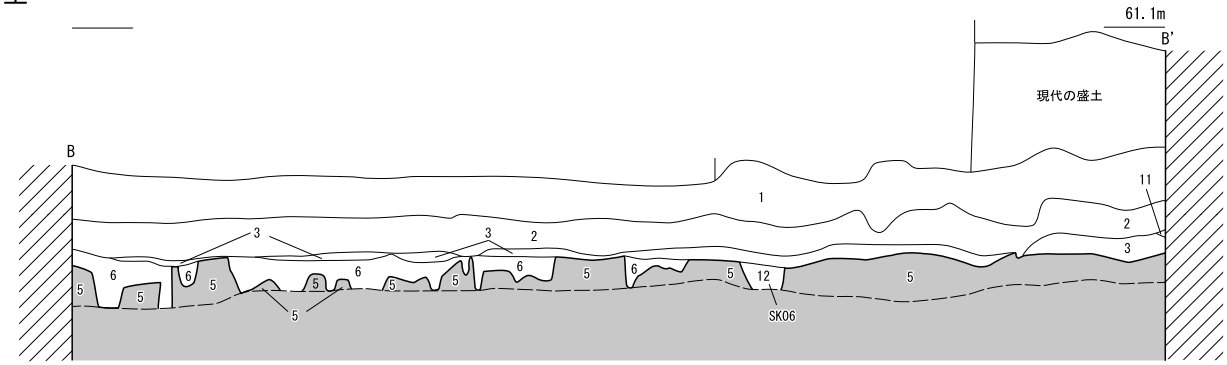

Y=69.710
Y=69.720
Y=69.730
X=-111.260
X=-111.270
X=-111.280
X=-111.290
X=-111.300
B
B'
A
A'
SB01
SH01
SK01
SK04
SB02
SK06
SK07
SK08
SK11
SK12
SK15
SA01
SK09
SK10
SH04
SH03
SD02
SP72
SB03
SP88
SK13
SD03
SD01
SB04
SH02
SP02
SP03
SP04
SK14
SD04
0
20m
SD01
SD02
SD04
60.1m
a
a'
b
b'
c
c'
1
1. 10YR4/3 にぶい黄褐 シルト
1. 10YR4/2 灰黄褐 シルト
1. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルト
0
1m

津万 1W 区　全体図

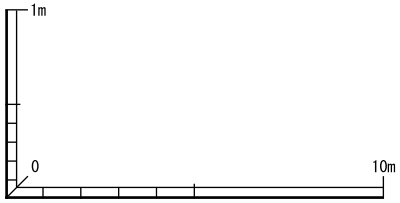
西壁



北壁



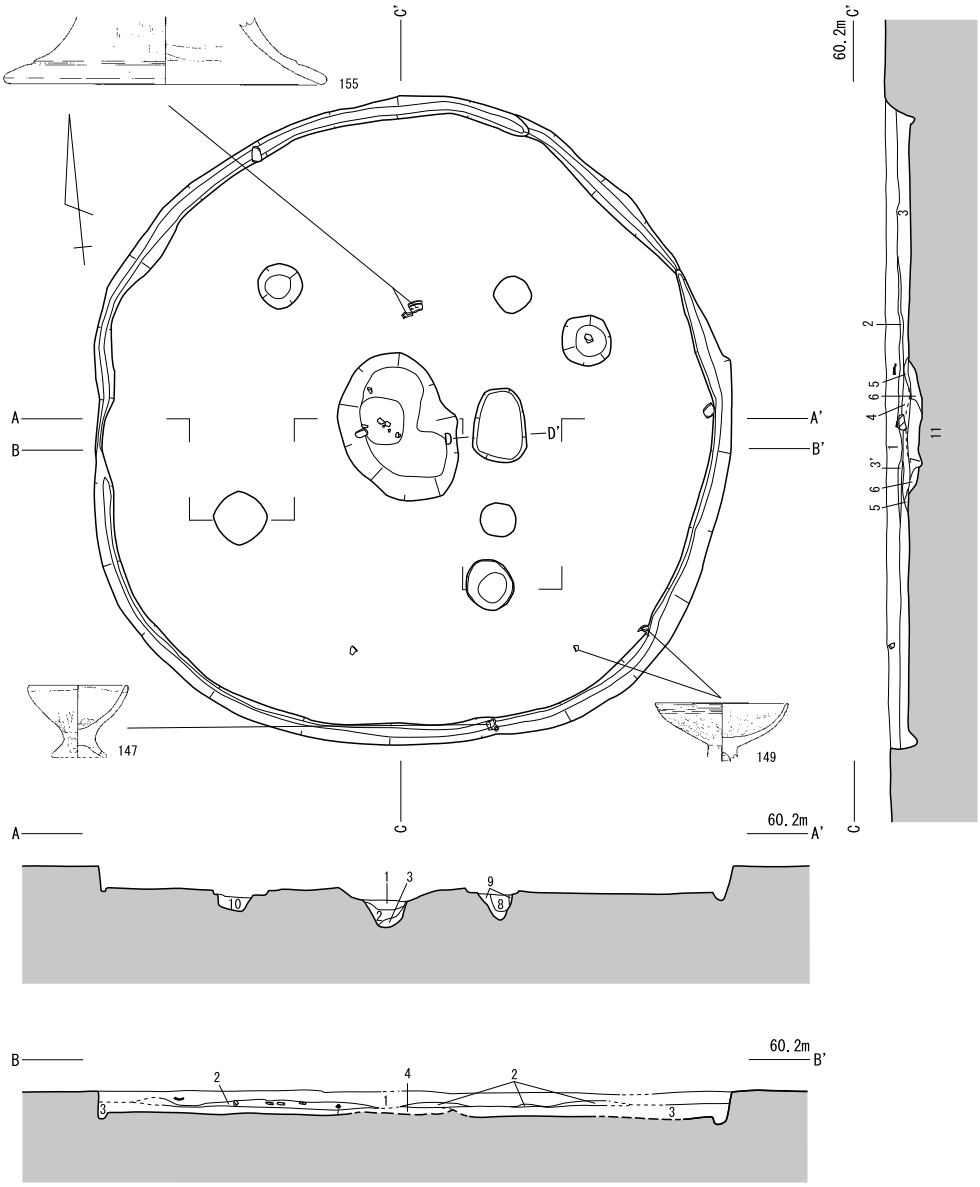
1. 耕土
2. 床土
3. 10YR4/4　褐　　細砂～粗砂　Fe_2O_3多い　５の一部が土壌化したものか？
4. 10YR2/1　黒　　シルト　粗砂少量含む　流路として側溝の遺物を取り上げた層 SH02に埋土含む
5. 10YR4/2　灰黄褐　細砂～粗砂　ベース
6. 7.5YR3/2 黒褐　　シルト
7. 10YR3/4　暗褐　　粗砂～小レキ
8. 10YR3/2　黒褐　　シルト　粗砂混り SK01
9. 10YR2/2　黒褐　　シルト　SK04
10. 10YR2/2　黒褐　　極細砂～細砂　粗砂・炭化物含む ピット
11. 10YR3/3　暗褐　　粘質シルト
12. 10YR2/3　黒褐　　粘質シルト　SK06



津万 1W 区　調査区土層断面図

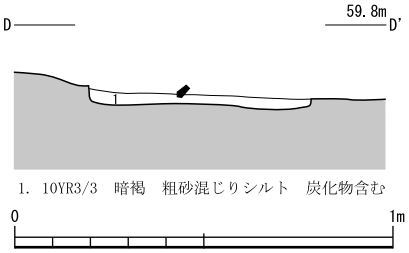
図版 21

SH01



1. 10YR2/2　黒褐　シルト
2. 10YR3/2　黒褐　シルト
3. 10YR3/3　暗褐　シルト
3'. 10YR2/3　黒褐　シルト炭混じり
4. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じりシルト　炭・焼土含む
5. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じりシルト　部分的に焼土ブロック含む
6. 10YR2/2　黒褐と 10YR5/2　灰黄褐　粗砂混じりシルト
7. 10YR2/3　黒褐　粘質シルト　炭・焼土ブロック含む
8. 10YR3/2　黒褐　シルト
9. 10YR4/2　灰黄褐　粗砂～シルト
10. 10YR4/3　にぶい黄褐～ 10YR3/3　暗褐　粗砂混じり細砂～シルト
11. 10YR4/4　褐　粗砂混じり細砂～シルト

0　4m

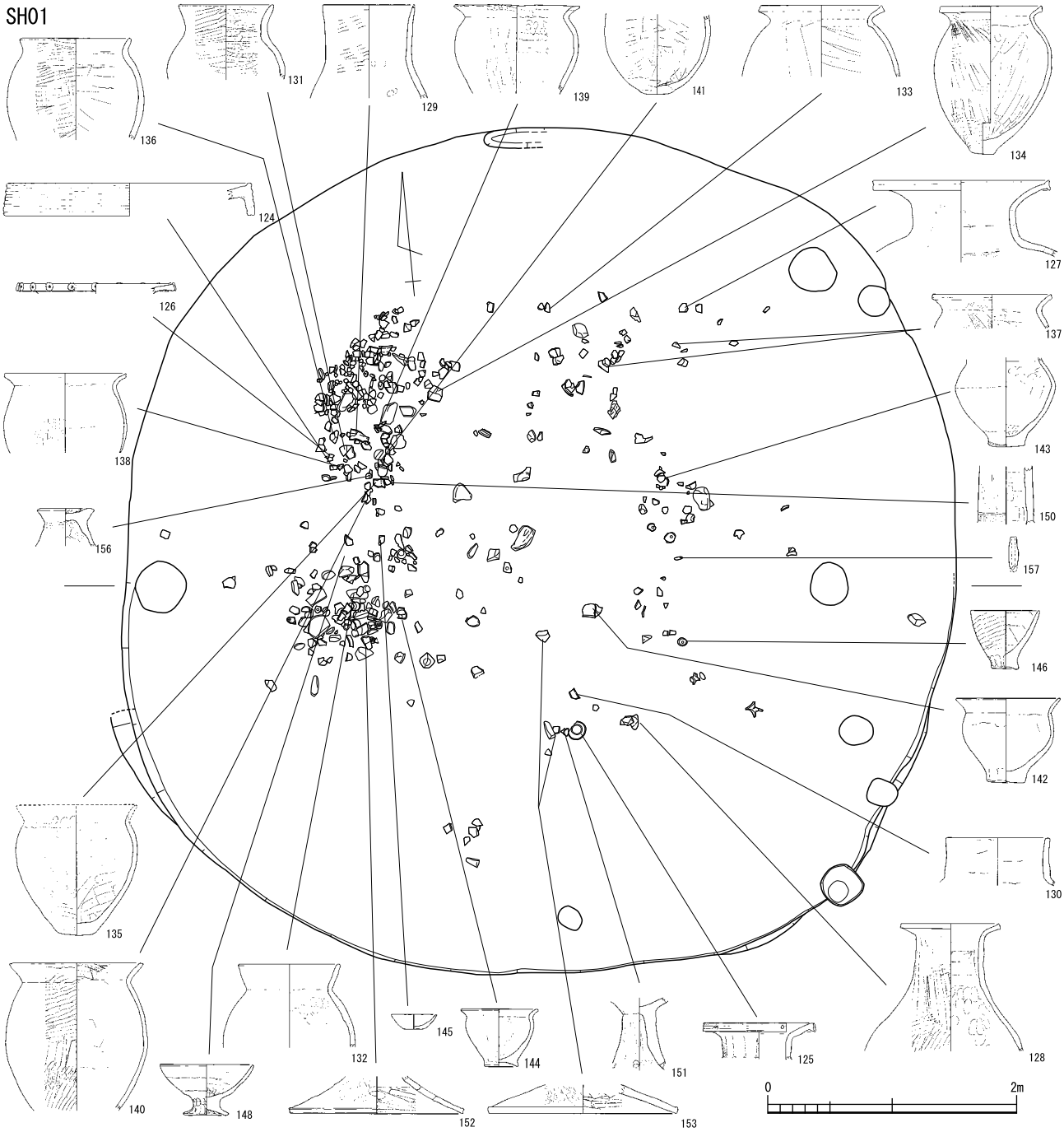


1. 10YR3/3　暗褐　粗砂混じりシルト　炭化物含む

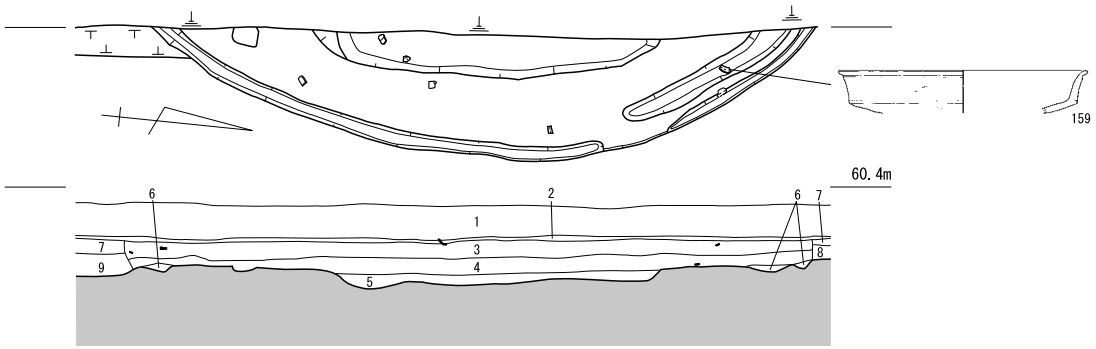
0　1m

津万 1W 区　SH01 平面図・断面図

SH01



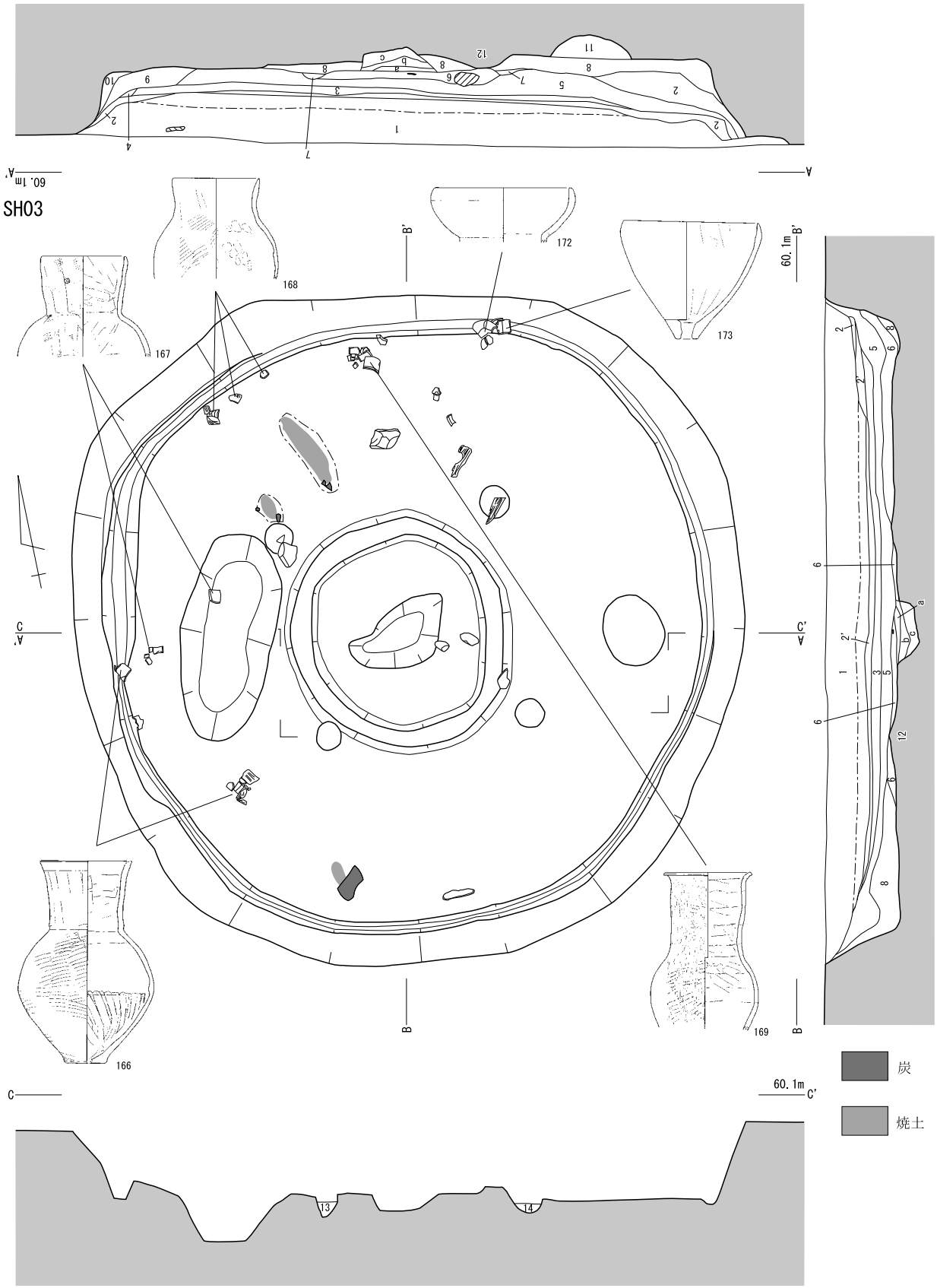
SH02



1. 2.5Y4/2　暗灰黄　粗砂・小礫混じり細砂
2. 2.5Y3/3　暗オリーブ褐　シルト混じり細砂　Fe 含む
3. 10YR2/3　黒褐　細砂　土器細片少量含む
4. 10YR2/2　黒褐　シルト～細砂　土器細片少量含む
5. 10YR3/3　暗褐　シルト～細砂と 10YR2/2　黒褐　シルト～細砂混じる
6. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト
7. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じりシルト
8. 10YR2/3　黒褐　粗砂混じりシルト
9. 10YR3/3　暗褐　粘質シルト

0　2m

津万 1W 区　SH01 遺物出土状況図・SH02 平面図・断面図

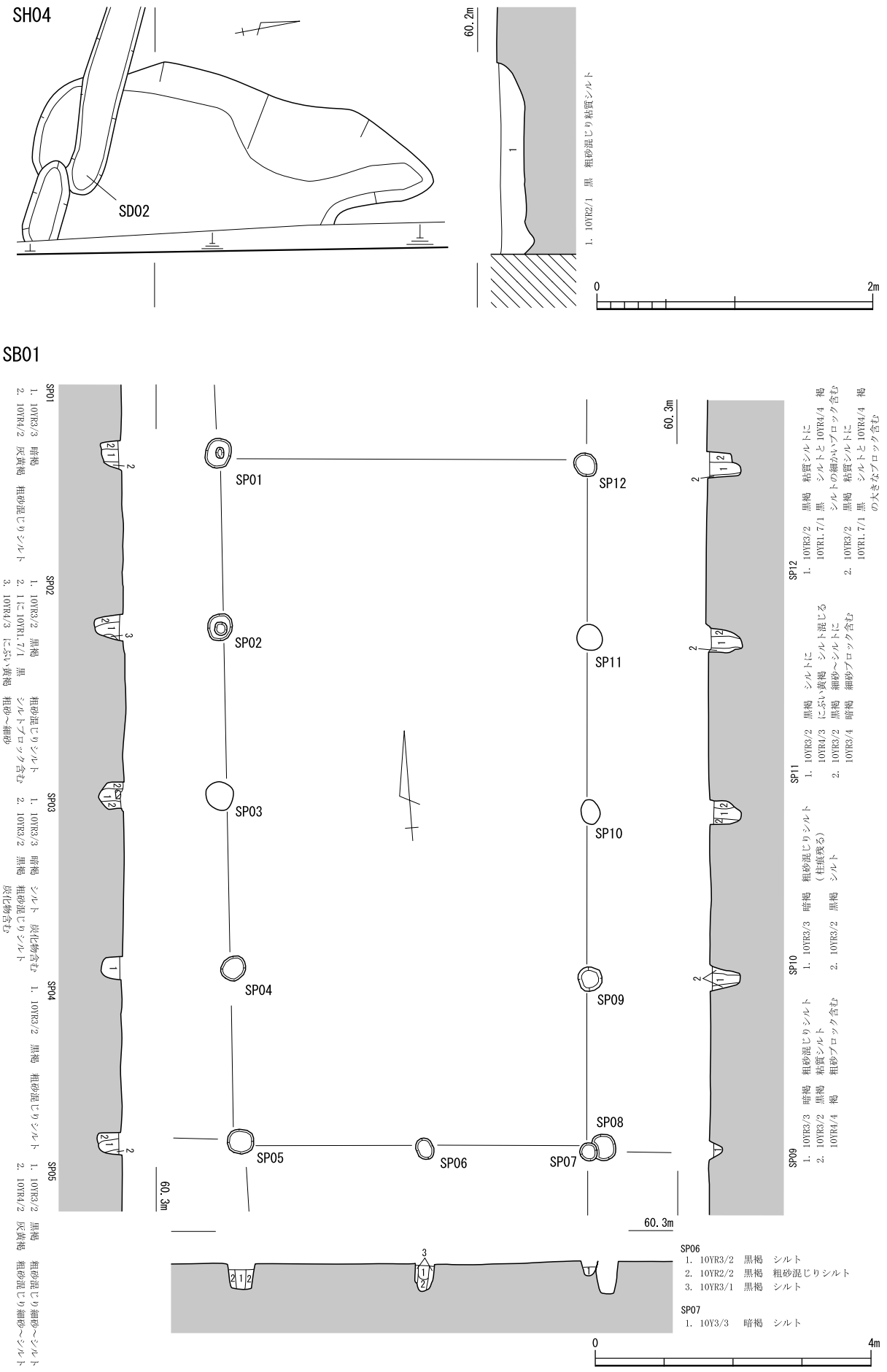


1. 10YR2/2　黒褐　シルトに 10YR3/3 暗褐　粗砂が混じる
2. 10YR3/2　黒褐　細砂～シルト
2'. 10YR3/2　黒褐　粘質シルト
3. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じり粘質シルト
4. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト　焼土含む
5. 10YR3/2　黒褐　粗砂混じりシルト
炭化物焼土ブロック含む
6. 10YR2/1　黒　粗砂混じり粘質シルト
7. 10YR4/3　にぶい黄褐　炭混じりで固くしまったシルト　周堤
8. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト
9. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じり粘質シルト
10. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト
11. 10YR2/3　黒褐　粗砂混じり粘質シルト　床面土坑埋土
12. 10YR3/4　暗褐　シルト混じり粗砂　ベース
13. 10YR3/1　黒褐　粘質シルト　炭化物含む
14. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じり粘質シルト

a. 10YR2/2　黒褐　シルト　炭を多量に含み焼土含む
b. 10YR3/4　暗褐　粘質シルト
c. 10YR3/2　黒褐　シルト混じり粗砂

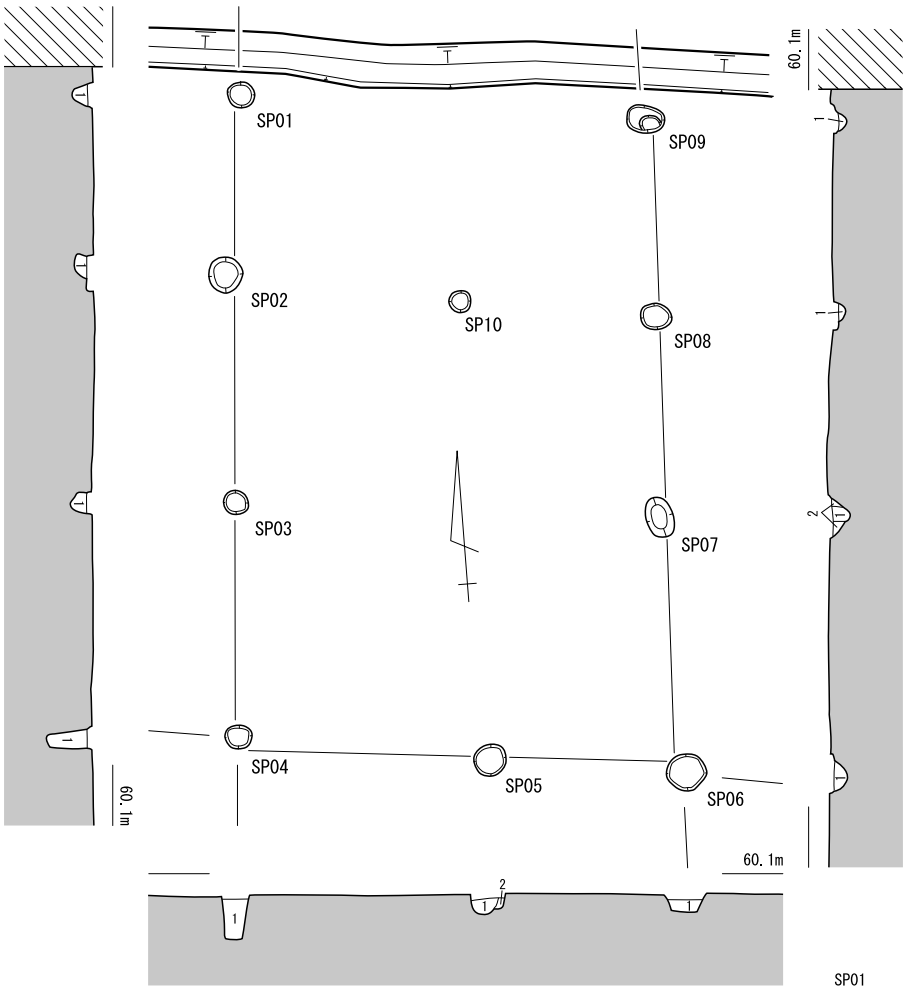
0　2m

津万 1W 区　SH03 平面図・断面図



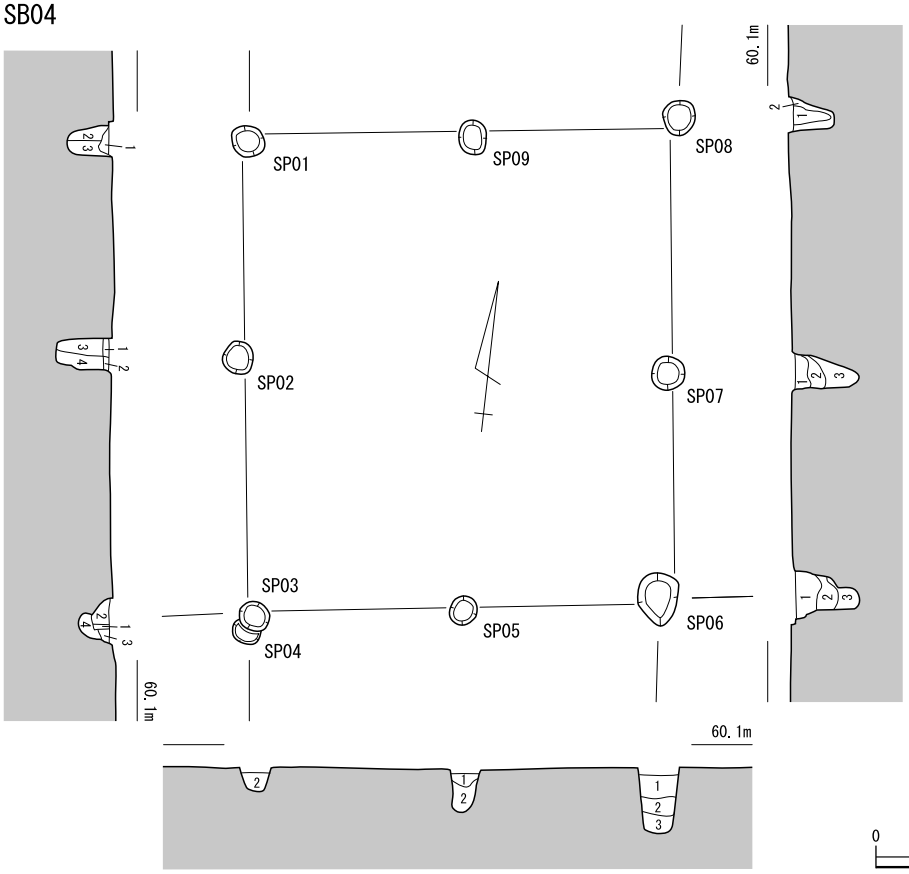
津万 1W 区　SH04・SB01 平面図・断面図

SB02



SP01
1. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト
SP02
1. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト
SP03
1. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト
SP04
1. 10YR3/2 黒褐 シルトに
10YR2/2 黒褐 粘質シルト混じる
SP05
1. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト
2. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト
SP06
1. 10YR2/3 黒褐 粘質シルト
SP07
1. 10YR2/3 黒褐 粘質シルト
2. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト
SP08
1. 10YR3/3 暗褐 粘質シルト
SP09
1. 10YR2/3 黒褐 粘質シルトに
10YR3/3 暗褐 粘質シルト混じる

SB04

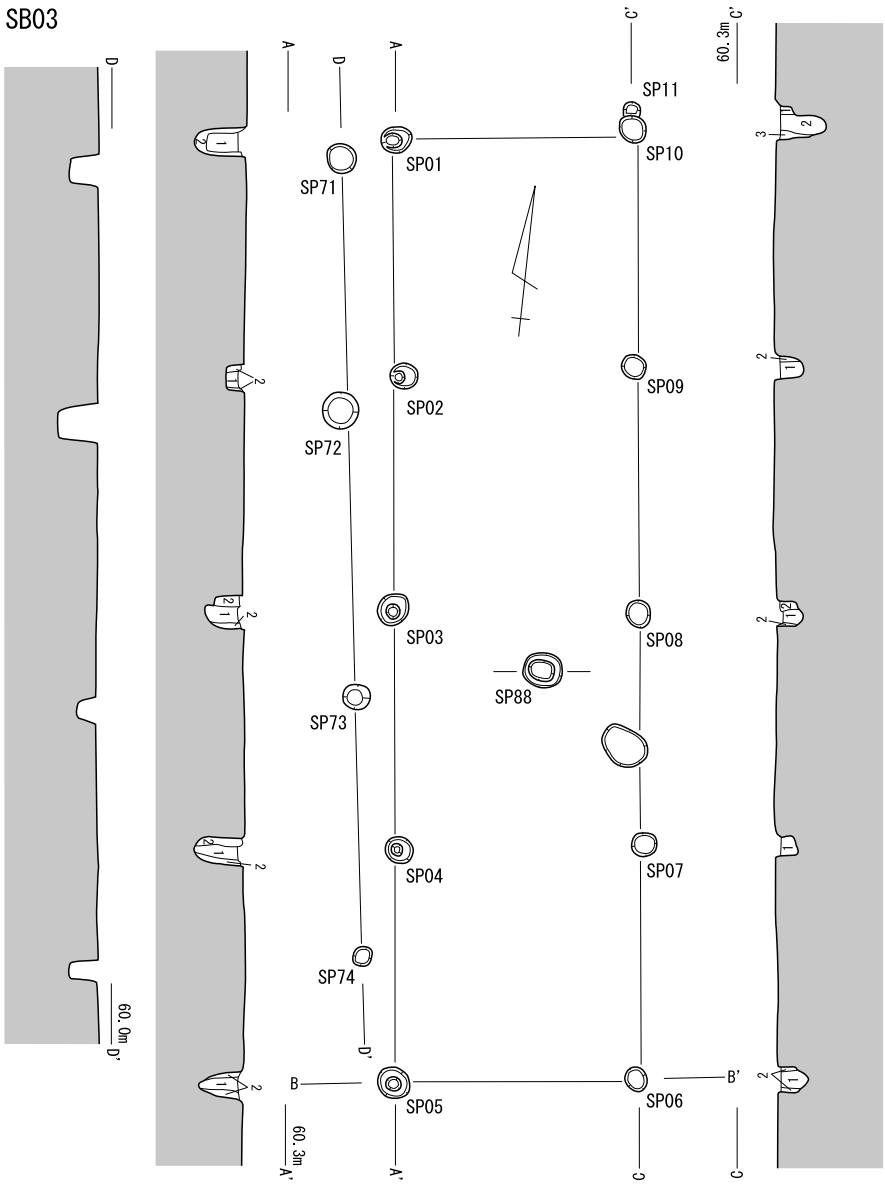


SP01
1. 10YR4/2 灰黄褐 細砂～シルト
2. 10YR3/2 黒褐 シルトに
10YR4/3 にぶい黄褐 シルトブロック混じる
3. 10YR2/2 黒褐 粗砂混じりシルトに
10YR4/3 にぶい黄褐 シルトブロック混じる
SP02
1. 10YR4/2 灰黄褐 粗砂混じりシルトに
Fe_2O_3含む
2. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト
3. 10YR3/2 黒褐 粘質シルトに
10YR4/2 灰黄褐 粘質シルトの
細かいブロック混じる
4. 10YR4/2 灰黄褐 粗砂混じりシルト
SP03・04
1. 10YR3/3 暗褐 シルト
2. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルト
3. 10YR4/3 にぶい黄褐 粗砂混じりシルト
4. 10YR3/2 黒褐 粗砂混じりシルト
SP05
1. 10YR4/2 灰黄褐 粗砂混じり粘質シルト
2. 10YR3/1 黒褐 粘質シルト
SP06
1. 10YR4/2 灰黄褐 粗砂混じりシルト
2. 10YR3/2 黒褐 粗砂混じり粘質シルト
3. 10YR3/2 黒褐 粘質シルトに
10YR4/3 にぶい黄褐 シルトブロック混じる
SP07
1. 10YR4/2 灰黄褐 粗砂混じりシルト
2. 10YR3/2 黒褐 粘質シルト
3. 10YR3/2 黒褐 粘質シルトに
10YR4/3 にぶい黄褐 シルトブロック混じる
SP08
1. 10YR3/3 暗褐 シルト
2. 10YR3/3 暗褐 シルトに
10YR4/4 褐 シルトブロック混じる

0 4m

津万 1W 区　SB02・04 平面図・断面図

SB03



SP01
1. 10YR2/3 黒褐 粗砂混じりシルト
2. 10YR3/3 暗褐 シルト混じり細砂～粗砂

SP02
1. 10YR4/2 灰黄褐 粗砂混じりシルト
2. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルト

SP03
1. 10YR4/2 灰黄褐 シルト 炭化物少量含む
2. 10YR4/3 にぶい黄褐 粗砂混じりシルト
焼土の細かいブロック含む

SP04
1. 10YR4/2 灰黄褐 シルト
2. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルト
焼土の細かいブロック含む

SP05
1. 10YR4/2 灰黄褐 シルト
2. 10YR3/3 暗褐 細砂～粗砂小レキと
細かい焼土ブロック含む

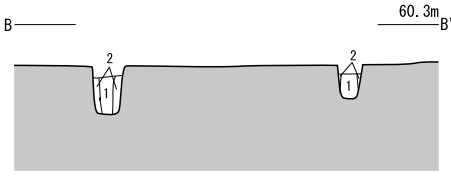
SP06
1. 10YR3/3 暗褐 砂混じりシルト
炭化物含む
2. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルトに
10YR4/2 灰黄褐 シルトブロック含む

SP07
1. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルト
細かい焼土ブロック含む

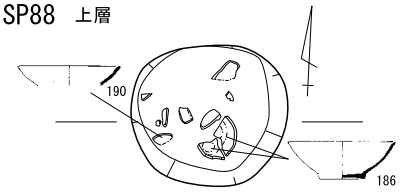
SP08
1. 10YR3/3 暗褐 シルトに 10YR4/3 にぶい黄褐
シルトブロック・炭化物含む
2. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルト

SP09
1. 10YR3/3 暗褐 シルトに 10YR4/3 にぶい黄褐
シルトの細かいブロック含む
2. 10YR3/3 暗褐 粗砂混じりシルト

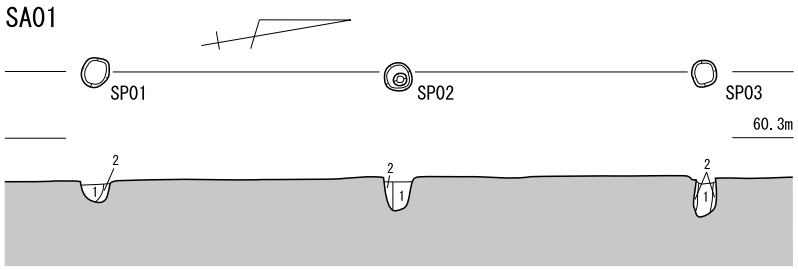
SP10
1. 10YR3/3 暗褐 シルト SP11
2. 10YR2/3 黒褐 シルト
3. 10YR3/2 黒褐 シルトに
10YR4/2 灰黄褐 シルトブロック含む



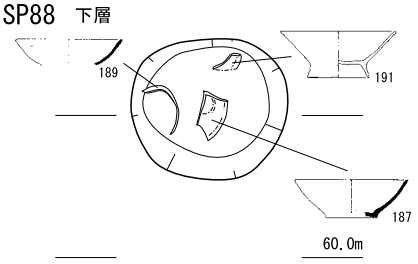
SP88 上層



SA01



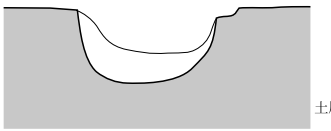
SP88 下層



SP01
1. 10YR2/3 黒褐 粗砂混じりシルト 小レキ含む
2. 10YR4/2 灰黄褐 粗砂混じりシルト

SP02
1. 10YR2/3 黒褐 粗砂混じりシルトに
10YR4/3 にぶい黄褐 シルトの小さいブロック含む
2. 10YR3/2 黒褐 シルトに
10YR4/3 にぶい黄褐 シルトの小さいブロック含む

SP03
1. 10YR2/2 黒褐 シルト
2. 10YR2/2 黒褐 シルトに
10YR4/3 にぶい黄褐 シルトブロック含む

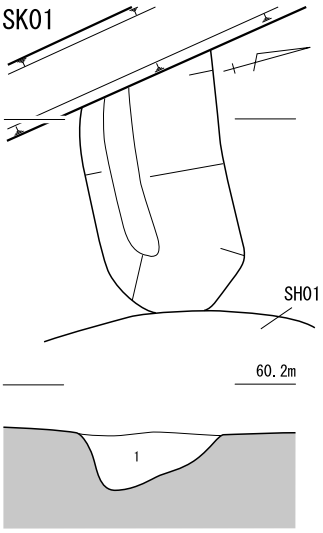


0 2m

0 1m

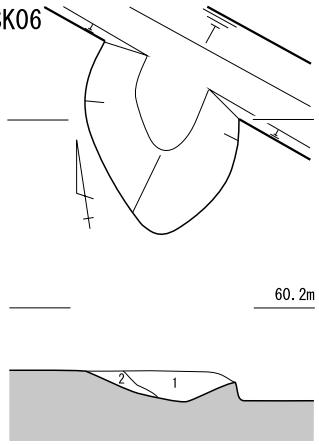
津万 1W 区 SB03・SA01・SP88 平面図・断面図

SK01



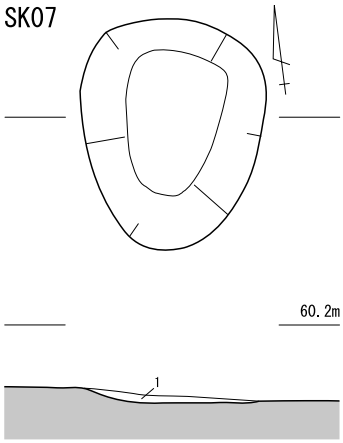
1. 10YR2/2　黒褐　細砂～シルト

SK06



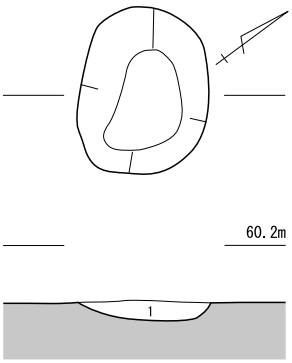
1. 10YR2/3　黒褐　粘質シルト
2. 10YR3/3　暗褐　シルト

SK07



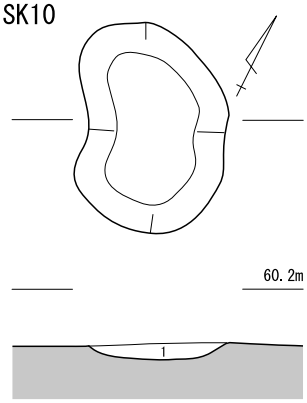
1. 10YR3/3　暗褐　粘質シルト

SK09



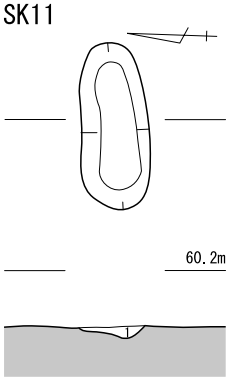
1. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト　Mn 含む

SK10



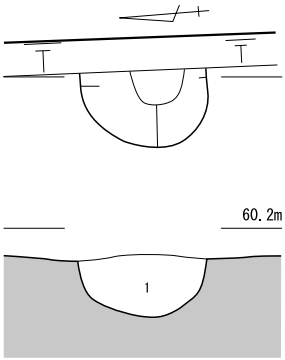
1. 10YR2/3　黒褐　粘質シルト

SK11



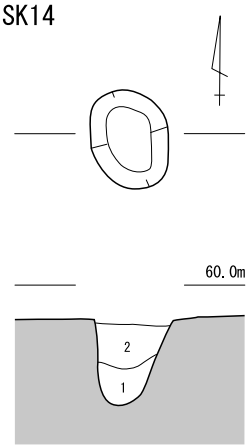
1. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト

SK12



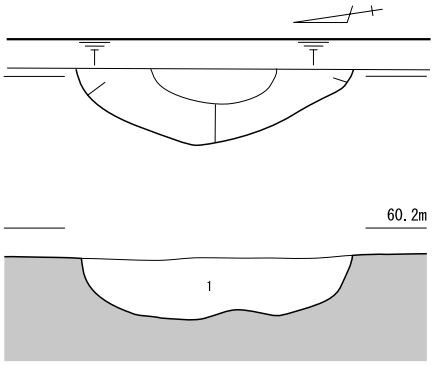
1. 10YR2/3　黒褐　粗砂混じり粘質シルト

SK14

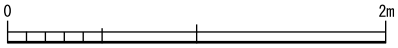


1. 10YR2/2　黒褐　粘質シルト
2. 10YR3/3　暗褐　粗砂混じりシルト

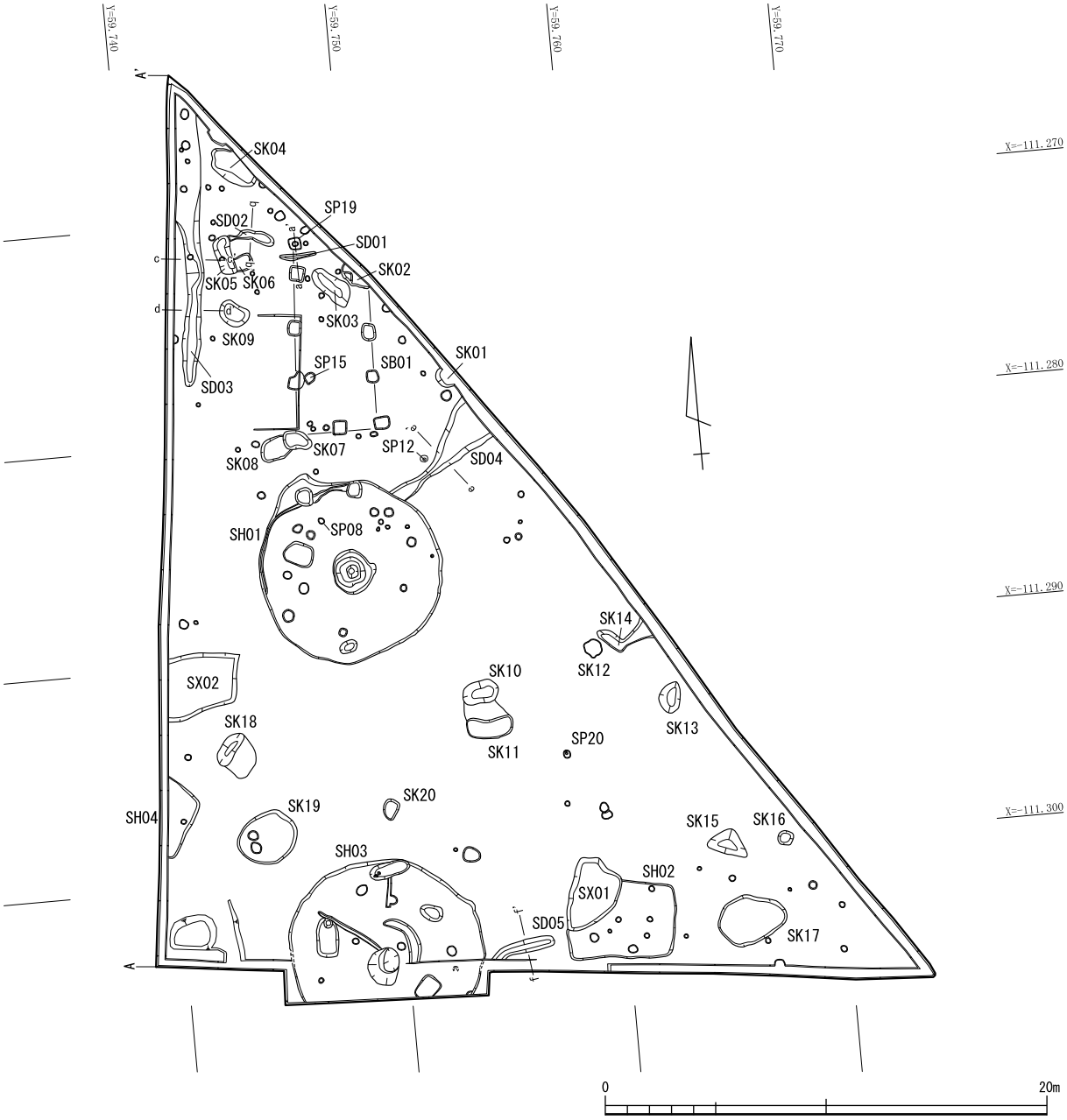
SK15



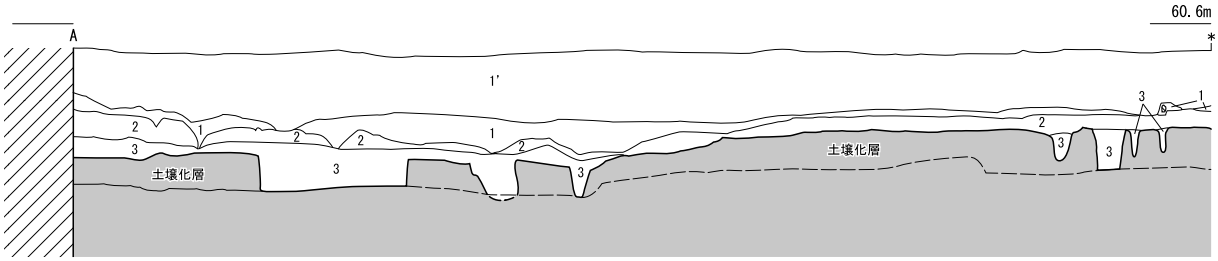
1. 10YR2/2　黒褐　粗砂混じり粘質シルト

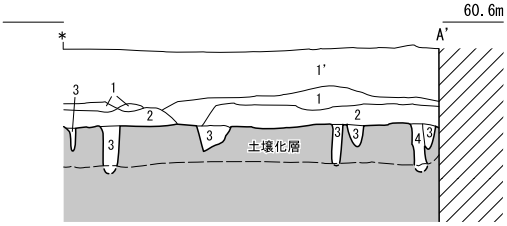


津万 1W 区　土坑平面図・断面図

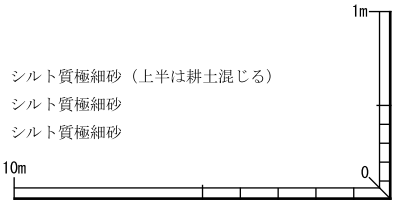


西壁

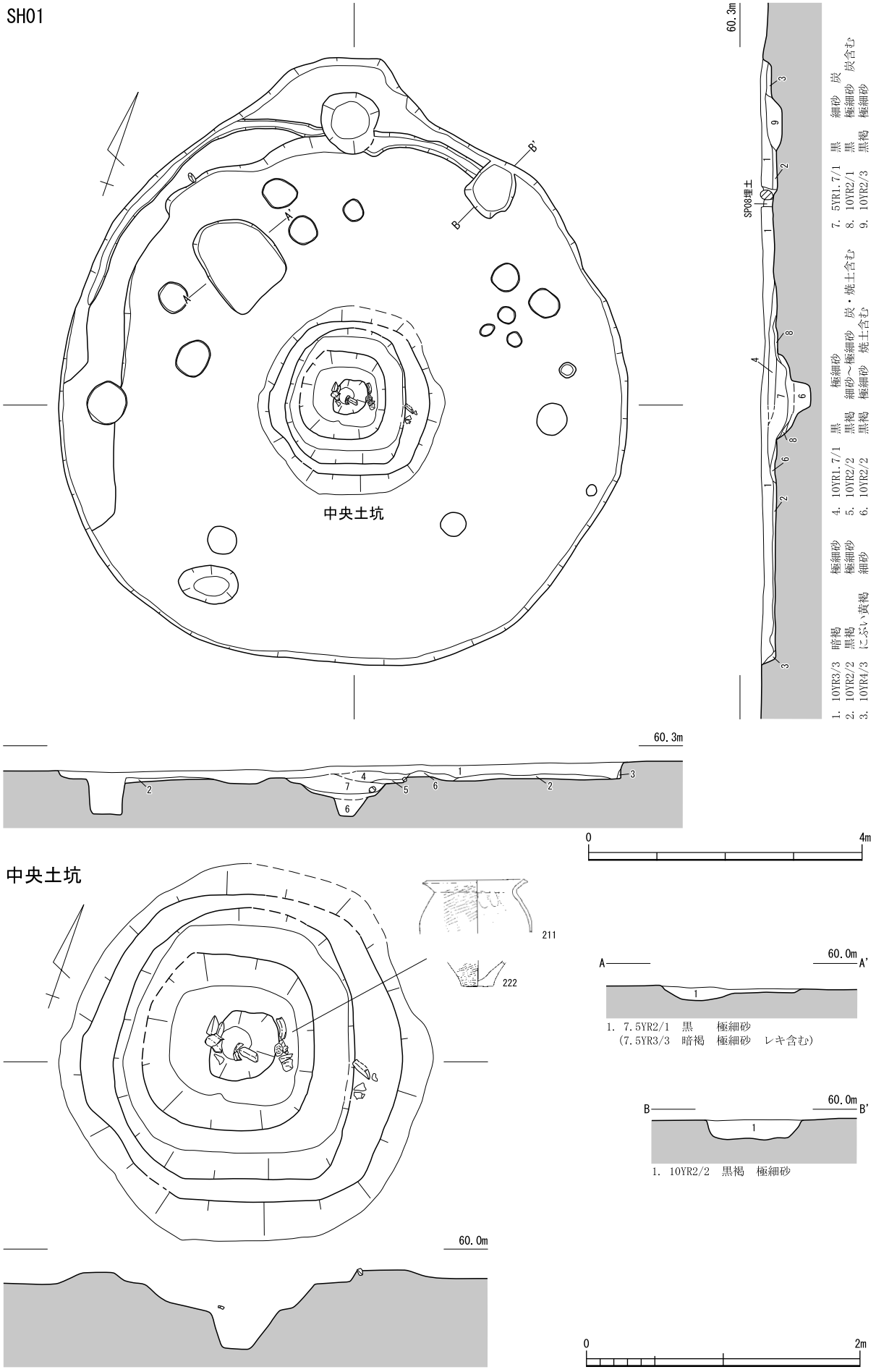




1.' 盛土・耕土　(現代)
1. 盛土・砂礫層 (現代)
2. 2.5Y4/4　オリーブ褐　シルト質極細砂 (上半は耕土混じる)
3. 10YR3/2　黒褐　シルト質極細砂
4. 10YR2/1　黒　シルト質極細砂

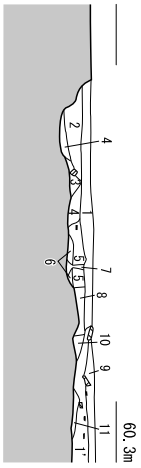


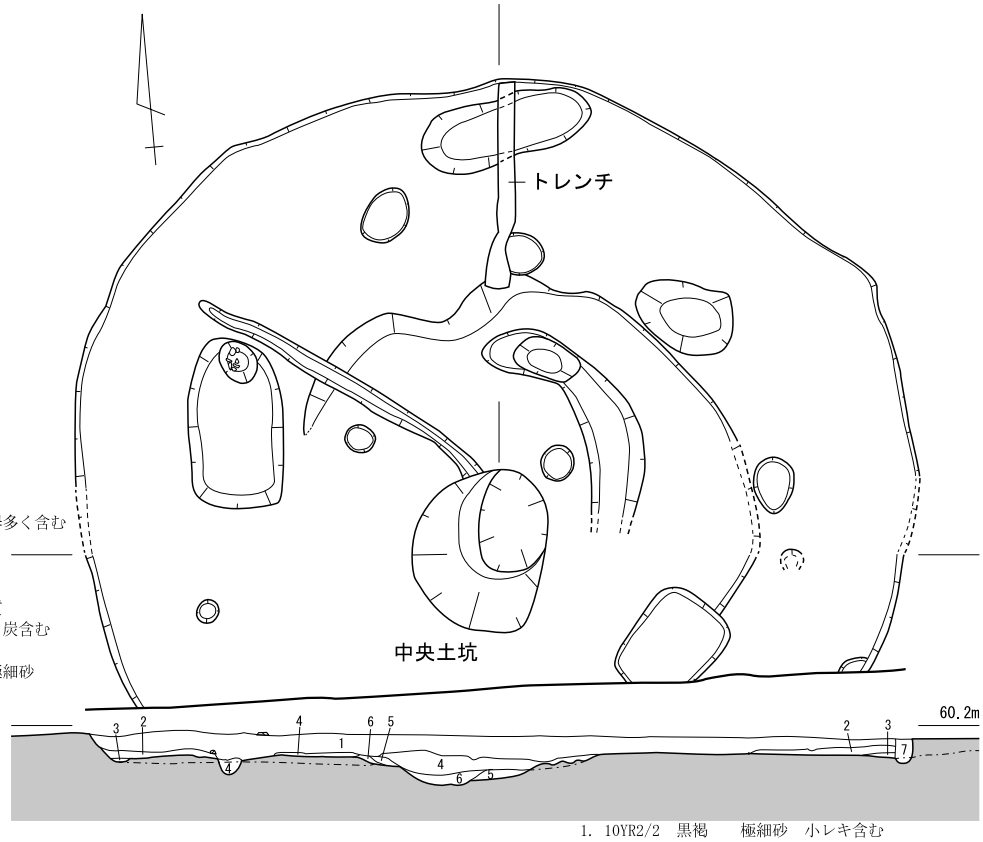
津万 1E 区　全体図



津万 1E 区　SH01 平面図・断面図

SH03

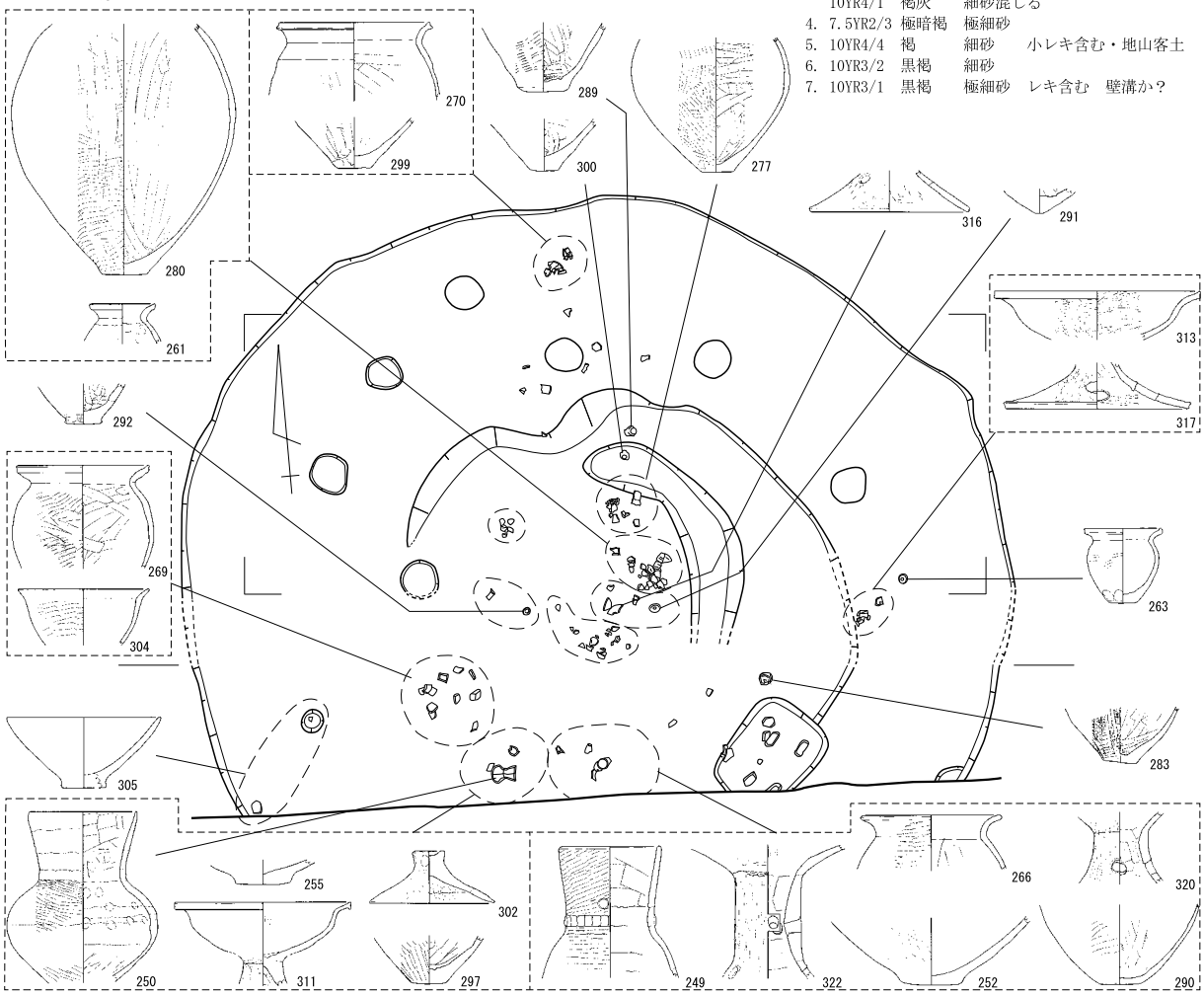




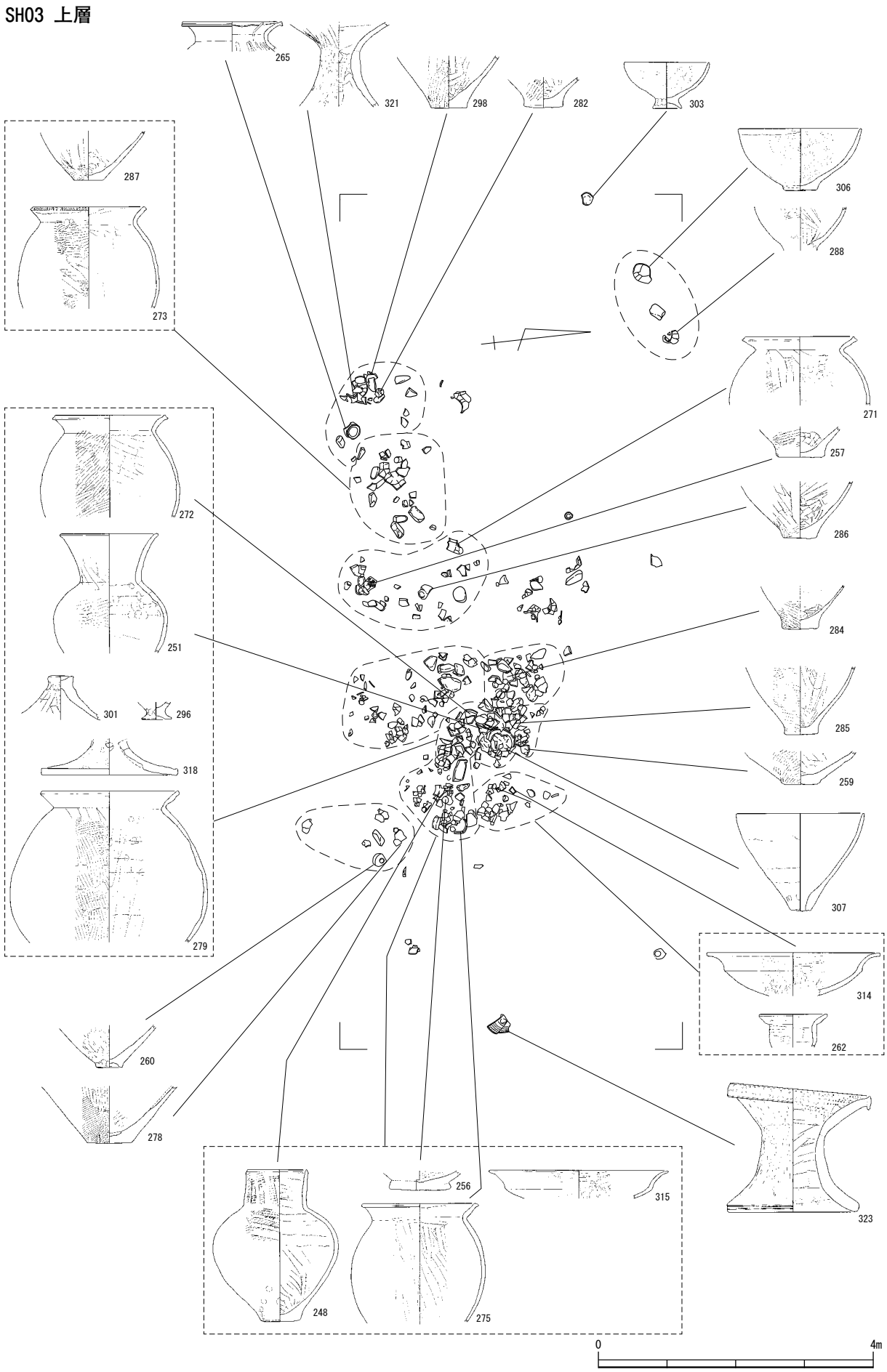
1. 10YR3/3 暗褐 細砂
1'. 10YR3/3 暗褐 細砂
炭・土器多く含む
2. 7.5YR2/2 黒褐 極細砂
3. 10YR2/3 黒褐 極細砂
4. 7.5YR2/3 極暗褐 極細砂
5. 7.5YR2/2 黒褐 シルト質
極細砂 炭含む
6. 10YR2/1 黒 極細砂
7. 10YR4/4 褐 細砂～極細砂
8. 10YR2/2 黒褐 極細砂
9. 10YR2/1 黒 細砂
10. 10YR4/2 灰黄褐 細砂
11. 10YR3/3 暗褐 極細砂

1. 10YR2/2 黒褐 極細砂 小レキ含む
2. 10YR2/1 黒 細砂 固くしまる・高床部貼床
3. 10YR3/2 黒褐 極細砂に
10YR4/1 褐灰 細砂混じる
4. 7.5YR2/3 極暗褐 極細砂
5. 10YR4/4 褐 細砂 小レキ含む・地山客土
6. 10YR3/2 黒褐 細砂
7. 10YR3/1 黒褐 極細砂 レキ含む 壁溝か？

SH03 下層

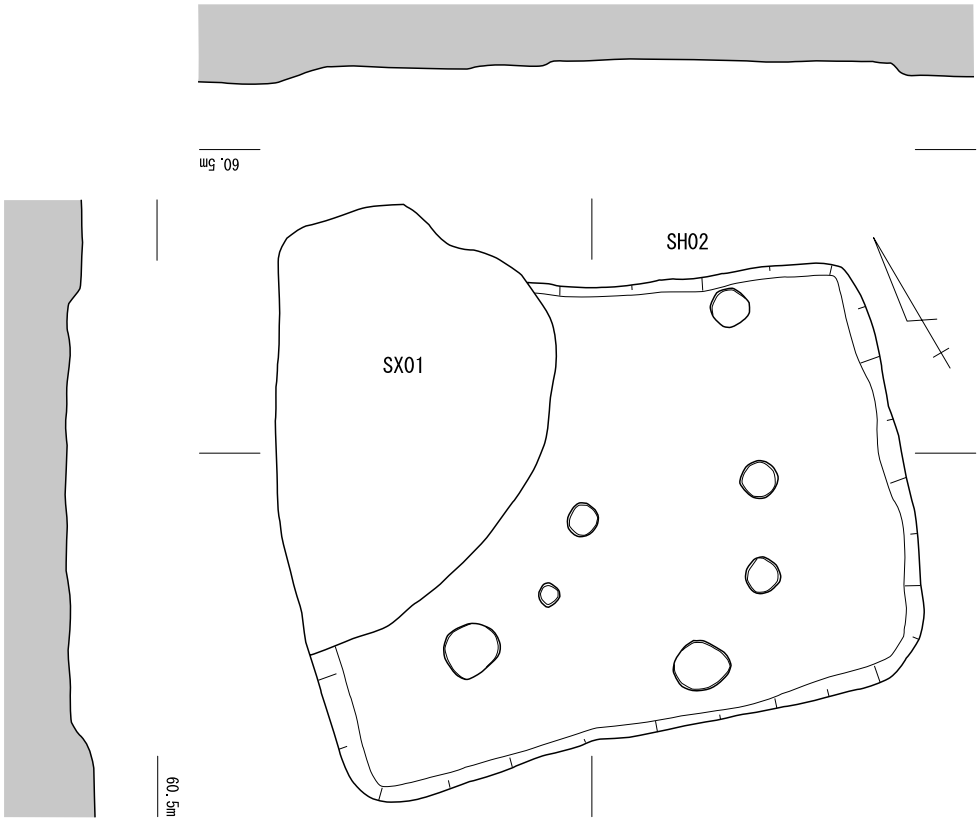


津万 1E 区 SH03 平面図・断面図・遺物出土状況図①

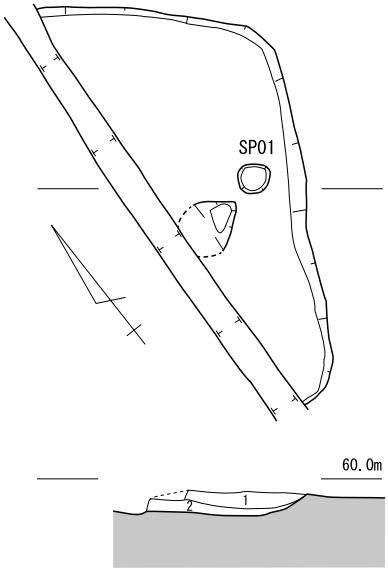


津万 1E 区　SH03 遺物出土状況図②

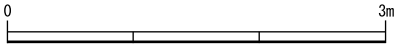
SH02



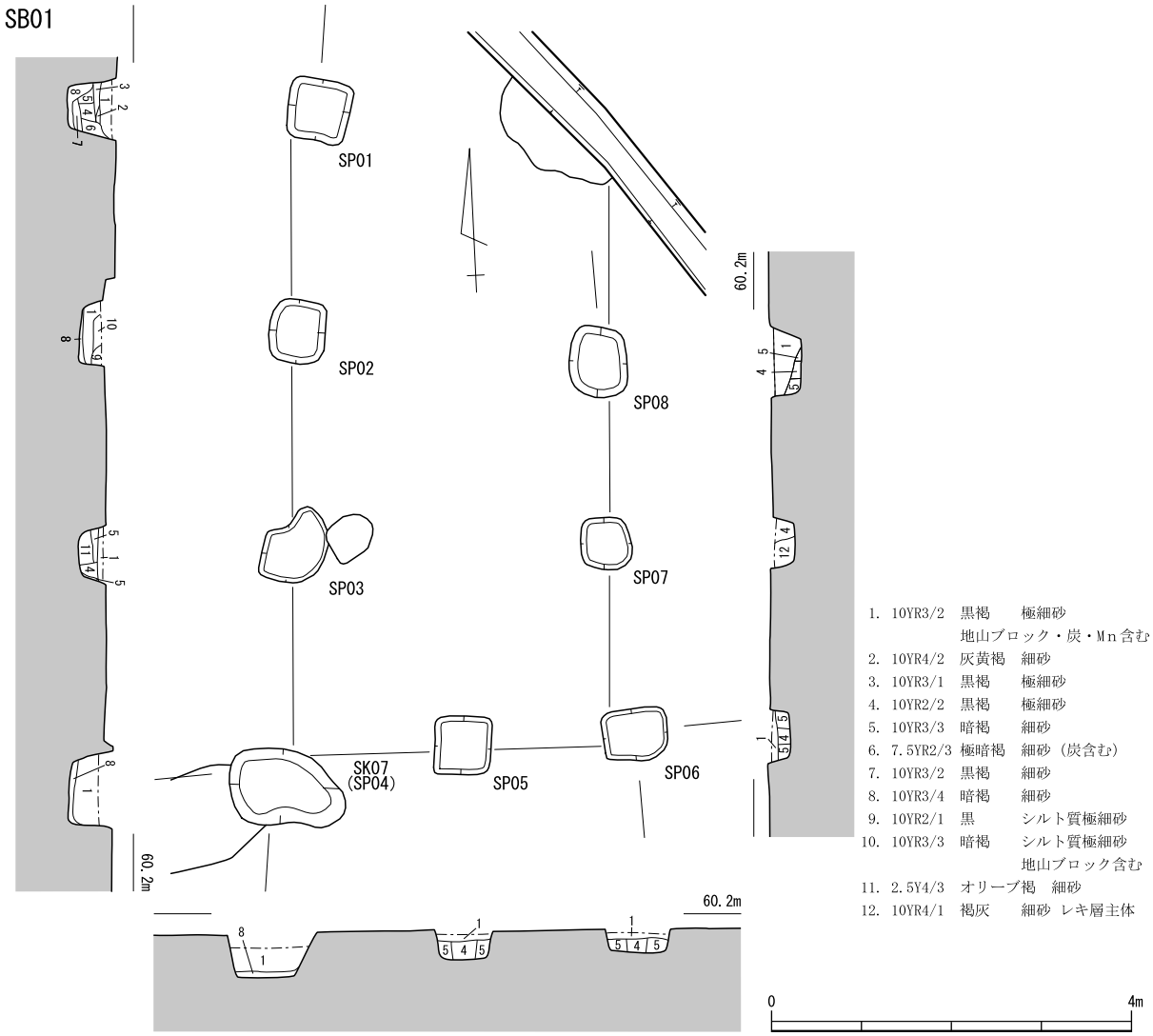
SH04

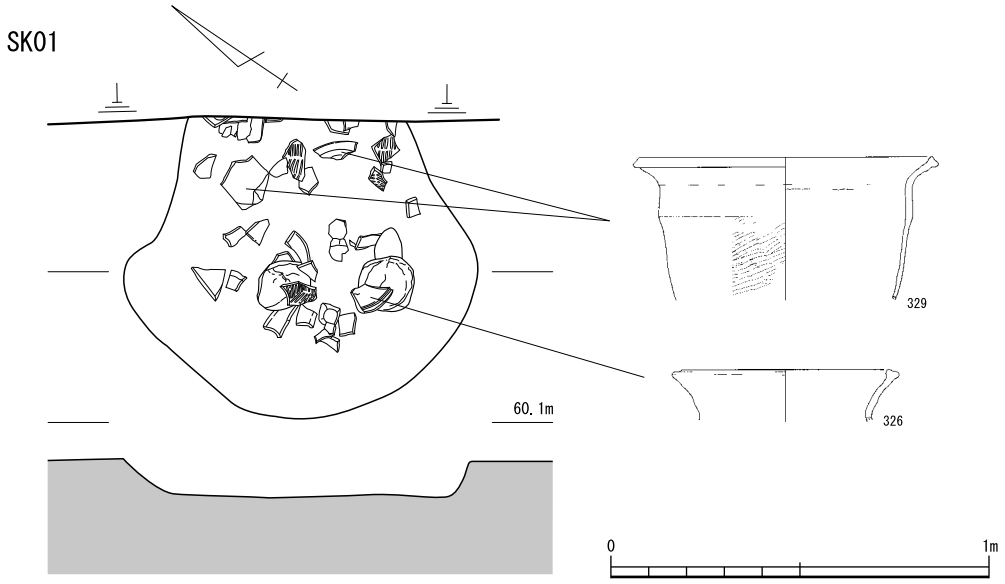


1. 10YR2/2　黒褐　極細砂
2. 10YR2/3　黒褐　極細砂



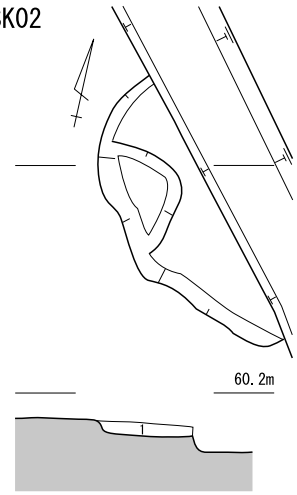
津万 1E 区　SH02・04 平面図・断面図





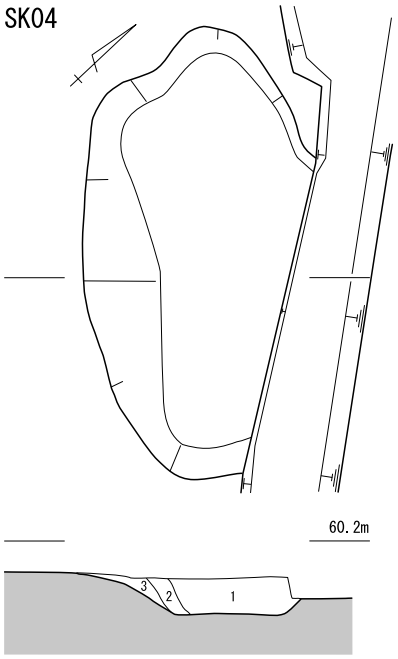
津万 1E 区　SB01・土坑①平面図・断面図

SK02



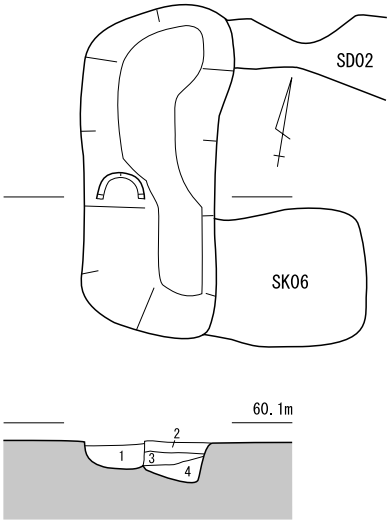
1. 10YR3/3　暗褐　極細砂

SK04



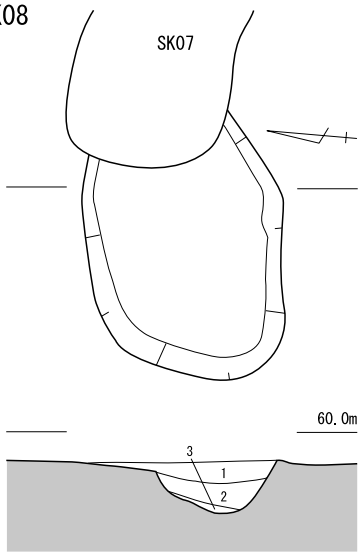
1. 10YR3/3　暗褐　細砂　円レキ多く含む
2. 10YR1.7/1　黒　極細砂
3. 10YR3/2　黒褐　極細砂～細レキ含む

SK05



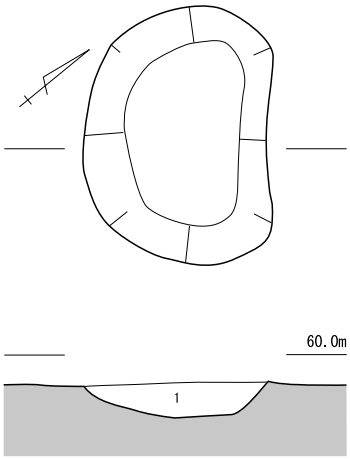
1. 7.5YR1.7/1　黒　シルト質極細砂
2. 10YR2/1　黒　シルト質極細砂
3. 10YR2/2　黒褐　シルト質極細砂
4. 10YR2/2　黒褐　細砂

SK08



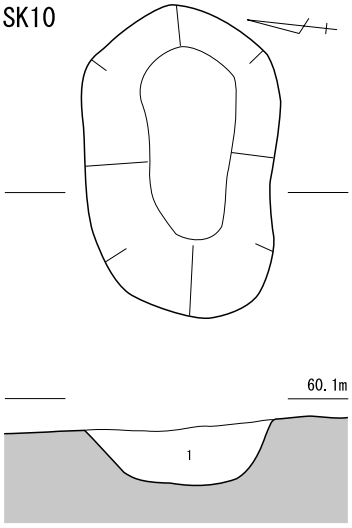
1. 10YR2/2　黒褐　極細砂
2. 10YR3/3　暗褐　極細砂
3. 10YR3/4　暗褐　細砂

SK09



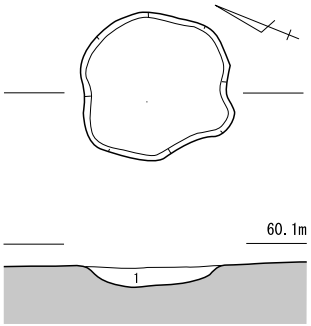
1. 10YR2/1　黒　細砂

SK10



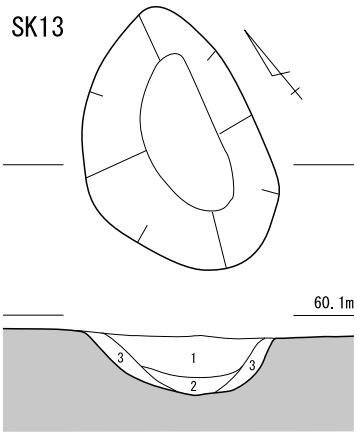
1. 10YR2/2　黒褐　極細砂

SK12



1. 10YR3/3　暗褐　極細砂

SK13

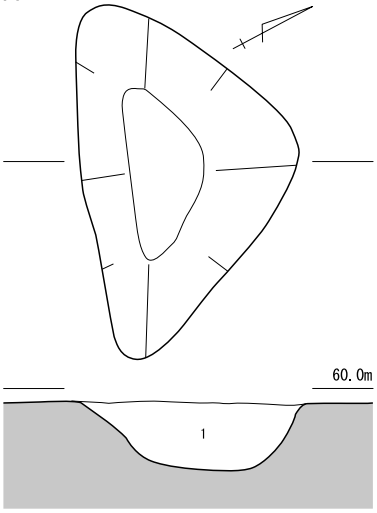


1. 10YR2/3　黒褐　極細砂
2. 10YR3/3　暗褐　極細砂
3. 10YR3/4　暗褐　極細砂

津万1E区

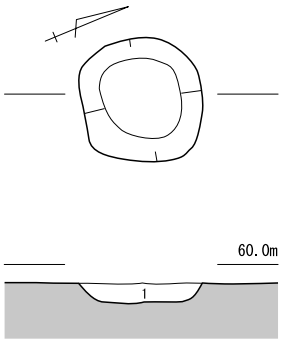
津万 1E 区　土坑②平面図・断面図

SK15



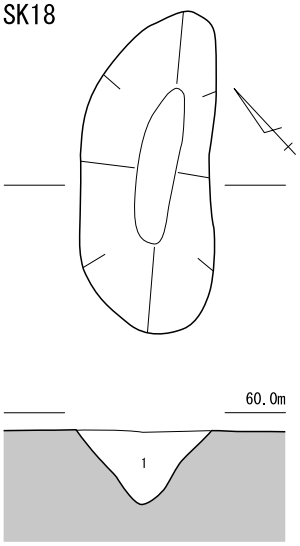
1. 10YR3/2　黒褐　極細砂

SK16



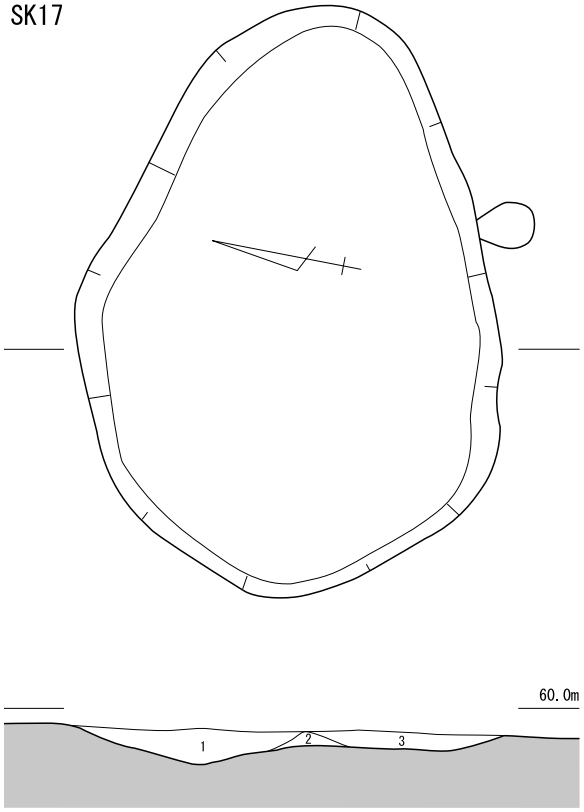
1. 10YR2/2　黒褐　極細砂

SK18



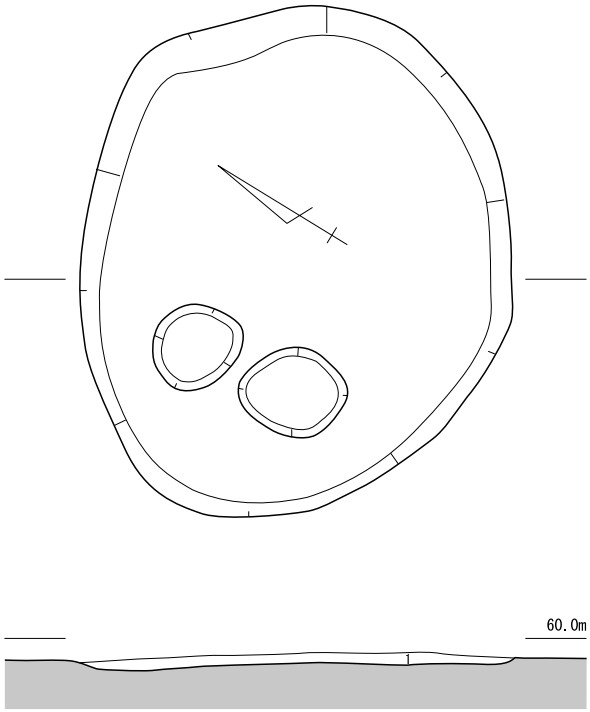
1. 10YR2/1　黒　シルト質極細砂　Mn 含む

SK17

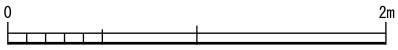


1. 10YR2/2　黒褐　細砂
2. 10YR4/3　にぶい黄褐　極細砂
3. 7.5YR2/3　極暗褐　極細砂

SK19

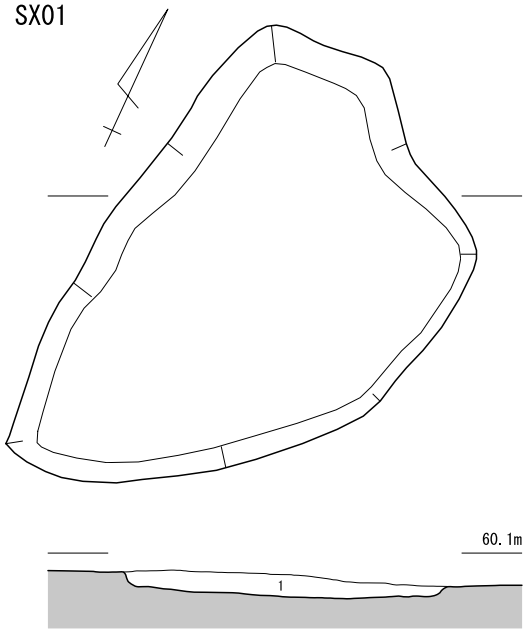


1. 10YR3/4　暗褐　極細砂　レキ少量含む



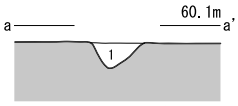
津万 1E 区　土坑③平面図・断面図

SX01



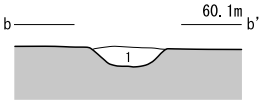
1. 10YR3/3　暗褐　極細砂

SD01



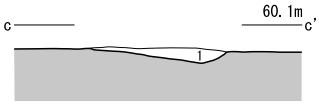
1. 10YR3/2　黒褐　極細砂

SD02



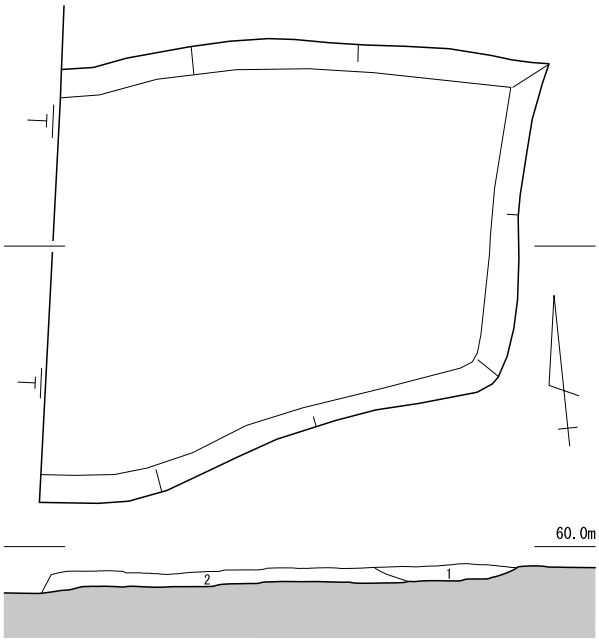
1. 10YR3/2　黒褐　極細砂

SD03



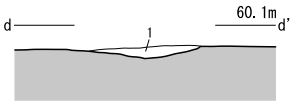
1. 10YR2/2　黒褐　極細砂

SX02



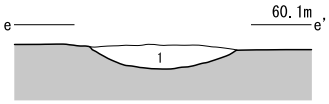
1. 10YR2/3　黒褐　極細砂　Mn含む
2. 10YR3/3　暗褐　極細砂　Mn含む

SD03



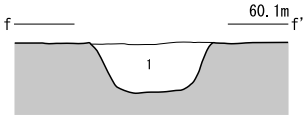
1. 10YR2/2　黒褐　極細砂

SD04

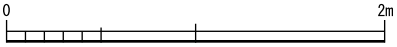


1. 2.5Y3/2　黒褐　細砂　小レキ多く含む

SD05

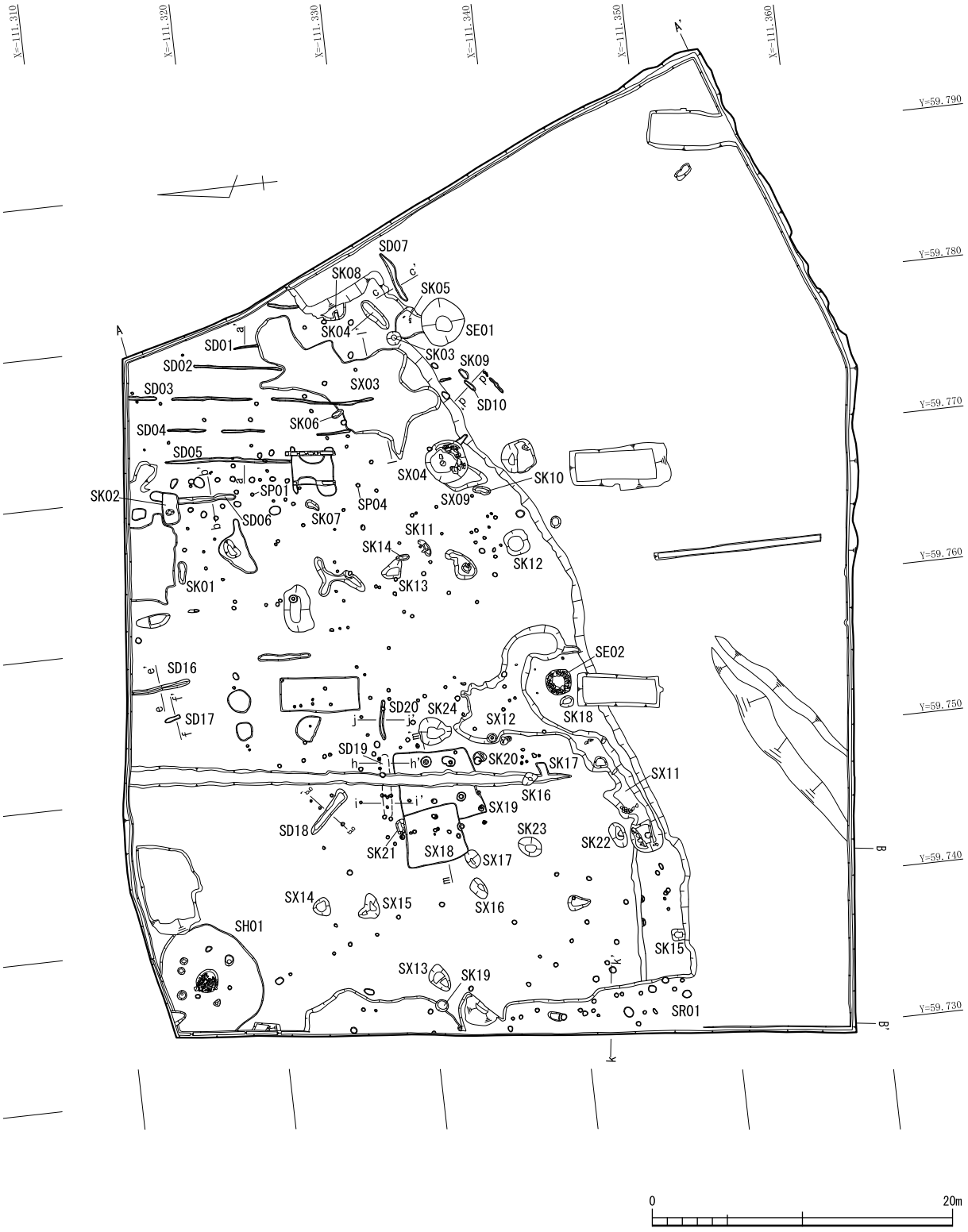


1. 10YR2/2　黒褐　細砂



津万1E区

津万 1E 区　溝断面図・不明遺構平面図・断面図

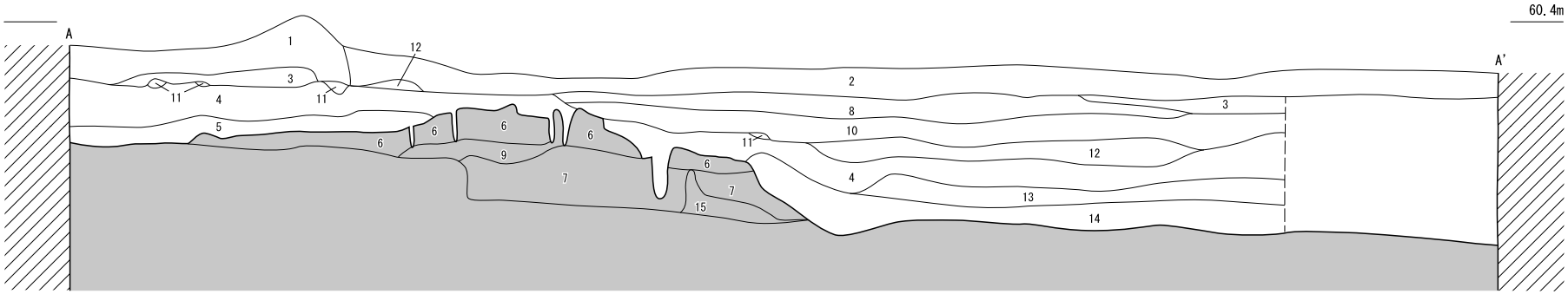


津万2区

津万 2 区　全体図

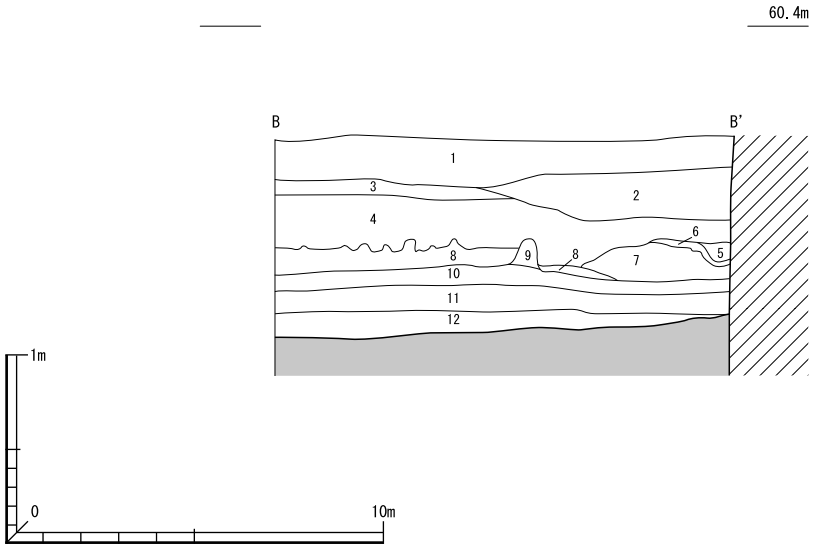
津万２区　調査区土層断面図

東壁

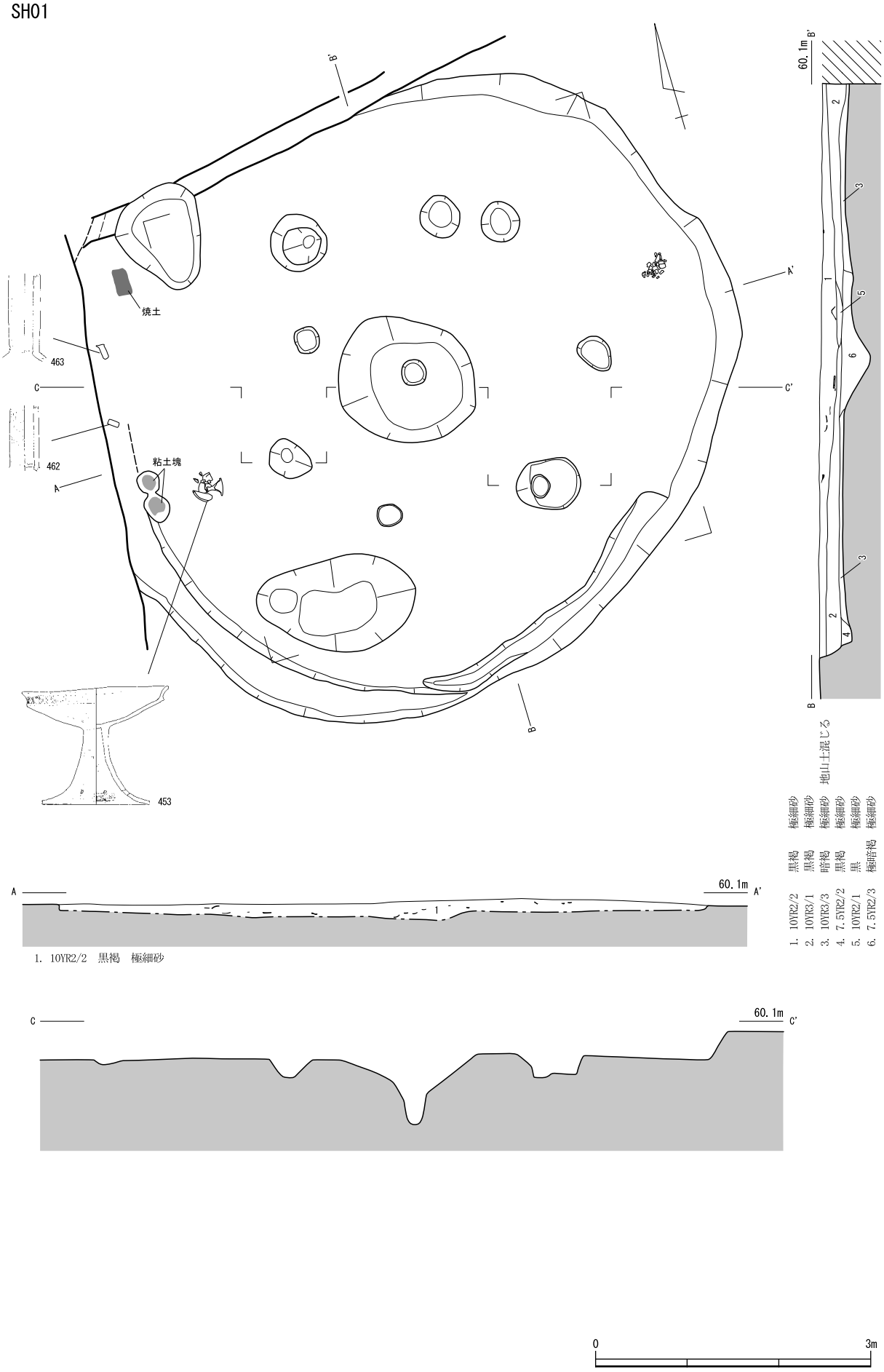


1. 盛土
2. 耕土
3. 10YR4/3　にぶい黄褐　極細砂　底に Mn 溜まる
4. 7.5YR1.7/1　黒　シルト質極細砂
5. 7.5YR2/2　黒褐　シルト質極細砂
6. 10YR5/6　黄褐　シルト質極細砂　地山
7. 7.5YR2/2　黒褐　中砂　地山
8. 10YR5/2　灰黄褐　シルト質極細砂　耕土混じる
9. 2.5Y5/4　黄褐　シルト質極細砂　地山
10. 2.5Y5/2　暗灰黄　シルト質極細砂
11. 2.5Y5/6　黄褐　シルト質極細砂　旧床土
12. 10YR4/2　灰黄褐　シルト質極細砂
13. 10YR3/2　黒褐　シルト質極細砂
14. 7.5YR2/1　黒　シルト質極細砂　ピート層
15. 10YR2/1　黒　中レキ　地山

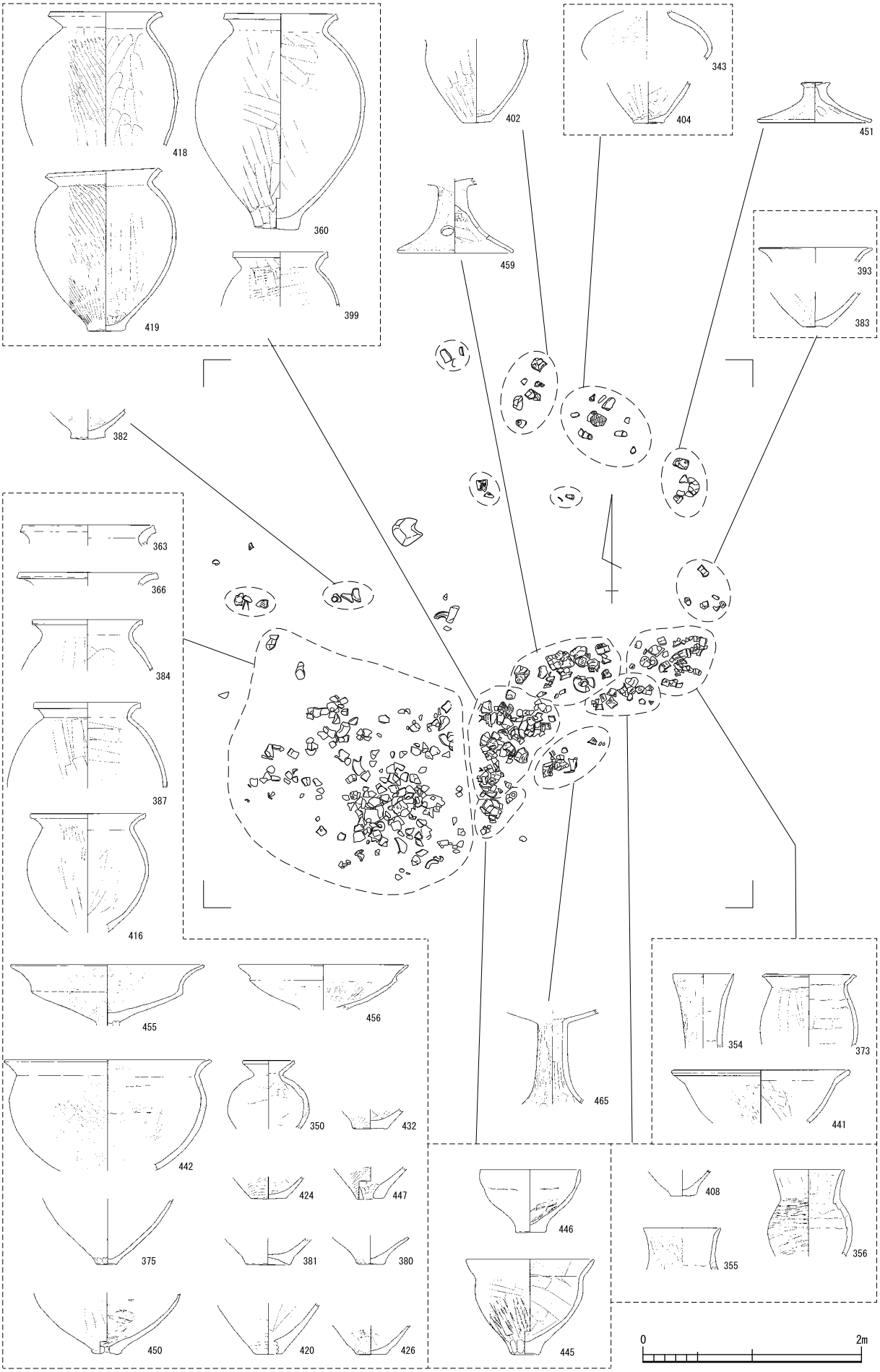
南壁



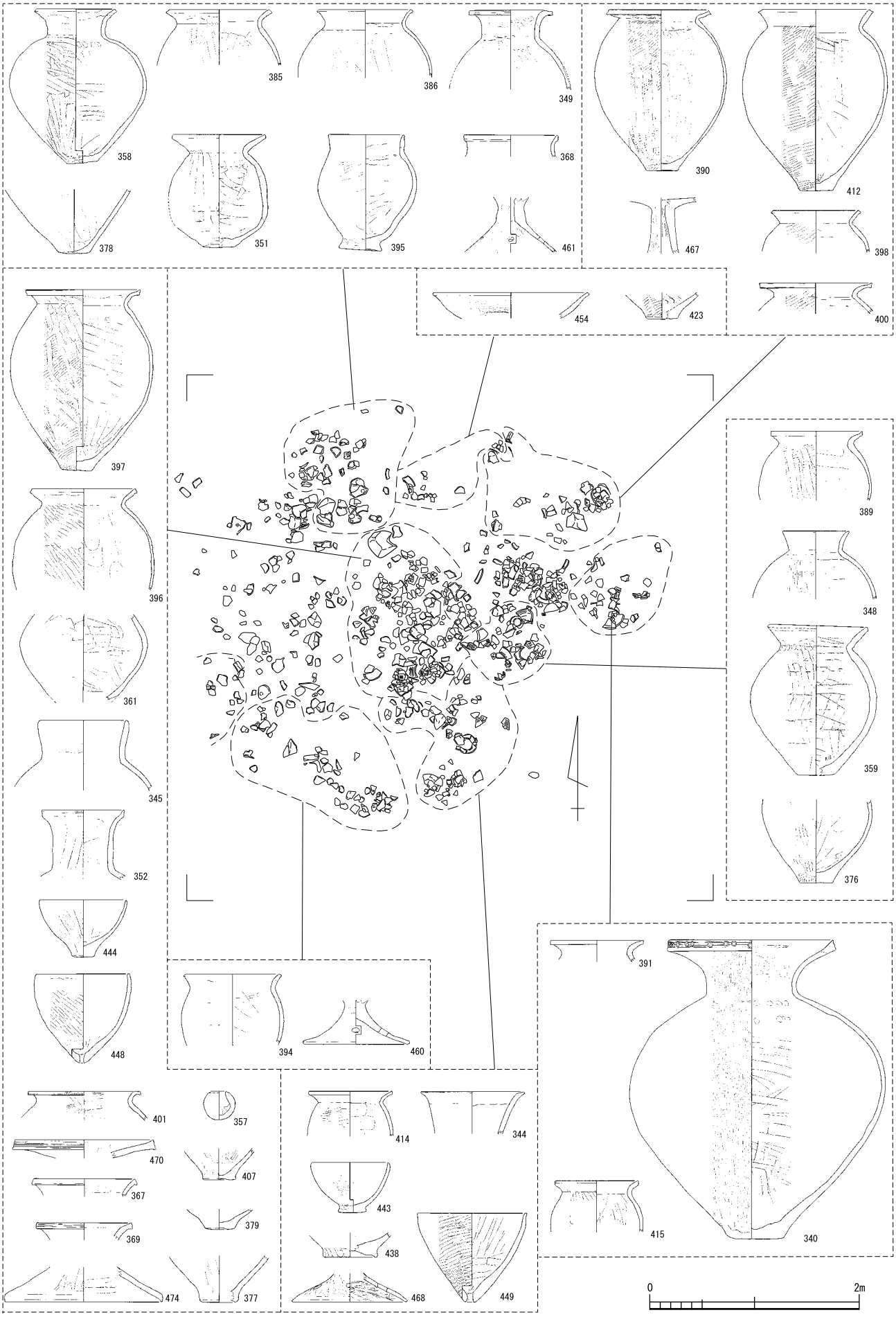
1. 耕土
2. 耕土と 10YR5/6　黄褐　シルトブロックが混じった層　盛土
3. 耕土と 10YR5/6　黄褐　シルトブロックが混じった層（10YR5/6　黄褐　地山ブロック少ない）　盛土
4. 10YR5/6　黄褐　シルトブロック立体で耕土が混じる　盛土
5. 10YR5/2　灰黄褐　砂レキ　角レキ・円レキ混じる
6. 10YR5/8　黄褐　中砂
7. 10YR4/1　褐灰　シルト　10YR5/6　黄褐　シルトブロック入る　盛土
8. 旧耕土
9. 10YR4/1　褐灰　細砂　小レキ・地山ブロック混じる　大アゼ
10. 2.5Y4/3　オリーブ褐　シルト質極細砂
11. 2.5Y4/1　黄灰　シルト質極細砂
12. 2.5Y2/1　黒　シルト質極細砂



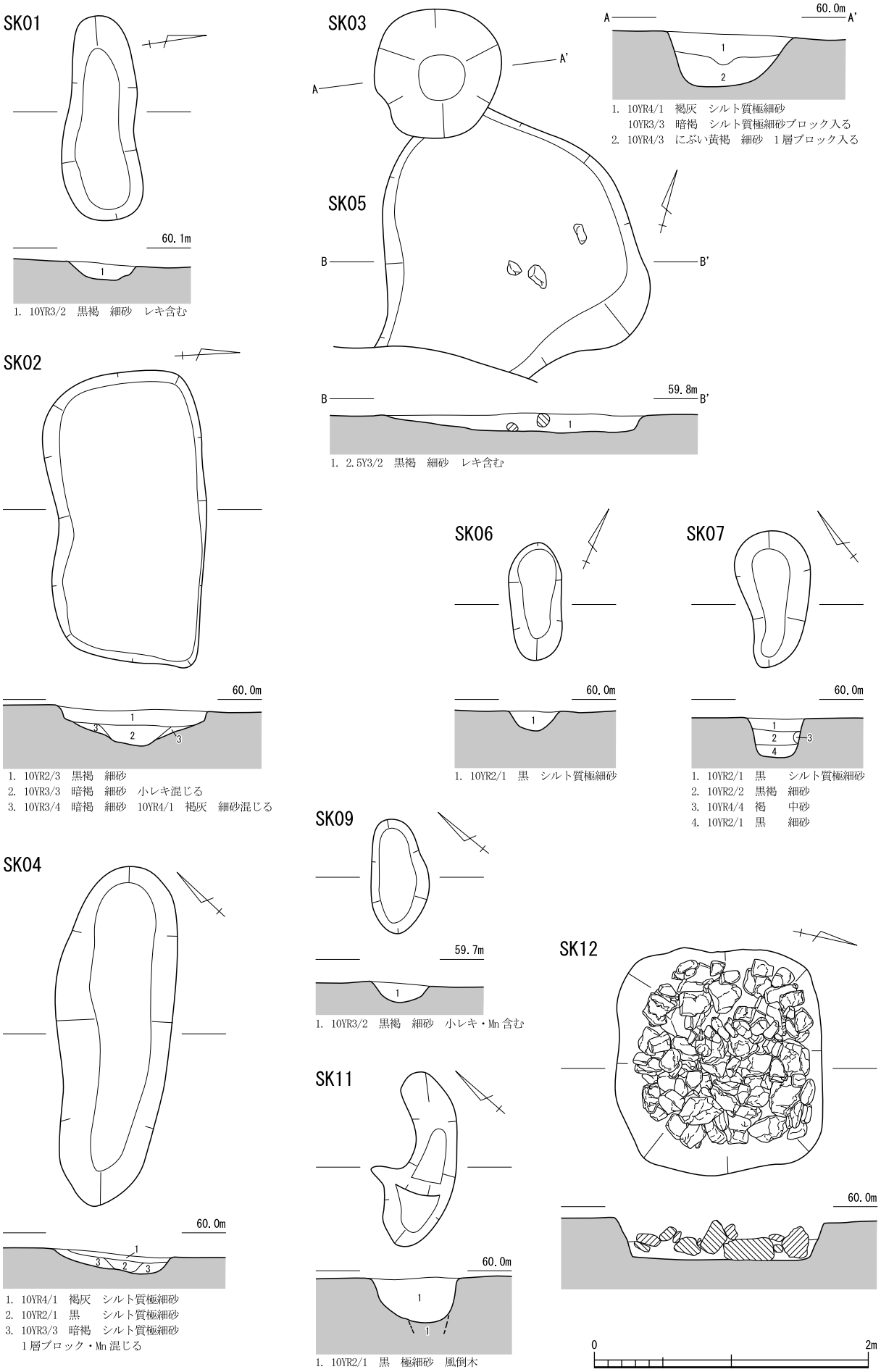
津万2区 SH01 平面図・断面図



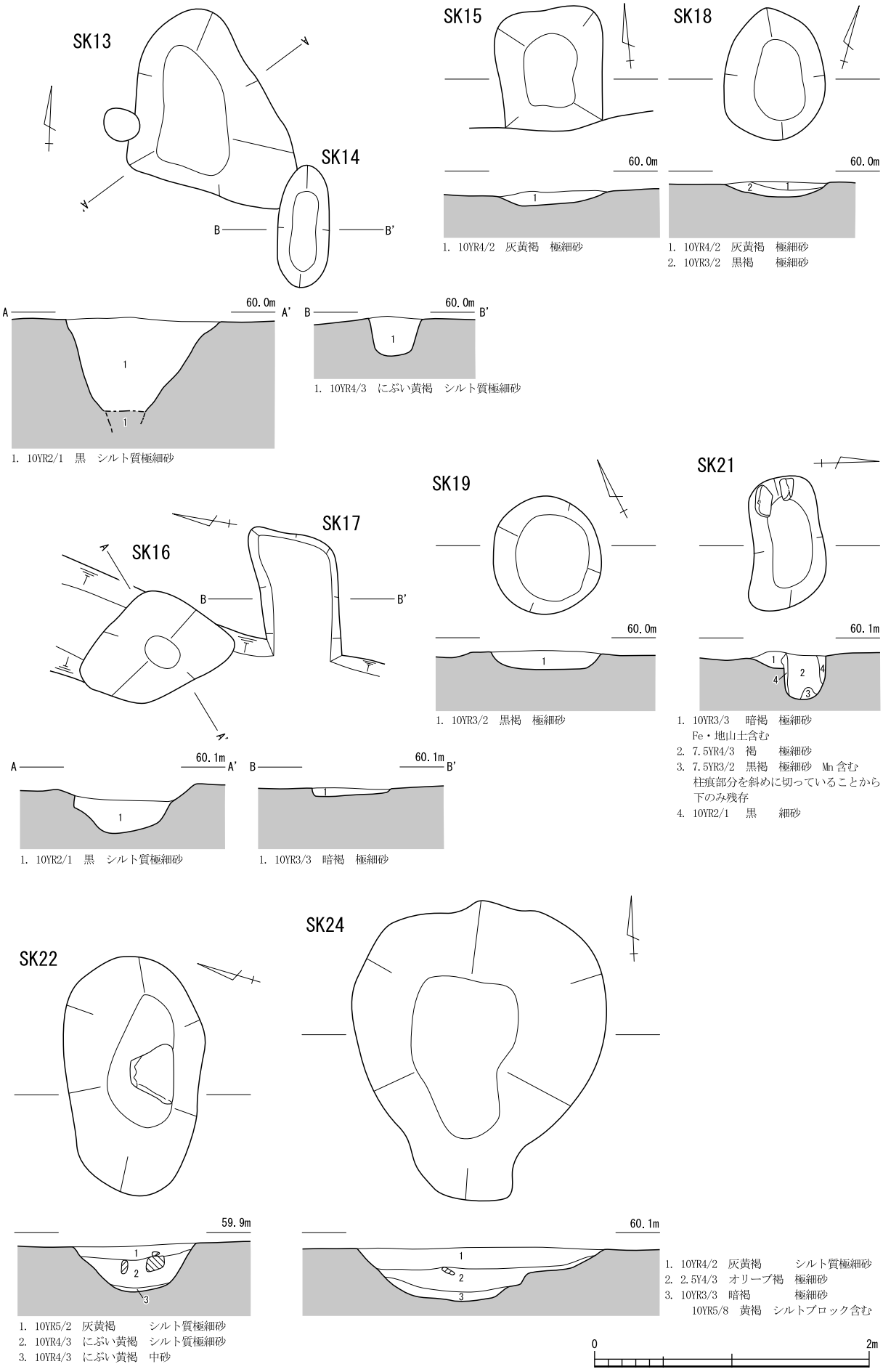
津万２区　SH01 遺物出土状況図①



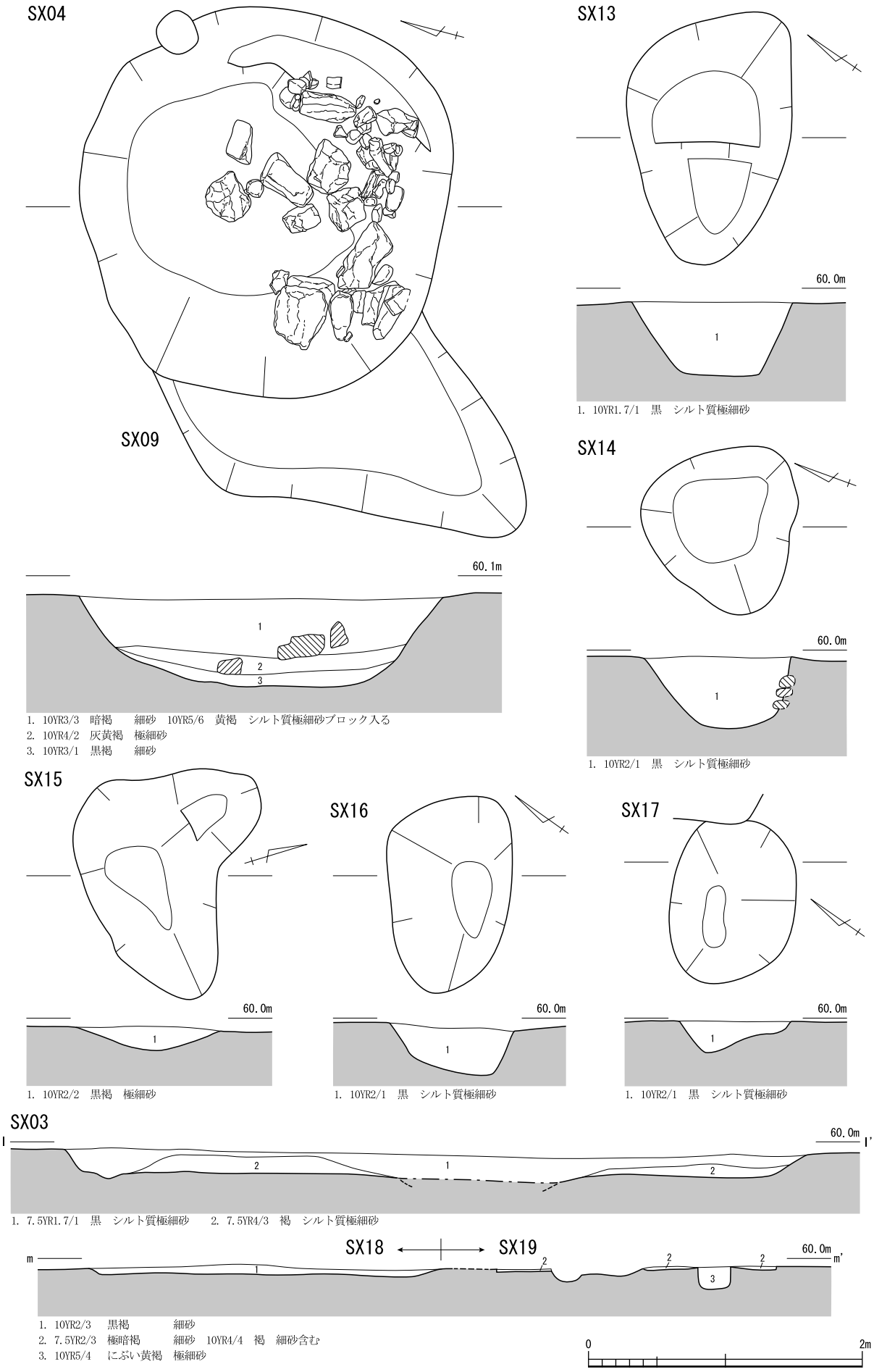
津万2区　SH01 遺物出土状況図②



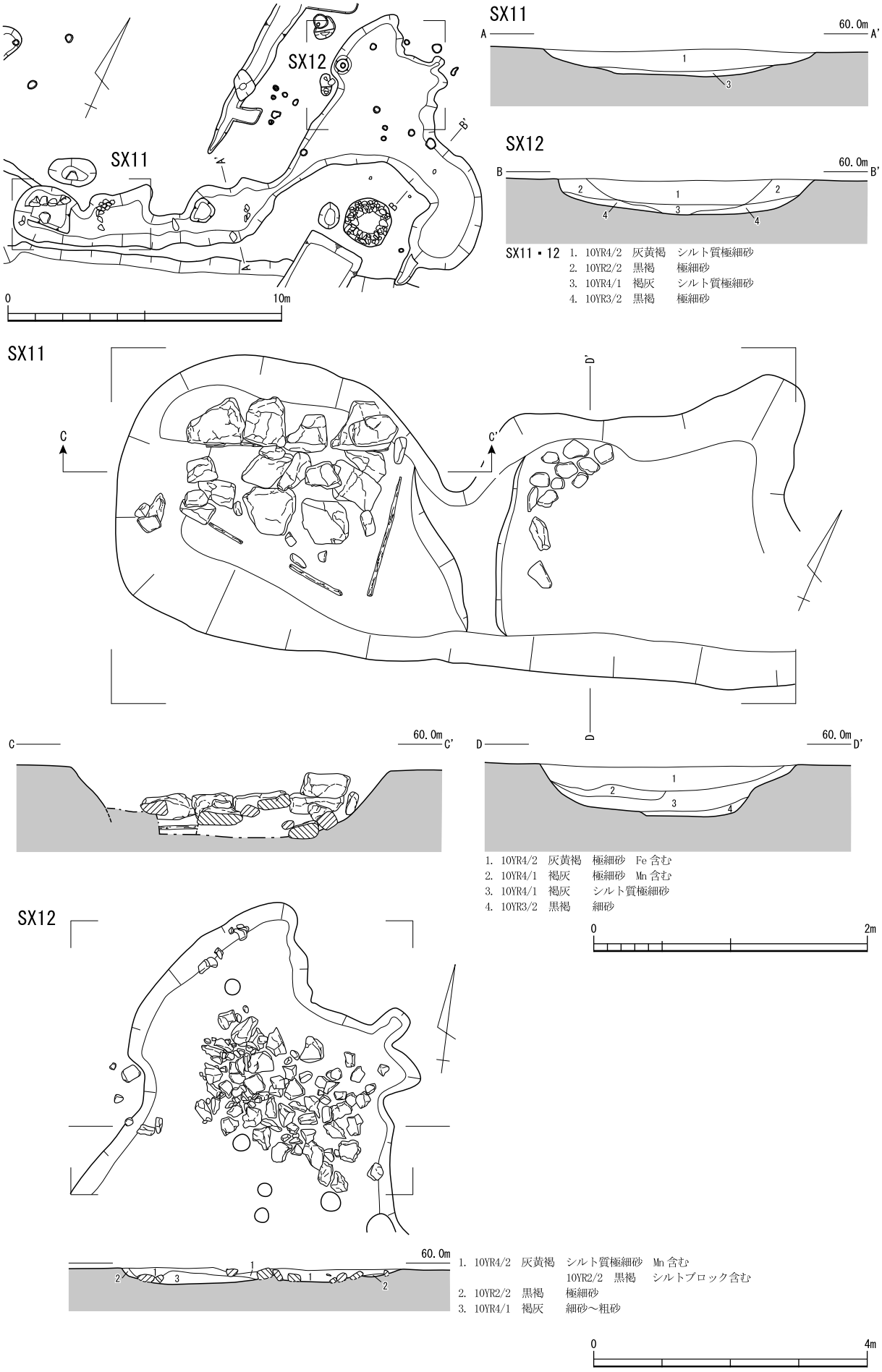
津万2区 土坑①平面図・断面図



津万２区　土坑②平面図・断面図

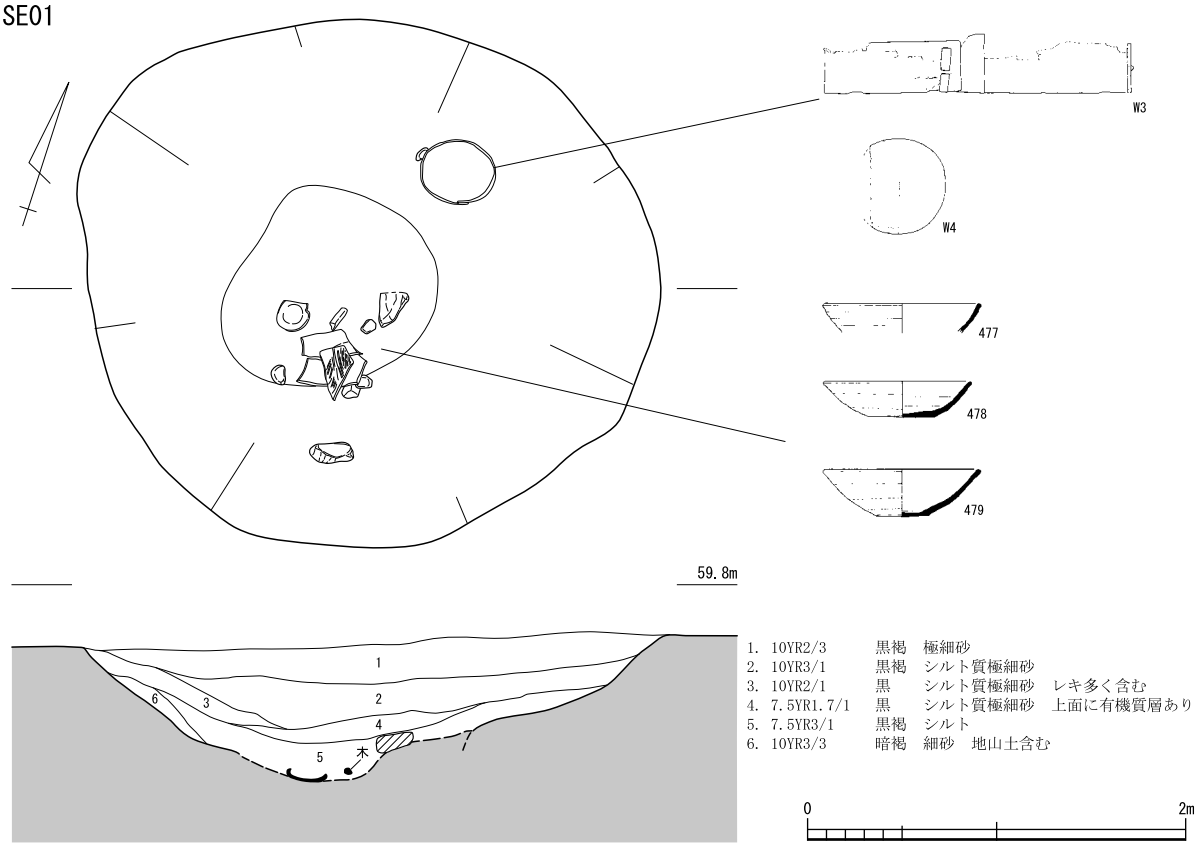


津万２区　不明遺構①平面図・断面図

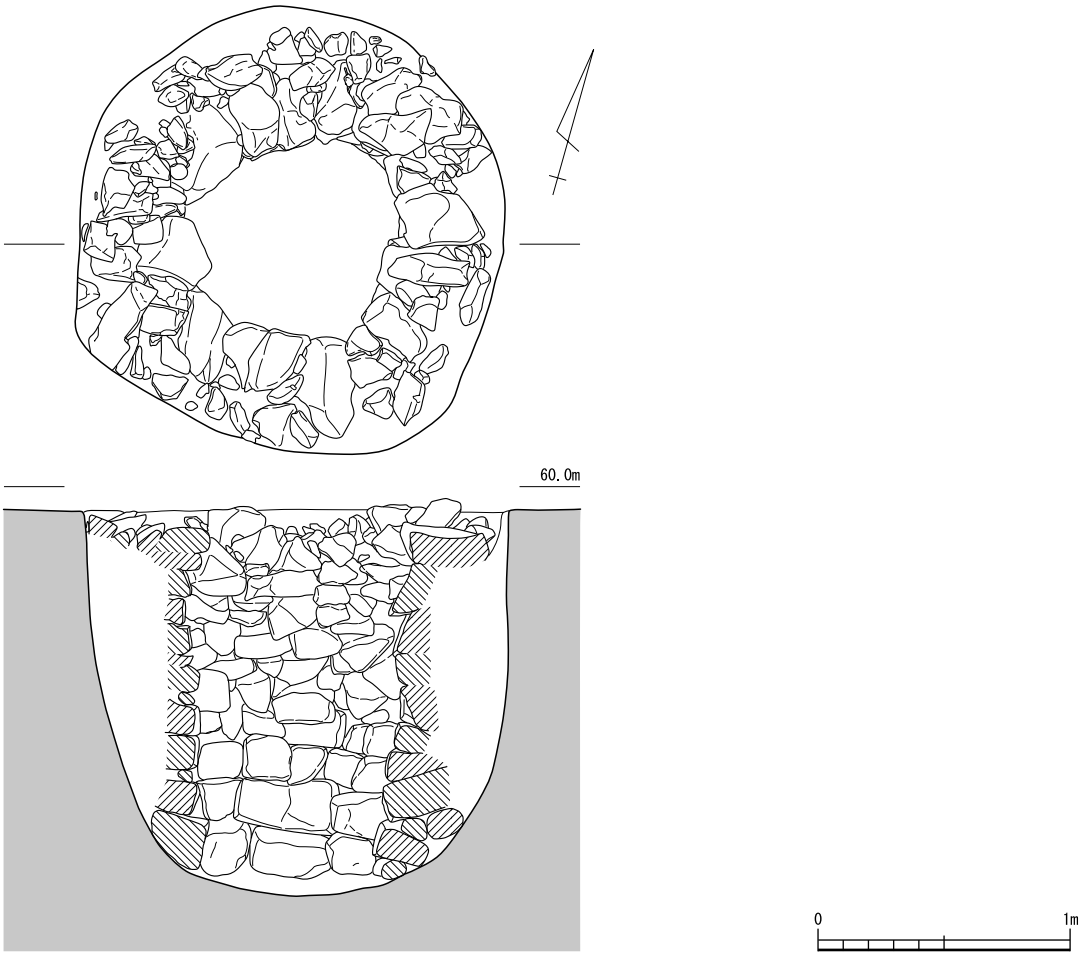


津万２区　不明遺構②平面図・断面図

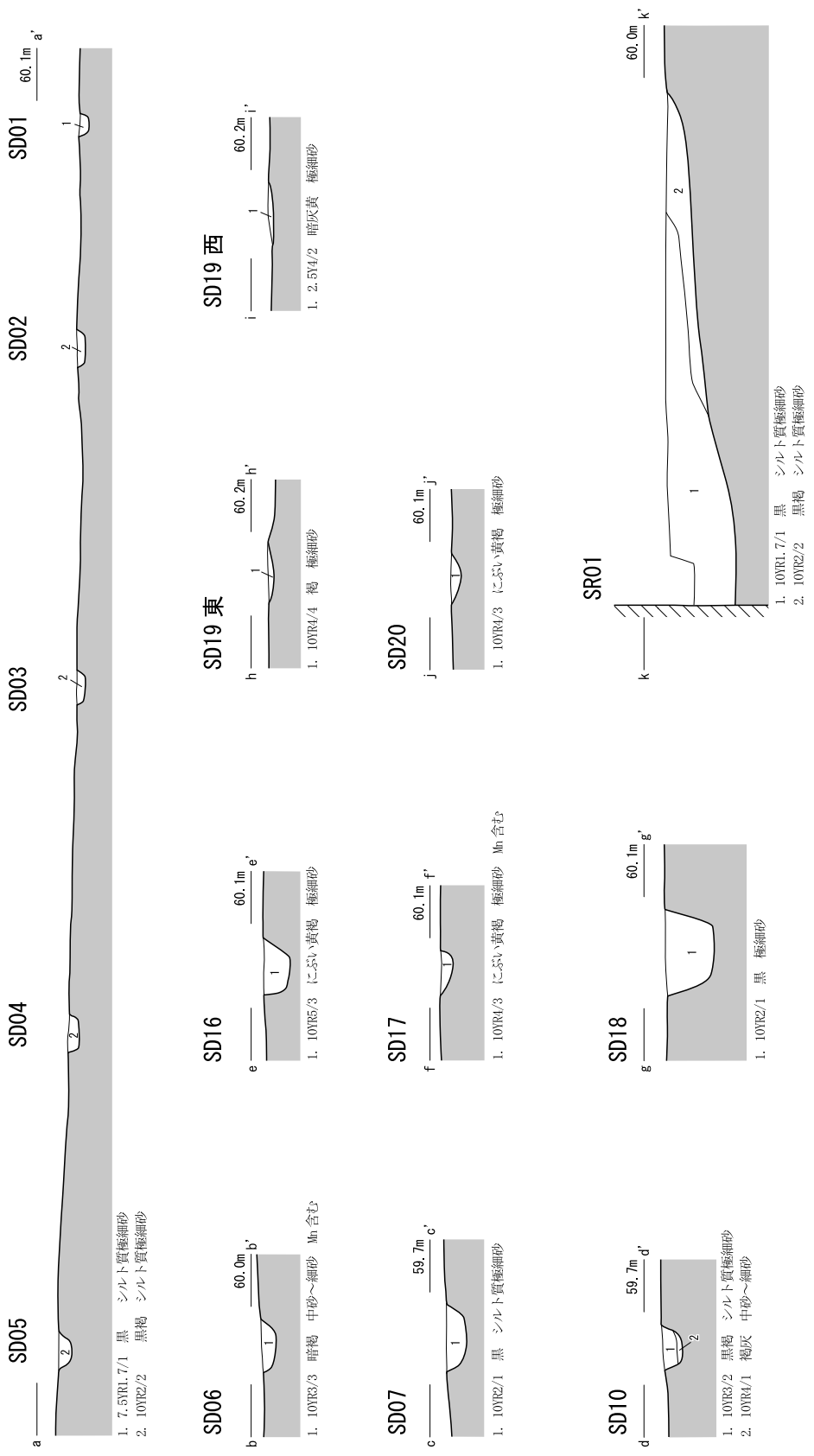
SE01



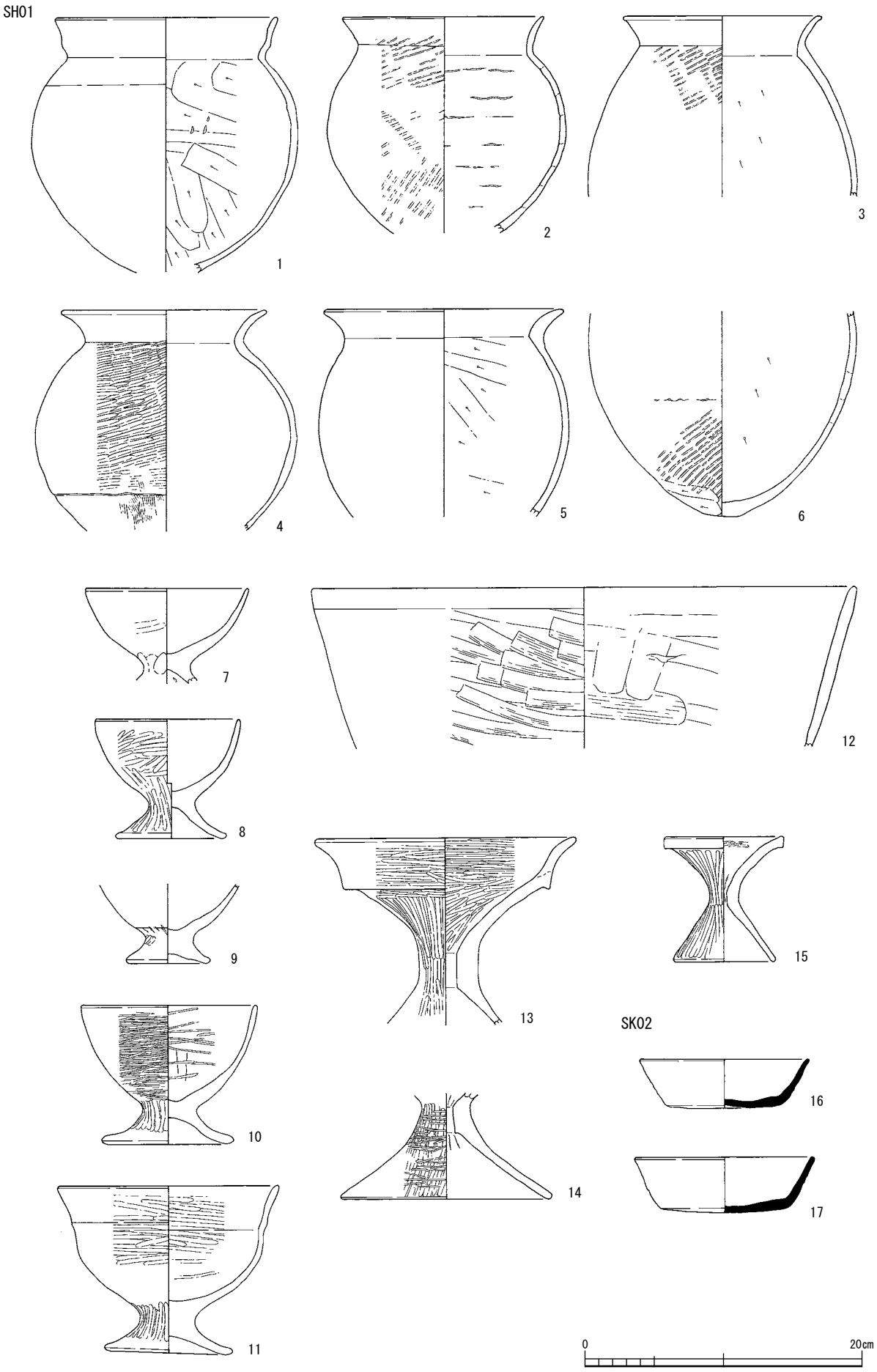
SE02



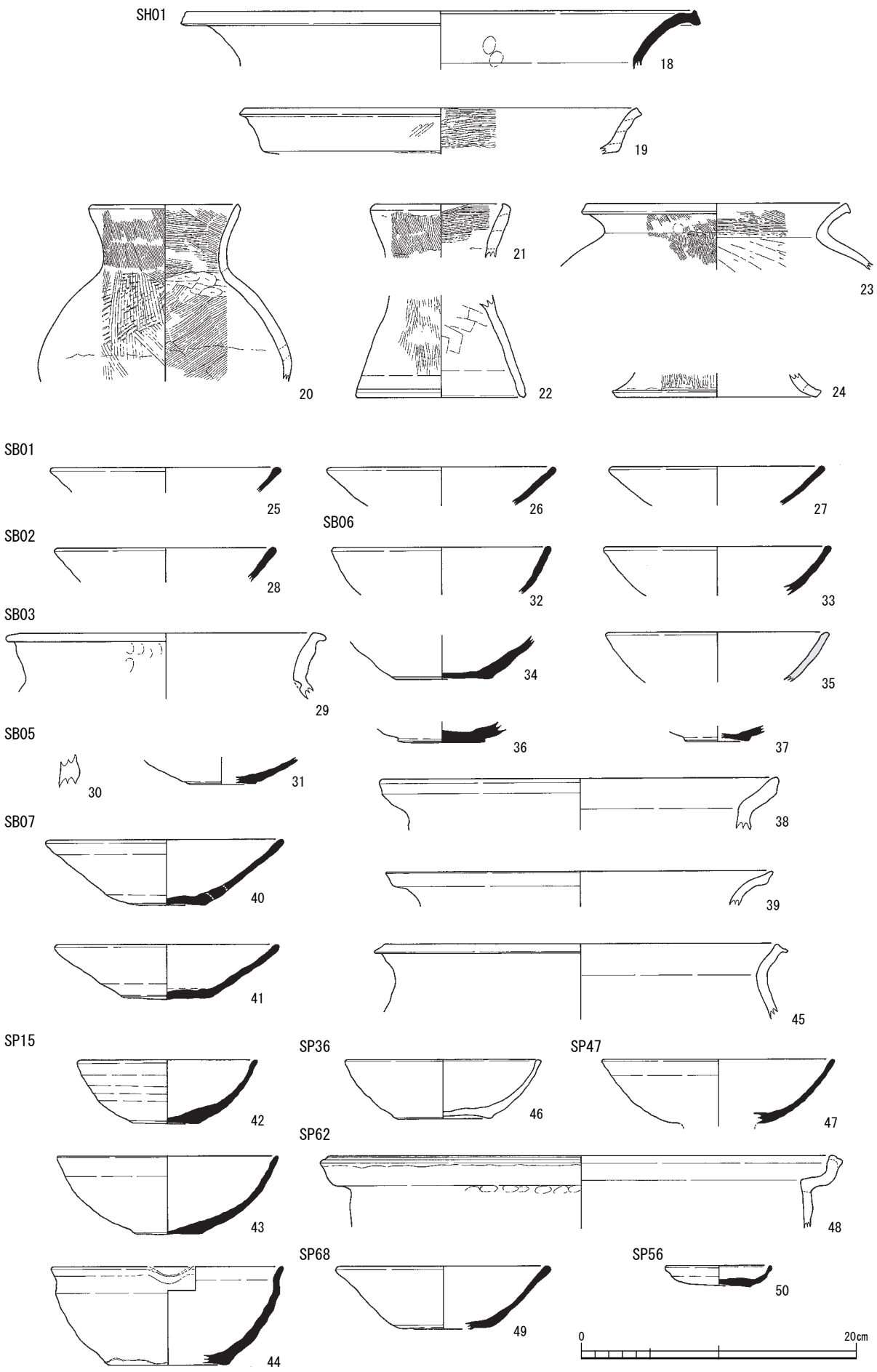
津万2区　井戸平面図・断面図


SD01
60.1m
a'
a
1. 7.5YR1.7/1 黒 シルト質極細砂
2. 10YR2/2 黒褐 シルト質極細砂
SD02
SD03
SD04
SD05
SD06
60.0m
b'
b
1. 10YR3/3 暗褐 中砂～細砂 Mn 含む
SD07
59.7m
c'
c
1. 10YR2/1 黒 シルト質極細砂
SD10
59.7m
d'
d
1. 10YR3/2 黒褐 シルト質極細砂
2. 10YR4/1 褐灰 中砂～細砂
SD16
60.1m
e'
e
1. 10YR5/3 にぶい黄褐 極細砂
SD17
60.1m
f'
f
1. 10YR4/3 にぶい黄褐 極細砂 Mn 含む
SD18
60.1m
g'
g
1. 10YR2/1 黒 極細砂
SD19 東
60.2m
h'
h
1. 10YR4/4 褐 極細砂
SD19 西
60.2m
i'
i
1. 2.5Y4/2 暗灰黄 極細砂
SD20
60.1m
j'
j
1. 10YR4/3 にぶい黄褐 極細砂
SR01
60.0m
k'
k
1. 10YR1.7/1 黒 シルト質極細砂
2. 10YR2/2 黒褐 シルト質極細砂
0
2m

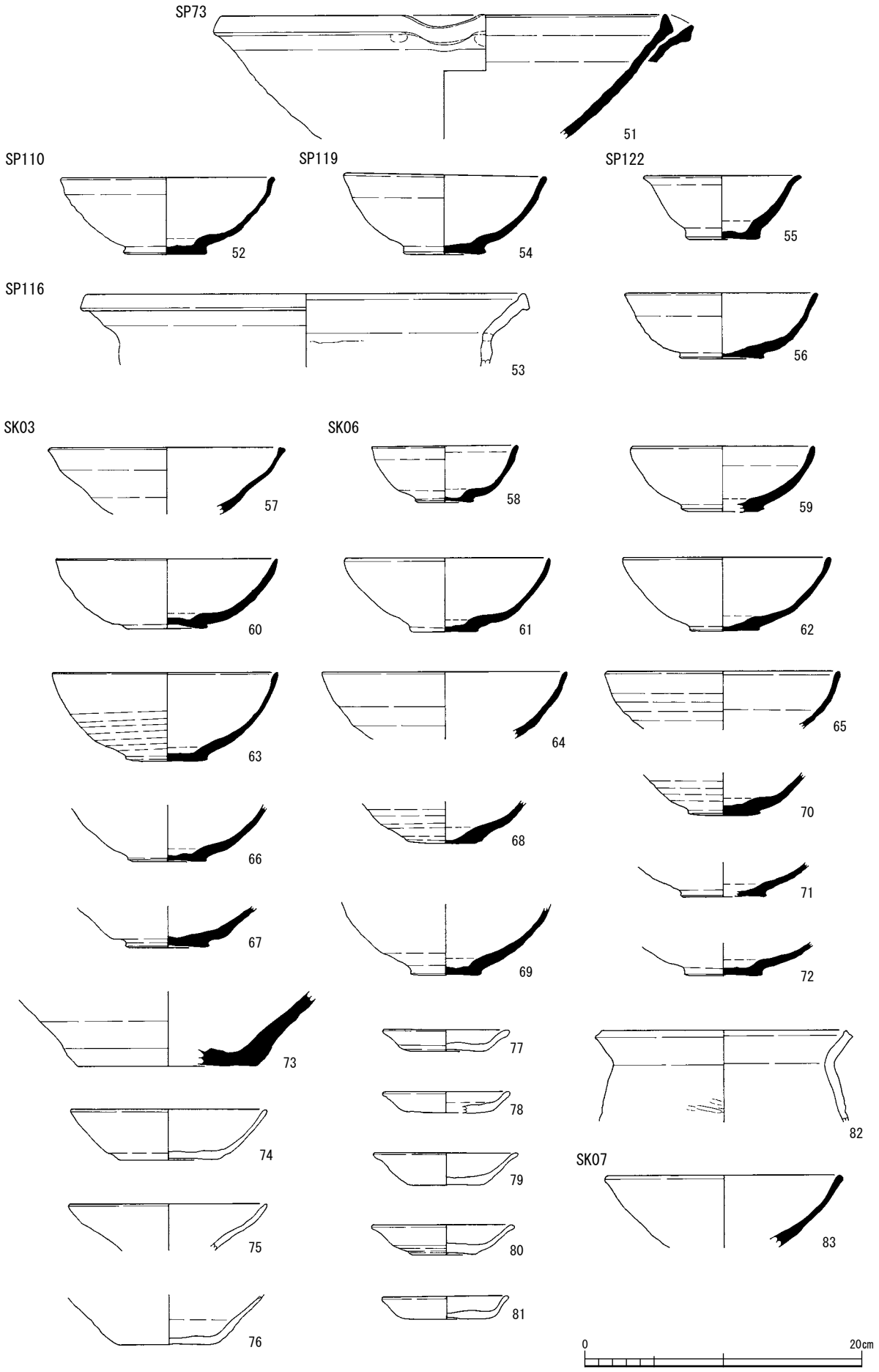
津万２区　溝・流路断面図



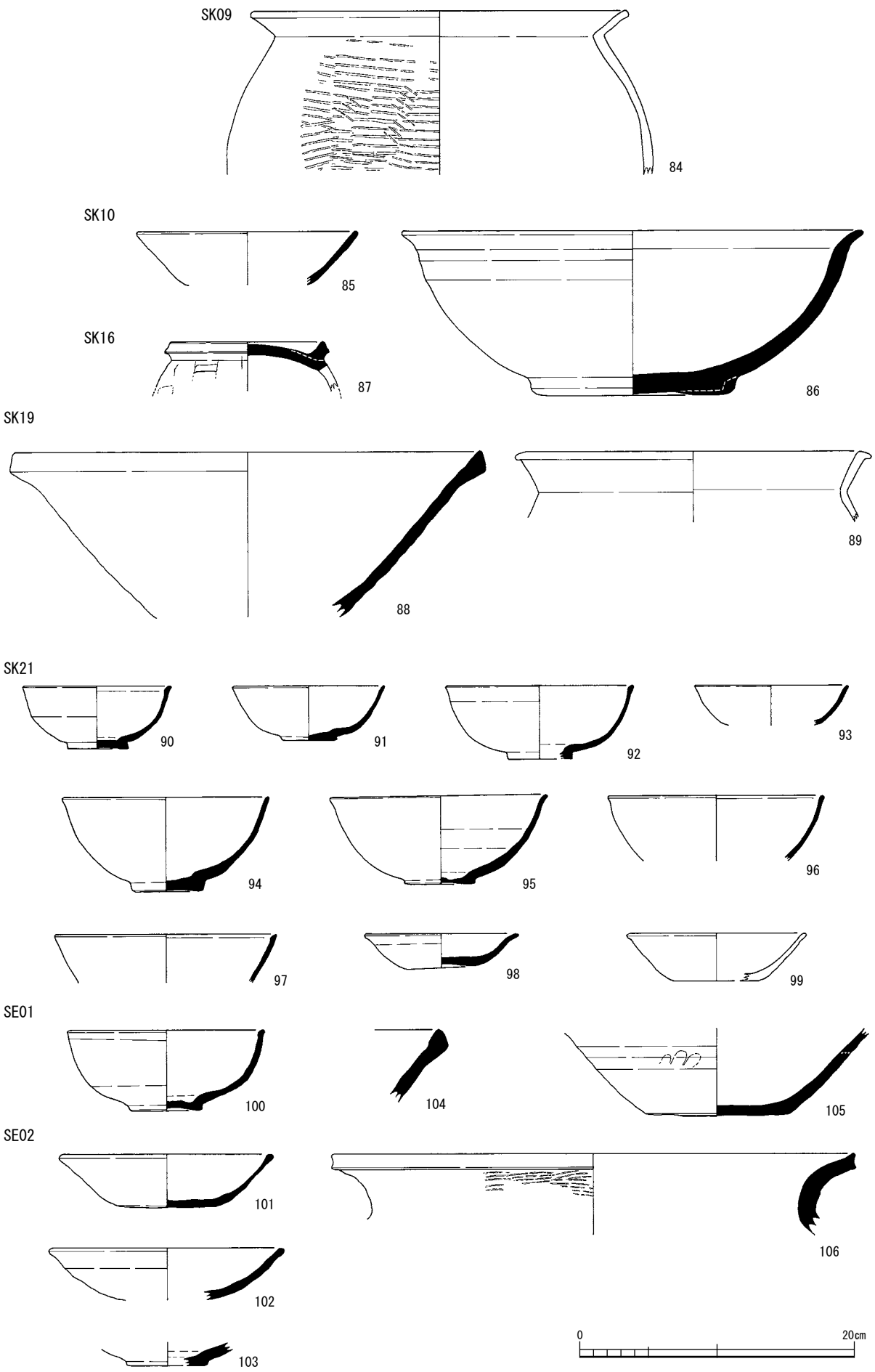
嶋5区　出土土器1


SH01
18
19
20
21
22
23
24
SB01
25
SB06
26
27
SB02
28
32
33
SB03
29
34
35
SB05
30
31
36
37
38
SB07
40
39
41
45
SP15
42
SP36
46
SP47
47
43
SP62
48
SP68
44
49
SP56
50
0
20cm

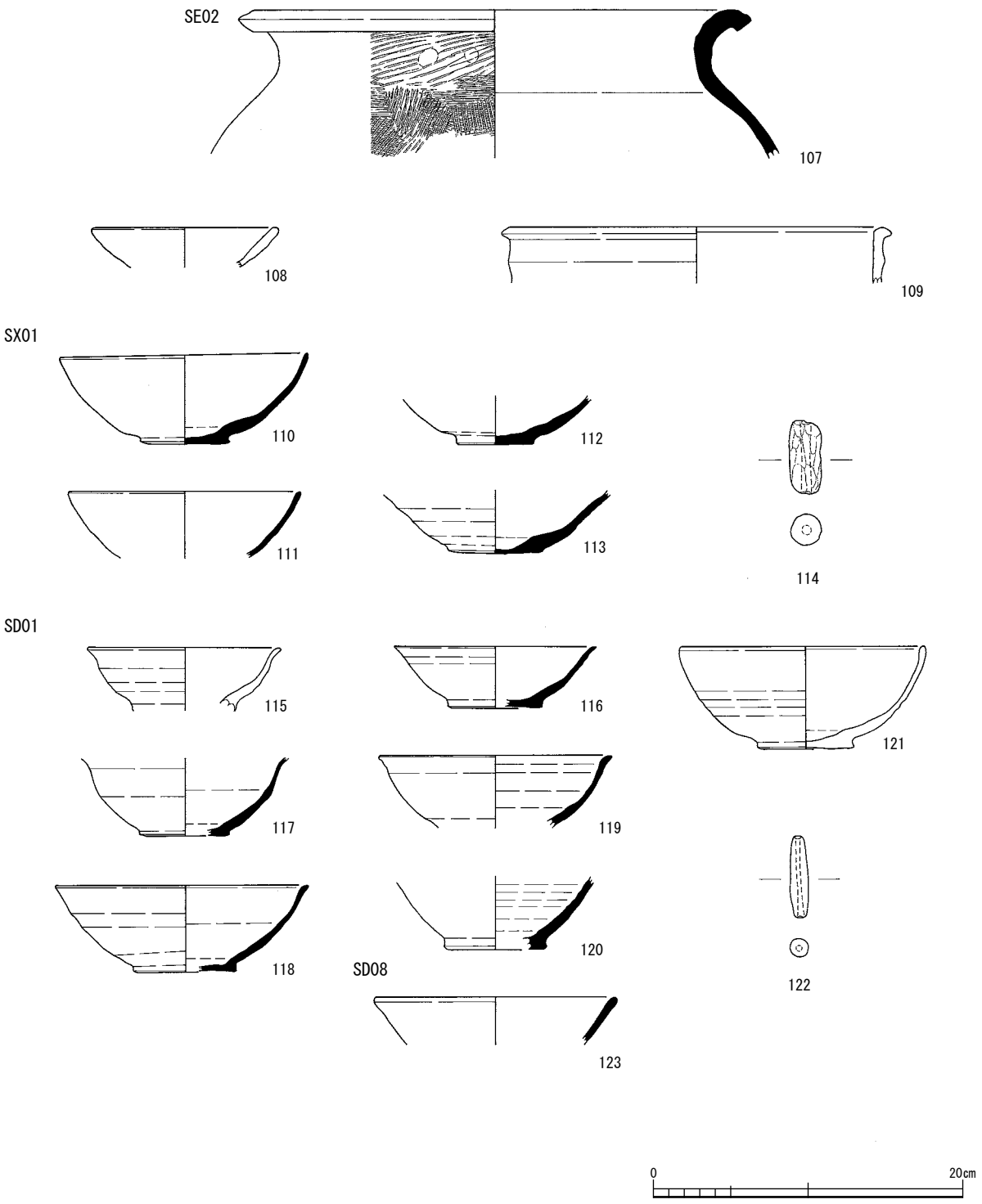
嶋6区　出土土器1

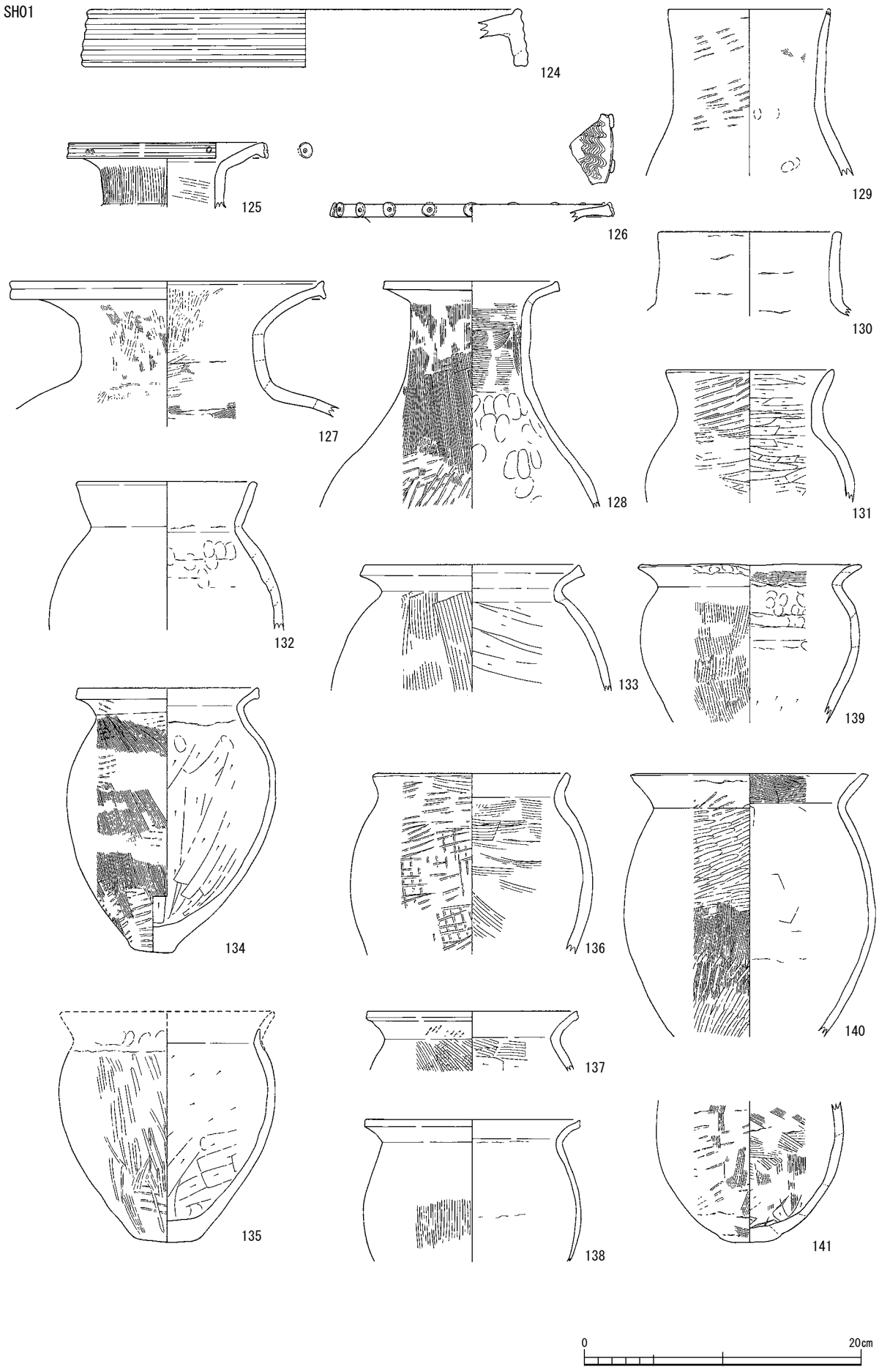

SP73
51
SP110
52
SP119
54
SP122
55
SP116
53
56
SK03
57
SK06
58
59
60
61
62
63
64
65
66
68
70
67
69
71
72
73
77
82
74
78
SK07
79
75
80
83
76
81
0
20cm

嶋6区　出土土器2

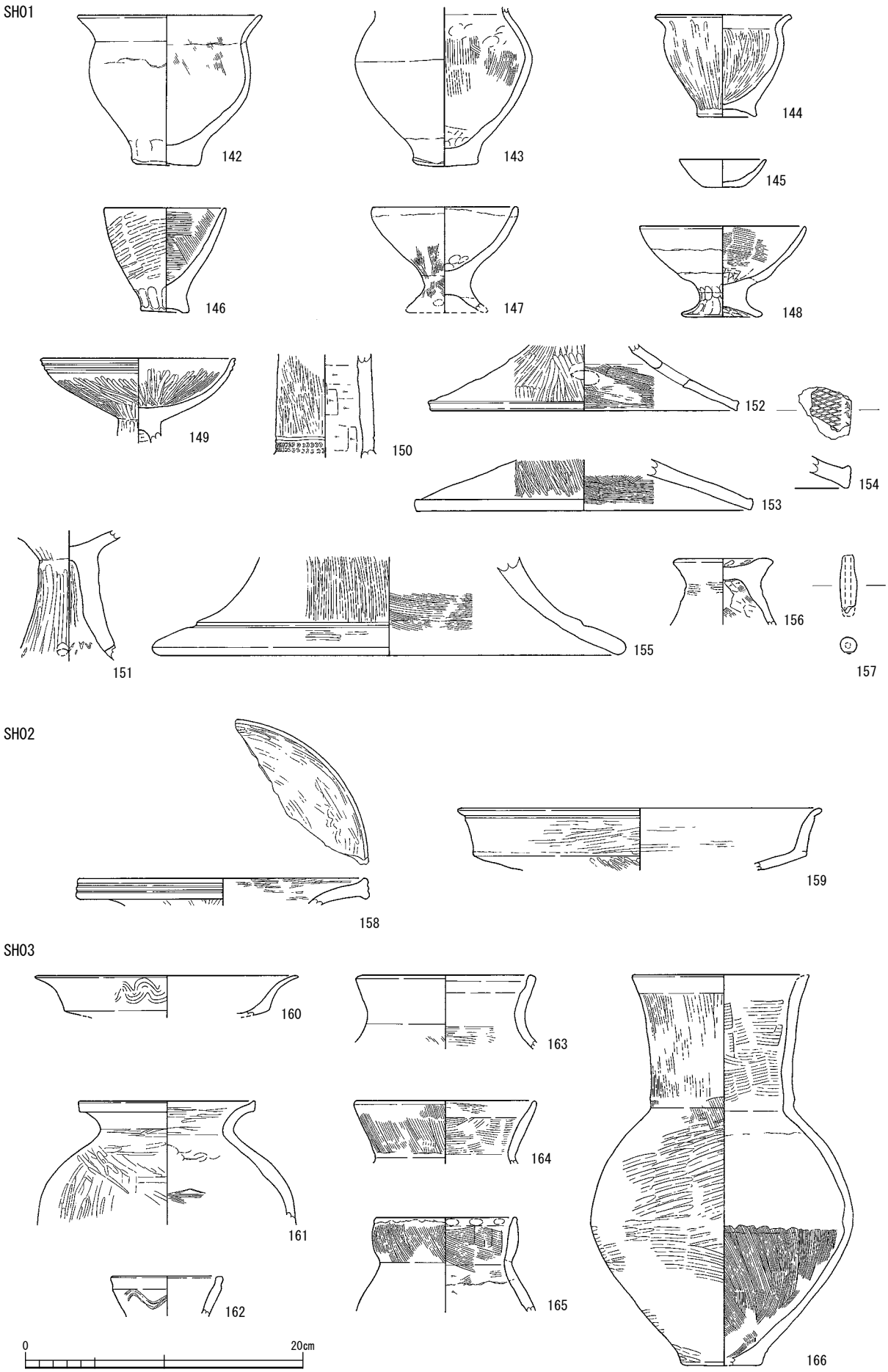

SK09
84
SK10
85
86
SK16
87
SK19
88
89
SK21
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
SE01
100
104
105
SE02
101
106
102
103
0
20cm

嶋6区　出土土器3

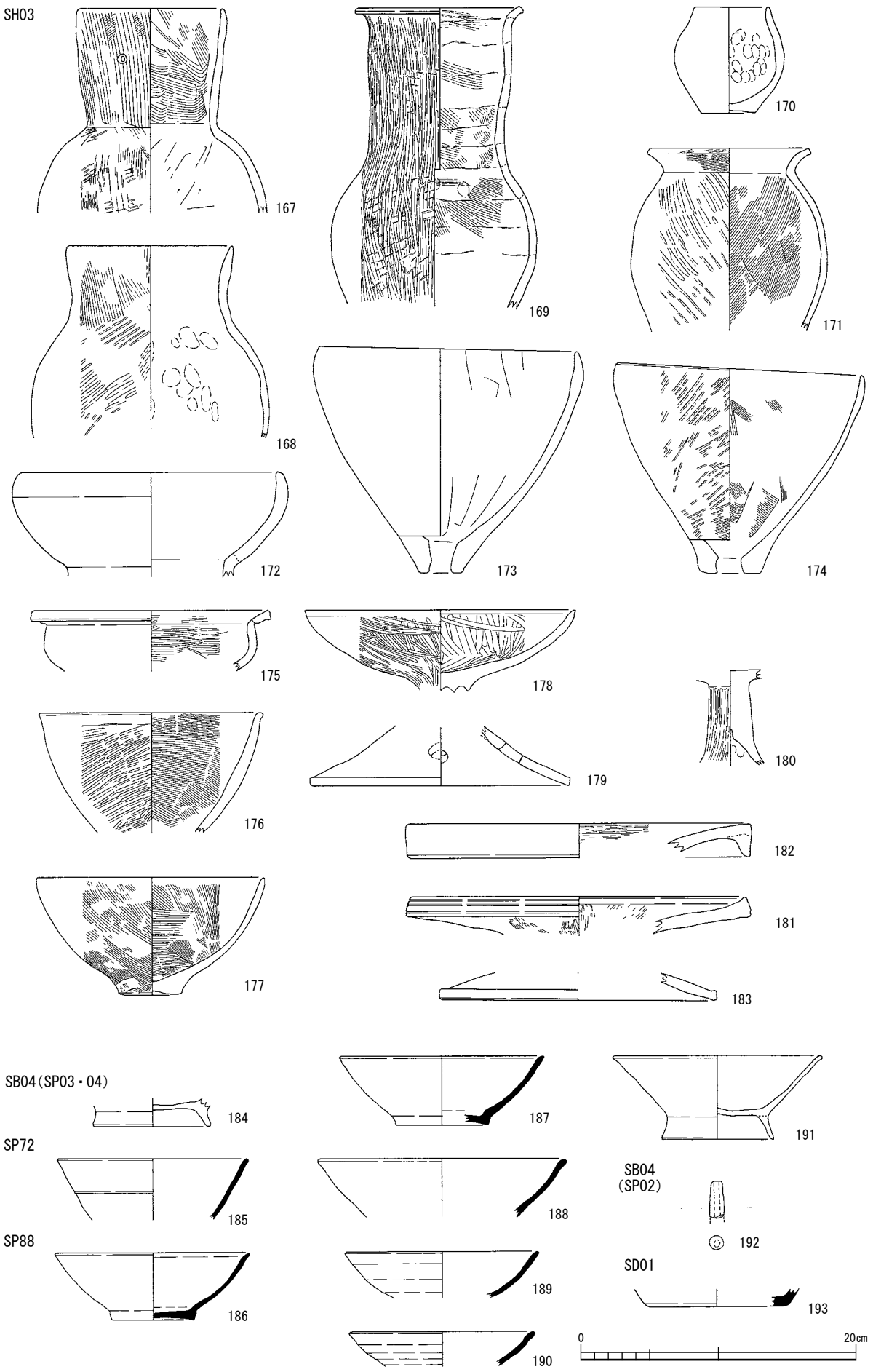

SE02
107
108
109
SX01
110
112
111
113
114
SD01
115
116
121
117
119
118
120
122
SD08
123
0
20cm


SH01
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
0
20cm

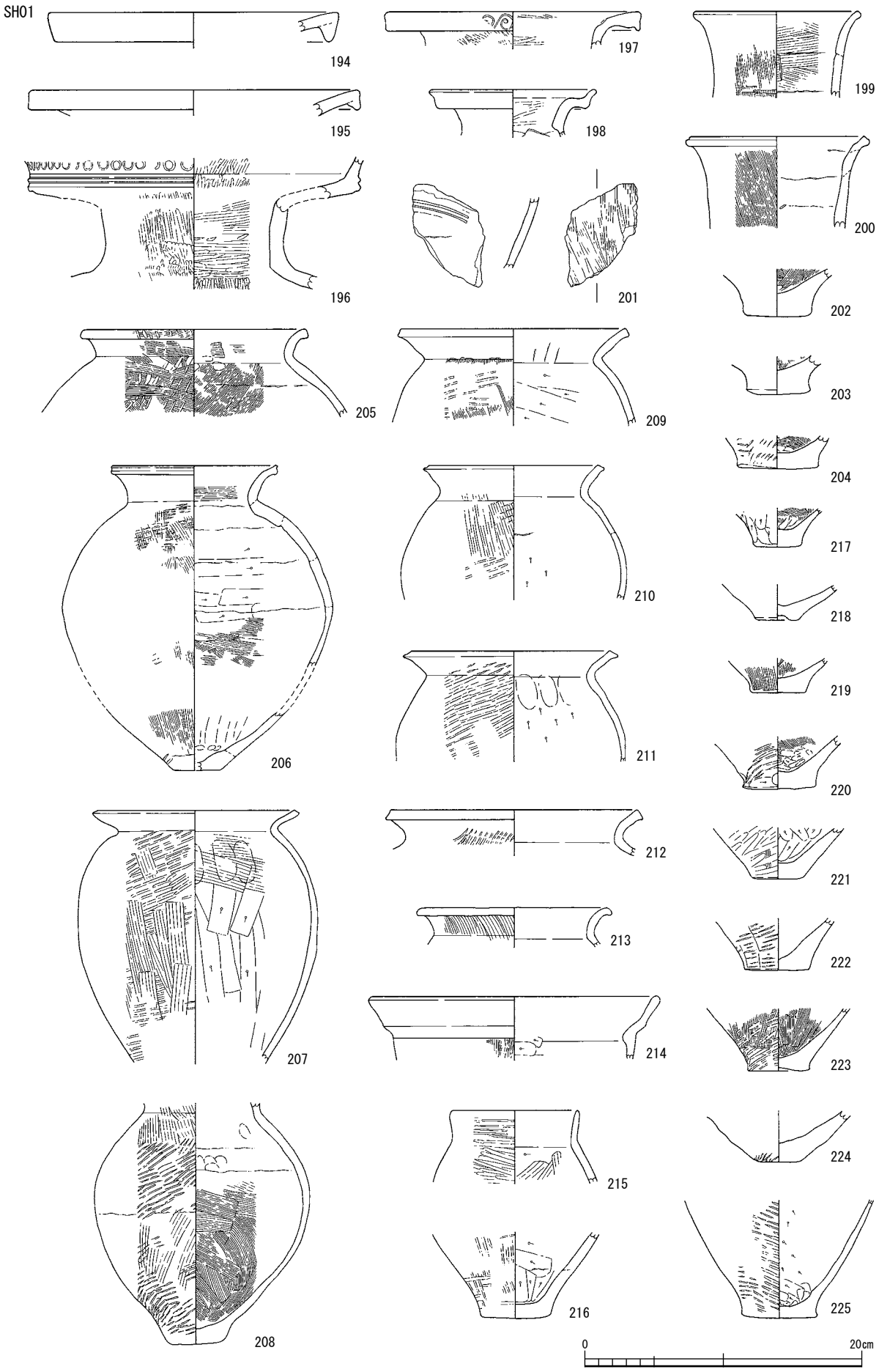
津万 1W 区　出土土器 1


SH01
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
SH02
158
159
SH03
160
161
162
163
164
165
166
0
20cm

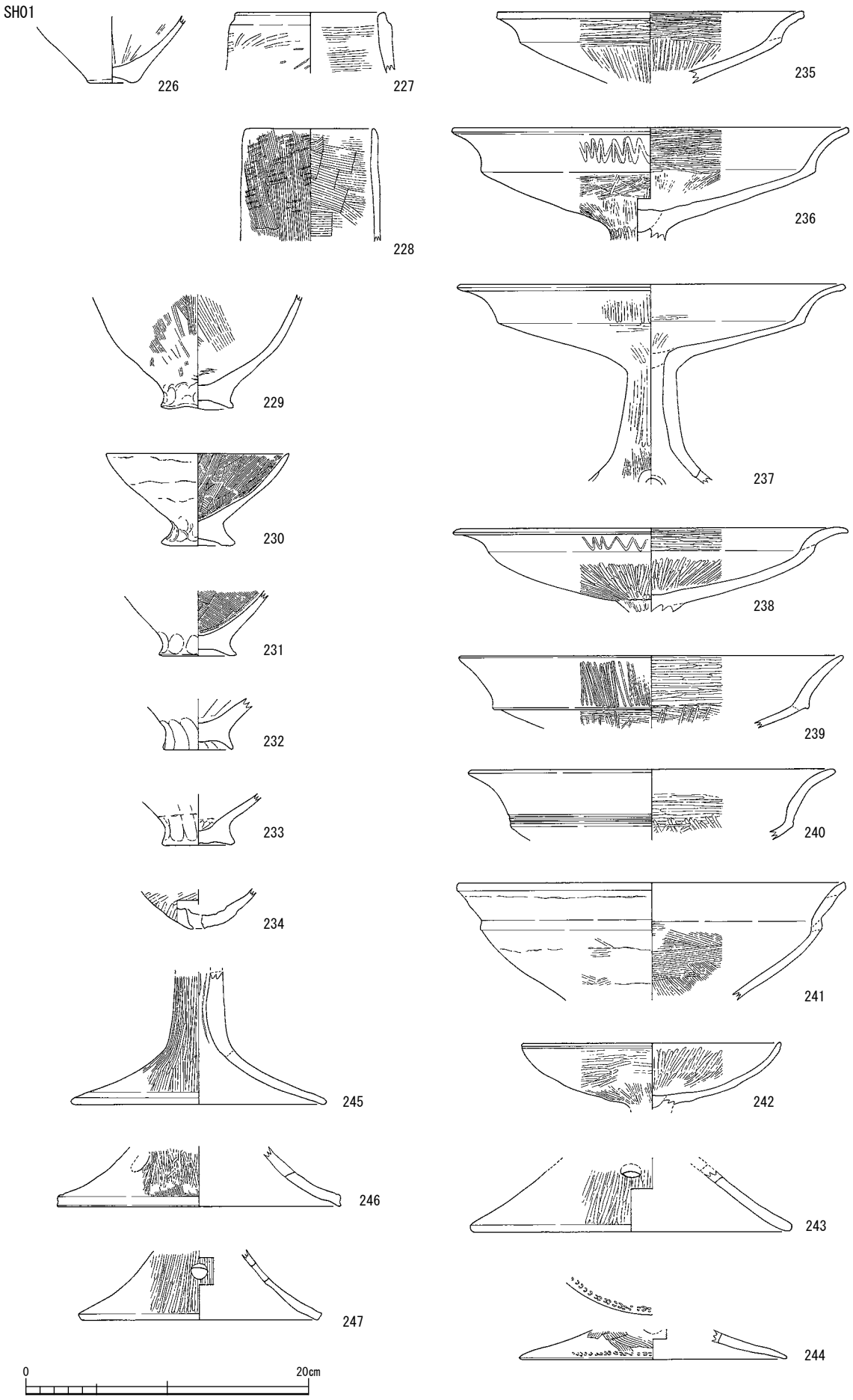
津万 1W 区　出土土器 2


SH03
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
SB04(SP03・04)
184
SP72
185
SP88
186
187
188
189
190
191
SB04
(SP02)
192
SD01
193
0
20cm

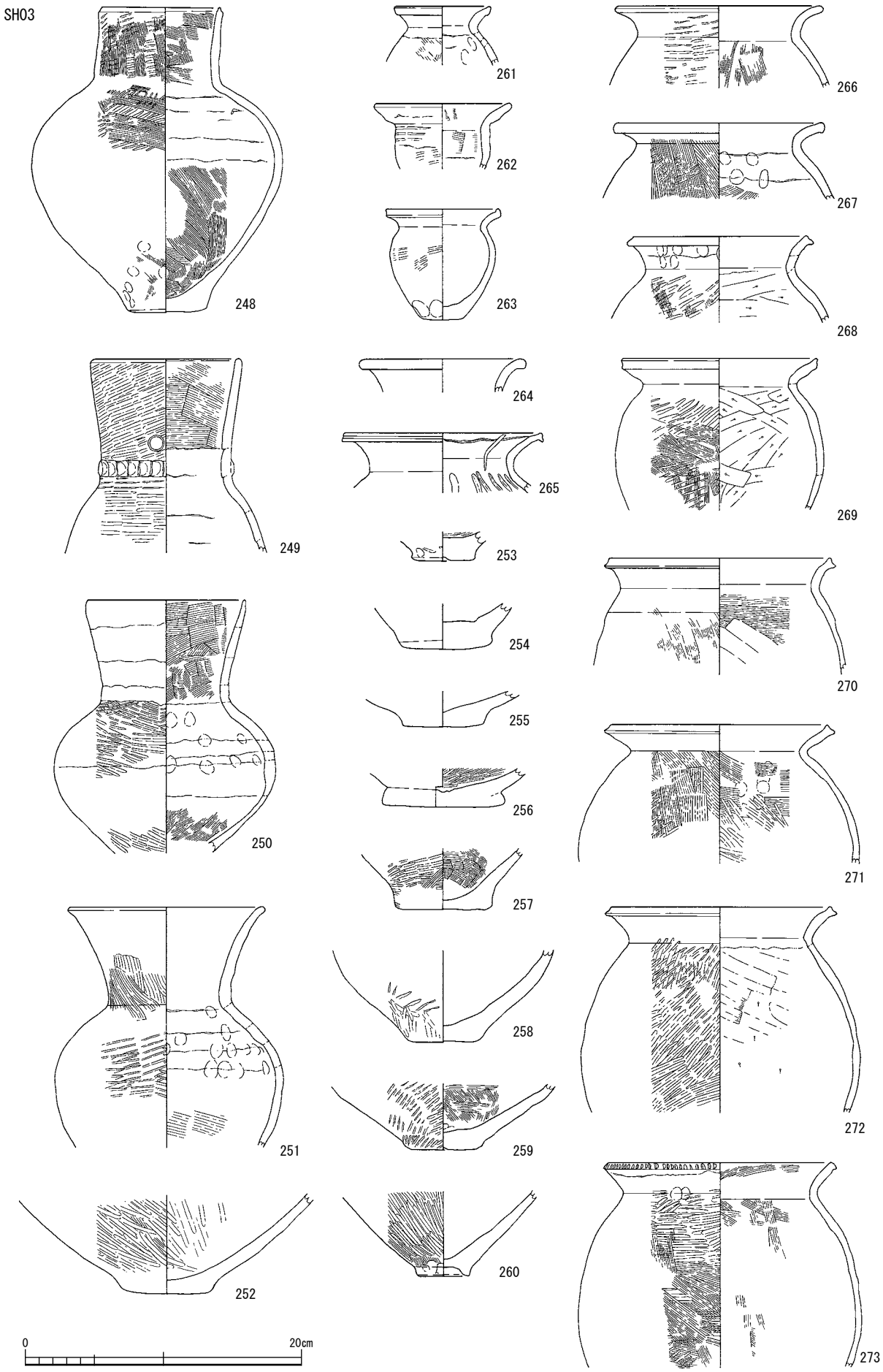
津万 1W 区　出土土器 3


SH01
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
0
20cm

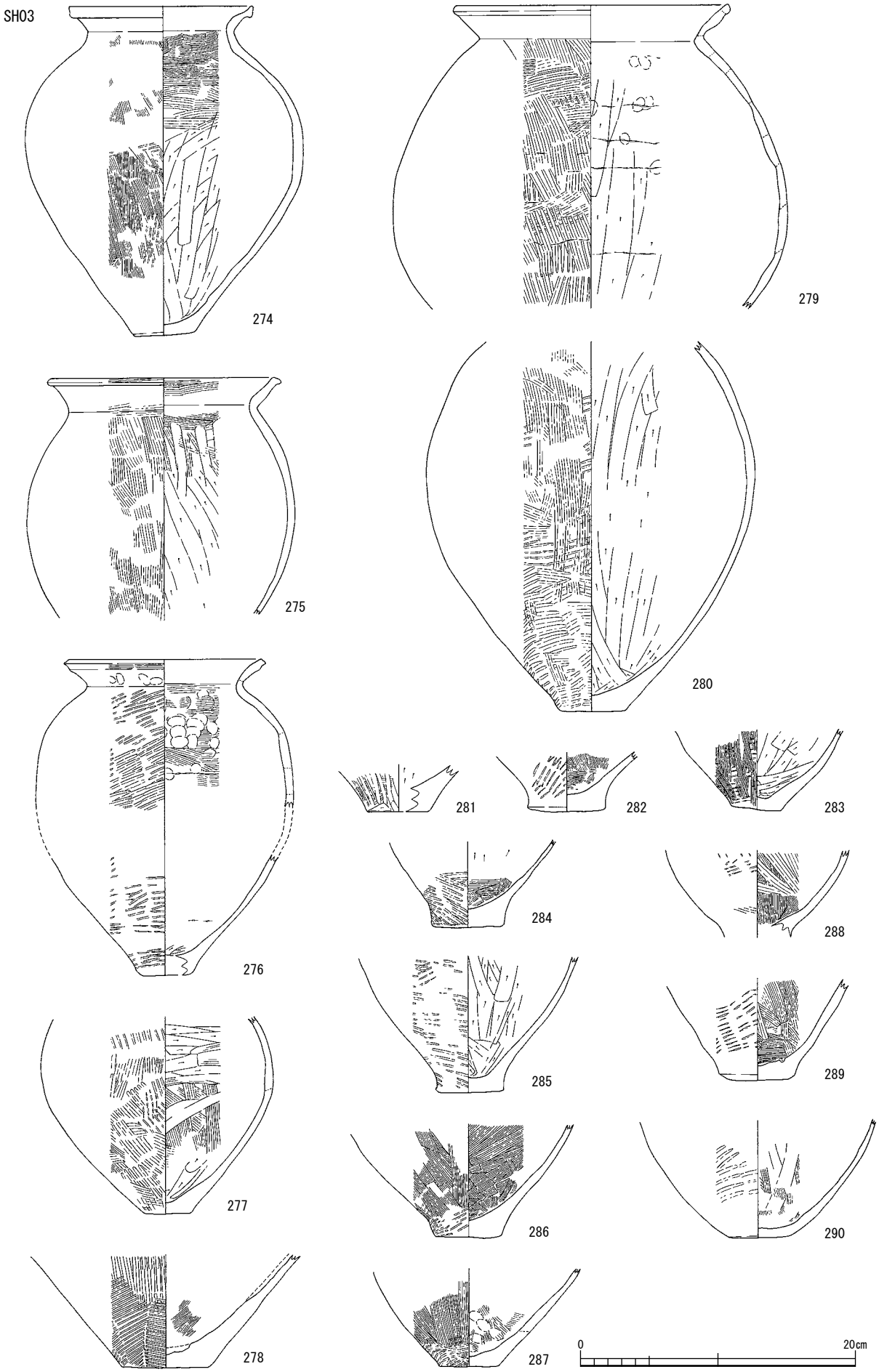
津万 1E 区　出土土器 1


SH01
226
227
228
229
230
231
232
233
234
245
246
247
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
0
20cm

津万 1E 区　出土土器 2

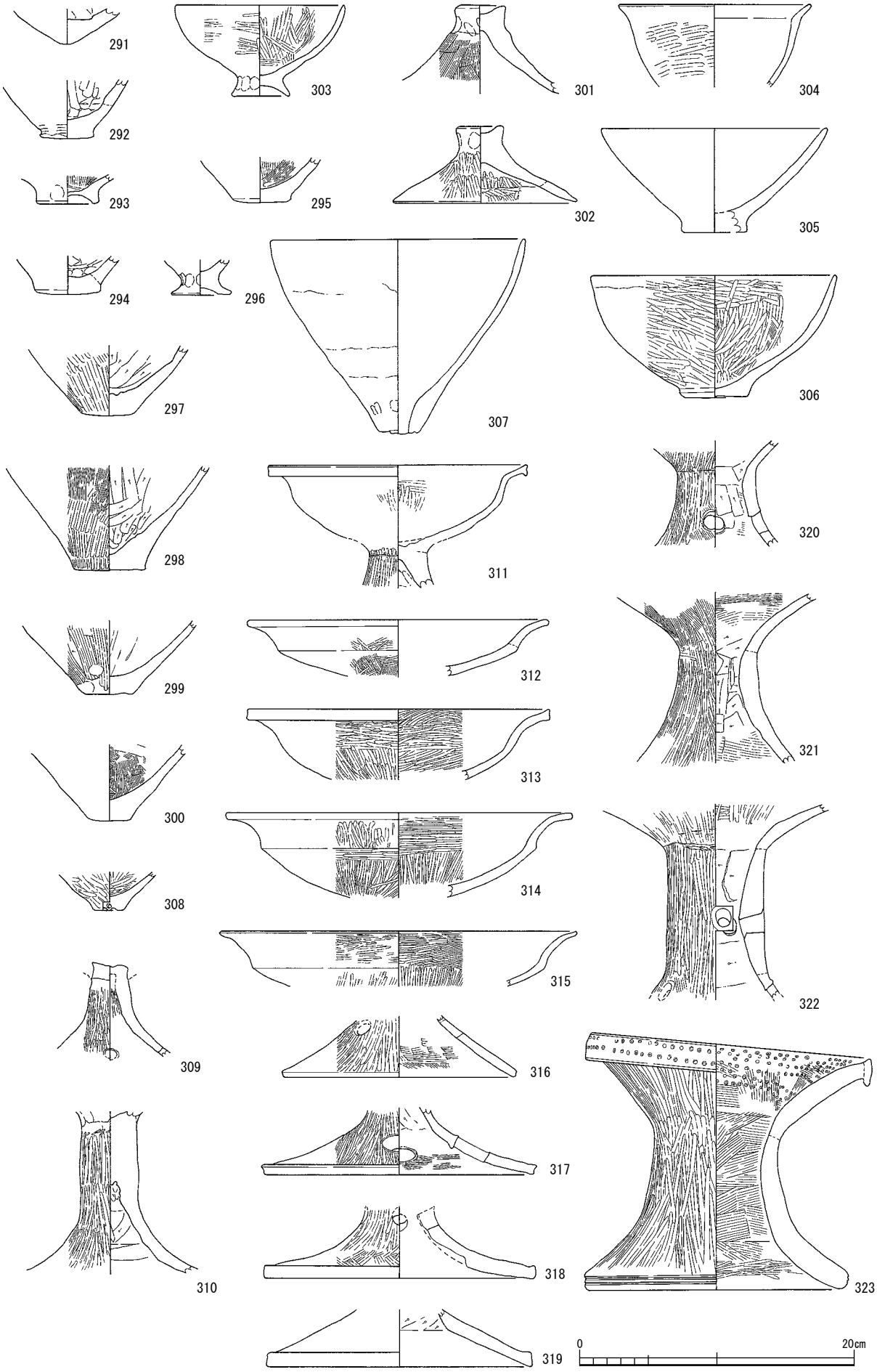

SH03
248
249
250
251
252
261
262
263
264
265
253
254
255
256
257
258
259
260
266
267
268
269
270
271
272
273
0
20cm

津万 1E 区　出土土器 3

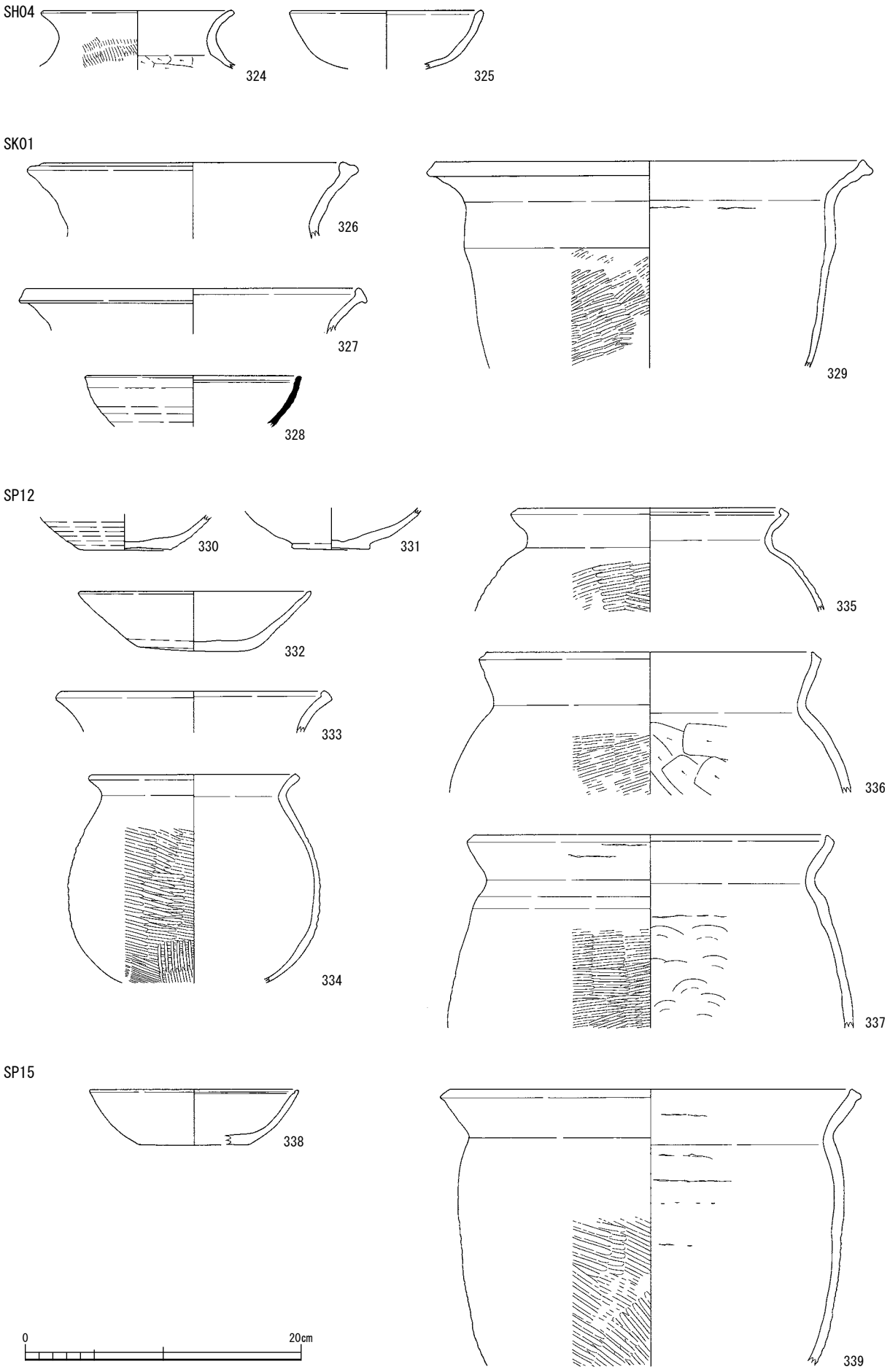

SH03
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
0
20cm

津万 1E 区　出土土器 4

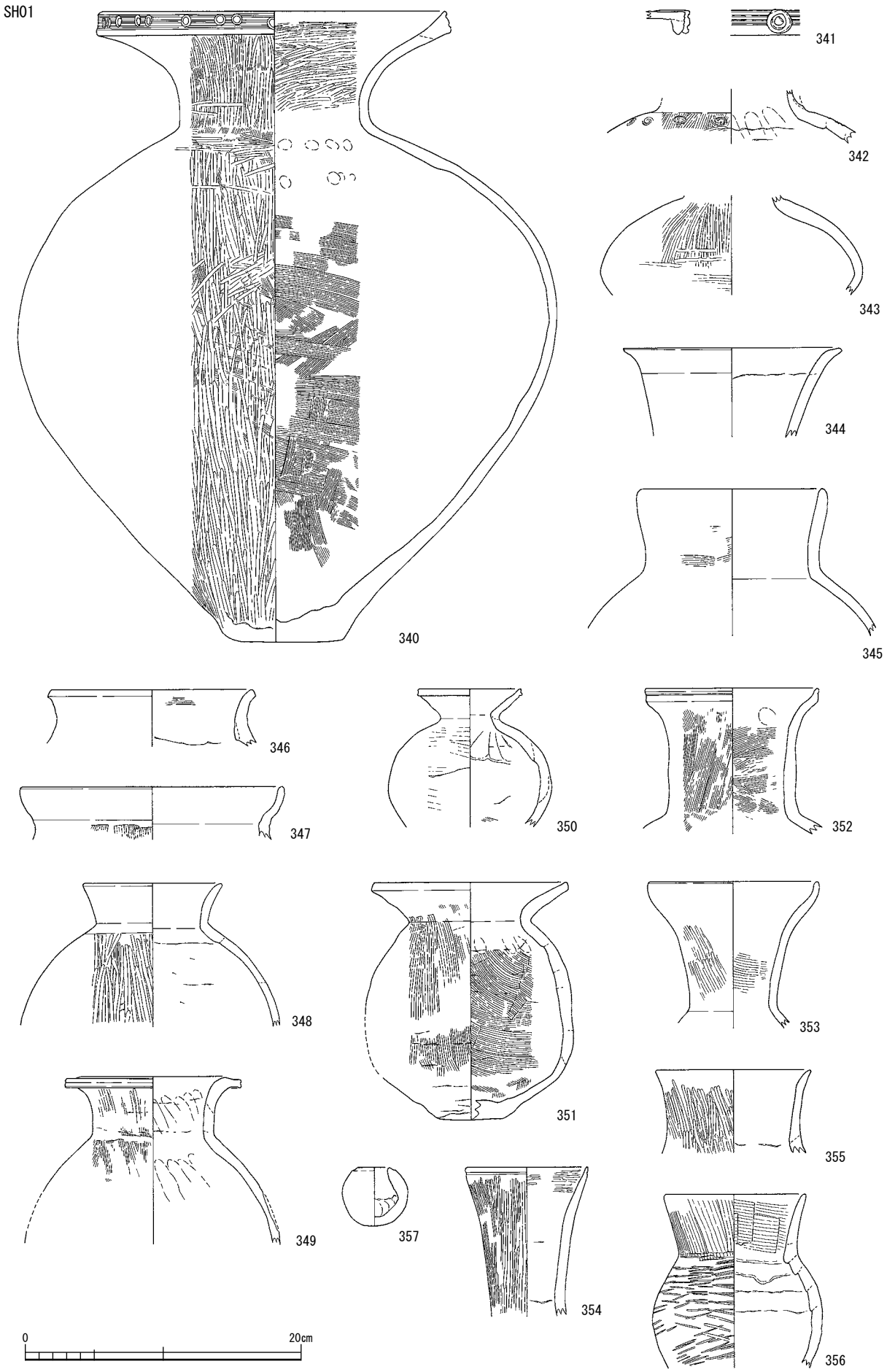
SH03



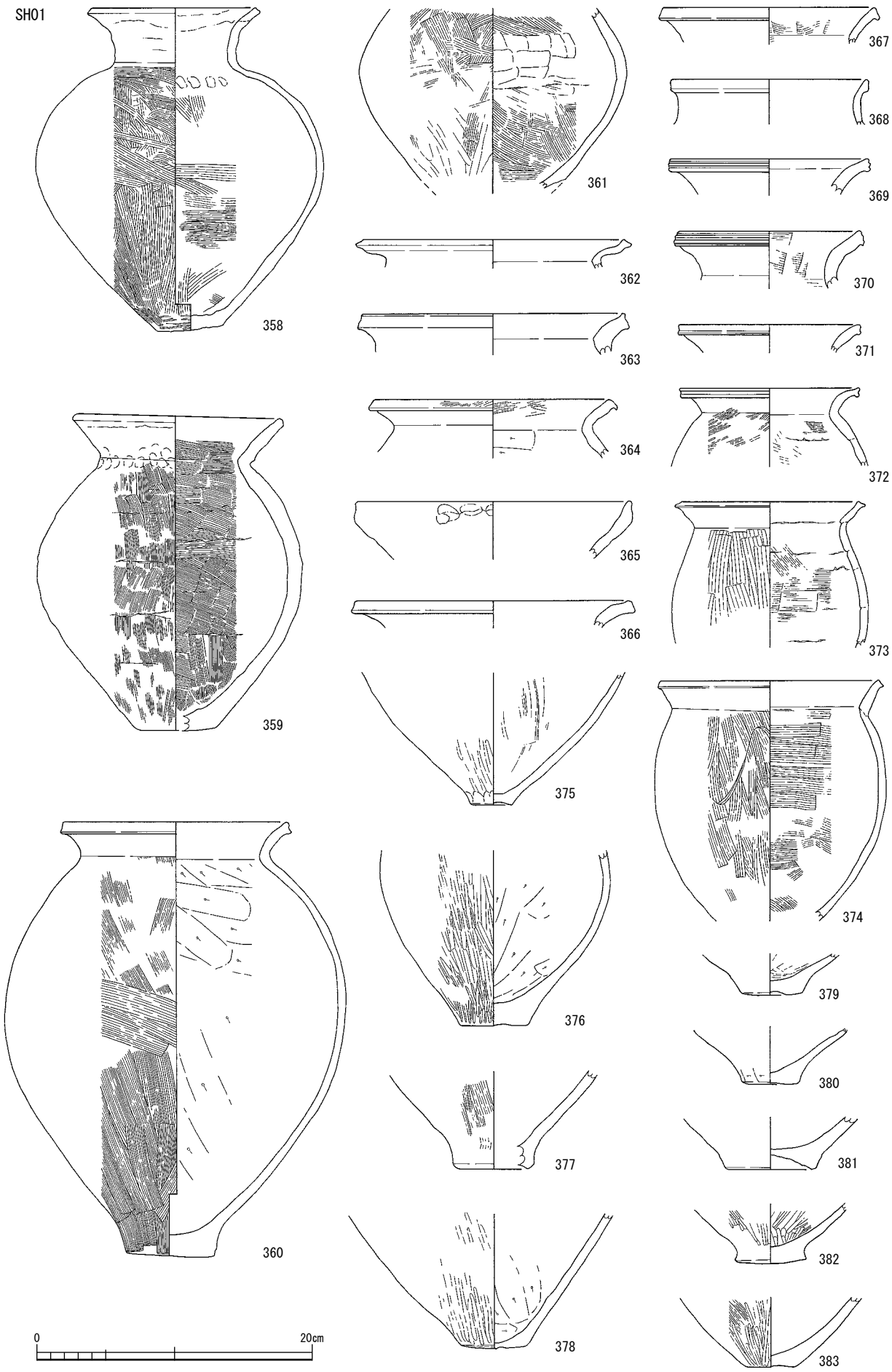
津万 1E 区　出土土器 5


SH04
324
325
SK01
326
327
328
329
SP12
330
331
332
333
334
335
336
337
SP15
338
339
0
20cm

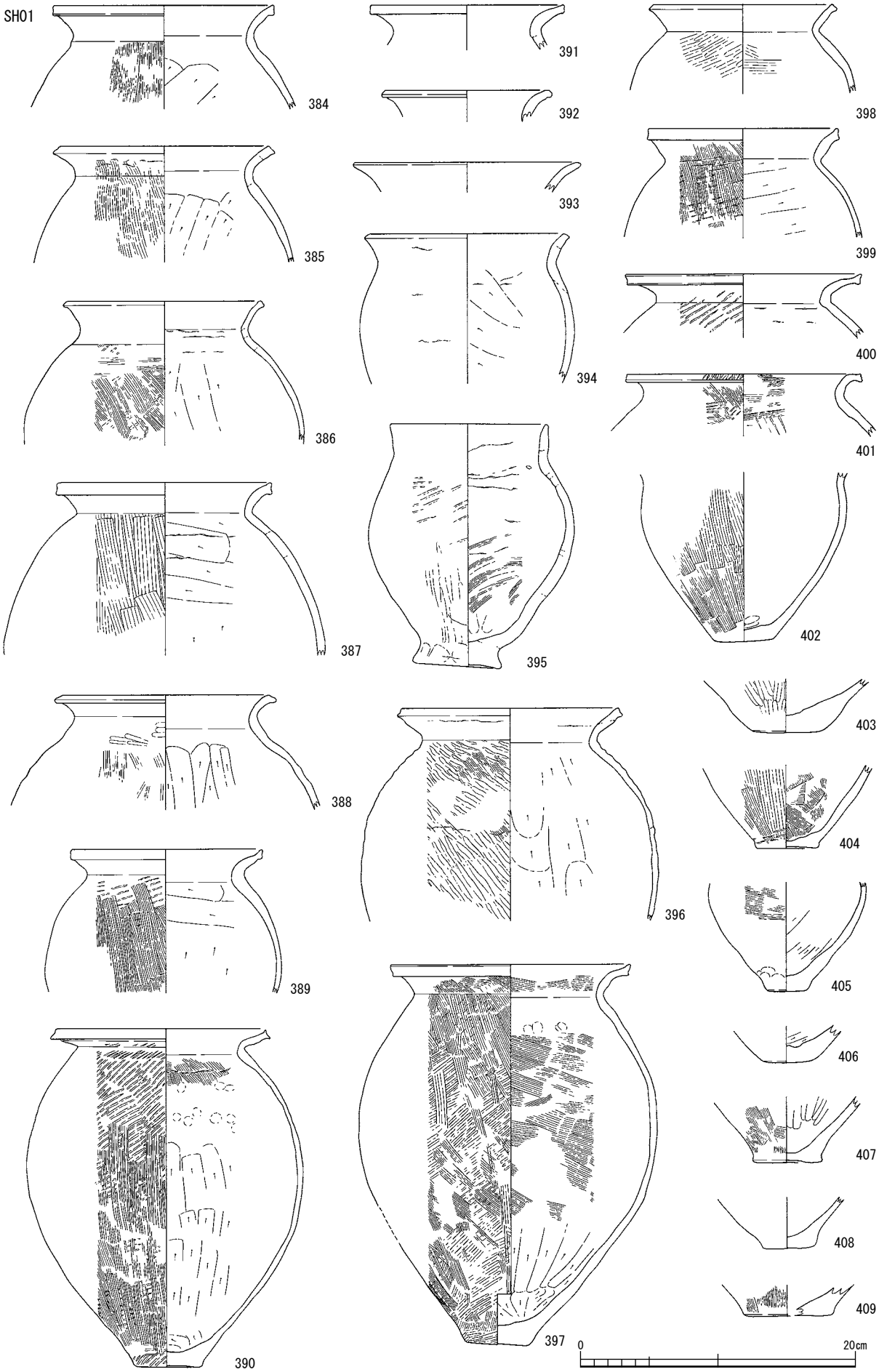
津万 1E 区　出土土器 6


SH01
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
0
20cm

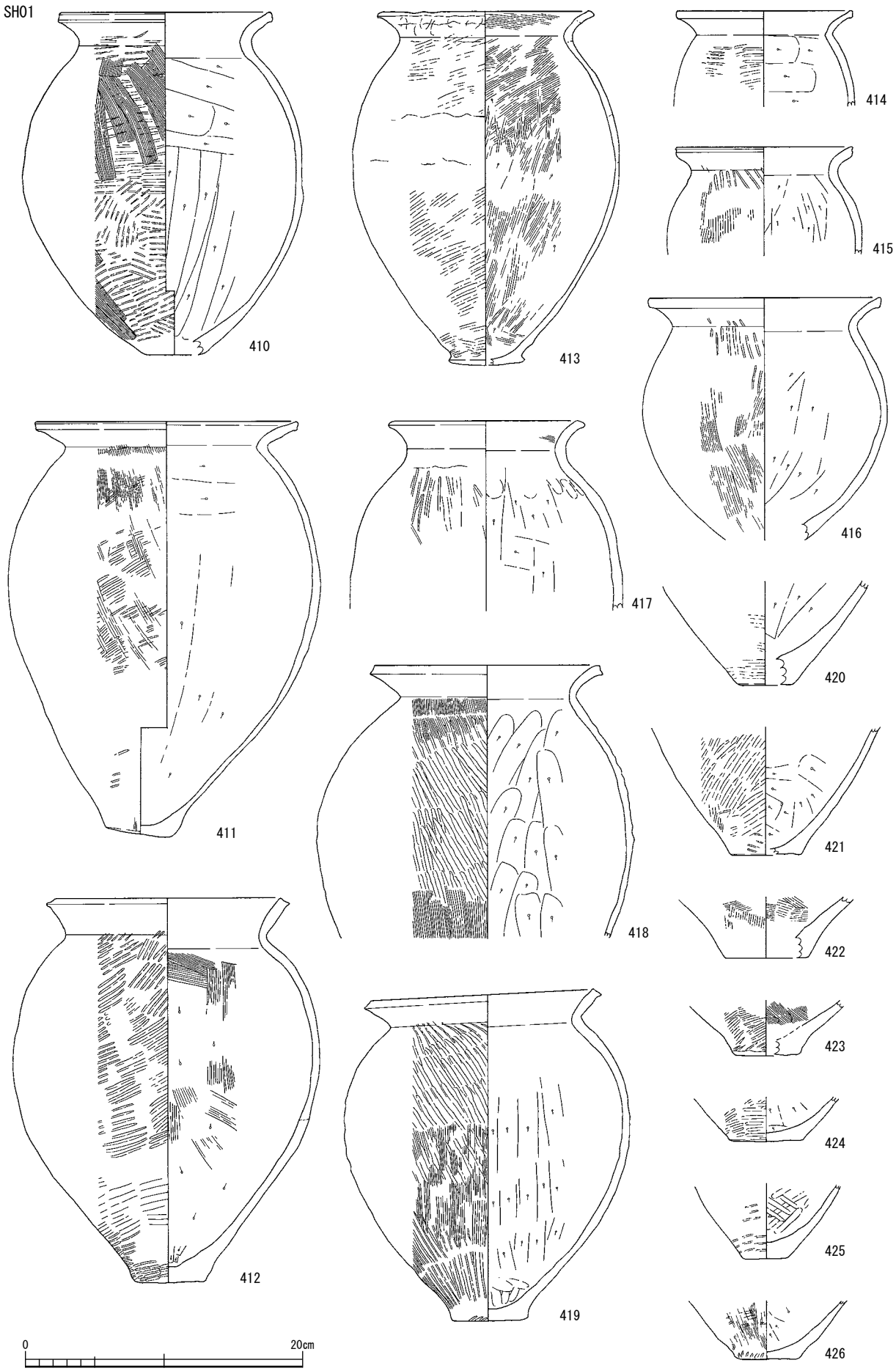
津万２区　出土土器１


SH01
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
0
20cm

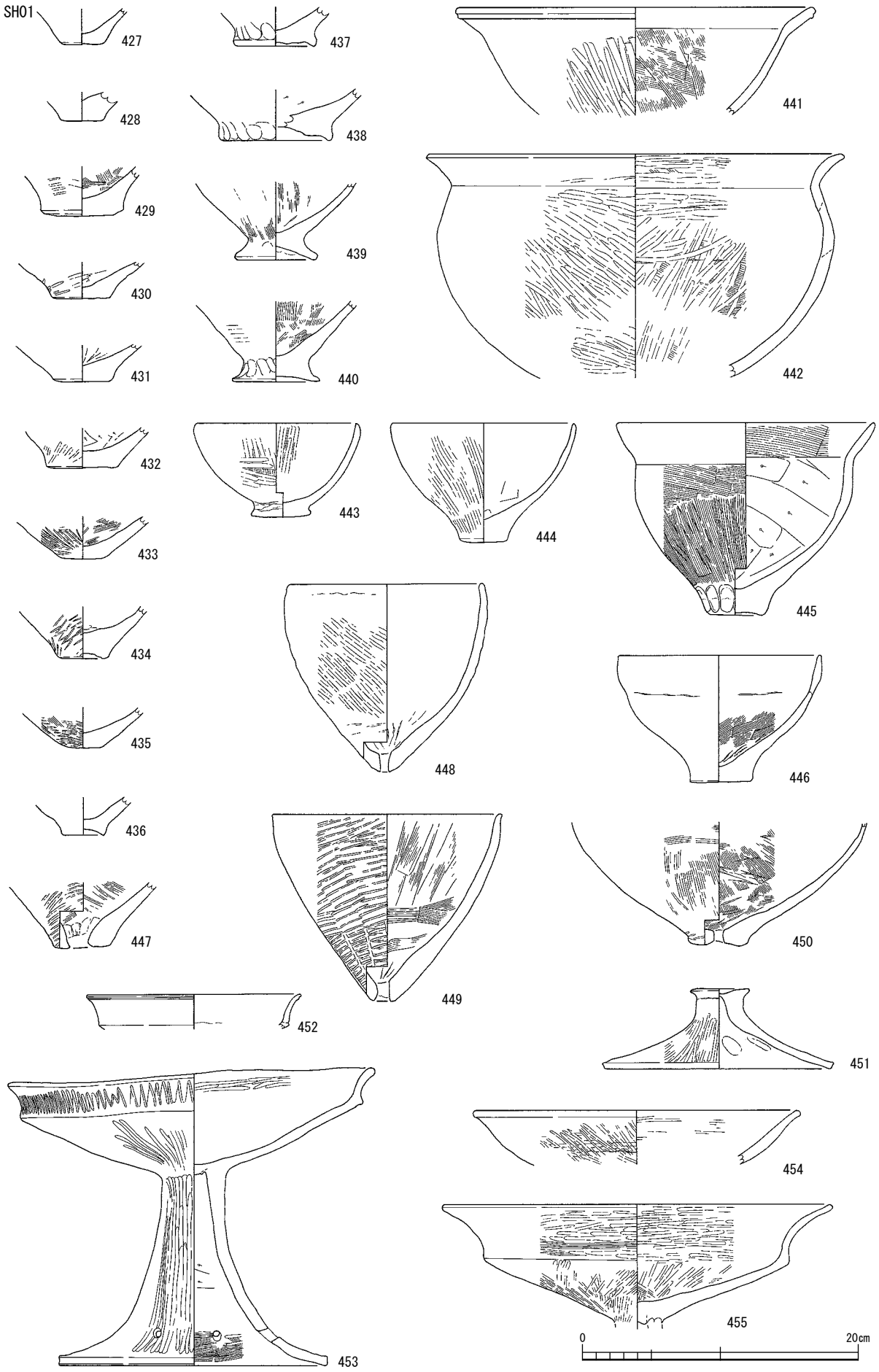
津万２区　出土土器２


SH01
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
0
20cm

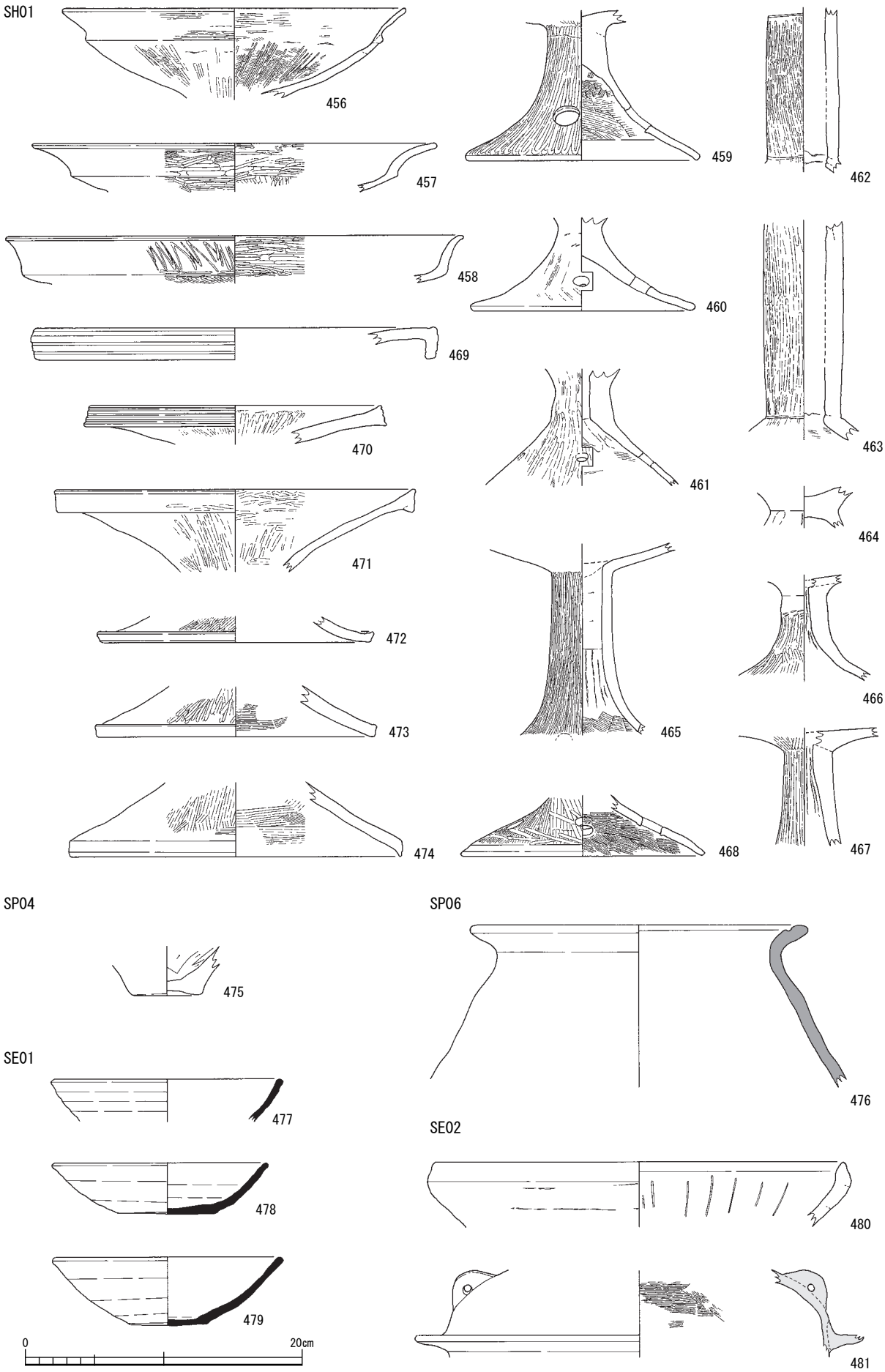
津万２区　出土土器３


SH01
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
0
20cm

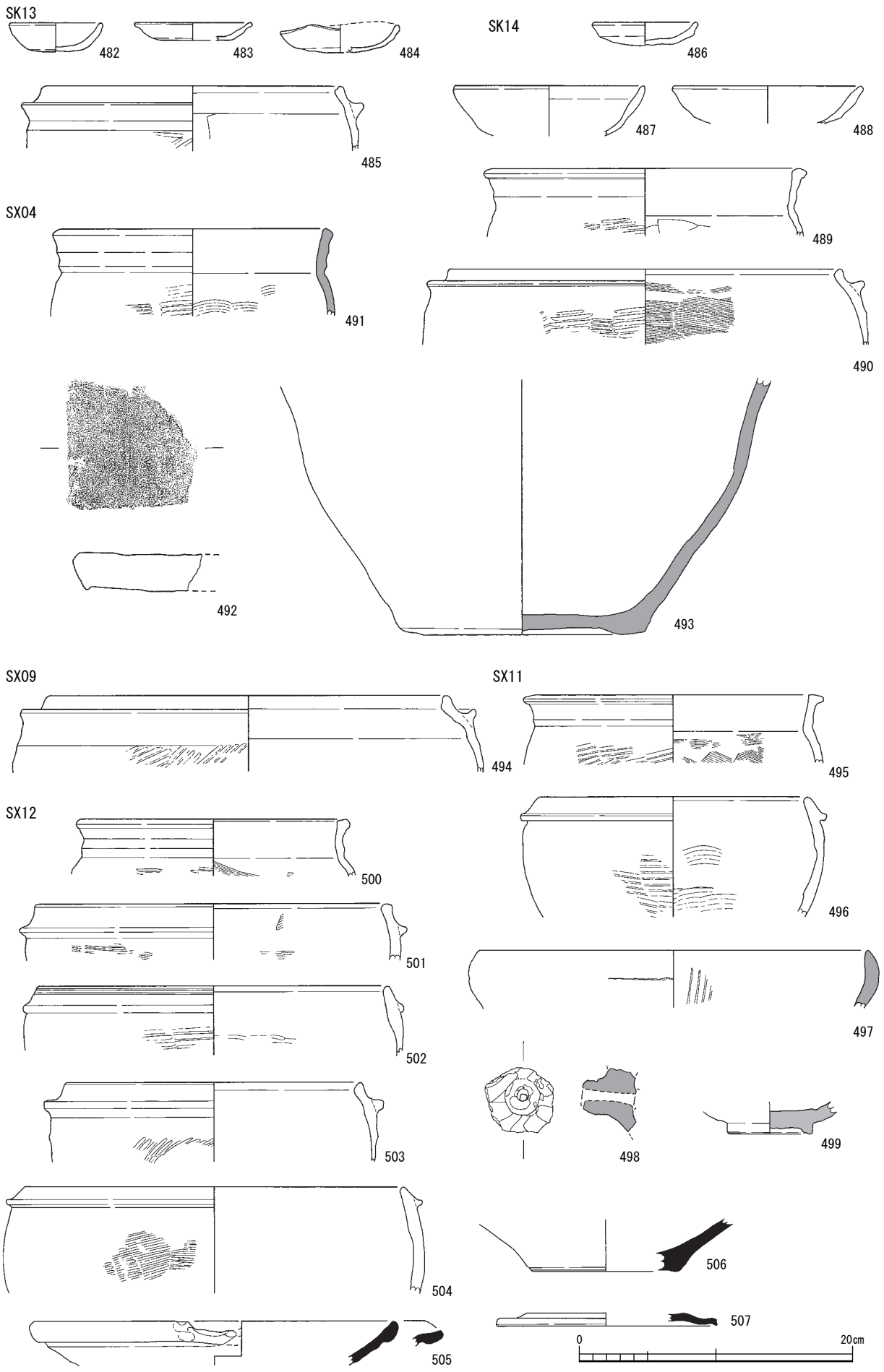
津万２区　出土土器４


SH01
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
447
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
448
449
450
451
452
453
454
455
0
20cm

津万２区　出土土器５


SH01
456
457
458
469
470
471
472
473
474
459
460
461
465
468
462
463
464
466
467
SP04
475
SP06
476
SE01
477
478
479
0
20cm
SE02
480
481

津万2区　出土土器6


SK13
482
483
484
485
SK14
486
487
488
489
490
SX04
491
492
493
SX09
494
SX11
495
496
497
SX12
500
501
502
503
504
505
498
499
506
507
0
20cm

津万２区　出土土器７

旧河道

508 513 514 509 511 510 512 515 517 516

残土

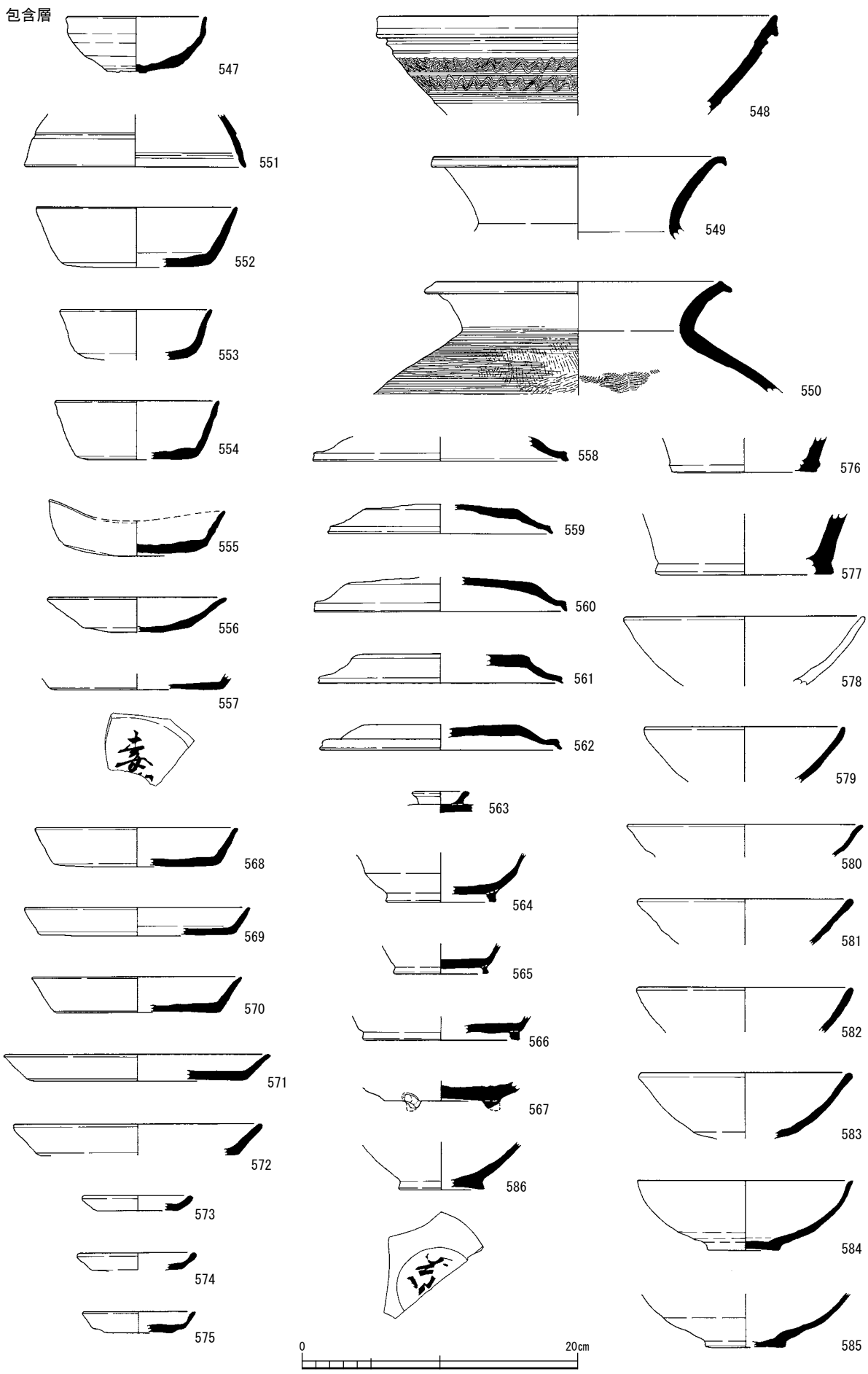
518 519

0 20cm

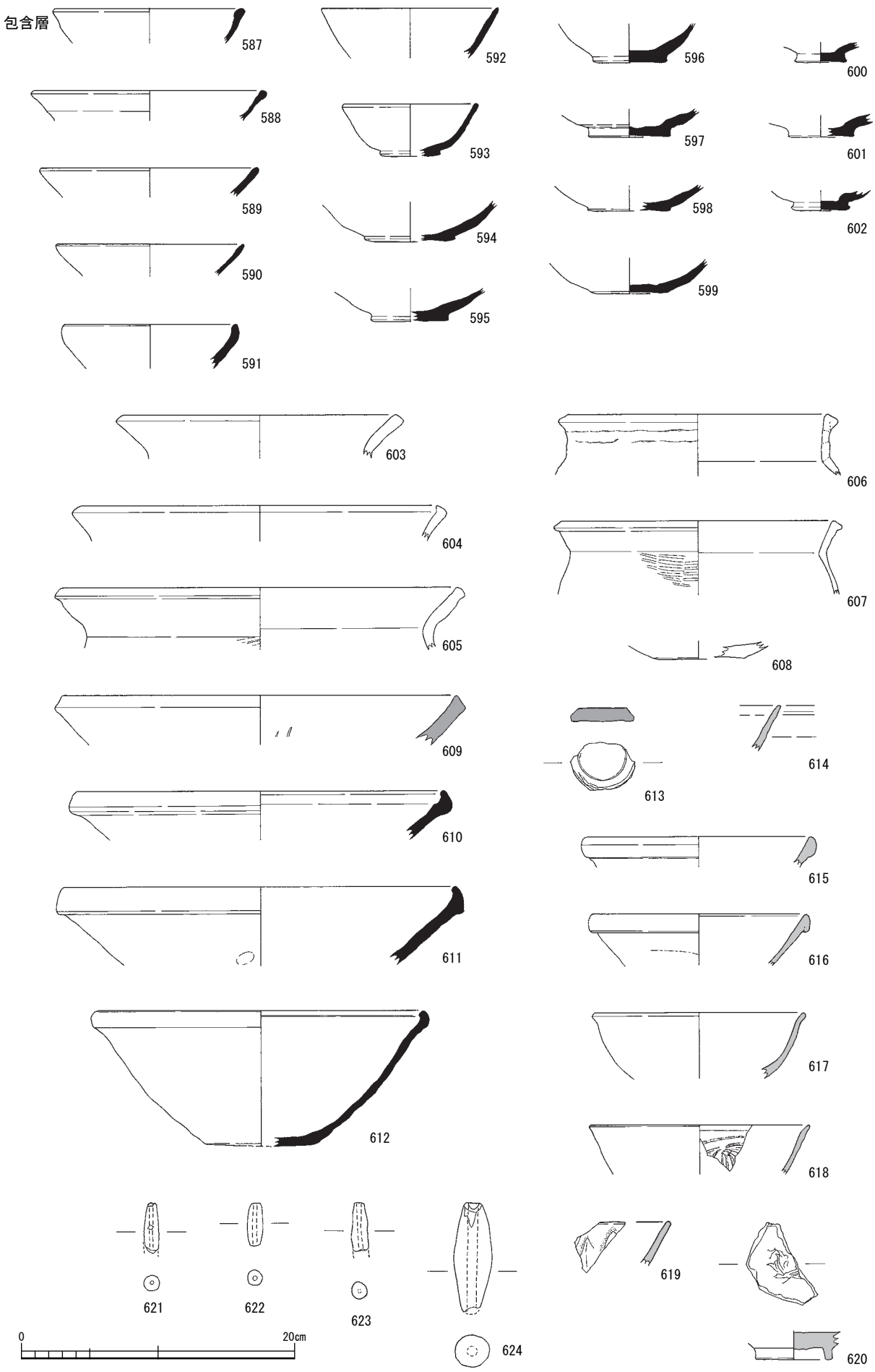
包含層

520 521 526 522 527 524 523 541 543 525 536 542 528 532 537 544 529 533 538 545 530 534 539 546 531 535 540

津万遺跡群 3　旧河道・包含層①出土土器

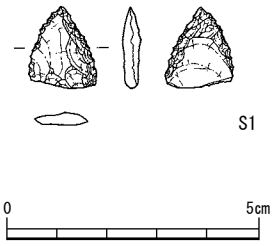


津万遺跡群 3　包含層②出土土器

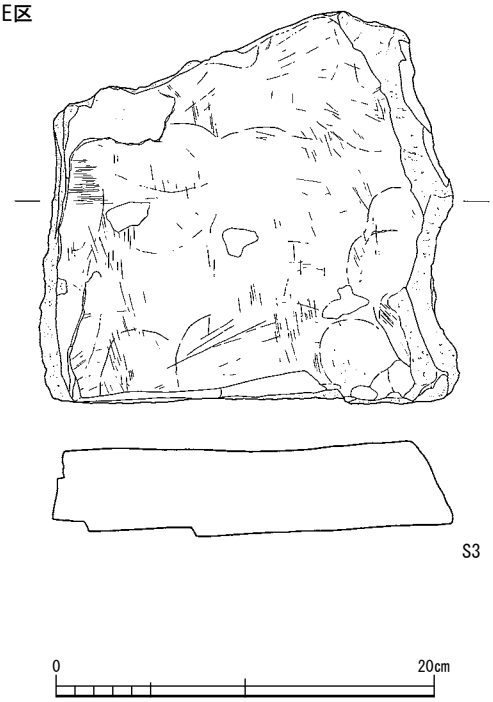


津万遺跡群 3　包含層③出土土器

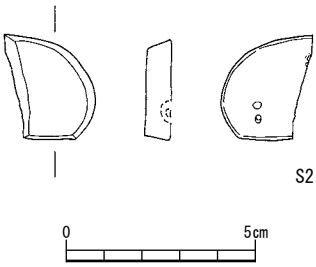
津万1W区 SH03



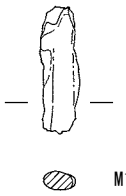
津万1E区



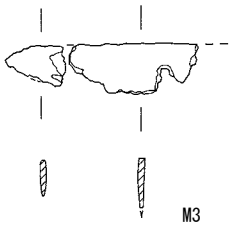
嶋 6 区

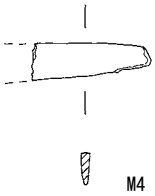


津万1W区 SH03

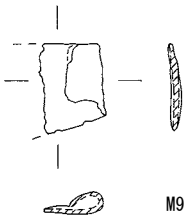


津万1E区 SH01

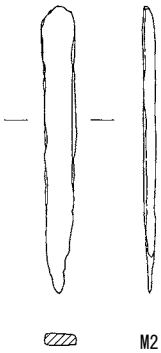


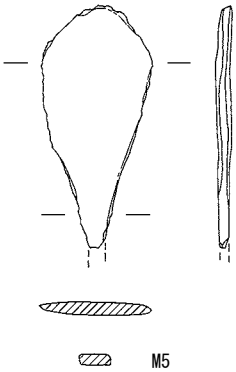


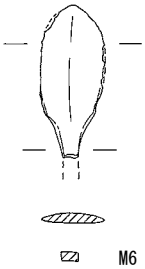
嶋6区 SX01付近



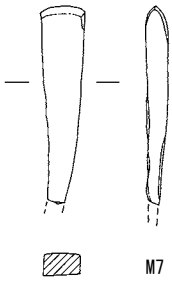
SH03

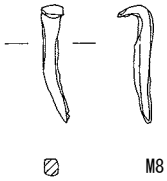






津万2区

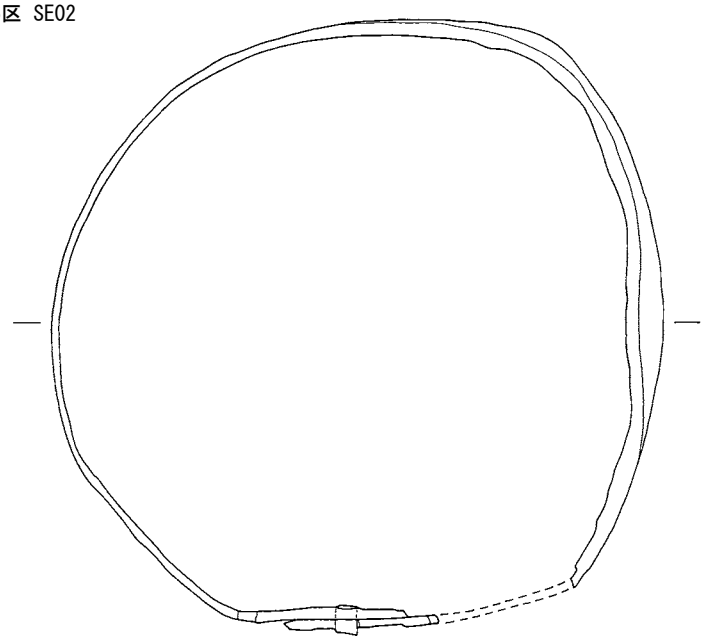


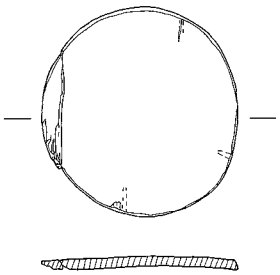


0 10cm

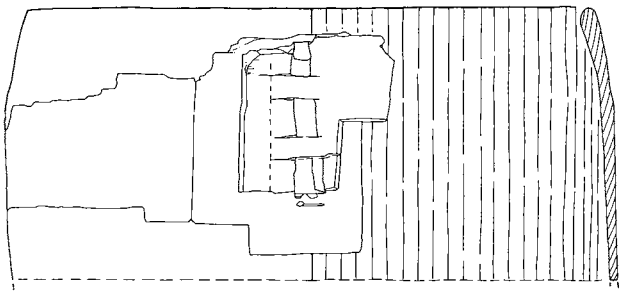
津万遺跡群 3　出土石器・出土金属器

嶋6区 SE02



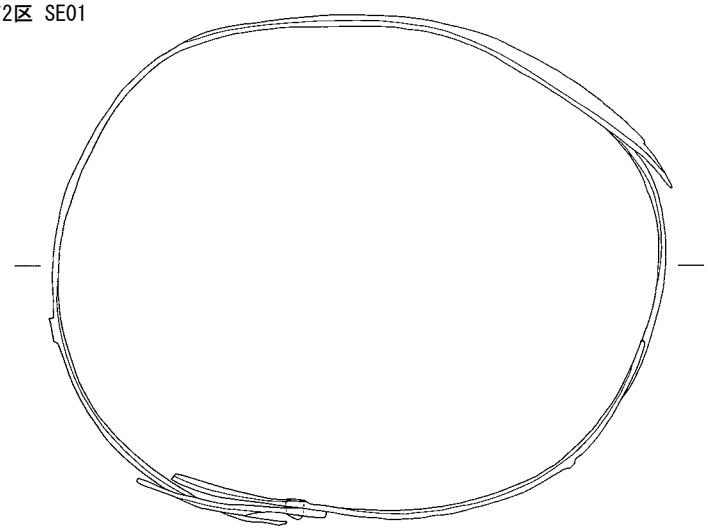


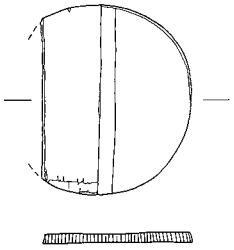
W2



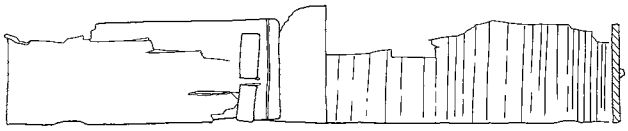
W1

津万2区 SE01

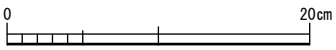




W4



W3



津万遺跡群3　出土木器

写真図版

嶋５区　全景（真上から）

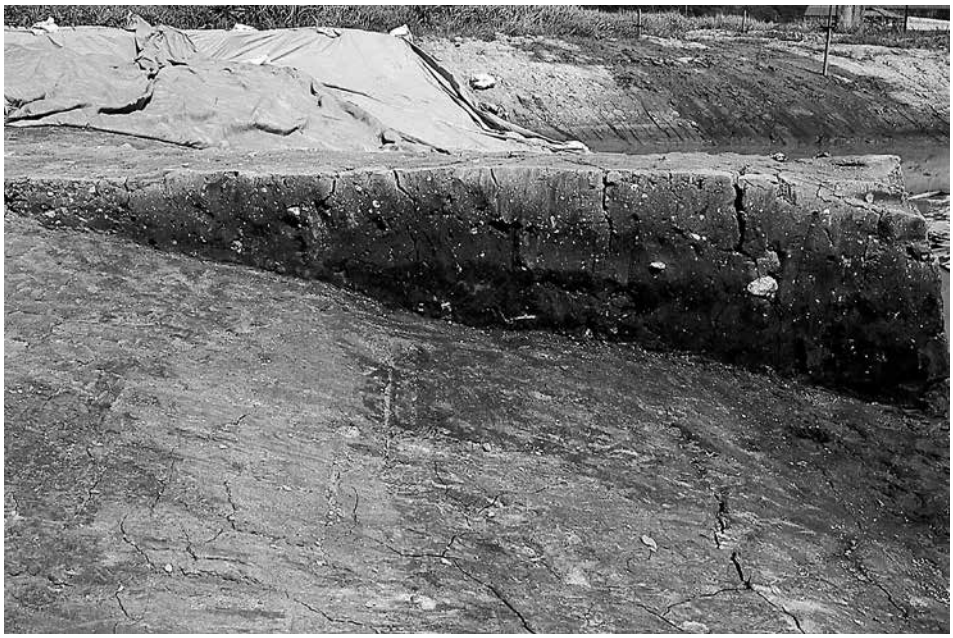
調査区全景
（北から）

調査区全景
（南から）

調査区南西部
（南から）

調査区北東壁
（南西から）

調査区北東壁
（西から）

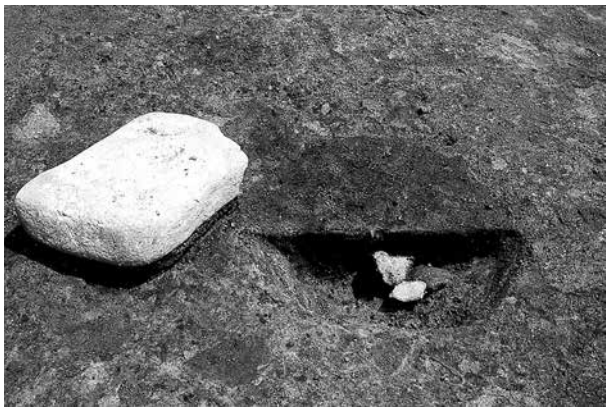


流路畦断面
（南東から）

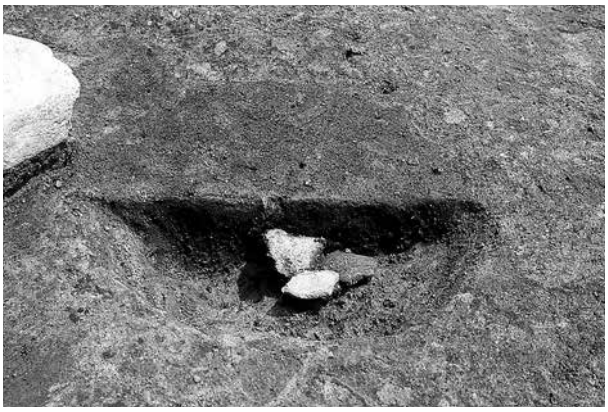
SH01 畦断面（南東から）

SH01（南東から）

SH01（南東から）



SH01 中央土坑（西から）



SH01 中央土坑断面（西から）

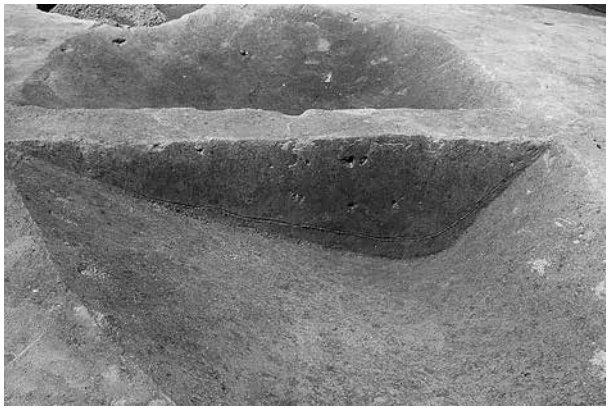
SH01 中央土坑土器出土状況（西から）

SH01 中央土坑土器出土状況（北から）

SK02（北から）

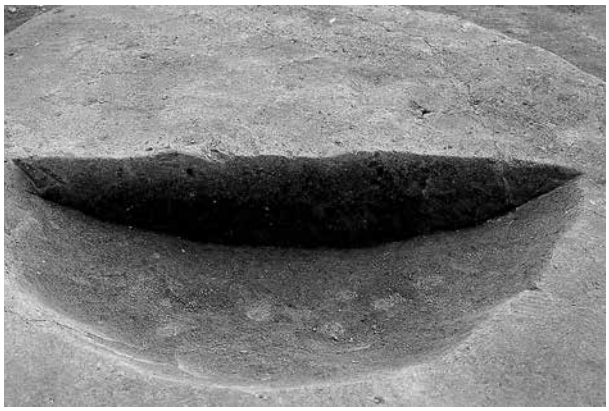
SK02 畦断面（南から）

SK02 土器出土状況（南から）

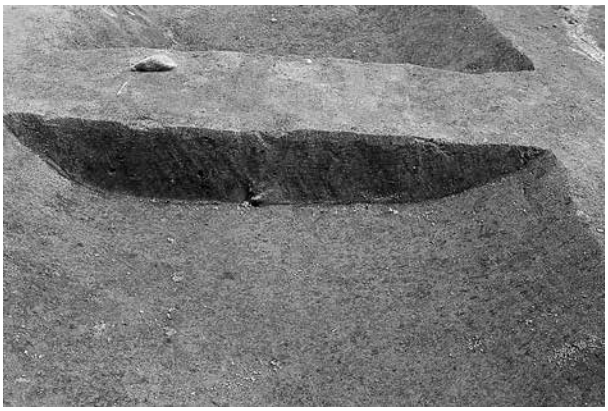


SK05 畦断面（東から）

SK06 畦断面（西から）



SK08 畦断面（西から）



SK09 畦断面（南から）

SK16 畦断面（南東から）

SK21 畦断面（東から）

SD01 畦断面（南西から）

SD02 畦 1(a-a’) 断面（南西から）

SD02 畦 2(b-b’) 断面（南西から）

SD02 畦 3(c-c’) 断面（南東から）

SD02 須恵器出土状況（東から）

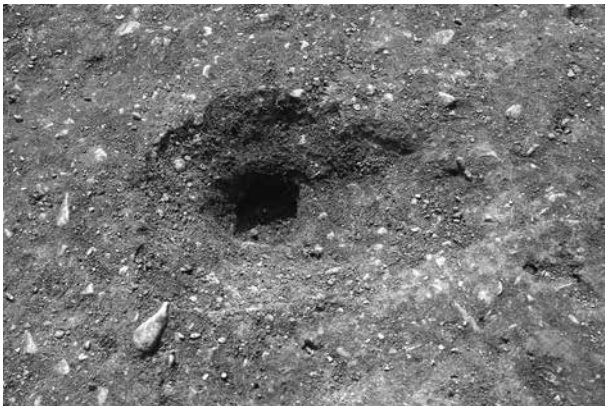
嶋６区　全景（真上から）

調査区全景（北から）

調査区全景（南から）

SH01（南から）

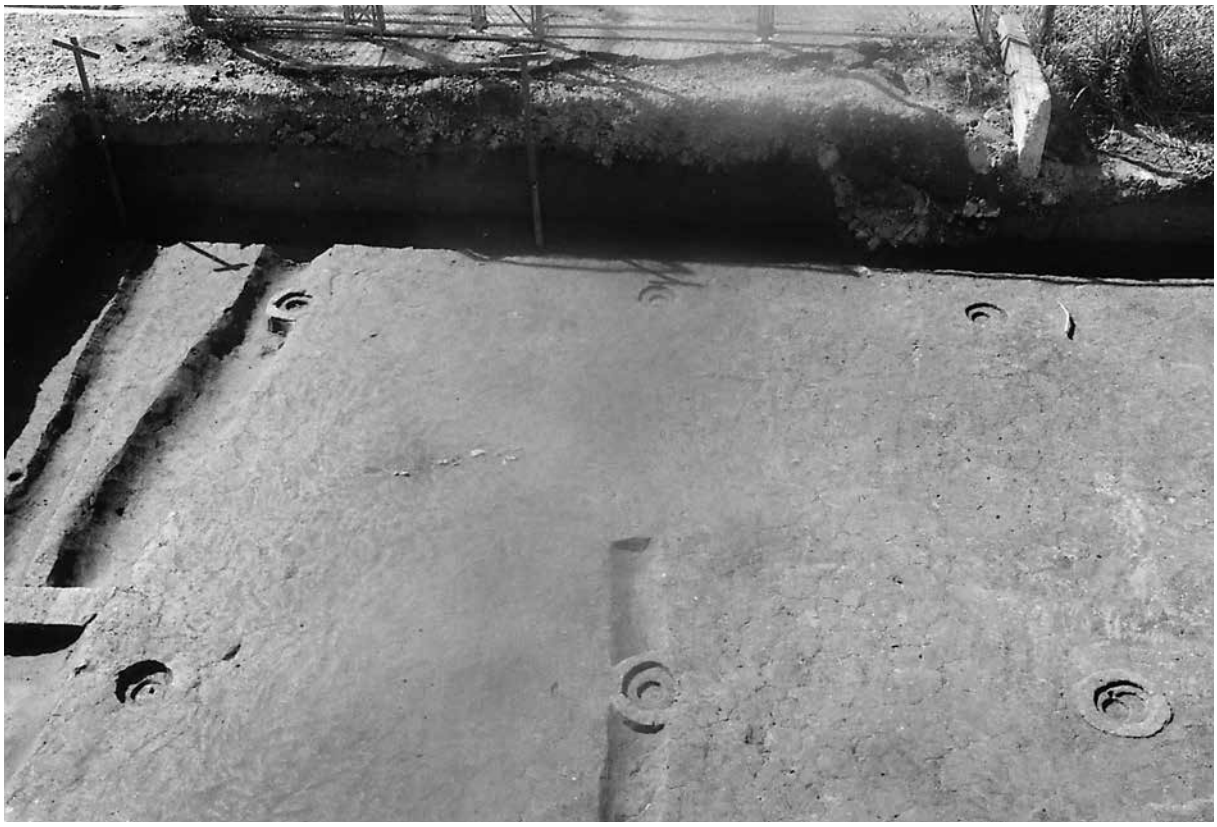
SH01 中央土坑断面（西から）



SH01 中央土坑（北から）

SH01 SP01 断面（西から）

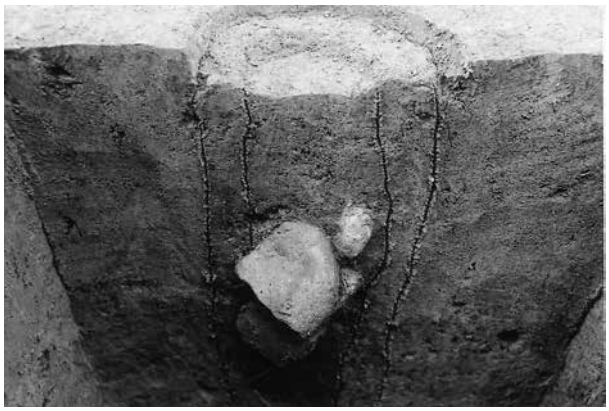
SH01 SP02 断面（西から）



SB01（北から）

SB01 SP01 断面（北から）

SB01 SP05 断面（南から）



SB01 SP06 断面（北から）

SB01 SP07 断面（南から）

SB02（西から）

SB02 SP05 断面（西から）

SB02 SP06 断面（北から）

SB02 SP07 断面（北から）

SB02 SP08 断面（北から）

SB02 SP09 断面（北から）

SB02 SP11 断面（北から）

SB02 SP12 断面（北から）

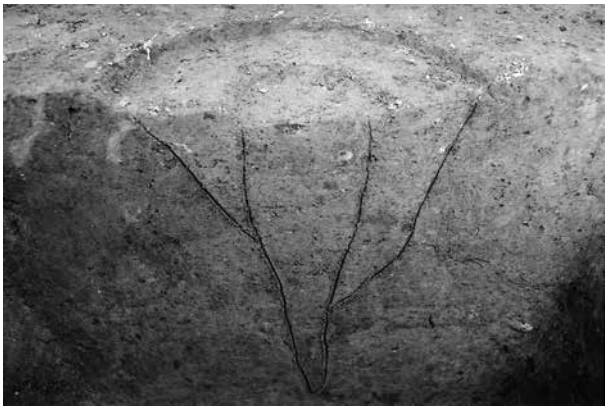
SB02 SP13 断面（北から）

SB02 SP14 断面（北から）

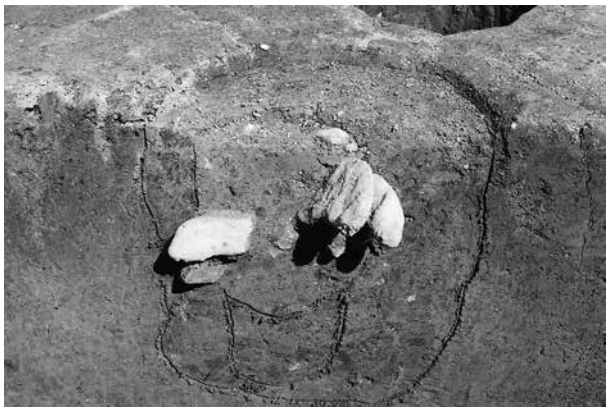
SB02 SP16 断面（南から）

SB02 SP17 断面（北から）

SB02 SP18 断面（南から）



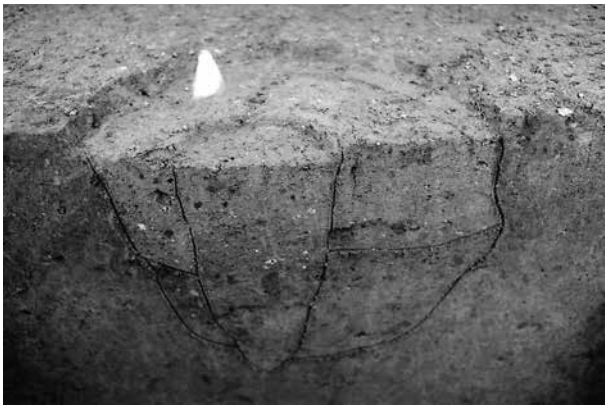
SB02 SP19 断面（西から）



SB02 SP21 断面（南から）

SB02 SP22 断面（南から）

SB02 SP23 断面（南から）



SB02 SP24 断面（西から）

SB03・SB04（東から）

SB03 SP02 断面（東から）

SB03 SP04 断面（南東から）

SB03 SP06 断面（東から）

SB03 SP08 断面（東から）

SB03 SP10a 断面（西から）

SB03 SP10b 断面（東から）

SB03 SP12 断面（東から）

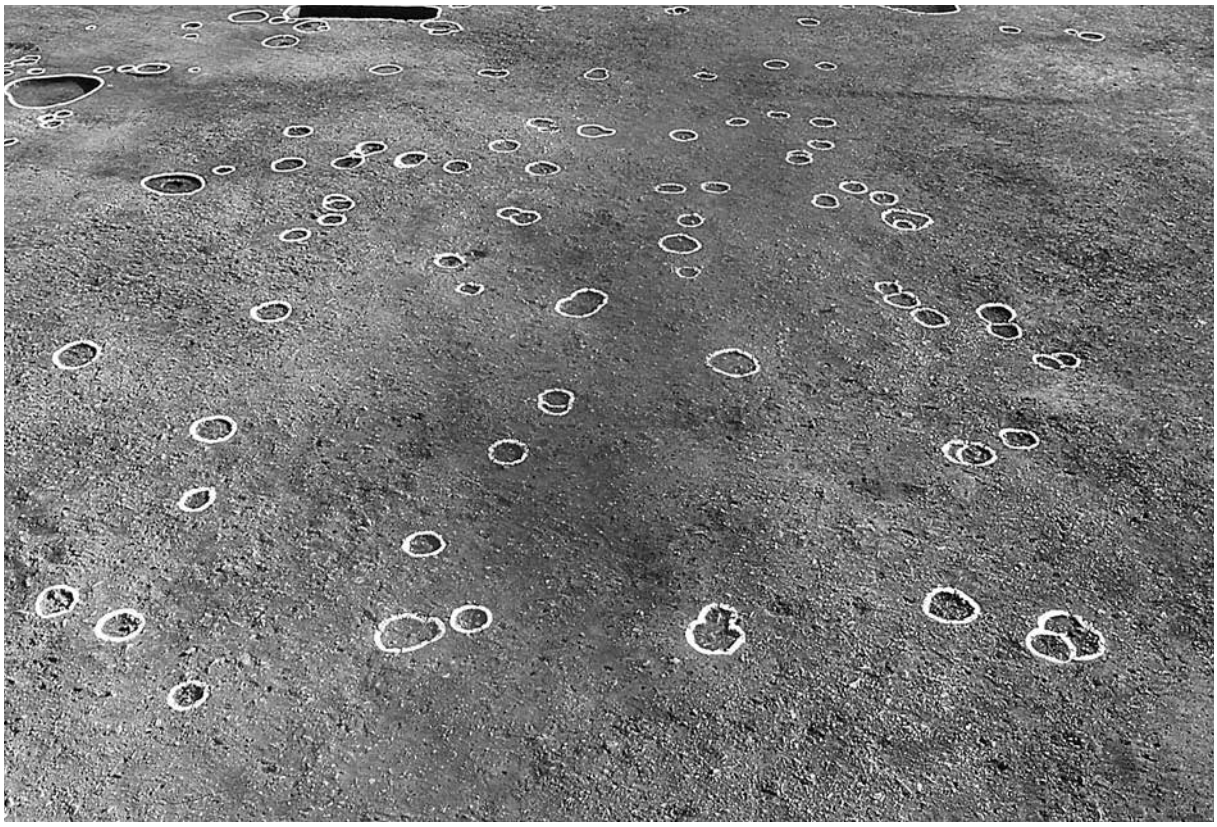
SB03 SP13 断面（東から）

SB04（東から）

SB04 SP01 断面（南から）

SB04 SP02 断面（南から）

SB04 SP03 断面（南から）



SB05（北から）

SB05 SP01 断面
（北東から）

SB05 SP12 断面
（東から）

SB06（北から）

SB06 SP02 断面（東から）

SB06 SP04 断面（東から）

SB06 SP06 断面（東から）

SB07（北から）

SB07 SP01 断面（南東から）

SB07 SP02 断面（北から）

SB07 SP03 断面（北から）

SB07 SP04 断面（北から）

SB07 SP05 断面（北西から）

SB07 SP06 断面（西から）

SB07 SP10 断面（東から）

SB07 SP11 断面（西から）

SB08 SP02 断面（北から）

SB08 SP03 断面（南から）

SB08 SP07 断面（南から）

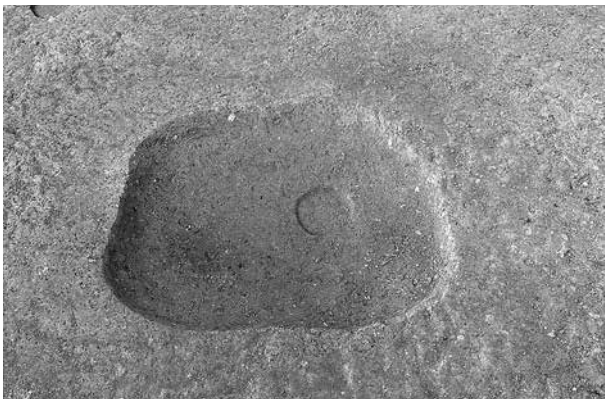
SB09 SP01 断面（西から）

SP119 断面（南東から）

SP119 土器出土状況（南東から）

SP122 土器出土状況（北西から）

SK04 畦断面（西から）



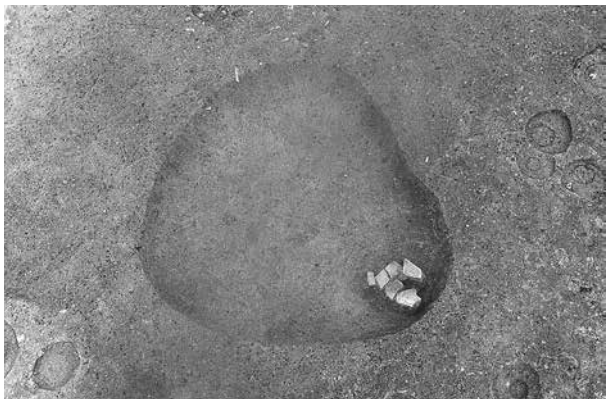
SK05（南から）

SK06 畦断面（南西から）

SK06 床面礫検出状況（南西から）

SK07（北から）

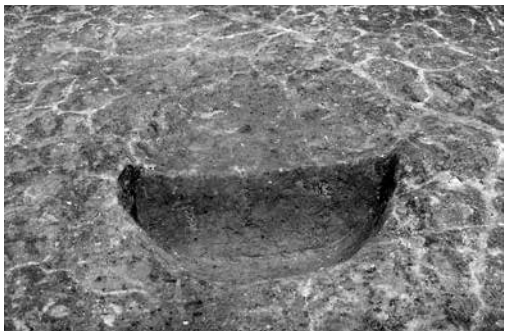
SK08 畦断面（北から）



SK09（南から）

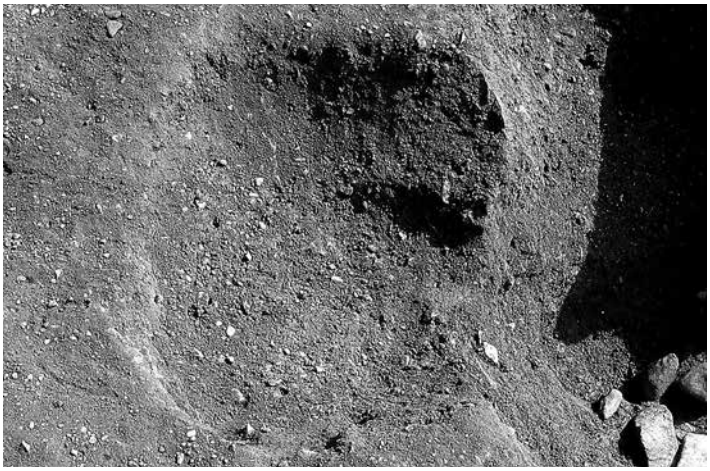
SK09 土器出土状況（南から）

SK10（東から）



SK11 断面（南から）

SK17（西から）



SK18（北から）

SK19（東から）

SK21（東から）

左）SE01 断面（東から）
右）SE01（東から）

SE02 上面検出状況
（北から）

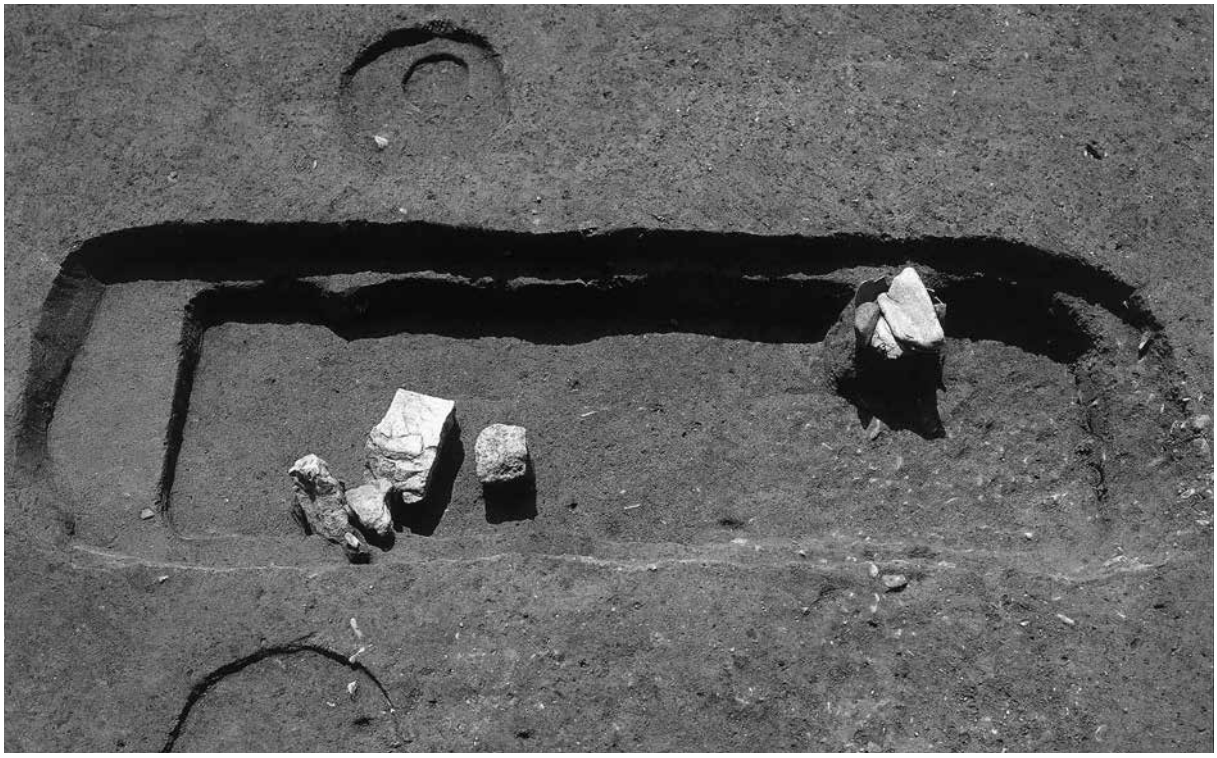
SE02（南から）

SE02 断割り（東から）

SE02 曲物出土状況
（東から）

SD01(b-b’) 断面
（南から）

SX01 ①（北から）



SX01 ②（北から）

SX01 土器出土状況（南西から）

SX01 土器出土状況（礫除去後）（南西から）

津万 1W 区　全景（真上から）

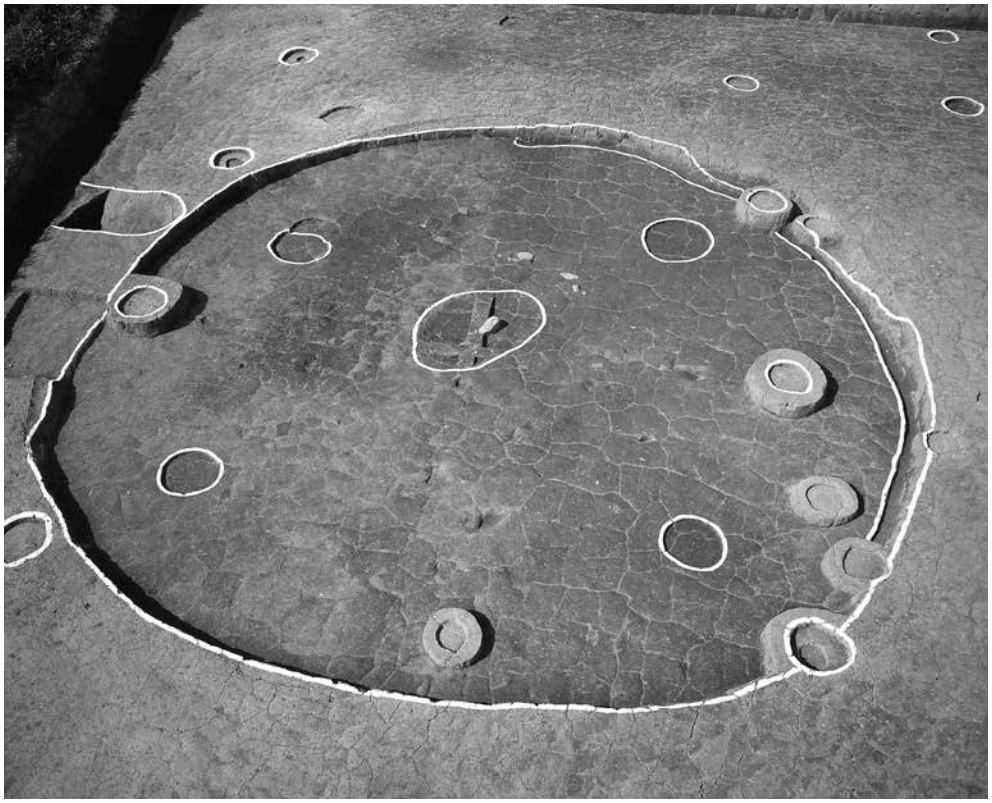
調査区全景（南から）

調査区北半部（南から）

調査区全景（南東から）

調査風景

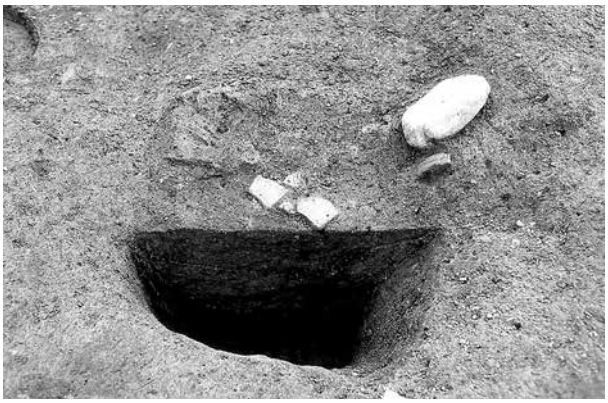
SH01 畦断面
（南から）



SH01（南から）

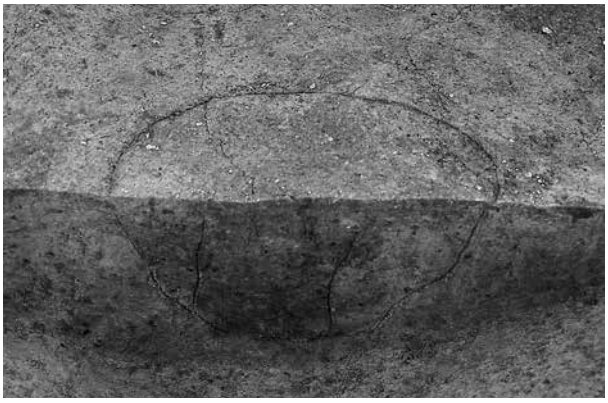
SH01（南から）

SH01 中央土坑
（西から）



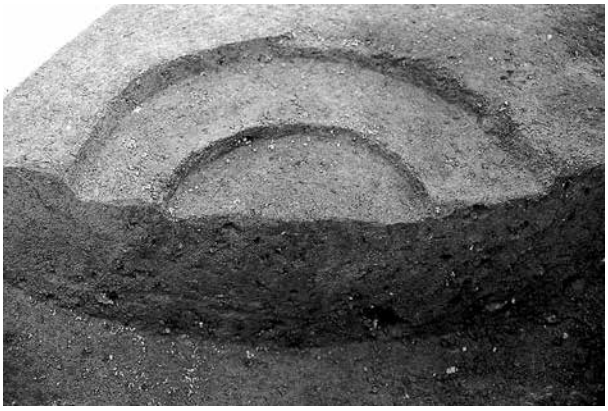
SH01 中央土坑断面
（北から）

SH01 主柱穴 1 断割り（北東から）



SH01 主柱穴 2 断割り（北西から）

SH01 主柱穴 3 断割り（南西から）



SH01 主柱穴 4 断割り（南西から）

SH02（東から）

SH03（南から）

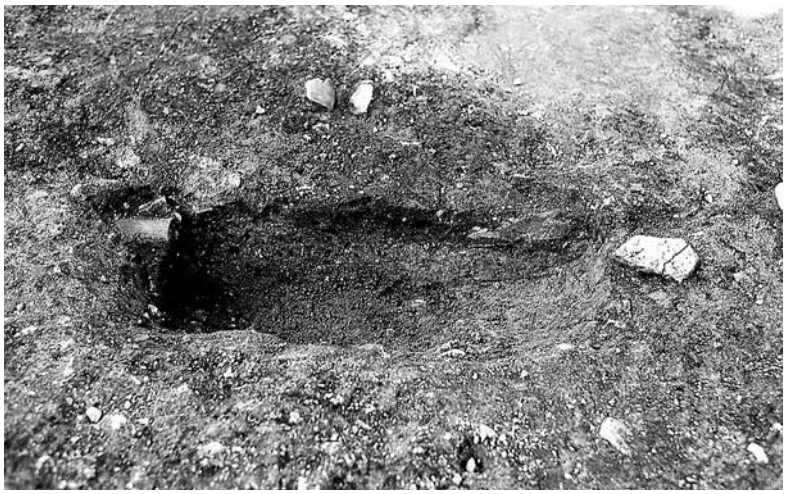
SH03（南から）

SH03 南北畦（南から）

SH03 床面土器出土状況①（東から）

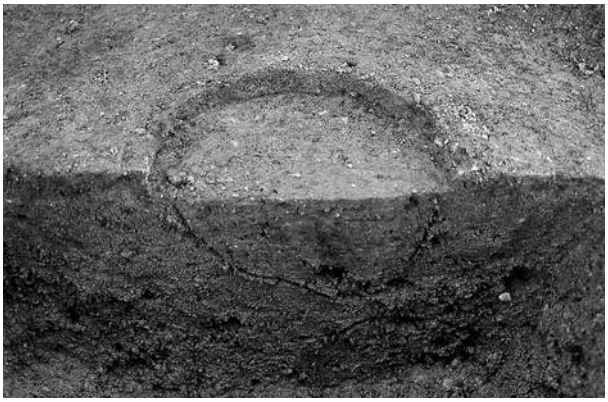
SH03 床面土器出土状況②（東から）

SH03 床面土器出土状況③（東から）

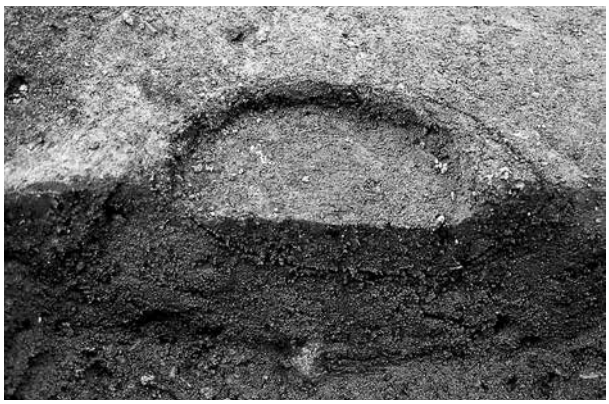


SH03 中央土坑断面
（南から）

SH03 主柱穴 1 断面（北から）



SH03 主柱穴 2 断面（北から）



左）SH03 主柱穴 3 断面（南から）
右）SH03 主柱穴 4 断面（南から）

SH04 畦断面（北から）

SB01 SP01 断面（東から）

SB01 SP02 断面（東から）

SB01 SP03 断面（東から）

SB01 SP04 断面（東から）

SB01 SP05 断面（東から）

SB01 SP06 断面（南から）

SB01 SP07 断面（西から）

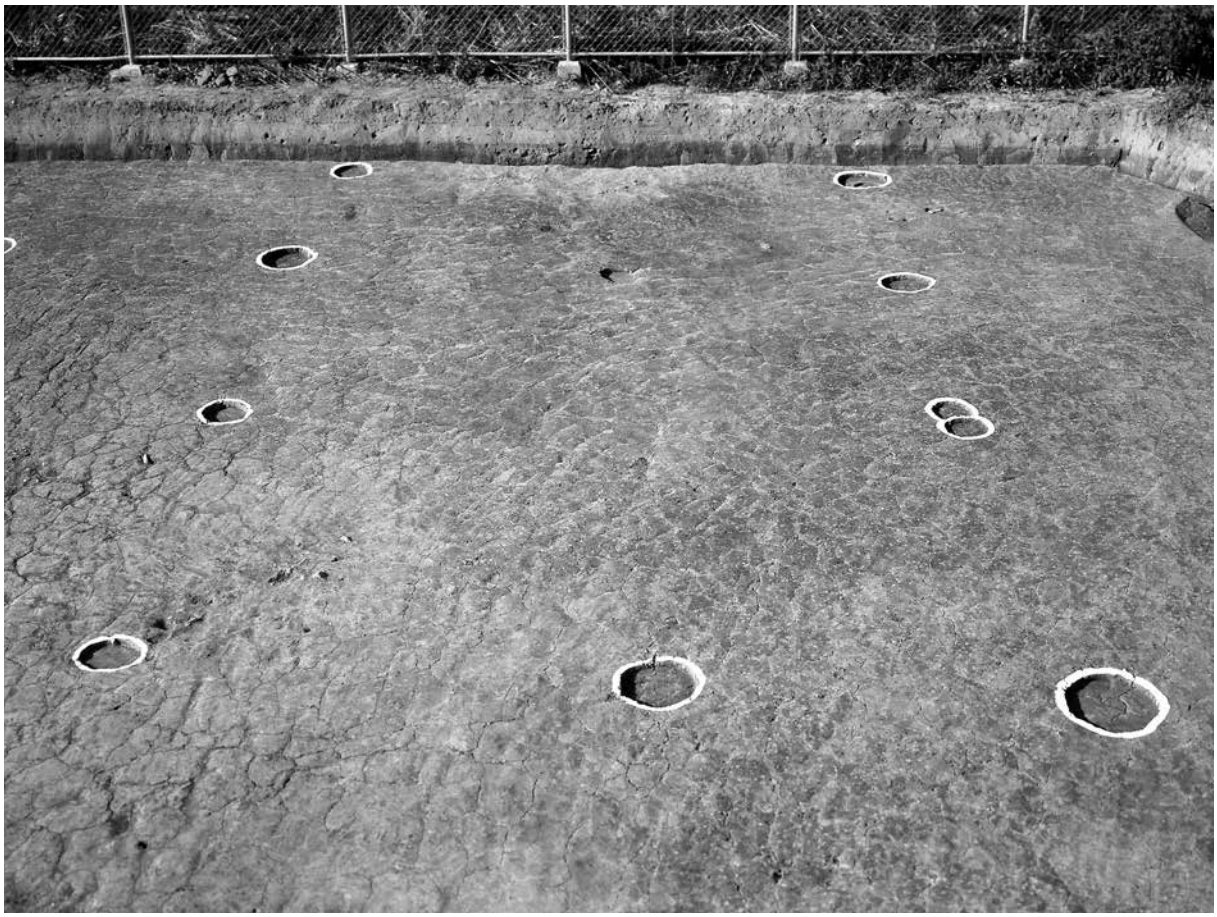
SB01 SP08 断面（西から）

SB01 SP09 断面（西から）

SB01 SP10 断面（西から）

SB01 SP11 断面（西から）

SB01 SP12 断面（西から）



SB02（南から）

SB02 SP01 断面（西から）

SB02 SP02 断面（西から）

SB02 SP03 断面（西から）

SB02 SP04 断面（東から）

SB02 SP05 断面（南から）

SB02 SP06 断面（東から）

SB02 SP07 断面（東から）

SB02 SP08 断面（東から）

SB02 SP09 断面（東から）

SB03・SP88（北から）

SP88 土器出土状況（東から）

SP88 断割り後土器出土状況（南から）

SB03 SP01 断面（西から）

SB03 SP02 断面（西から）

SB03 SP03 断面（西から）

SB03 SP04 断面（西から）

SB03 SP05 断面（西から）

SB03 SP06 断面（東から）

SB03 SP07 断面（東から）

SB03 SP08 断面（東から）

SB03 SP09 断面（東から）

SB03 SP11・SP10 断面（東から）

SB04（南から）

SB04 SP01 断面（西から）

SB04 SP02 断面（南から）

SB04 SP03・SP04 断面（南から）

SB04 SP04 遺物等検出状況（西から）

SB04 SP05 断面（南から）

SB04 SP06 断面（東から）

SB04 SP07 断面（東から）

SB04 SP08 断面（東から）

SB04 SP09 断面（北から）

SA01（南から）

SA01 SP02（東から）

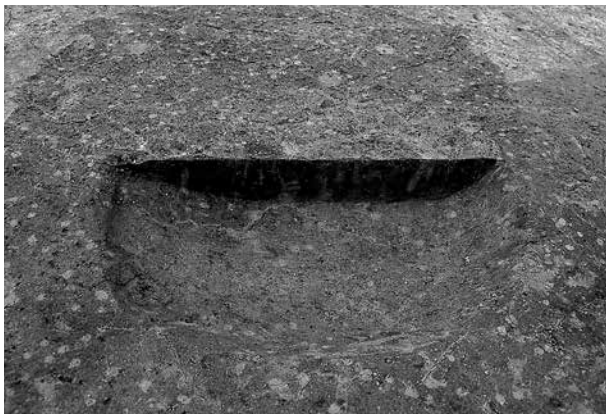
SA01 SP03（東から）

SA01 SP01（東から）

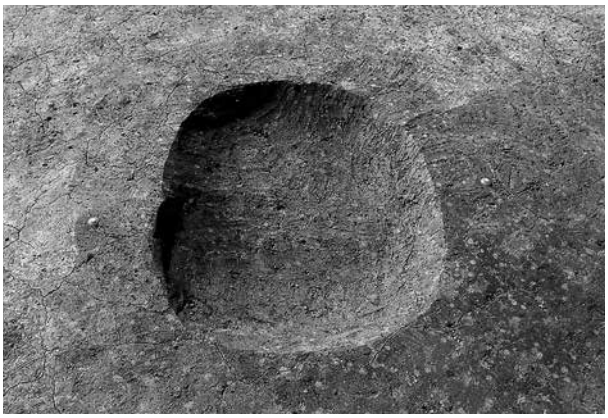
SK01 断面（東から）

SK06（南から）

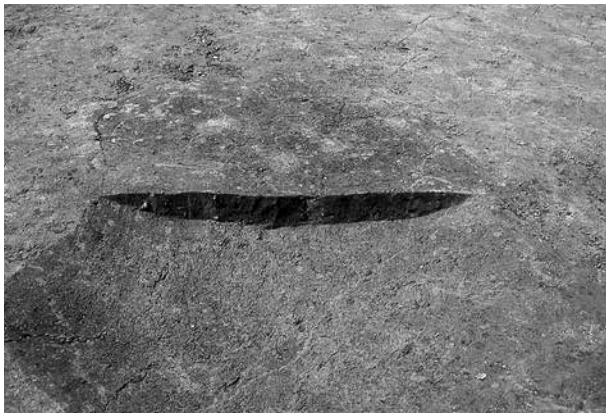
SK07（南から）



SK09 断面（南東から）



SK09（南東から）

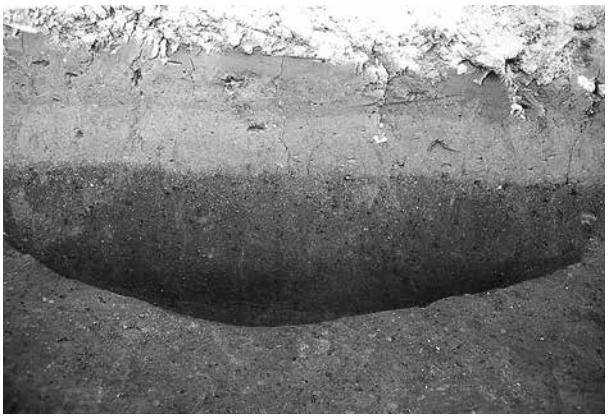


SK10 断面（南東から）

SK10（南東から）

SK12 断面（西から）

SK14 断面（南から）



SK15 断面（西から）

SD01(a-a') 断面
(北から)

SD01(b-b') 断面
(西から)

SD04 畦断面
(東から)

津万 1E 区　全景（真上から）

調査区全景
（南から）

調査区全景
（北から）

調査風景

SH01 南北畦断面（東から）

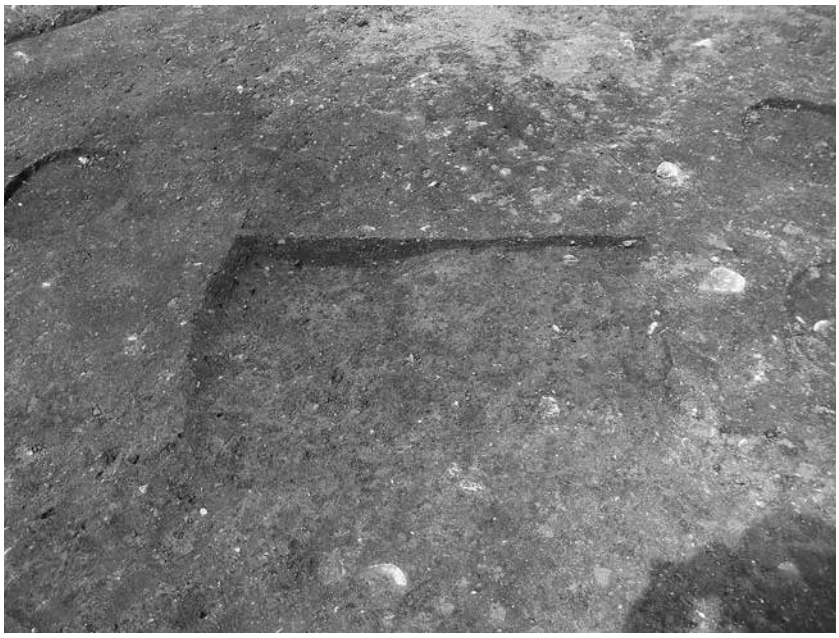
SH01（東から）

SH01 中央土坑
（東から）

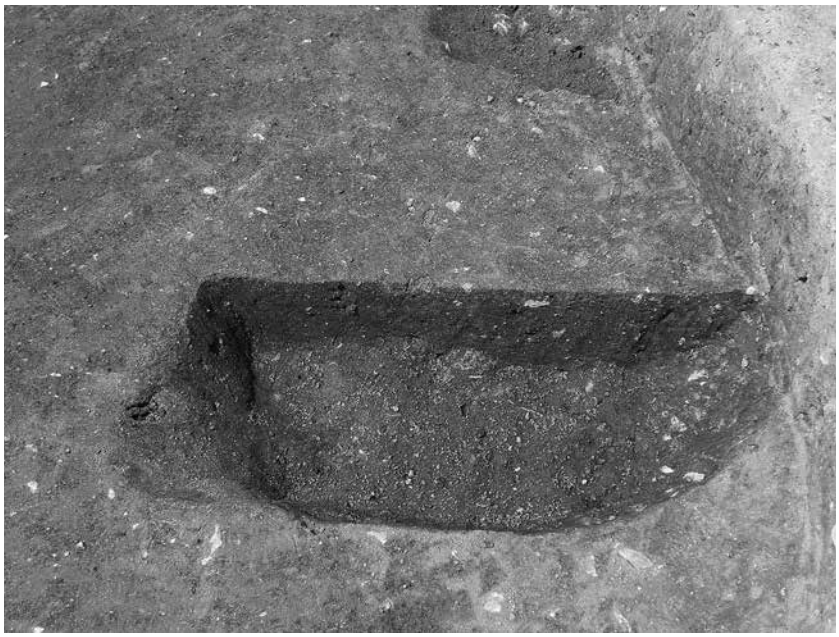
SH01 中央土坑
畦断面（東から）

SH01 中央土坑土器出土状況（北から）

SH01 中央土坑土器出土状況（南から）

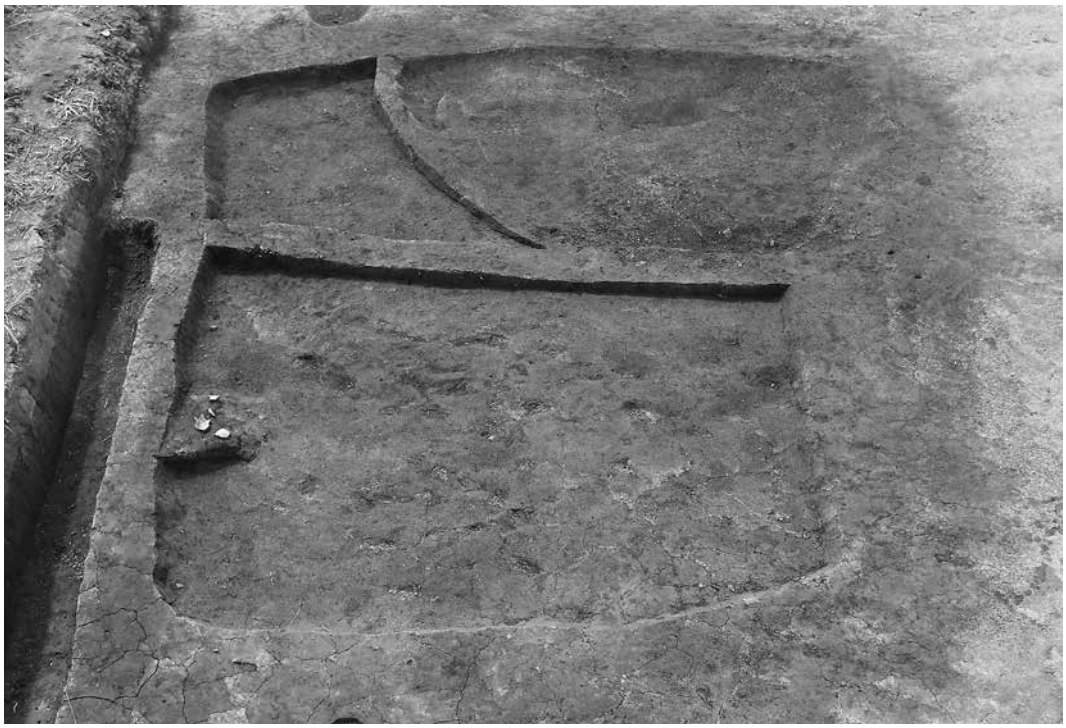


SH01 内土坑 1(A-A') 断面
(東から)



SH01 内土坑 3(B-B') 断面
(東から)

SH01 土器出土状況
(西から)



SH02 畦断面
（東から）

SH02
（東から）

SH02 土器出土状況
（東から）

SH03（東から）

SH03 下層（東から）

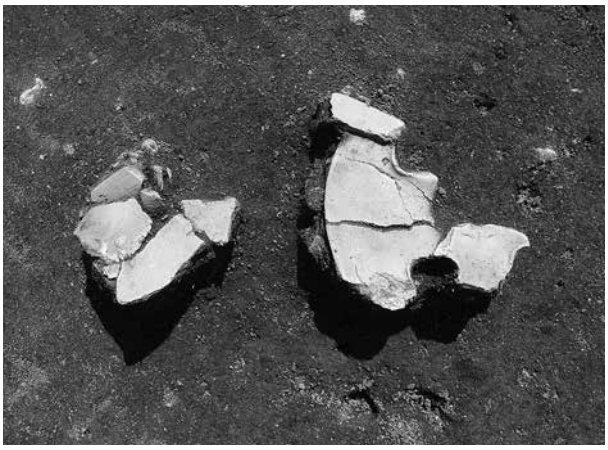
SH03 南拡張部（西から）

SH03 南拡張部土器出土状況①

SH03 南拡張部土器出土状況②

SH03 上層土器出土状況

SH03 下層土器出土状況①



SH03 下層土器出土状況②

SH03 中層土器出土状況
（南から）

SH03 中層土器出土状況
（東から）

SH03 中層土器出土状況
（西から）

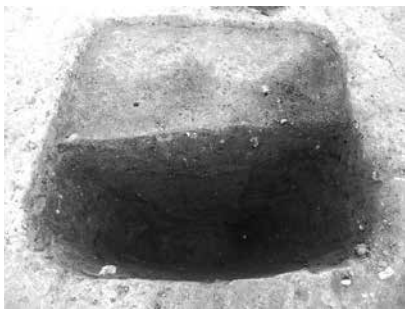
SH04（北から）

SH04 床面土器出土状況①

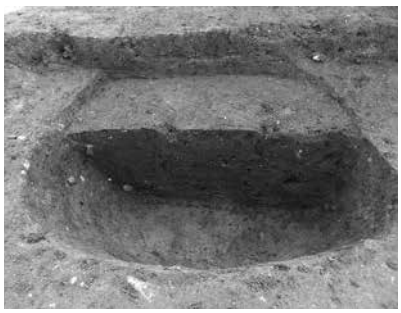
SH04 床面土器出土状況②

SH04 SP01 土器出土状況（西から）

SB01（南から）



SB01 SP01 断面（西から）



SB01 SP02 断面（西から）

SB01 SP03 断面（西から）

SB01 SP04 断面（西から）

SB01 SP05 断面（南から）

SB01 SP06 断面（東から）

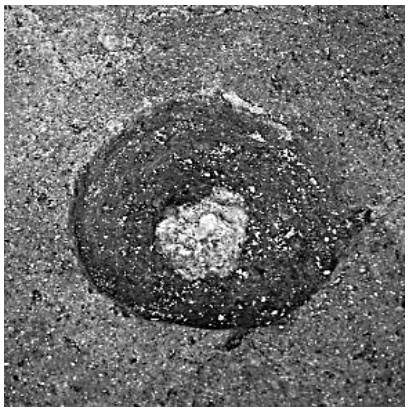
SB01 SP07 断面（東から）

SB01 SP08 断面（東から）

SP15（北から）

SP19 断面（西から）

SP20（南から）



SP08 鉄滓出土状況

SP12 土器出土状況（南から）

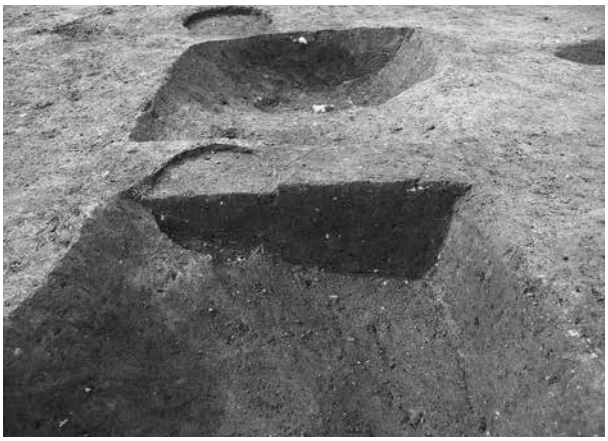
SK01 土器出土状況（南西から）

SK01（南西から）

SK02 畦断面（南東から）

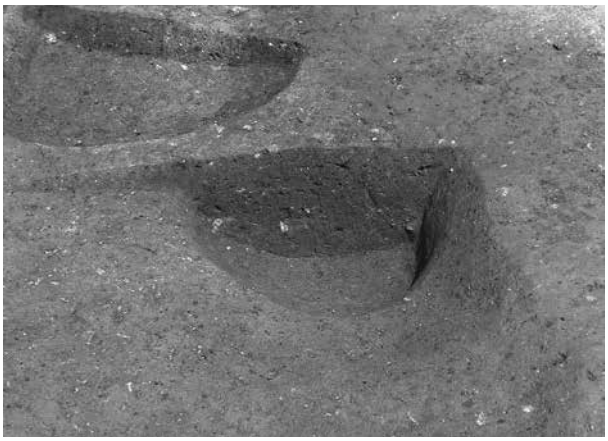
SK03 畦断面（南東から）

SK04 畦断面（南から）

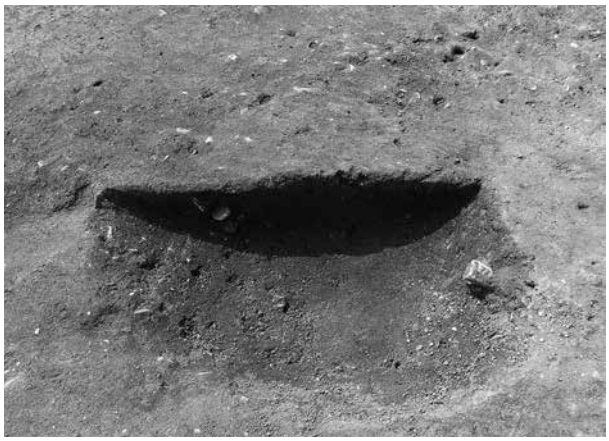


SK05 畦断面（南から）

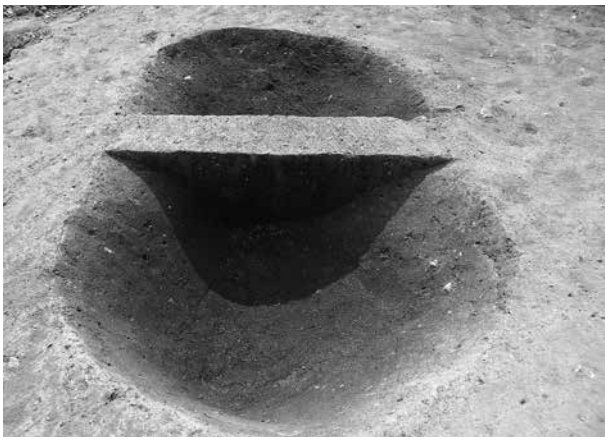
SK07 畦断面（西から）



SK08 畦断面（西から）



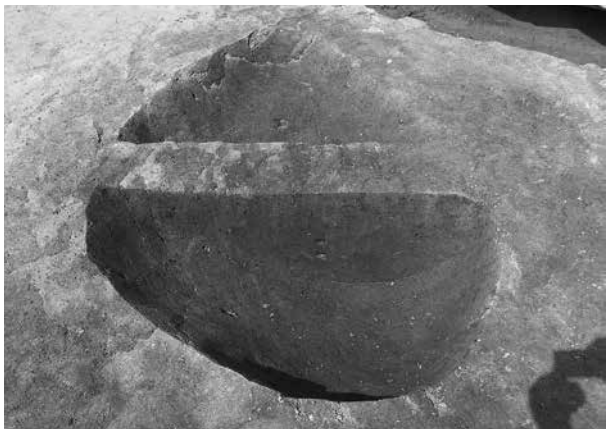
SK09 畦断面（南西から）



SK10 畦断面（東から）

SK11 畦断面（西から）

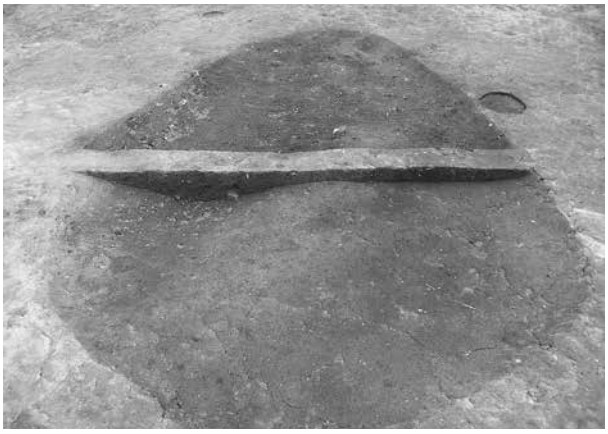
SK12 畦断面（西から）



SK13 畦断面（南西から）

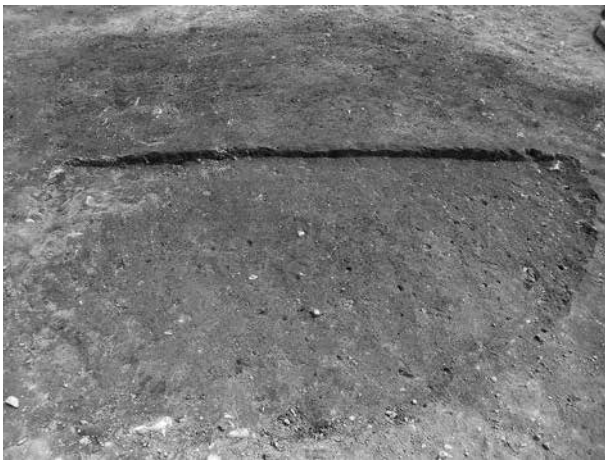
SK14 畦断面（西から）

SK15 畦断面（西から）



SK17 畦断面（西から）

SK18 畦断面（南から）

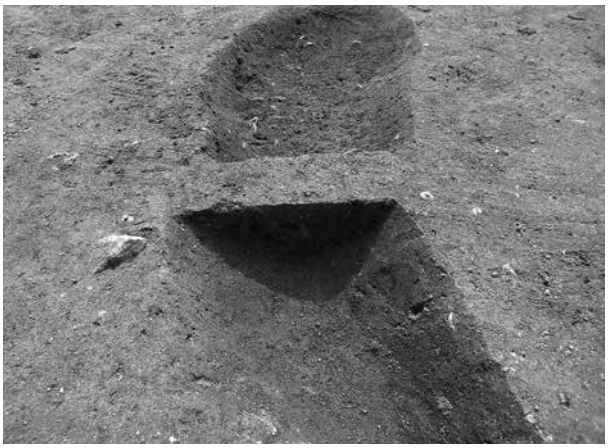


SK19 畦断面（南西から）

SX01 畦断面（南から）

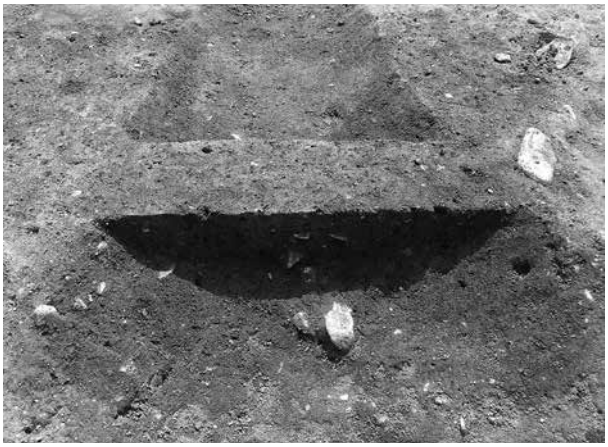
SX02 畦断面（南から）

SD01 畦断面（西から）



SD02 畦断面（西から）

SD03(d-d’) 断面（西から）



SD04 畦断面（東から）

SD05 畦断面（東から）

調査区内断割り（南西から）

調査区内断割り（南東から）

津万２区　全景（真上から）

調査区東半部（北から）

調査区西半部（北から）

調査区中央部
（北から）

調査区全景
（南から）

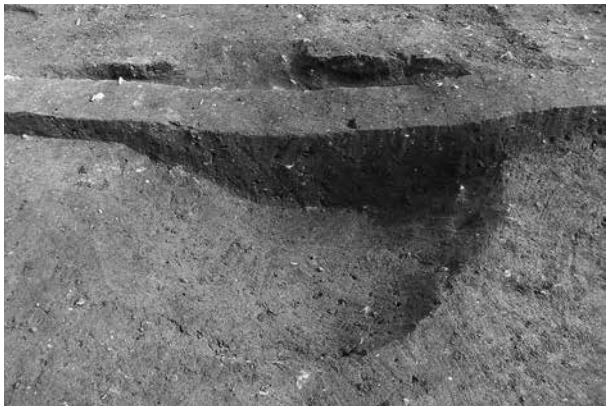
調査区南壁
（北東から）

SH01 畦断面
（東から）

SH01（東から）

SH01 土器出土状況
（南から）

SH01 土器出土状況
（東から）



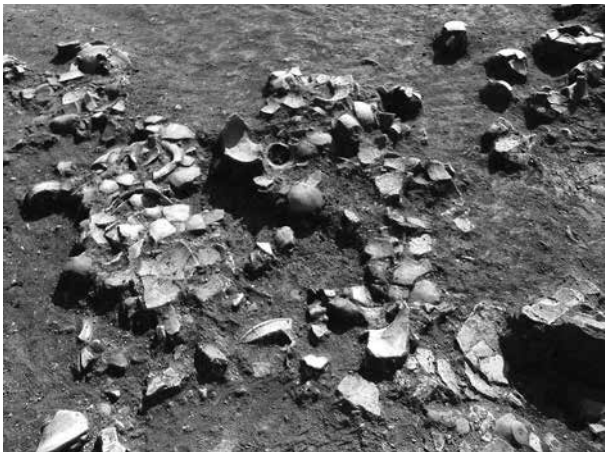
SH01 中央土坑畦断面（西から）

SH01 調査風景

SH01 床面東側土器出土状況

SH01 床面西側土器出土状況

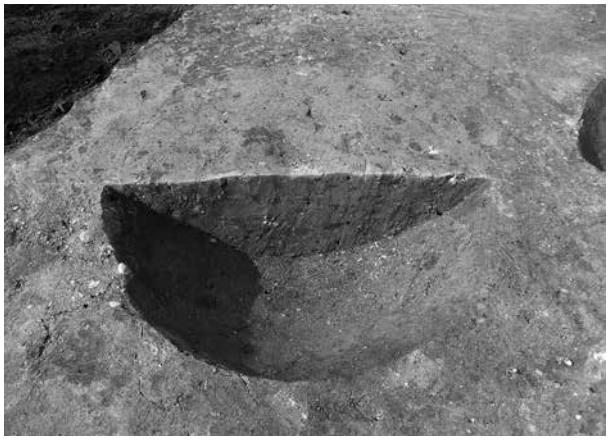
SH01 下層土器出土状況①



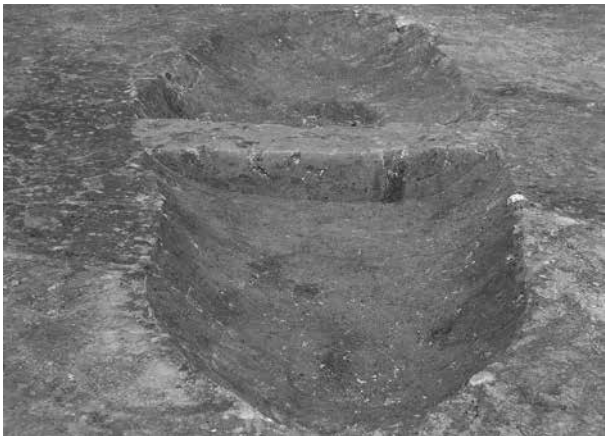
SH01 下層土器出土状況②

SK01 畦断面（西から）

SK02 畦断面（西から）



SK03 断面（南から）



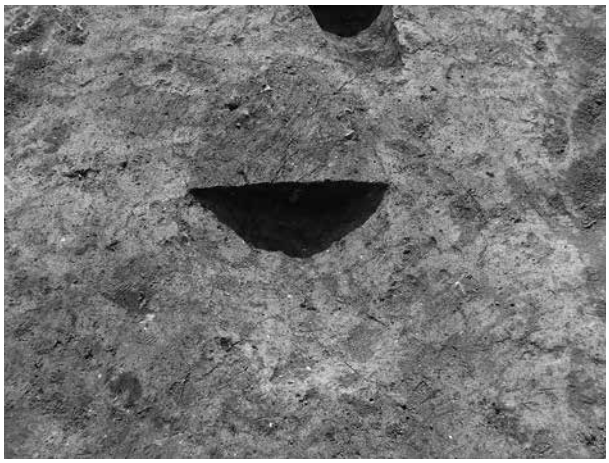
SK04 畦断面（西から）

SK05 畦断面（南から）

SK06 断面（南東から）

SK07 畦断面（南西から）

SK08 畦断面（南から）



左）SK09 断面（東から）　右）SK10 断面（南から）

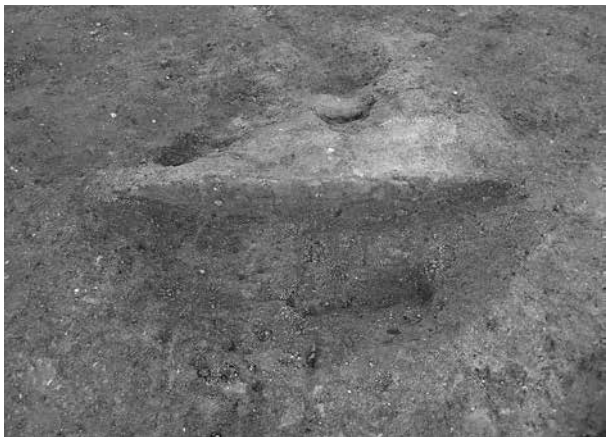
SK11 断面（南西から）

SK12 畦断面（東から）

SK12（東から）

SK13 畦断面（南東から）

SK14 断面（南から）



SK15 断面（南から）

SK16 断面（南から）

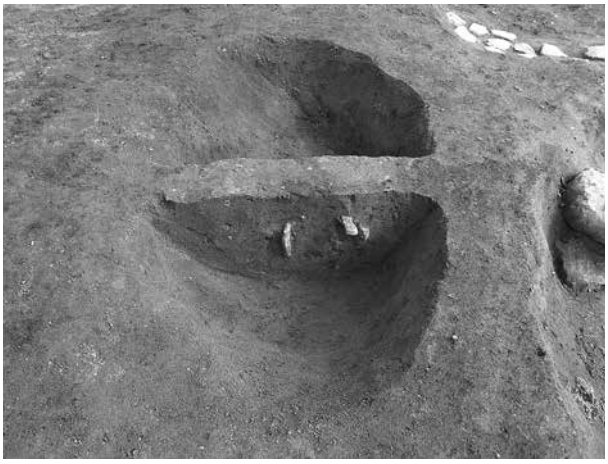
SK17 畦断面（西から）

SK18 断面（南から）

SK19 断面（南から）

SK20 断面（南西から）

SK21 畦断面（東から）



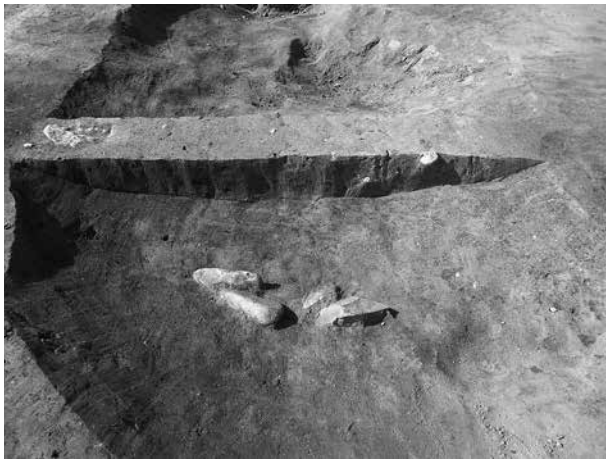
SK22 畦断面（西から）

左）SK23 断面（南から）　右）SK24 畦断面（南から）

SX03 畦断面（南西から）

SX04 畦断面（西から）

SX04（北から）



SX11(D-D’) 断面（東から）

SX11 内石組み（南から）

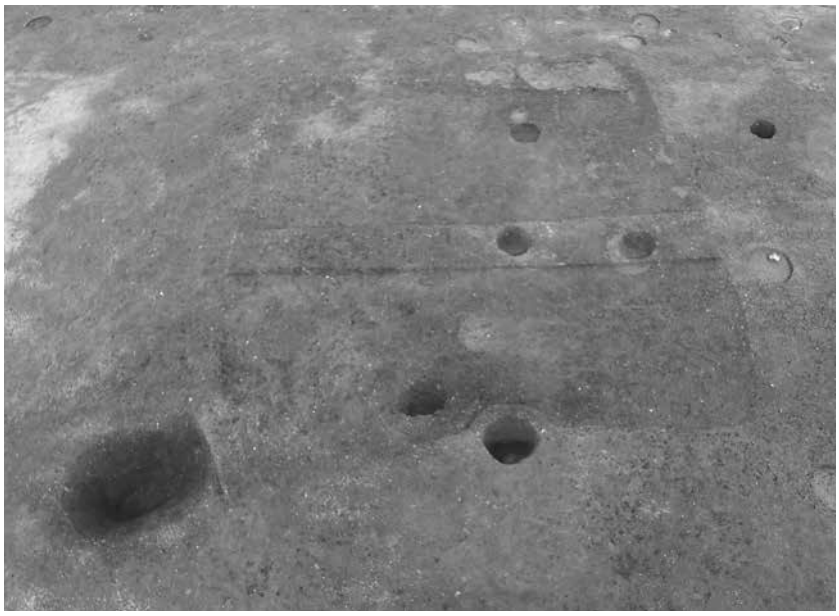
SX11 内敷石（東から）

SX11 内敷石（南から）

SX12 北畦断面
（南西から）

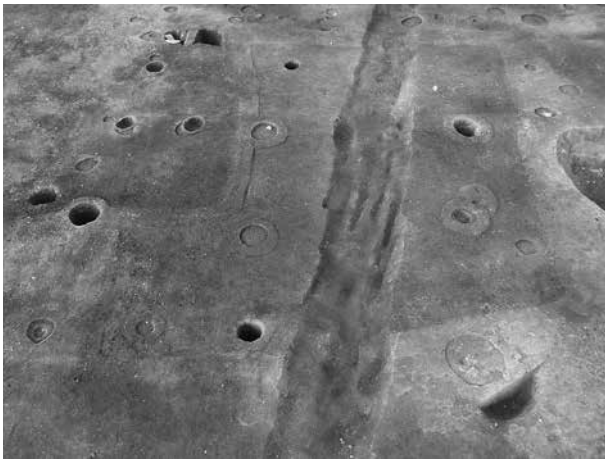
SX12 内石組み
（南から）

SX18・SX19（北から）



SX18 畦断面（南から）

SX19 畦断面（南から）



SX19（南から）

SE01 畦断面（南から）

SE01（南から）

SE01 曲物(W3)出土状況（北から）

SE01 土器出土状況（東から）

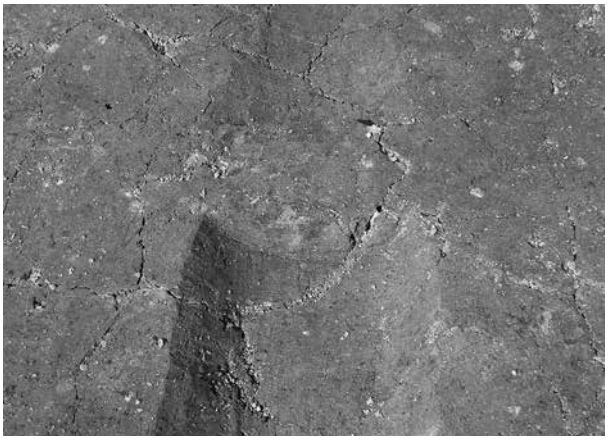
SE02（南から）

SE02 断割り（南から）

SD01 畦断面（南から）

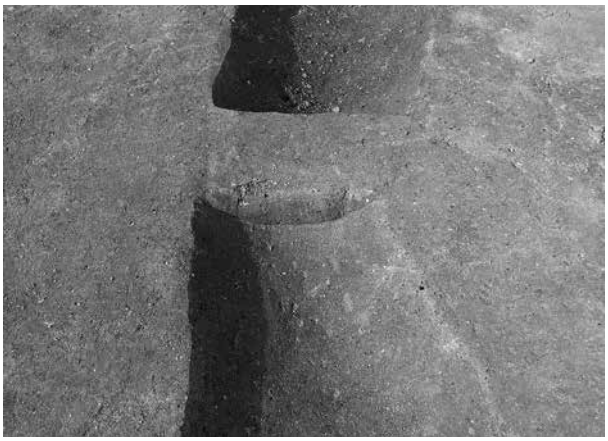
SD02 畦断面（南から）

SD03 畦断面（南から）



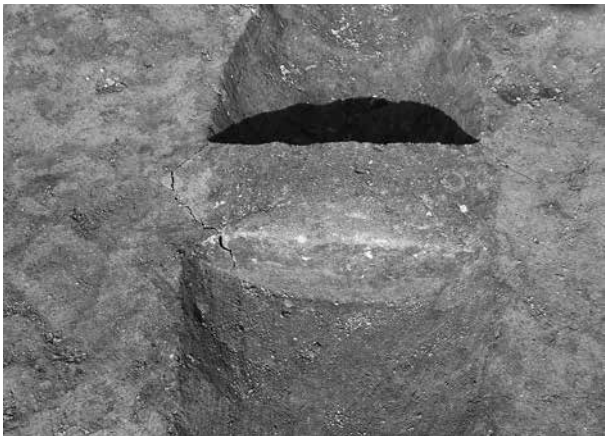
SD04 北側畦断面（南から）

SD05 畦断面（南から）



SD06 畦断面（南から）

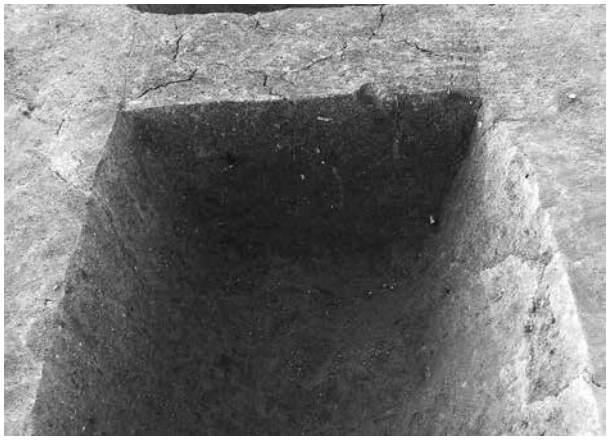
SD07 畦断面（西から）



SD10 畦断面（西から）

SD16 畦断面（南から）

SD17 畦断面（南から）



SD18 畦断面（南西から）

SD19 東畦断面（西から）

SD20 畦断面（西から）

SR01 畦断面（南から）

下層水田（東から）

下層水田（南から）

調査区内断割り状況①

調査区内断割り状況②

SH01 出土土器①

6

8

9

10

11

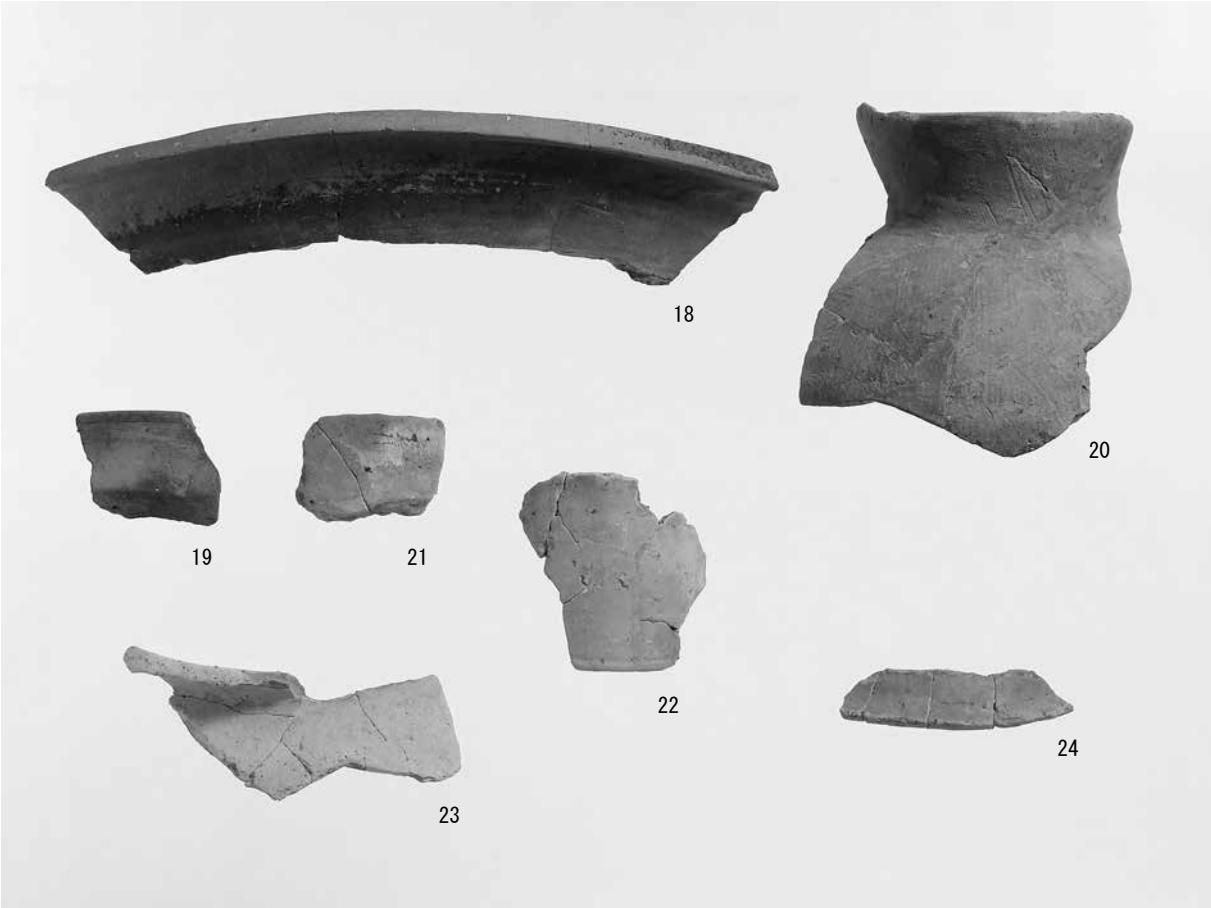
12

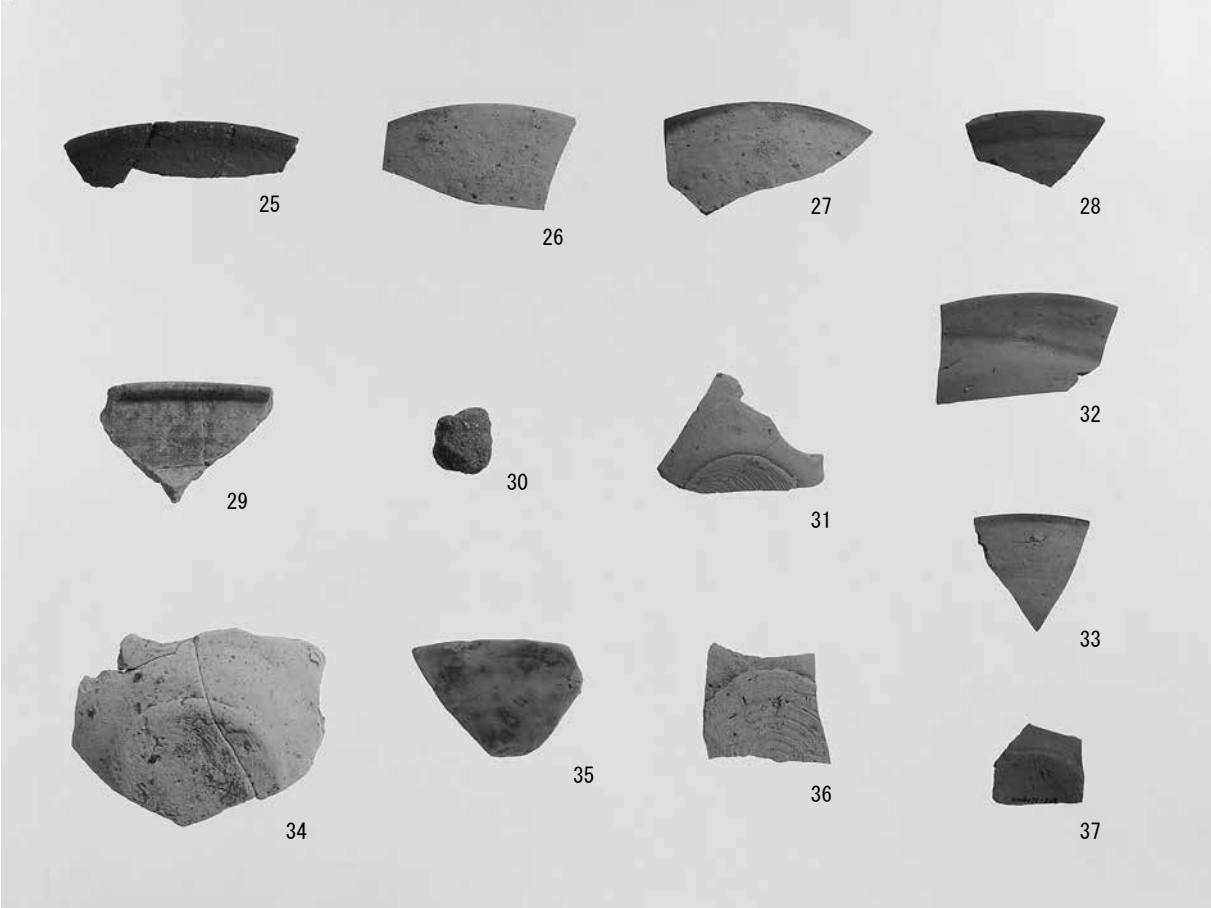
13

16

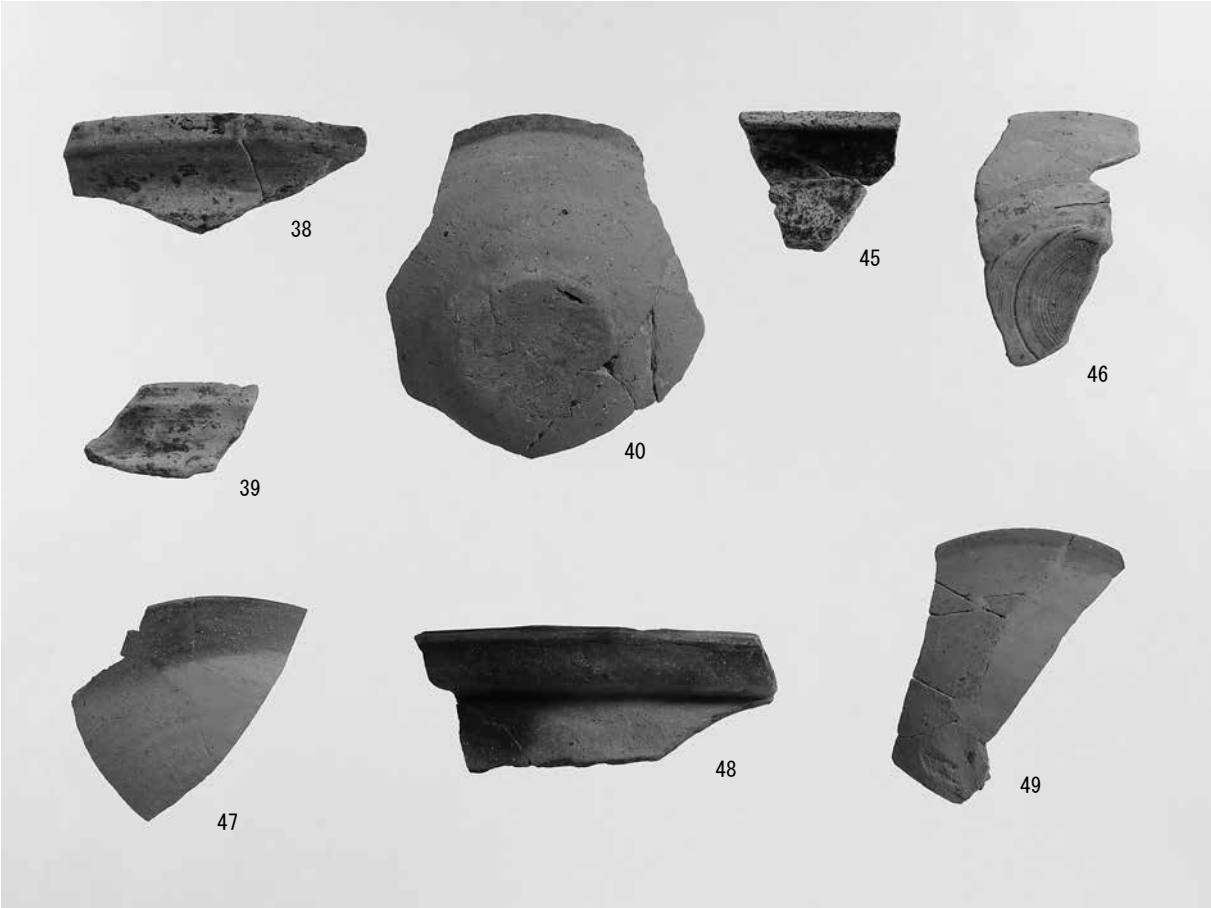
17

SH01 出土土器②





出土土器①



出土土器②

54

59

55

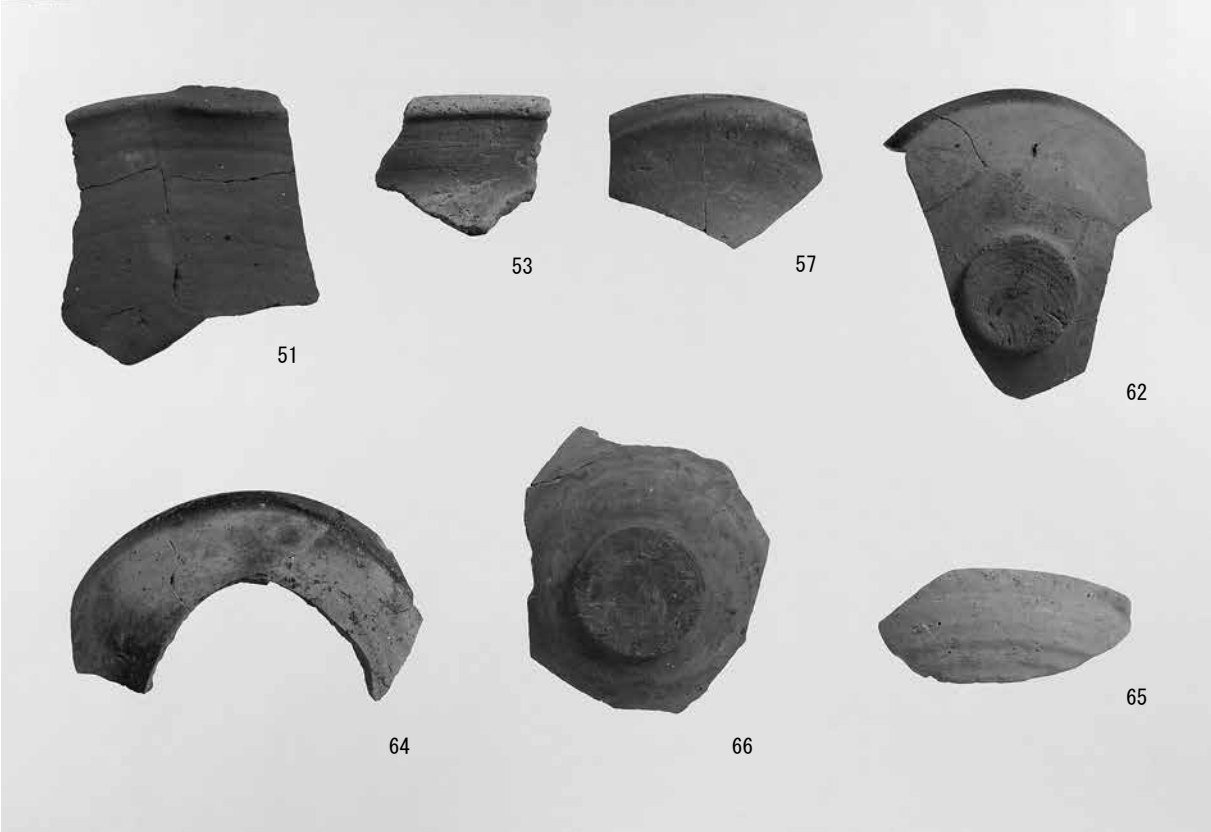
60

56

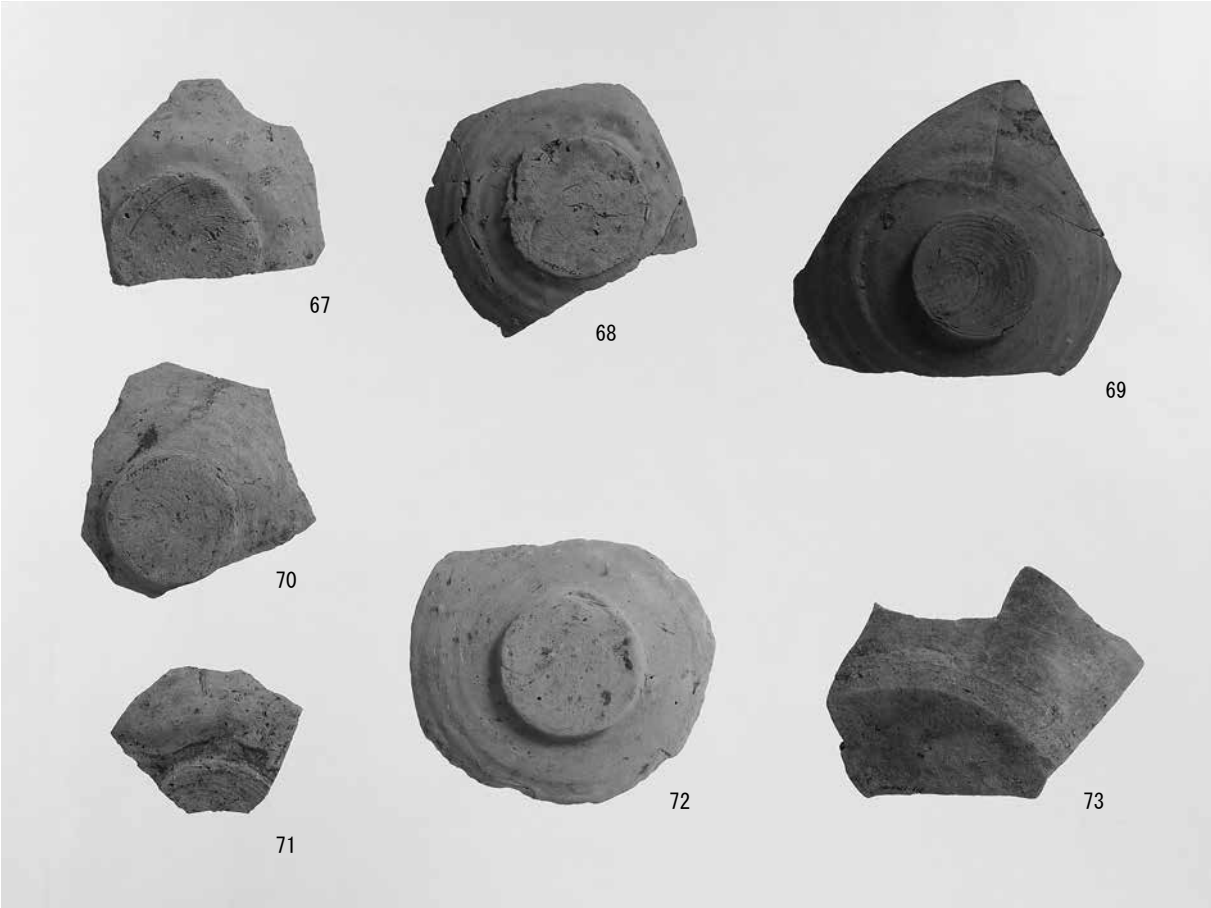
61

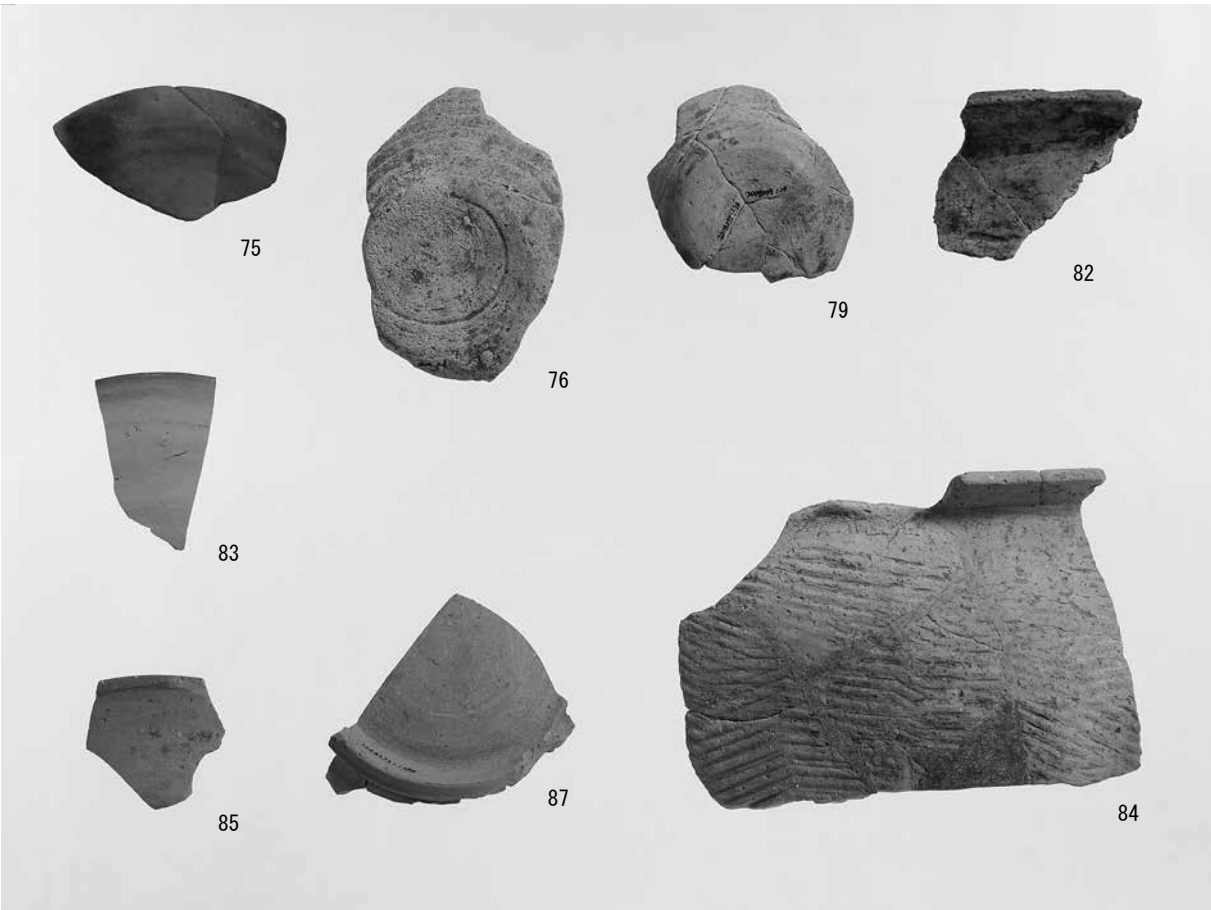
58

63

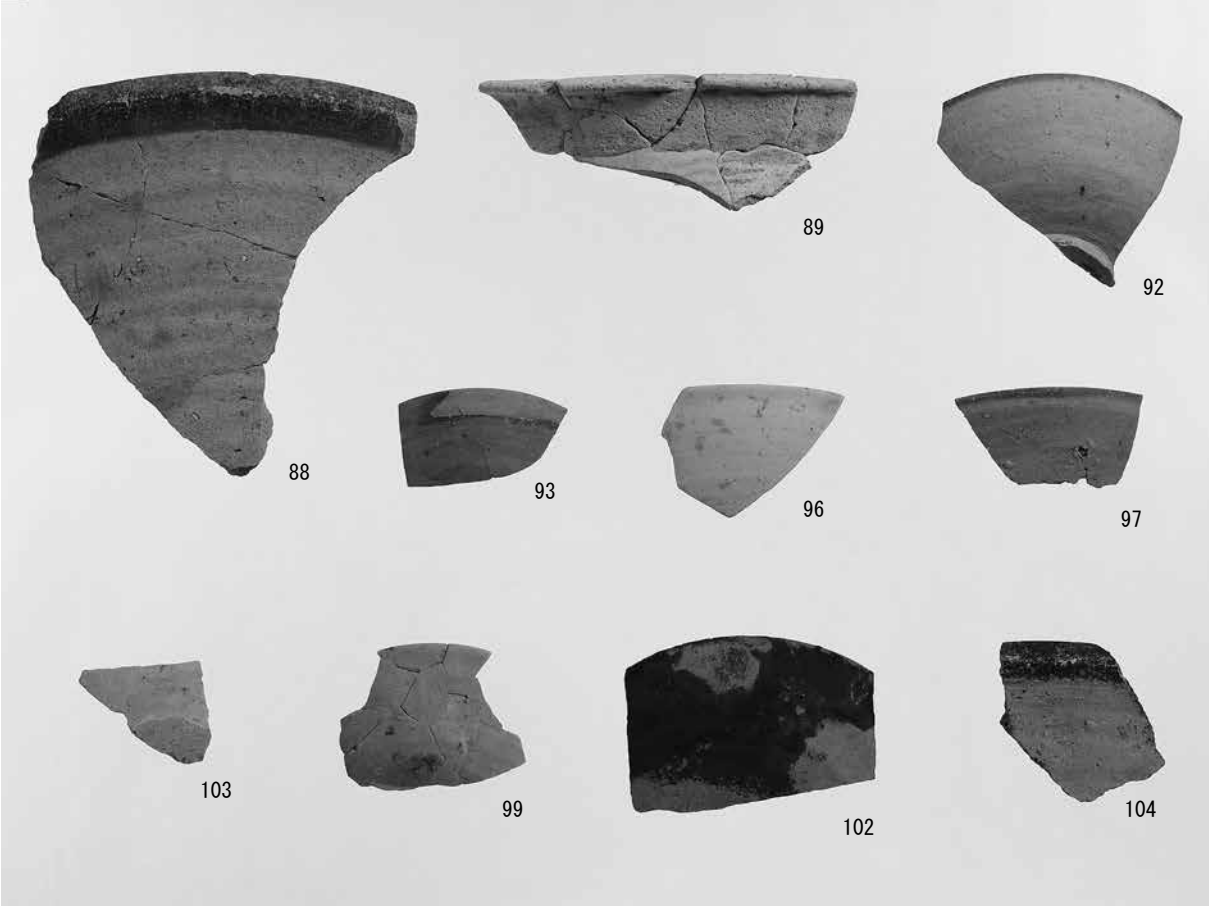


出土土器③





出土土器④



出土土器⑤

90

91

94

95

98

100

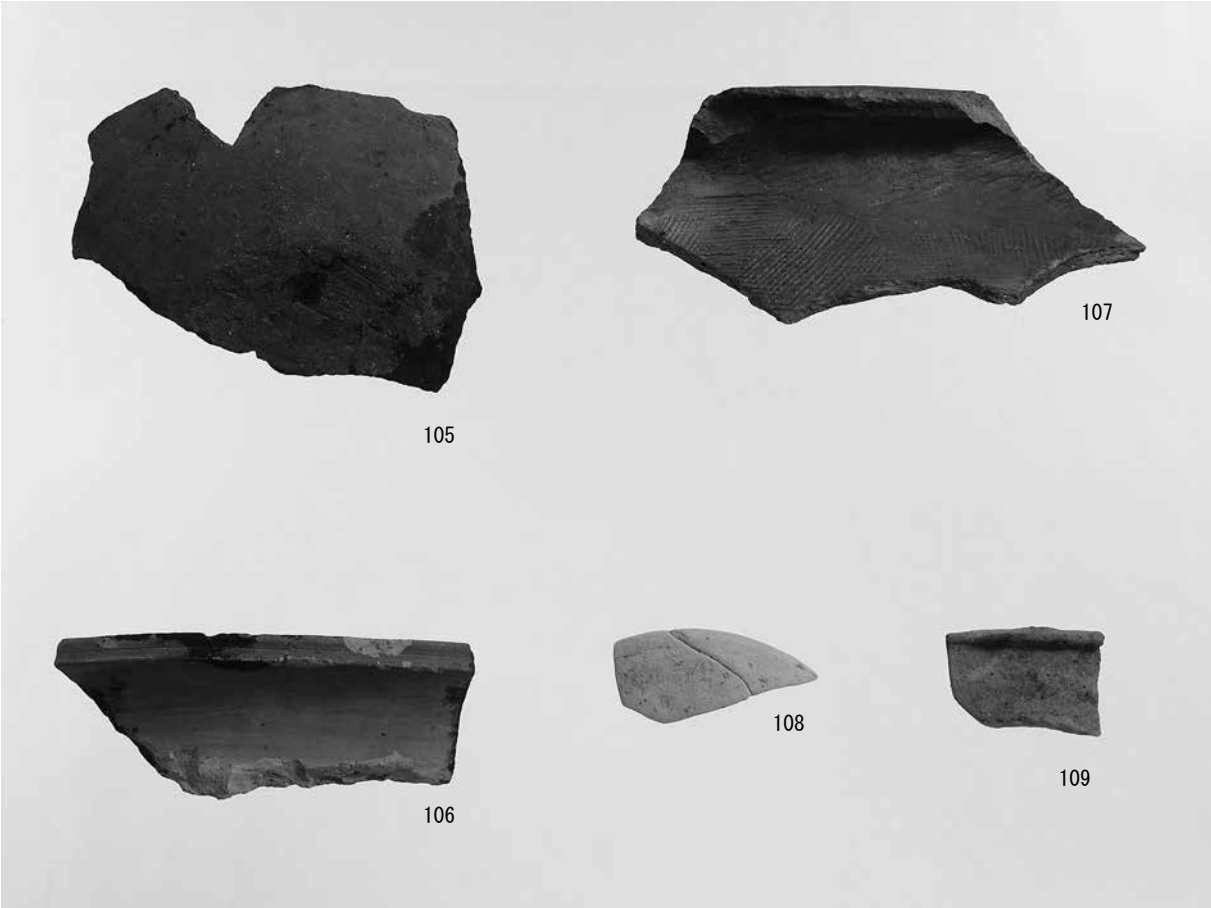
101

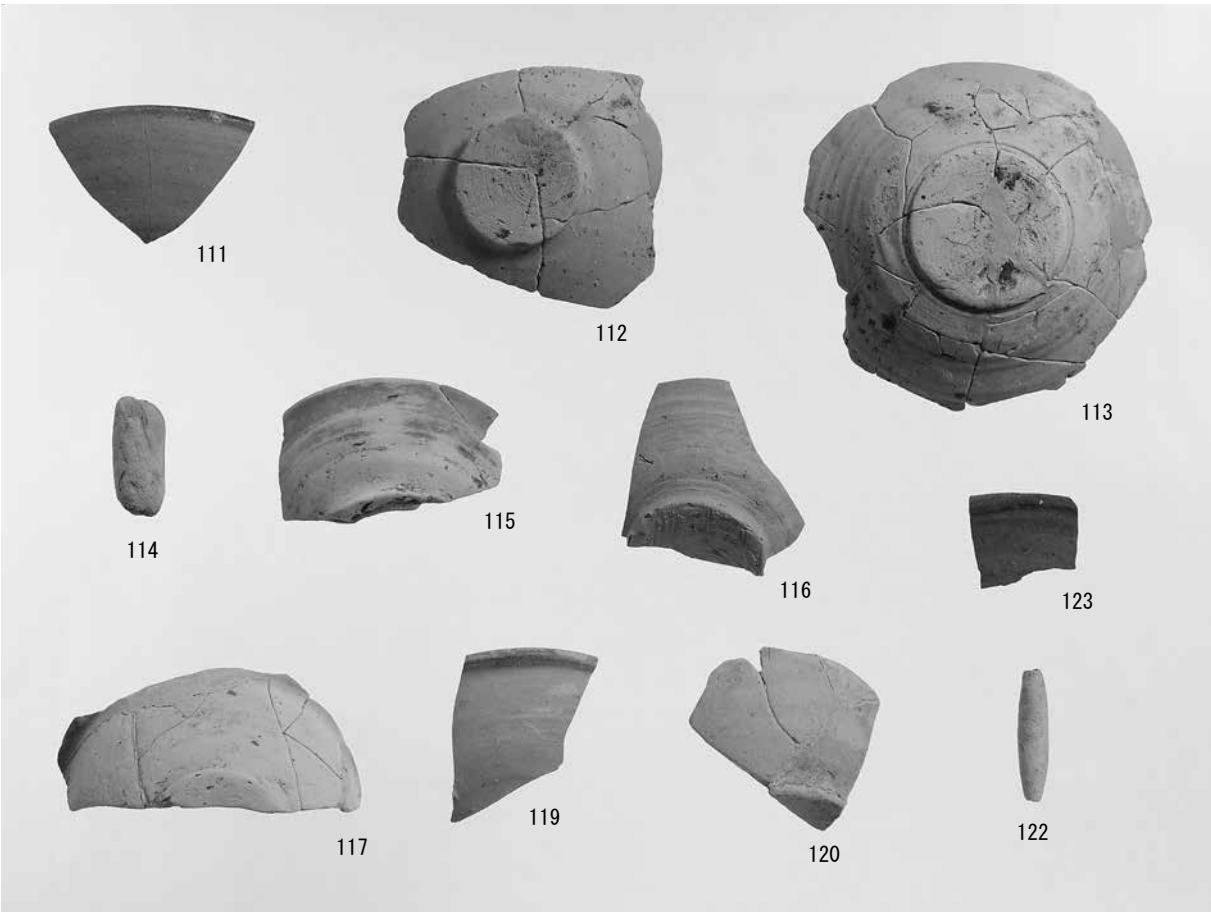
110

118

121

出土土器⑥





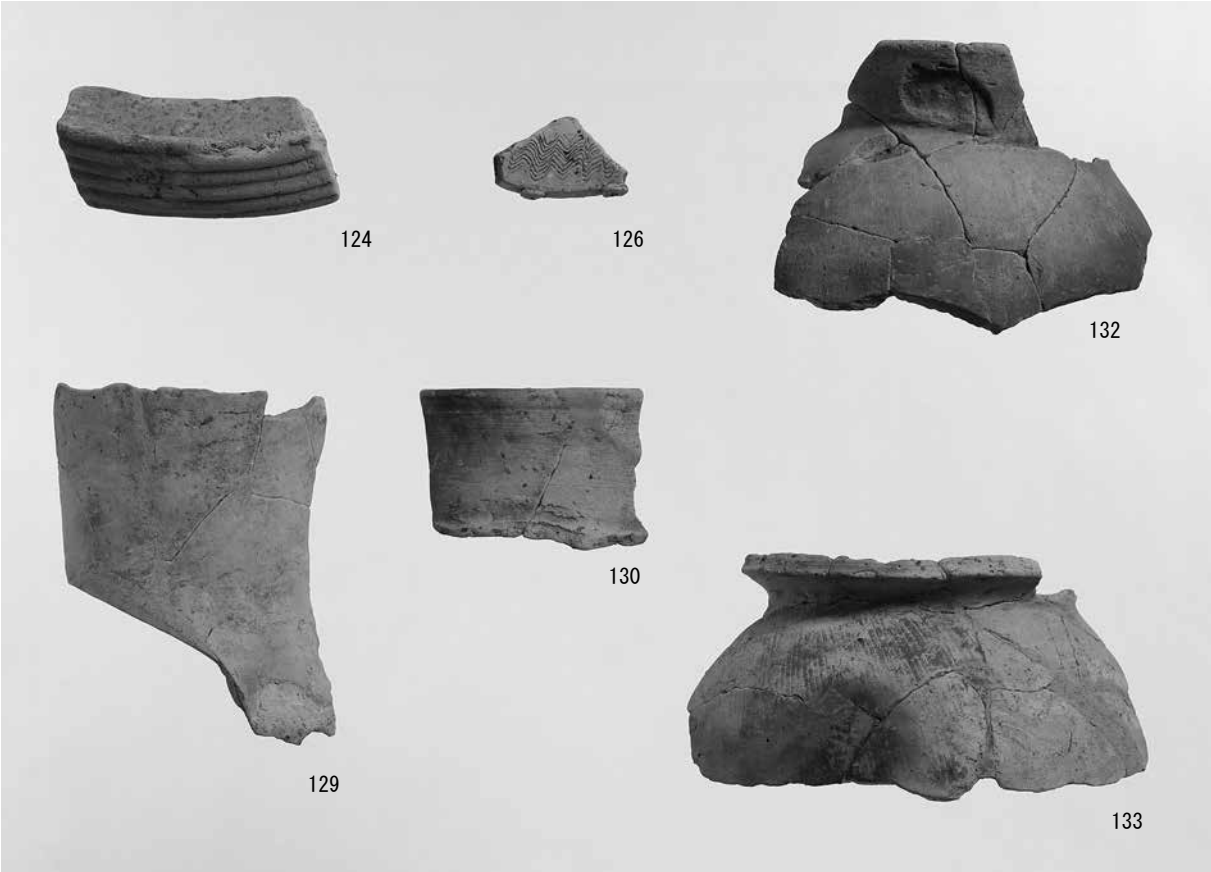
出土土器⑦

125

127

128

131



出土土器①

134

137

142

143

144

145

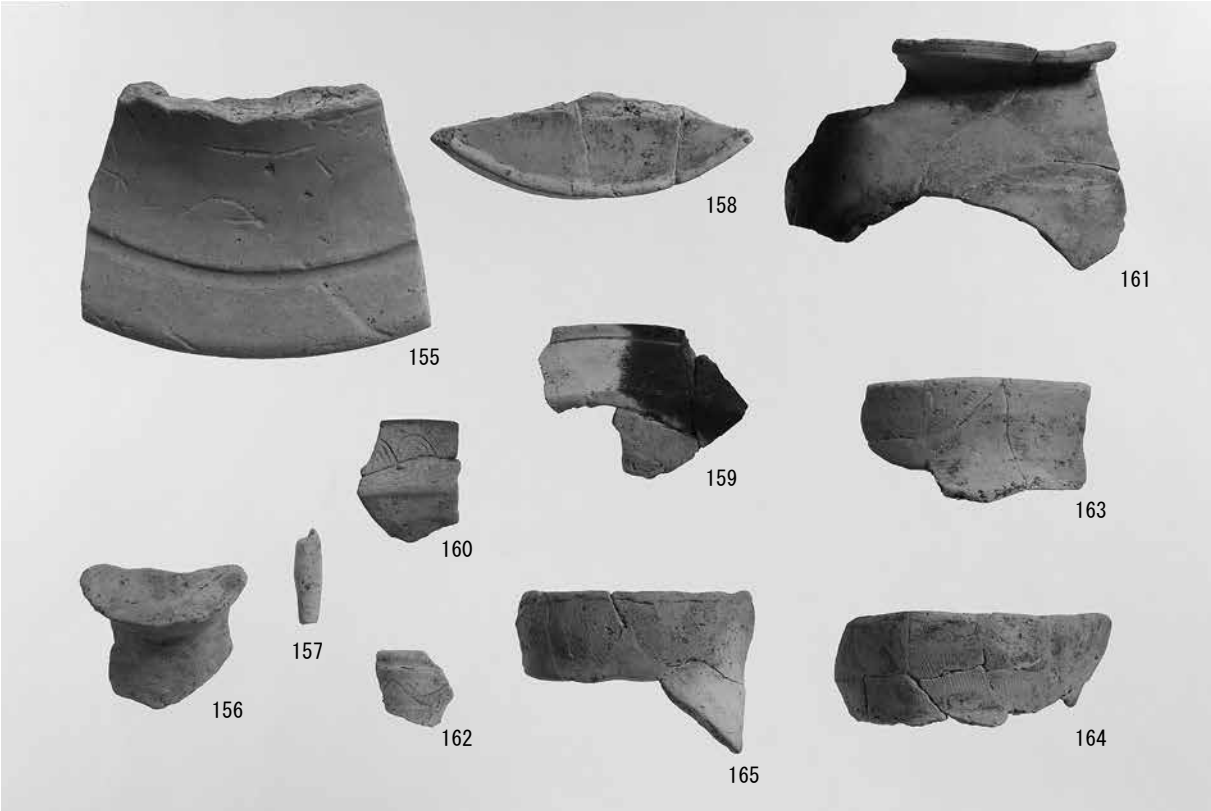
147

148

149

出土土器②

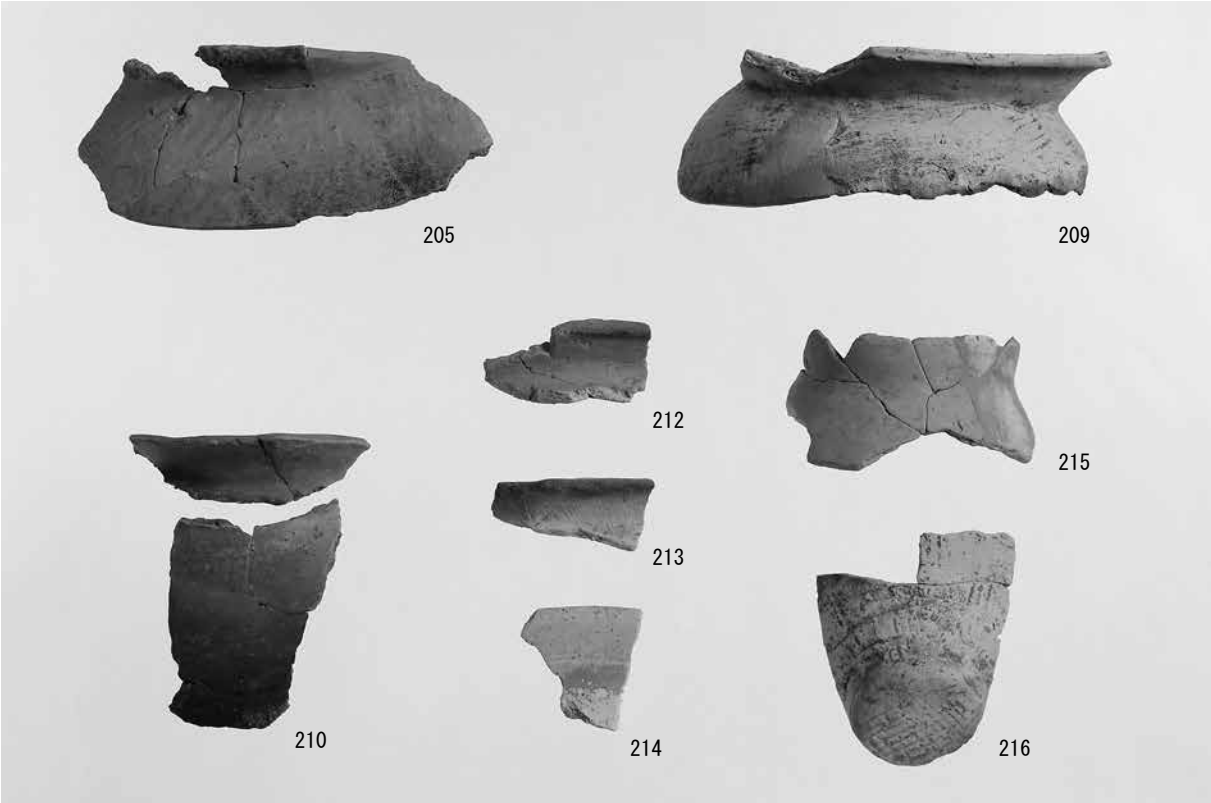
出土土器③



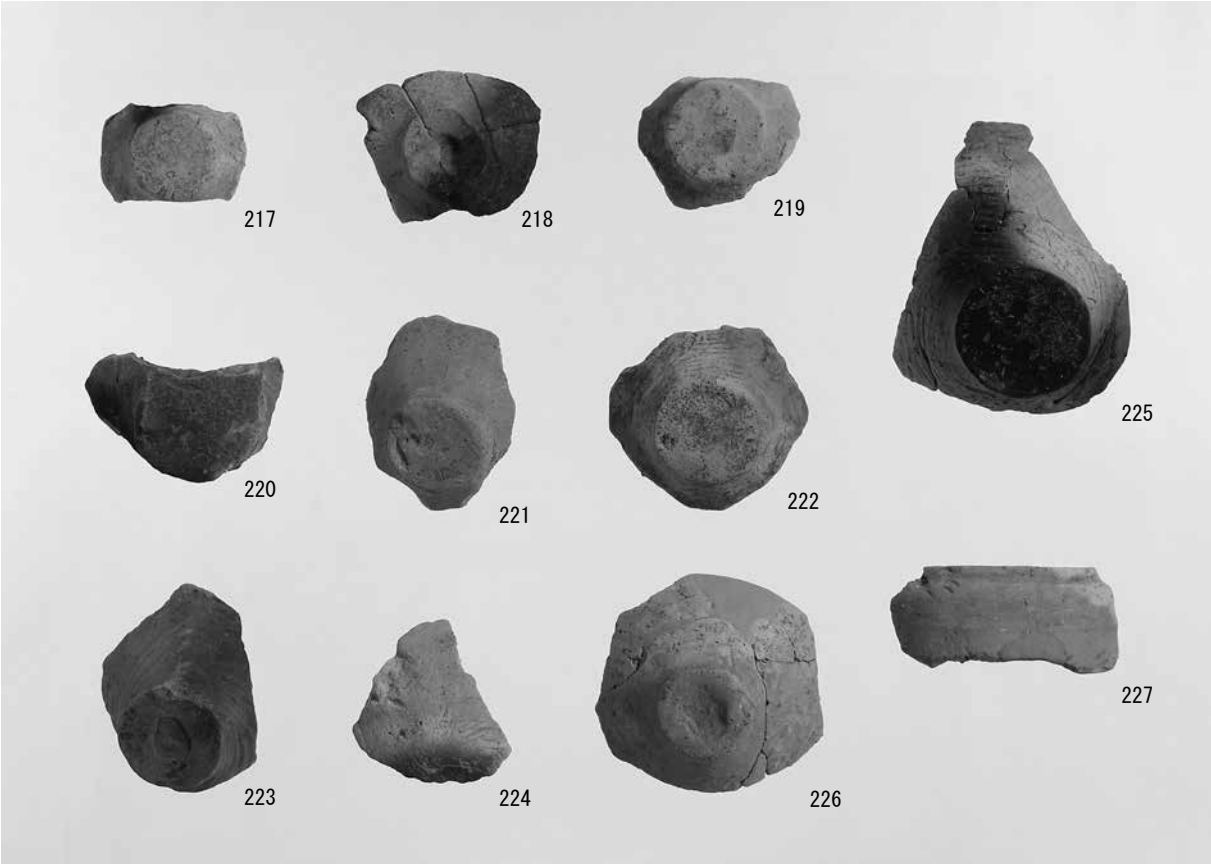
出土土器④

出土土器⑤

津万 1W 区出土土器⑥・津万 1E 区出土土器①



出土土器②


217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227

211

236

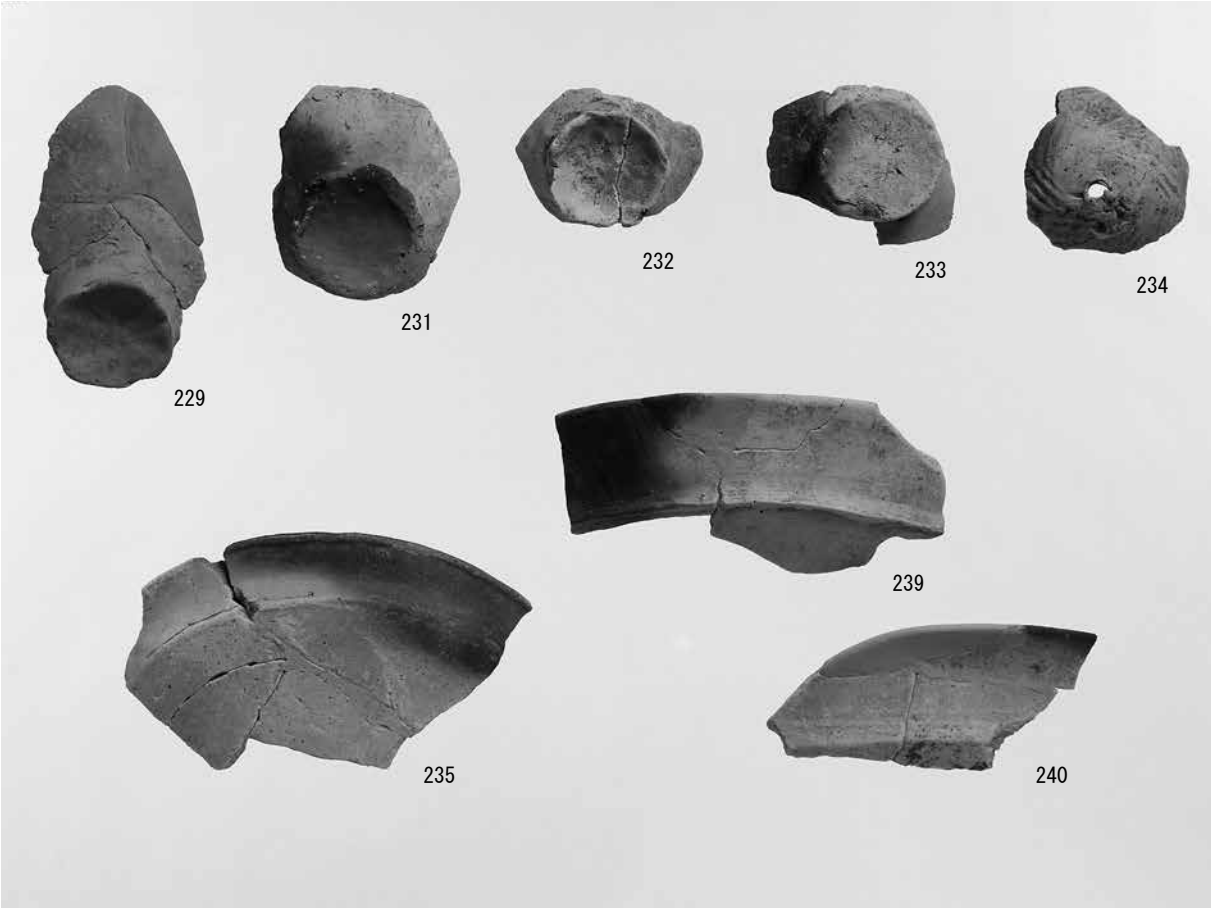
228

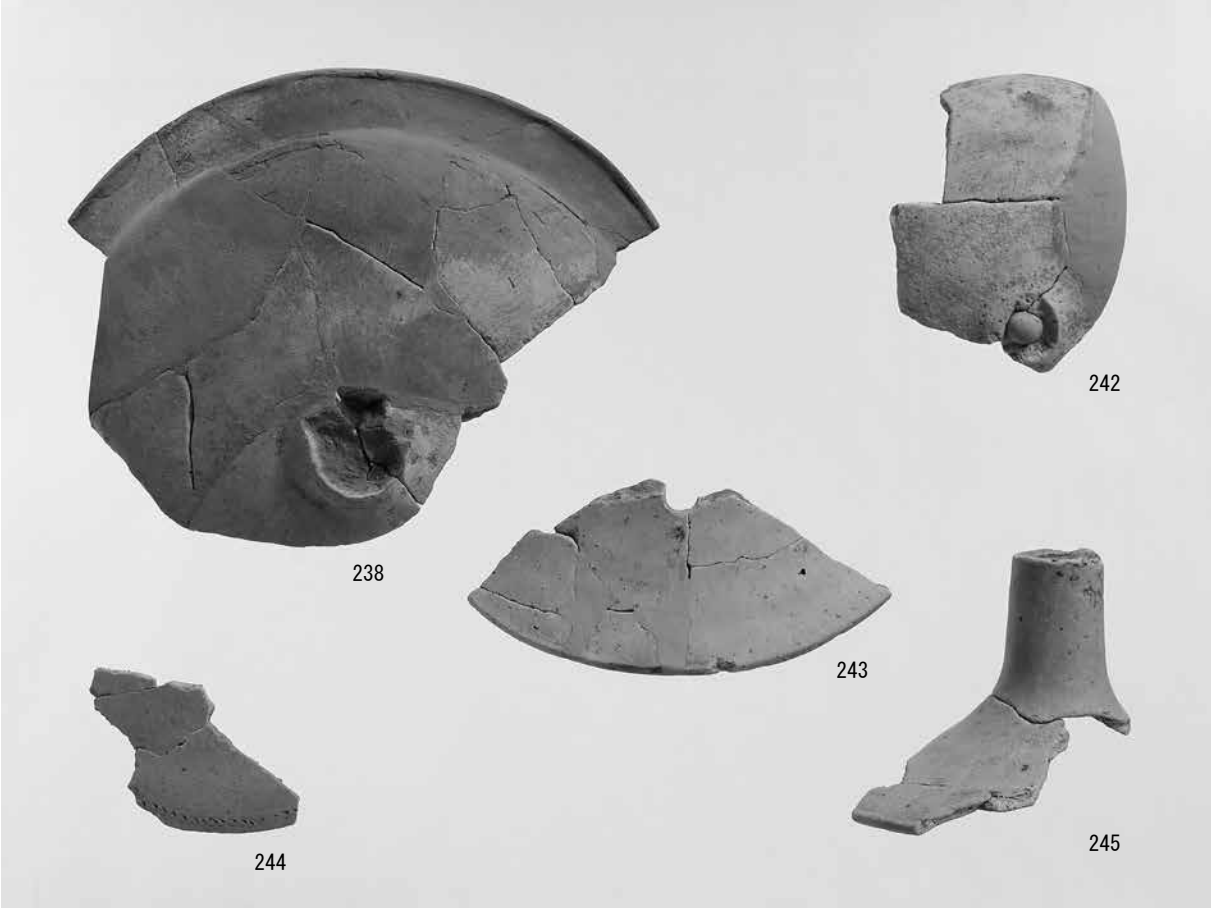
237

230

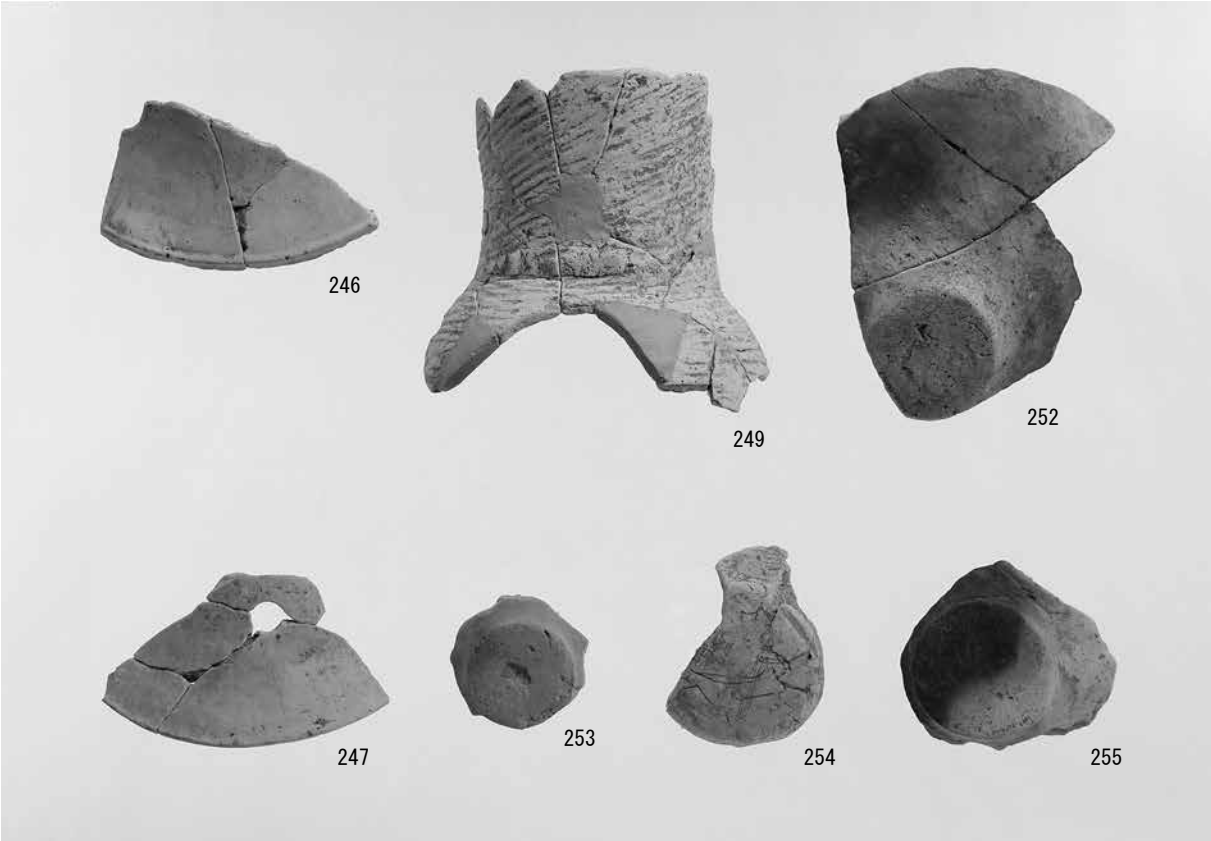
241

出土土器③

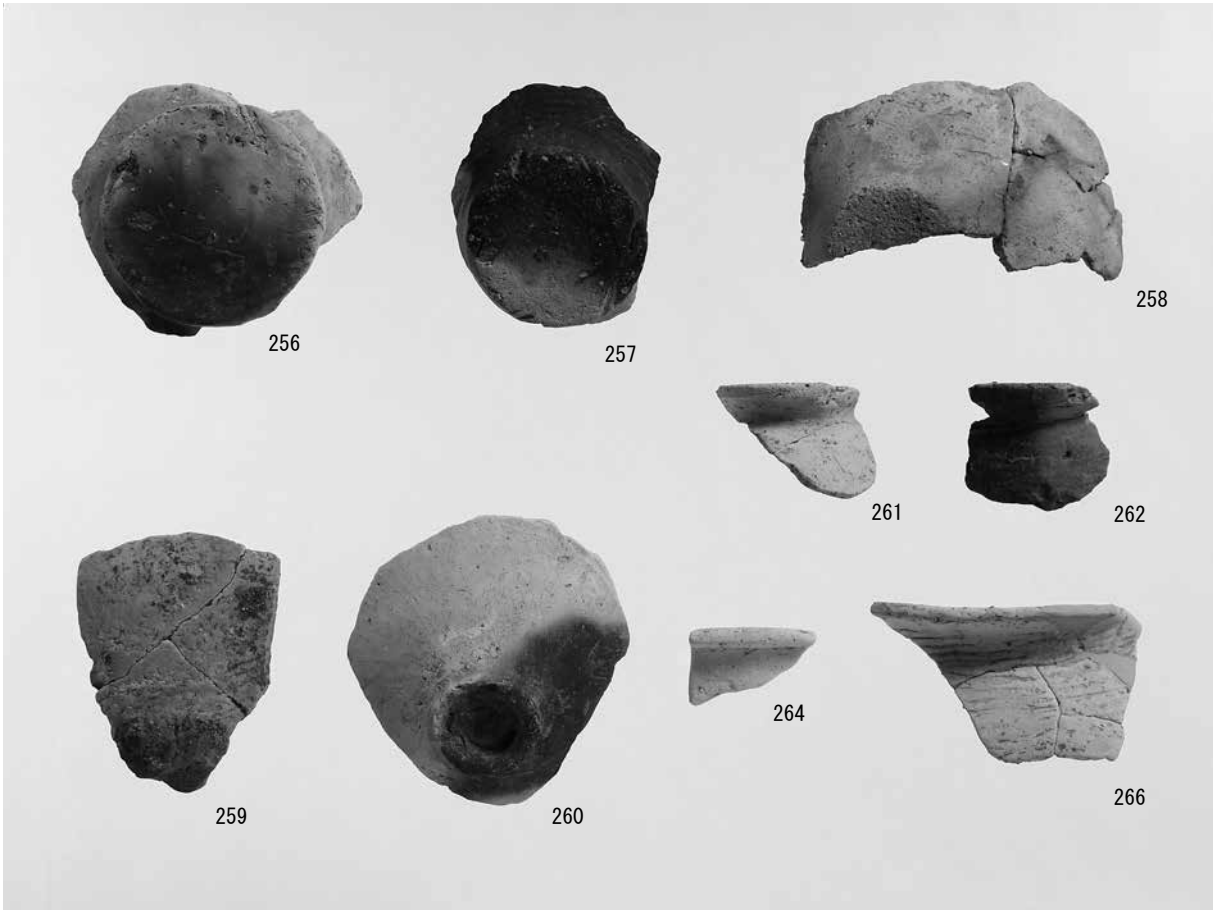


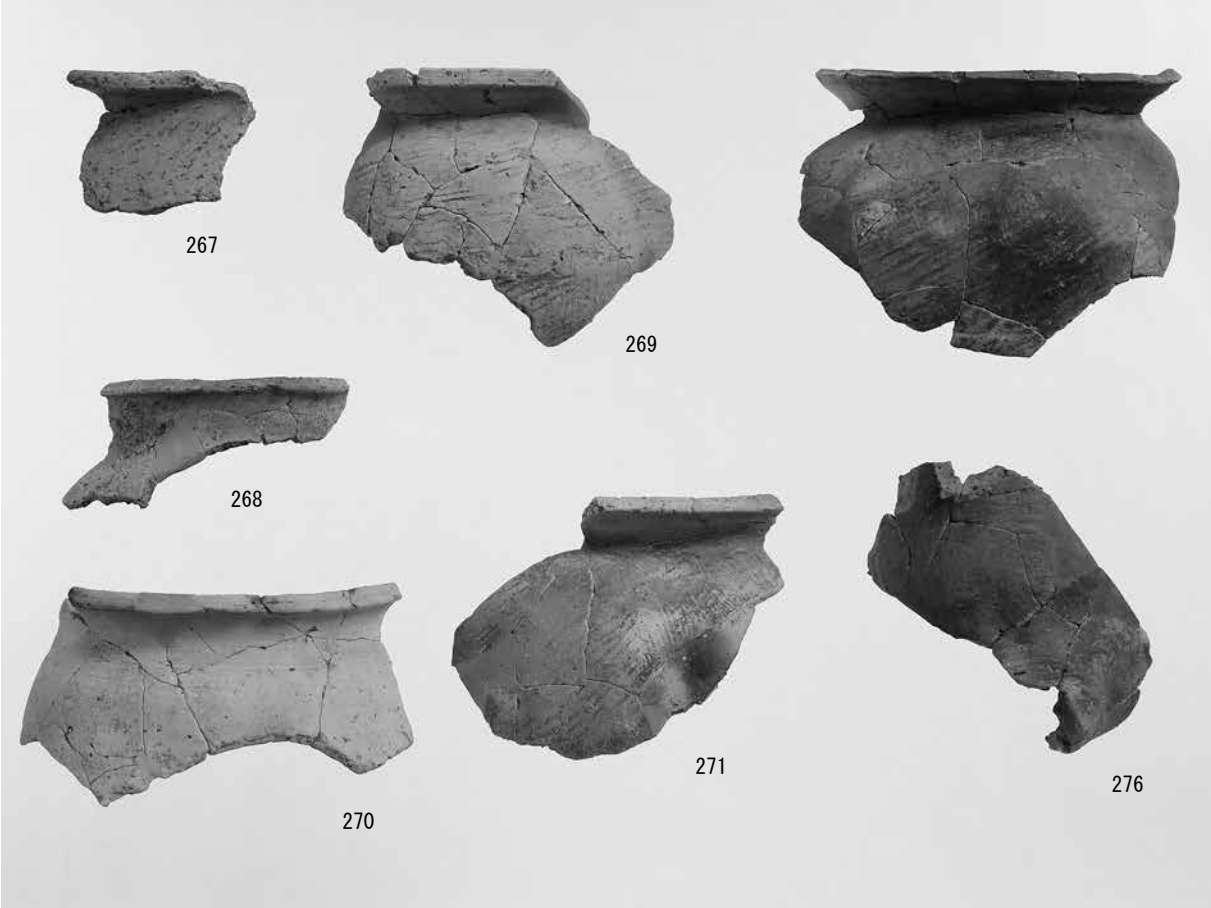


出土土器④



出土土器⑤





出土土器⑥

263

265

272

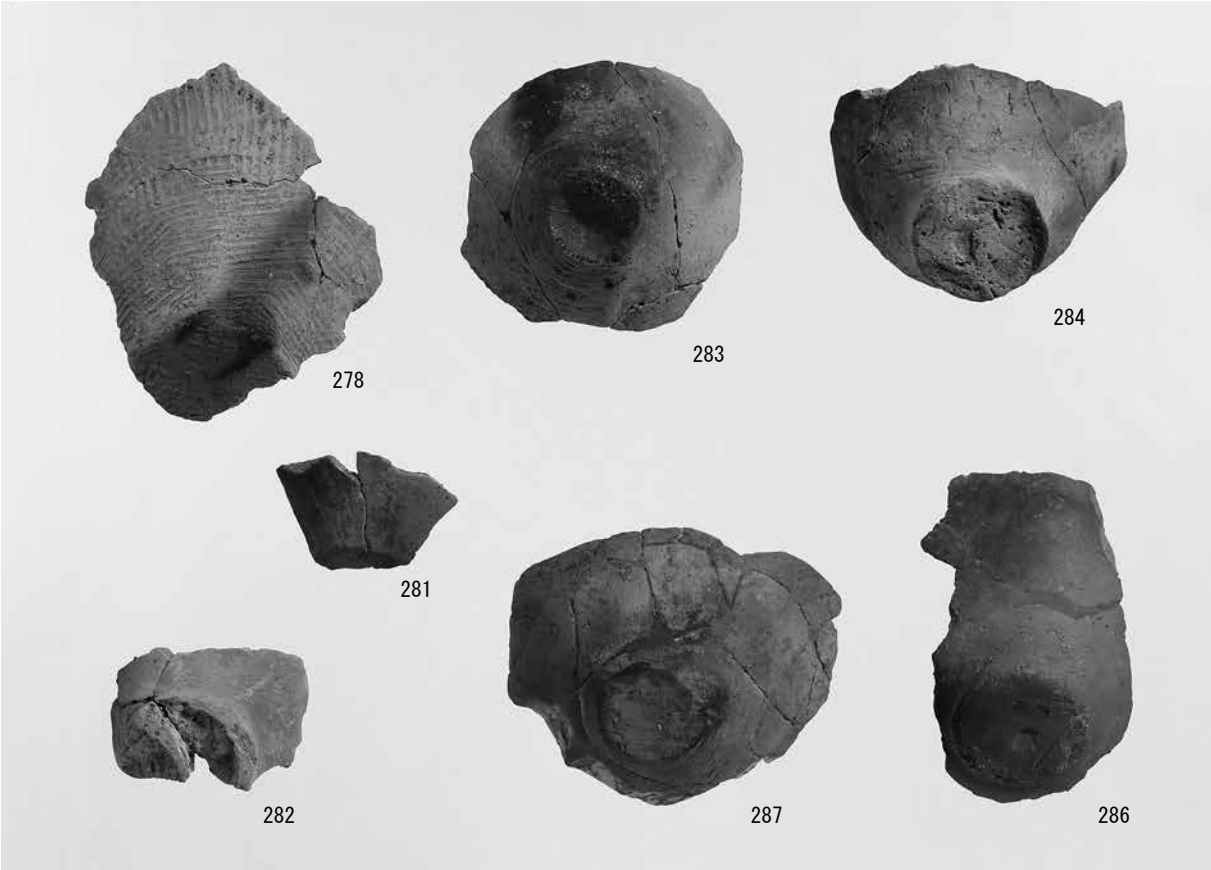
273

274

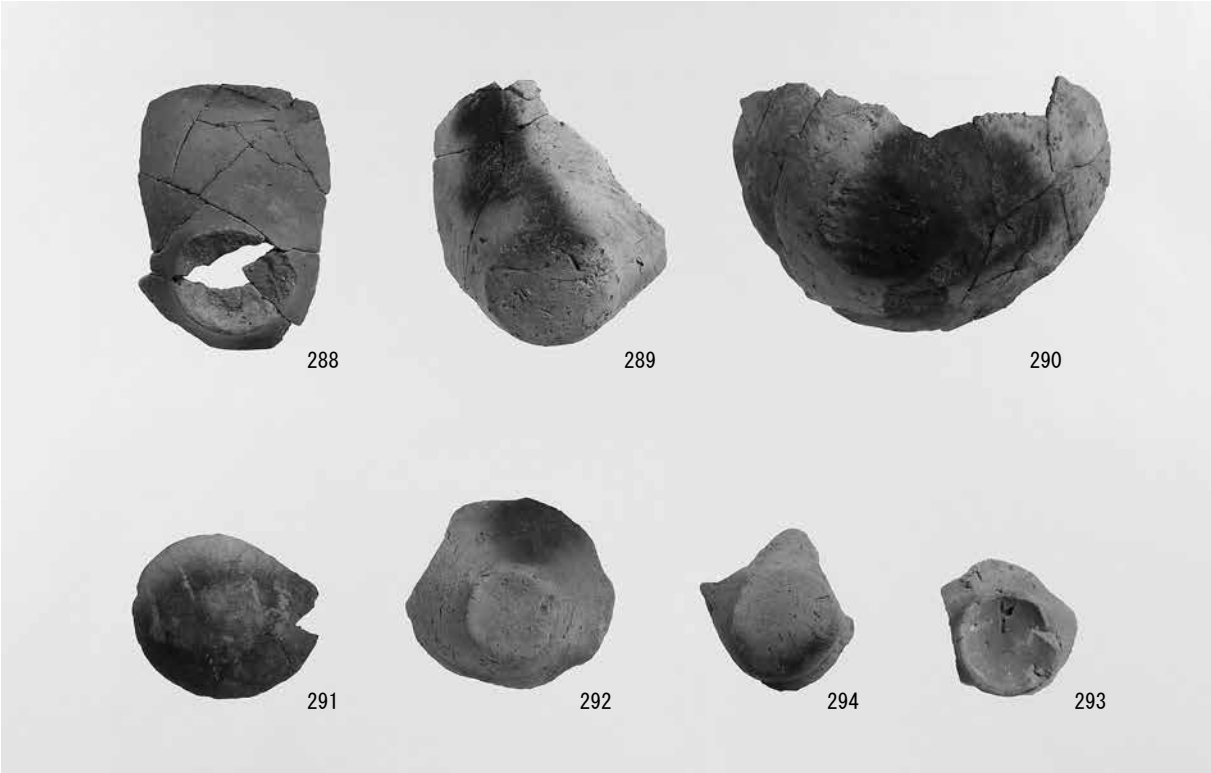
275

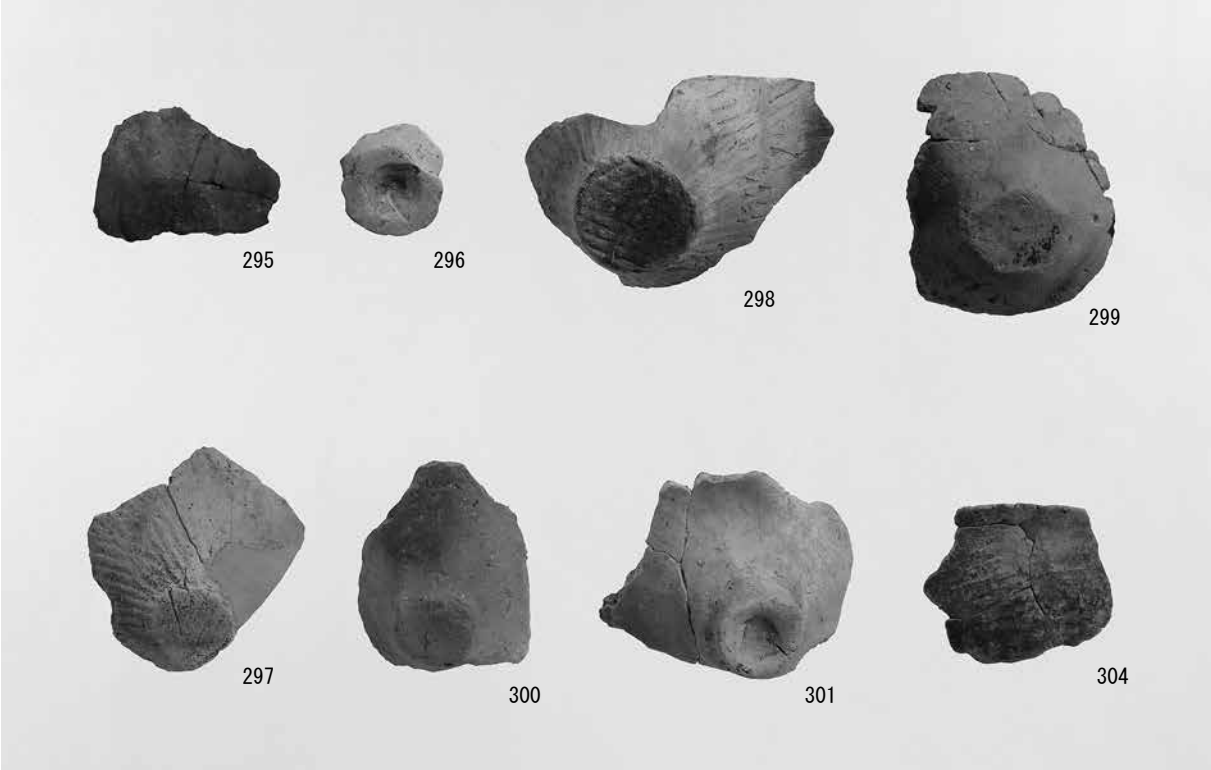
277

出土土器⑦



出土土器⑧

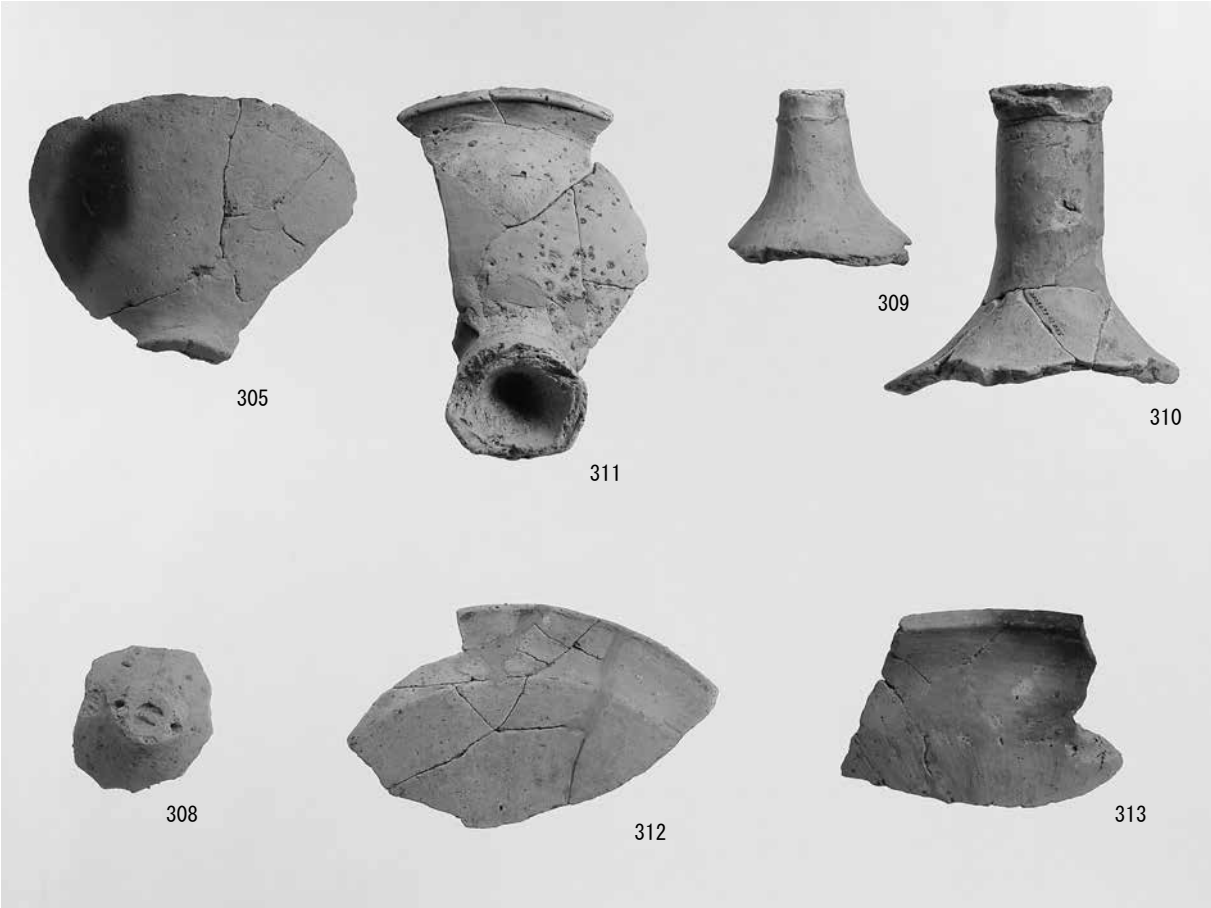

288
289
290
291
292
294
293

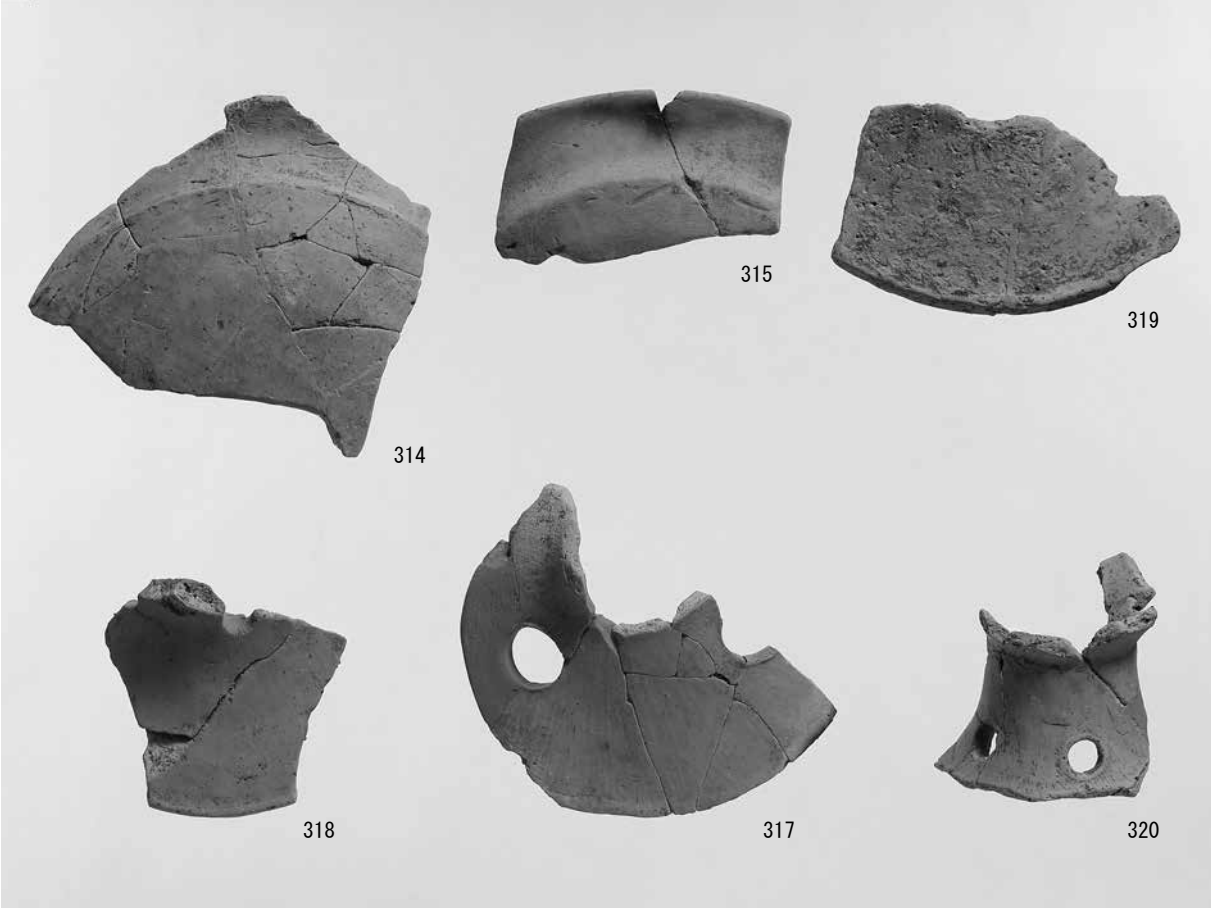

295
296
298
299
297
300
301
304

302

303

出土土器⑨





出土土器⑩

306

321

322

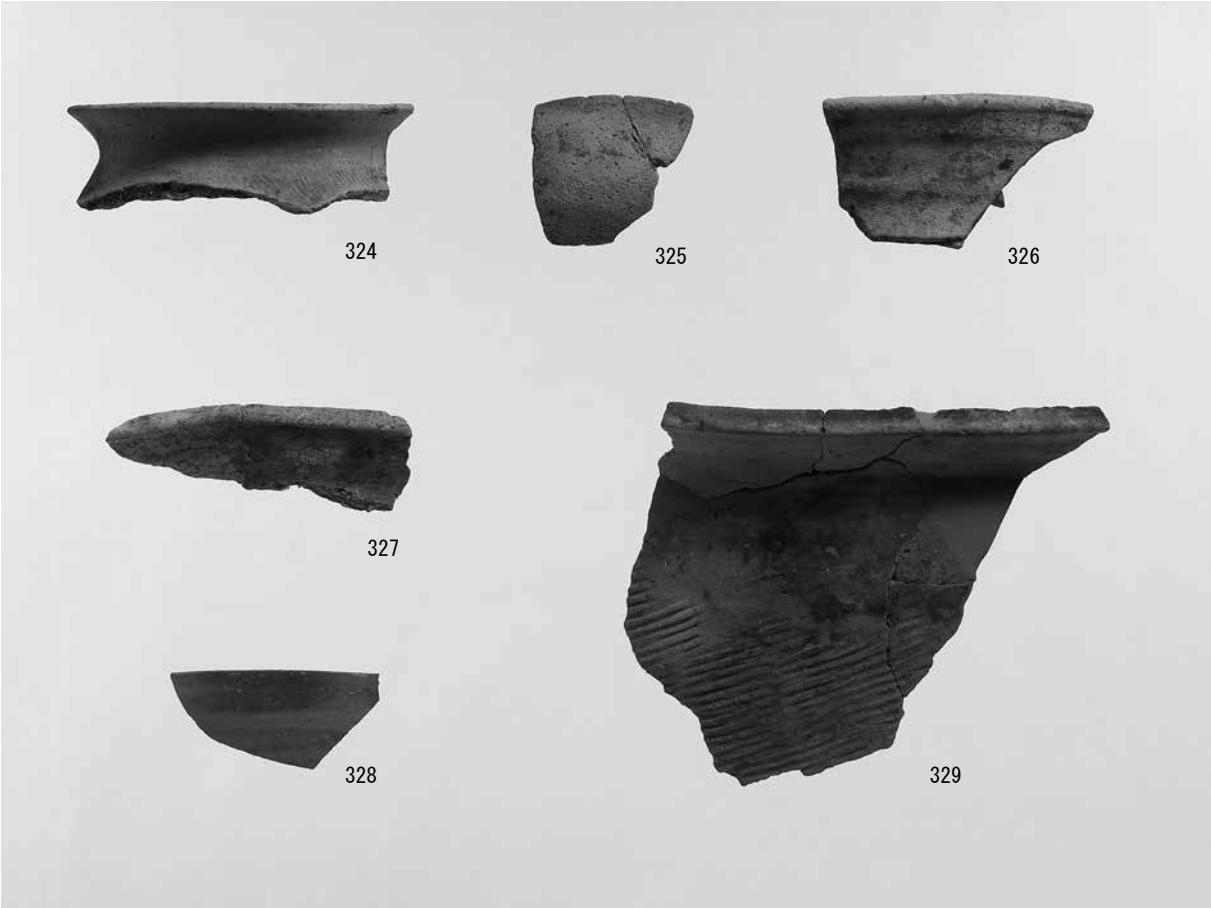
307

316

332

323

出土土器⑪



出土土器⑫

津万 1E 区出土土器⑬・津万 2 区出土土器①

340

350

351

344

352

348

356

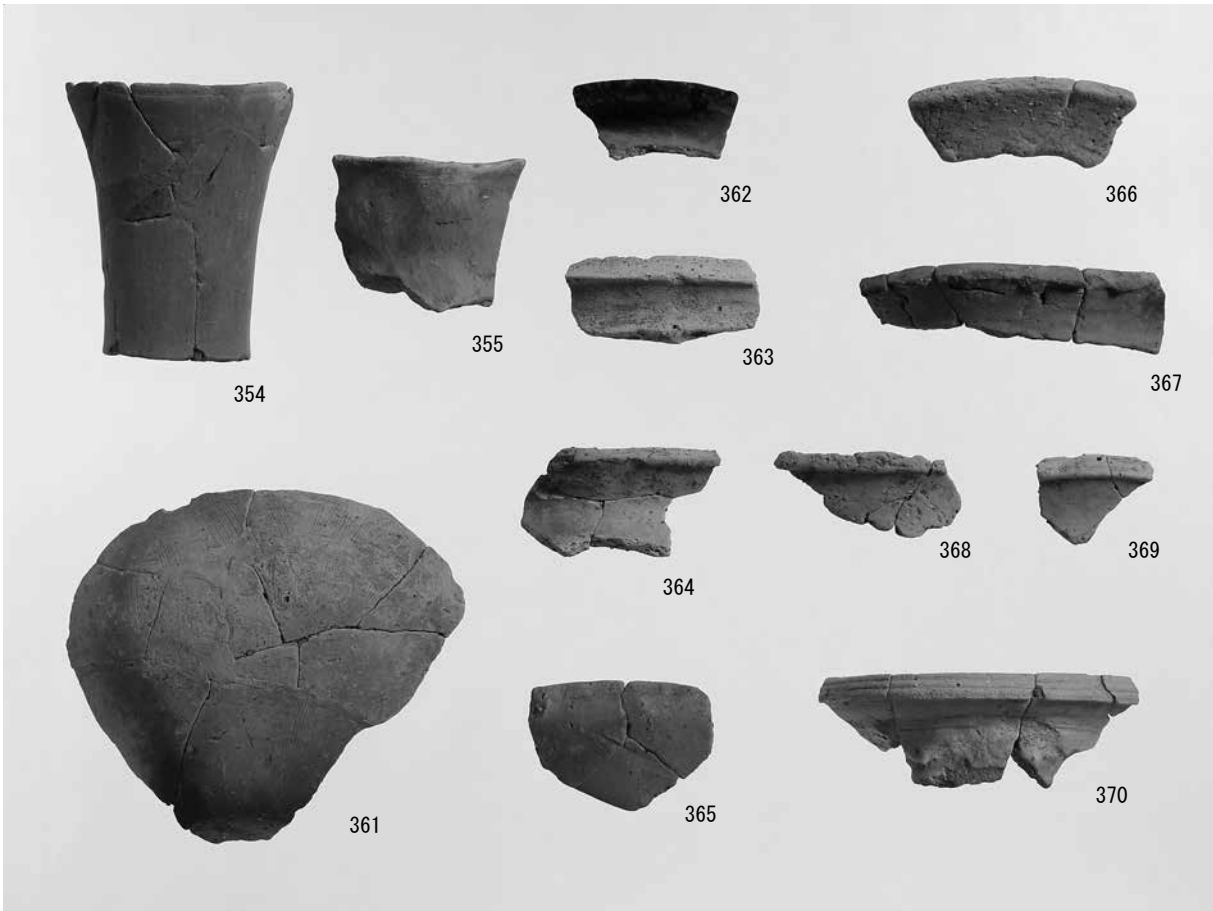
349

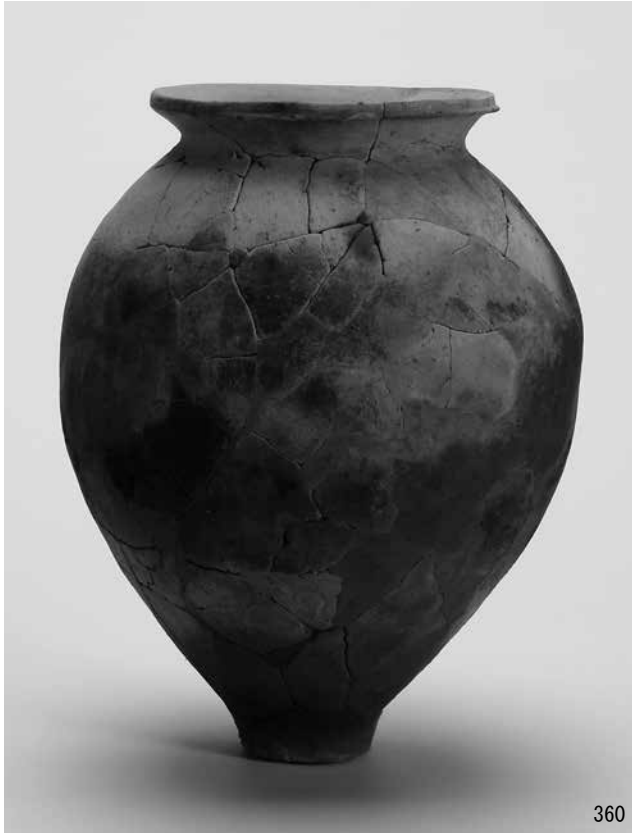
357

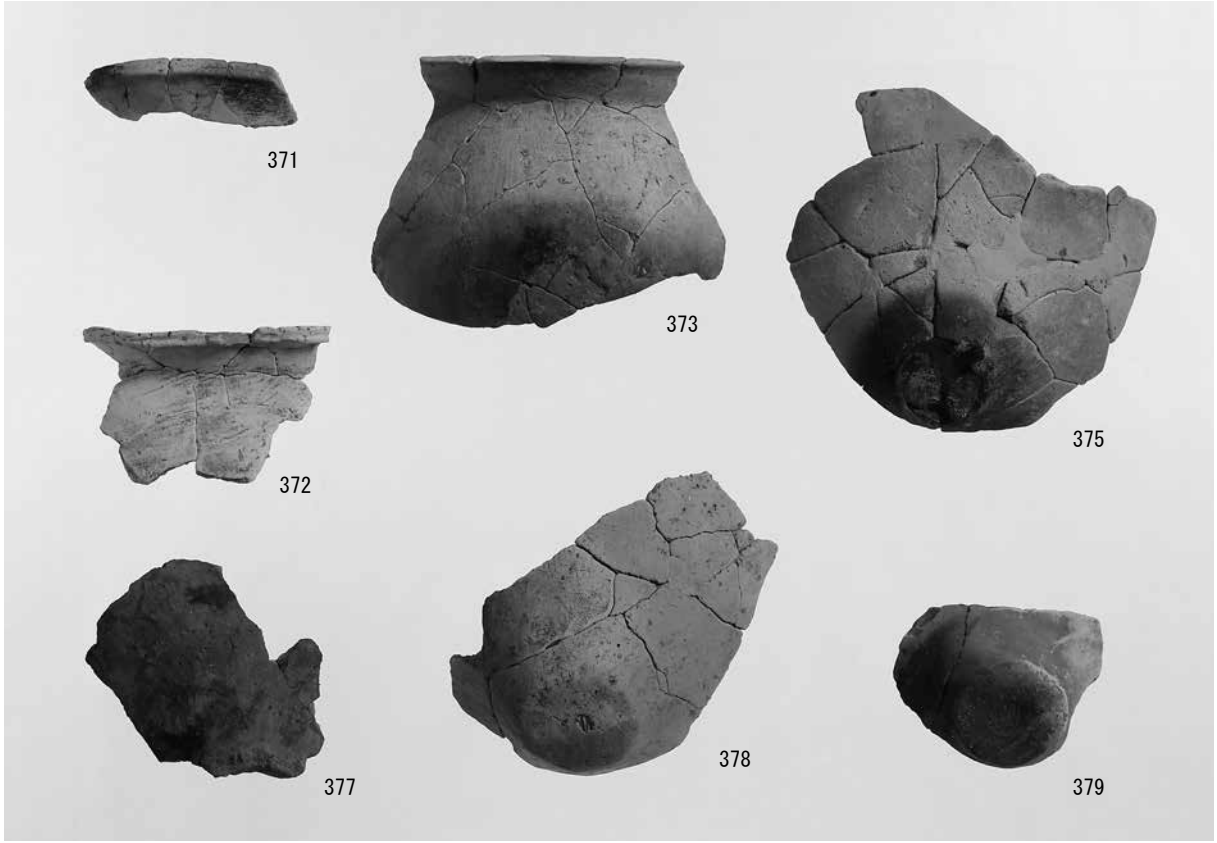
出土土器②

358

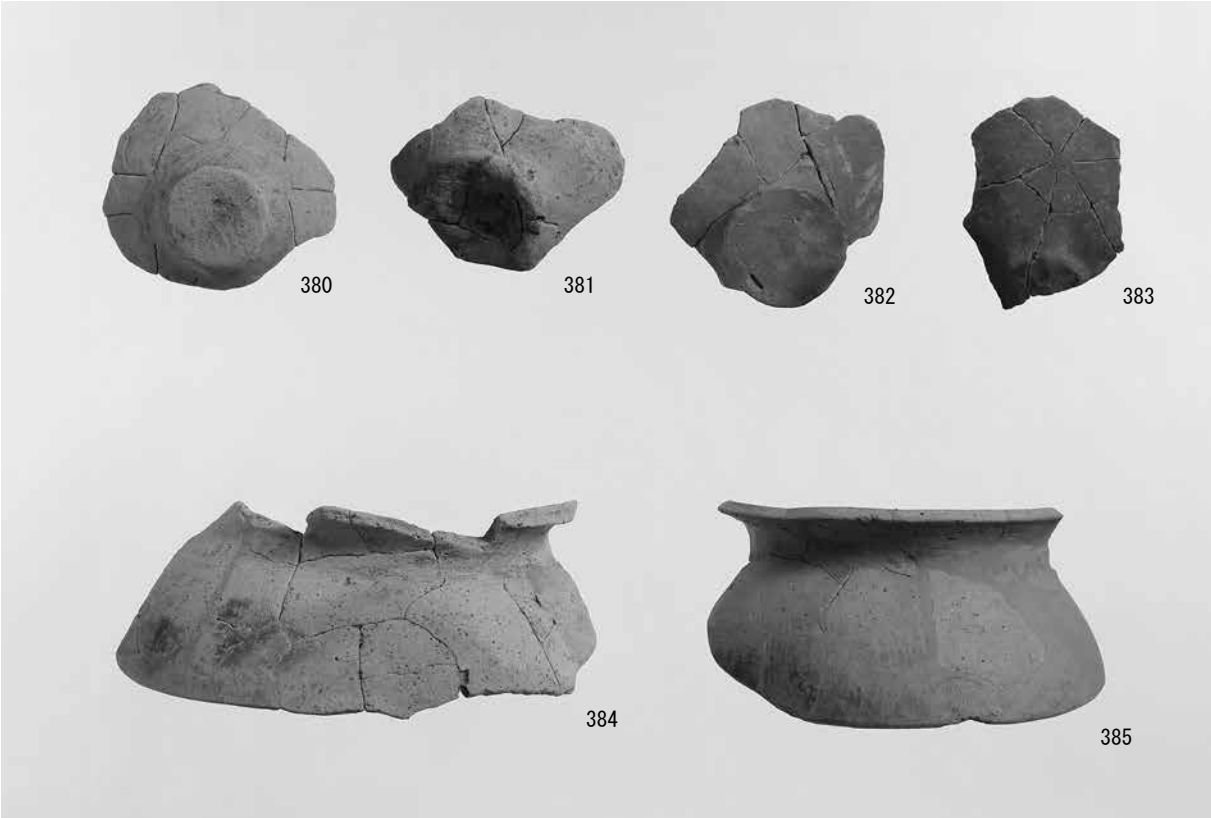
359


354
355
362
366
363
367
364
368
369
361
365
370

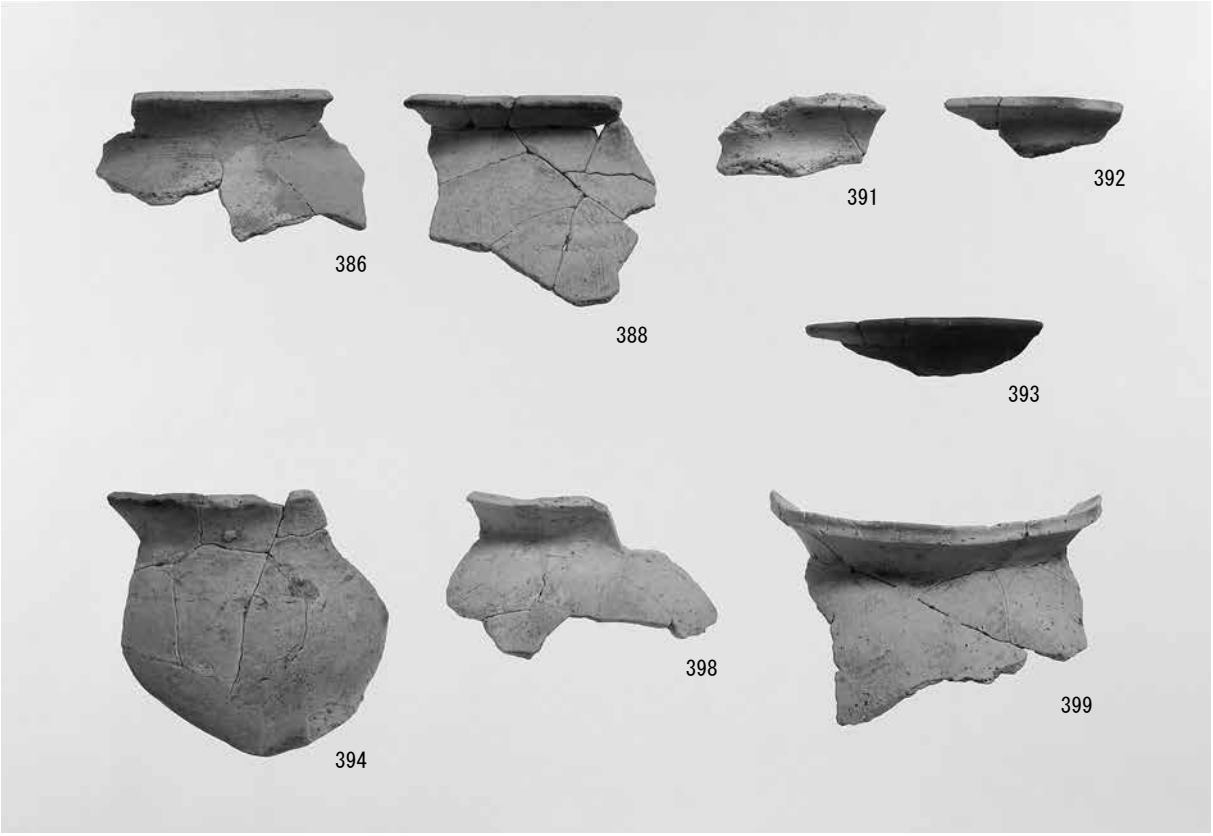




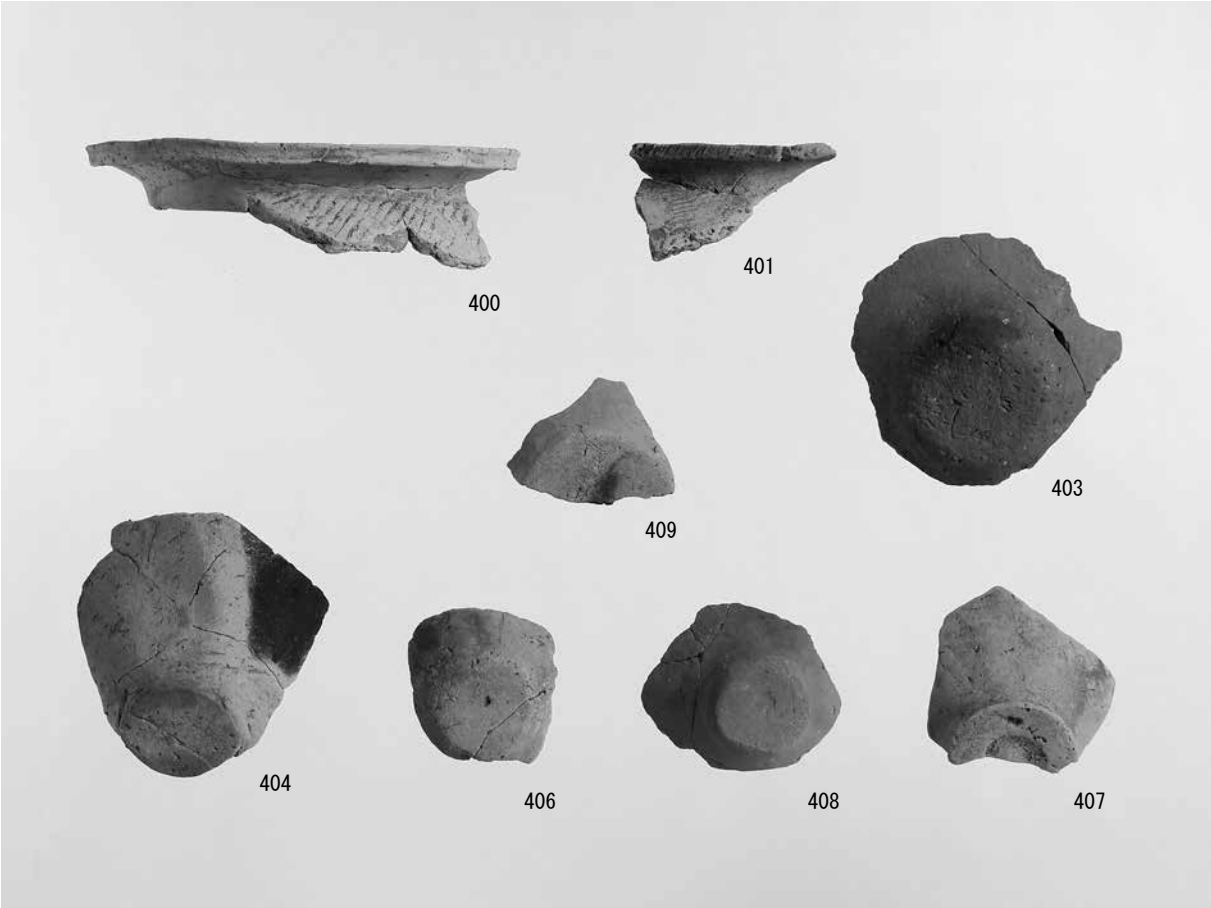
出土土器④



出土土器⑤



出土土器⑥



出土土器⑦

412

413

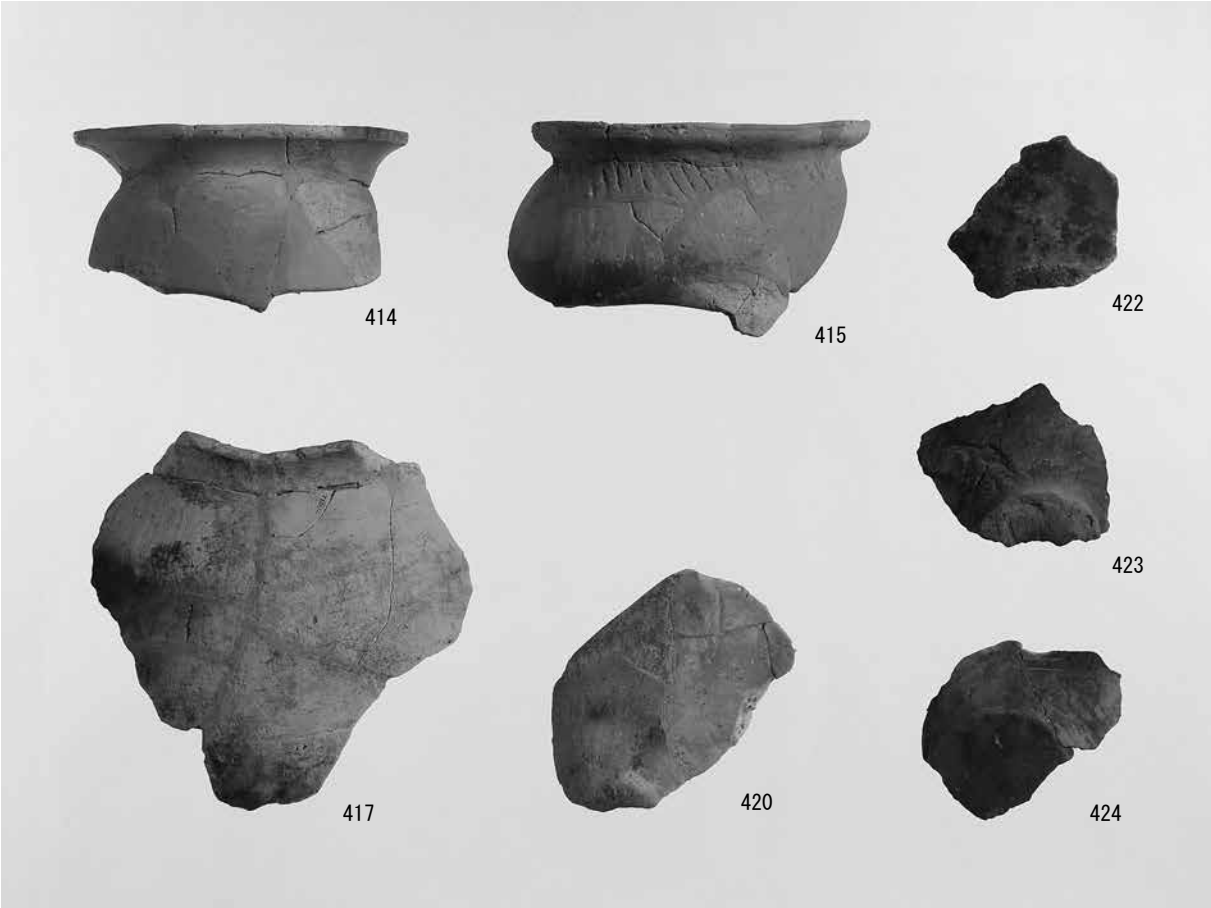
416

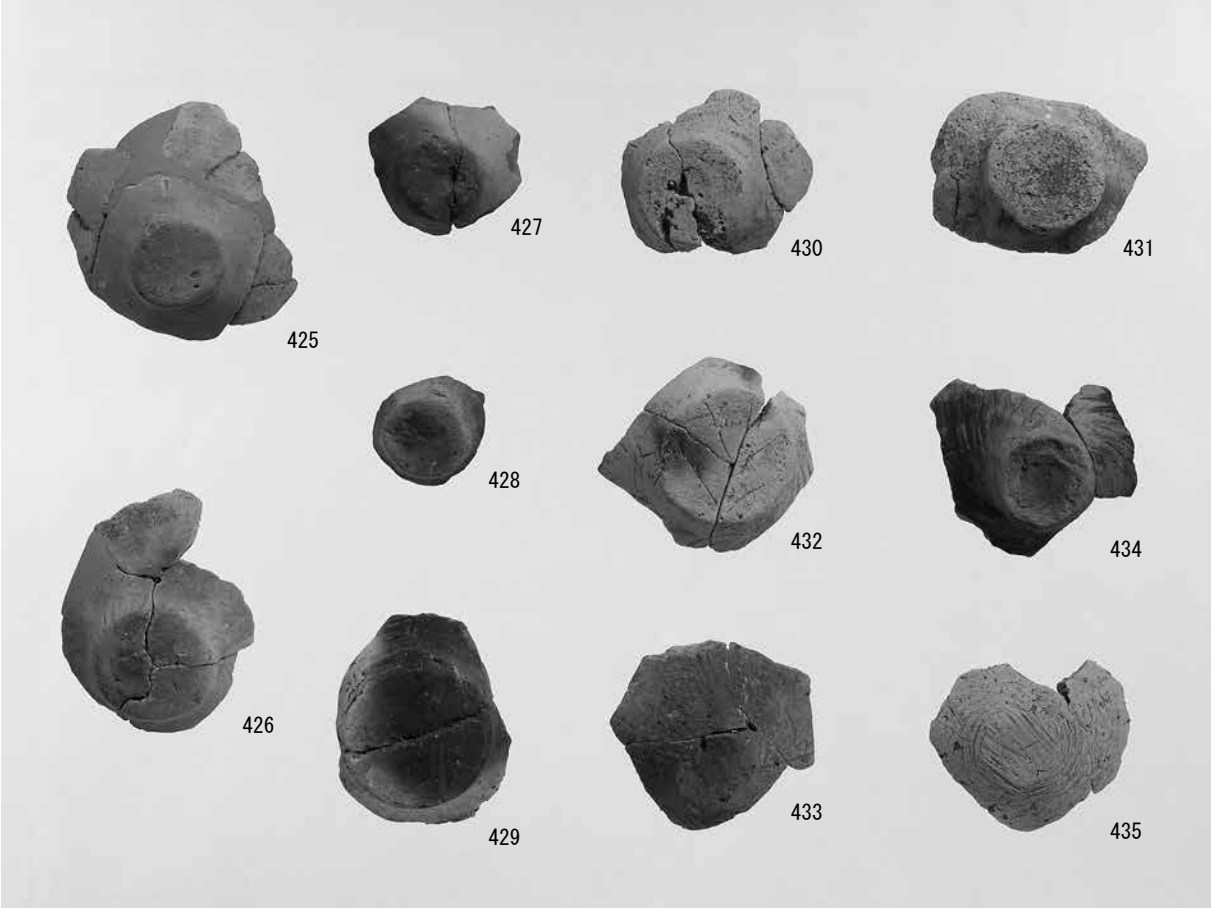
419

418

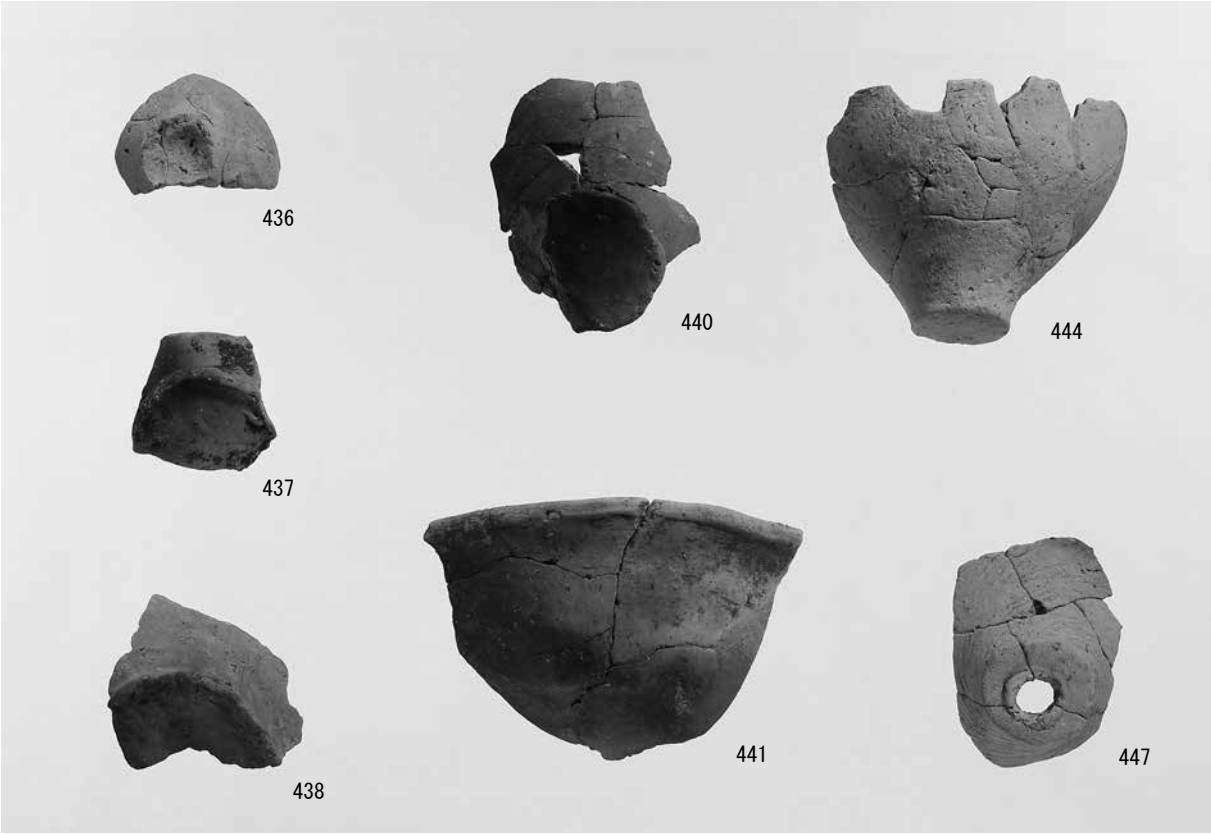
421

出土土器⑧


414
415
422
423
417
420
424

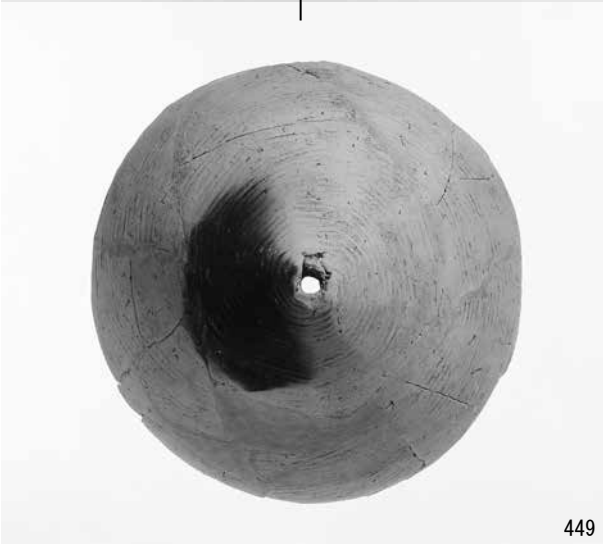

427
430
431
425
428
432
434
426
429
433
435

出土土器⑨



出土土器⑩

448


449

451

453

455

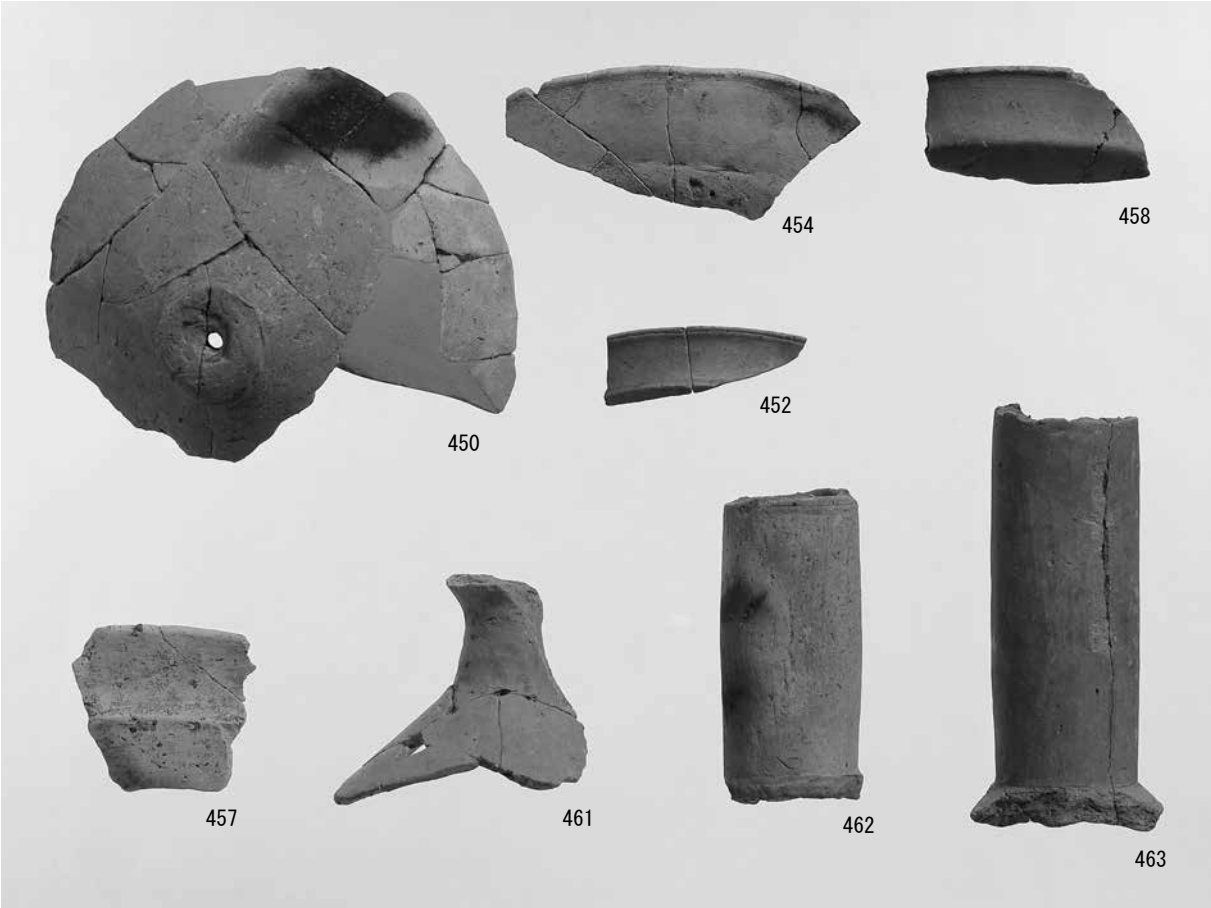
456

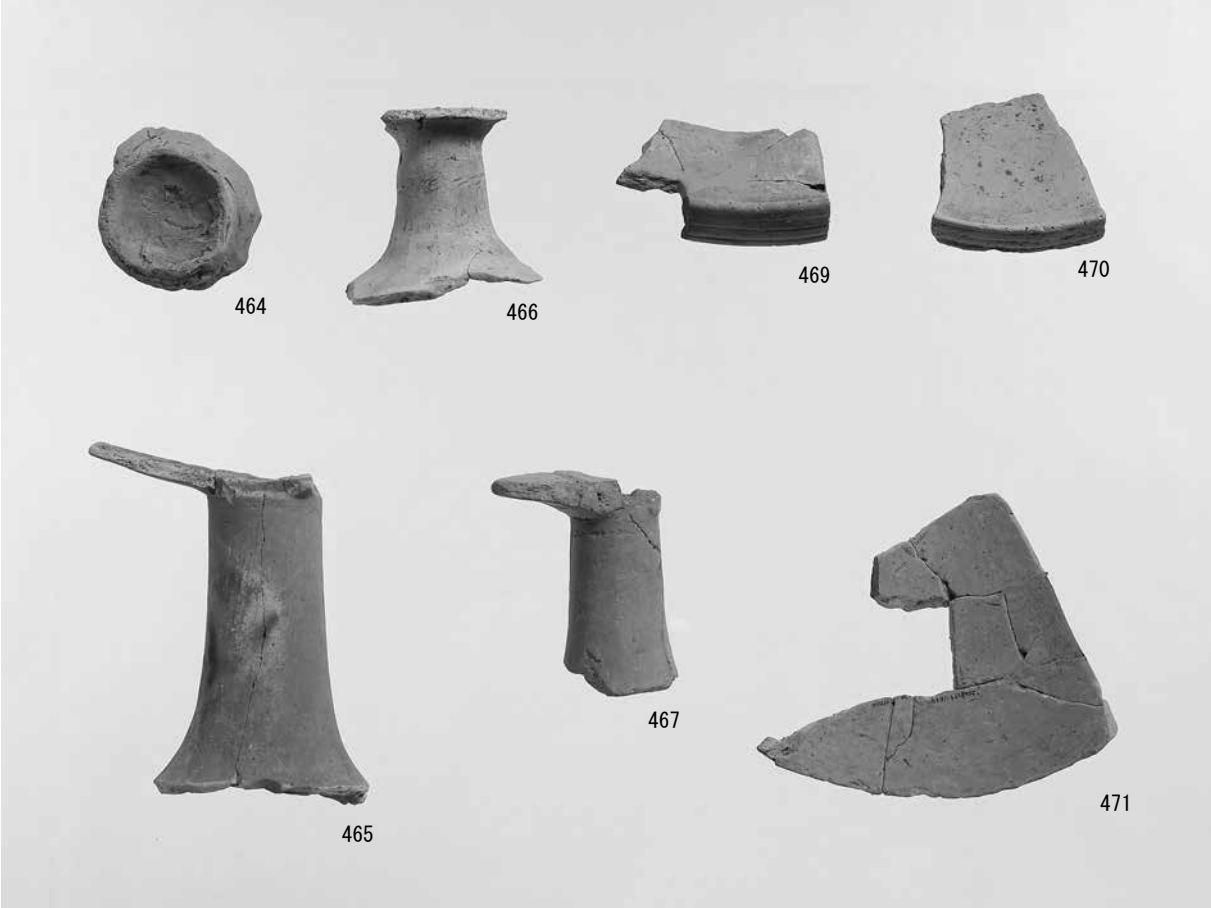
459

460

468

出土土器⑪

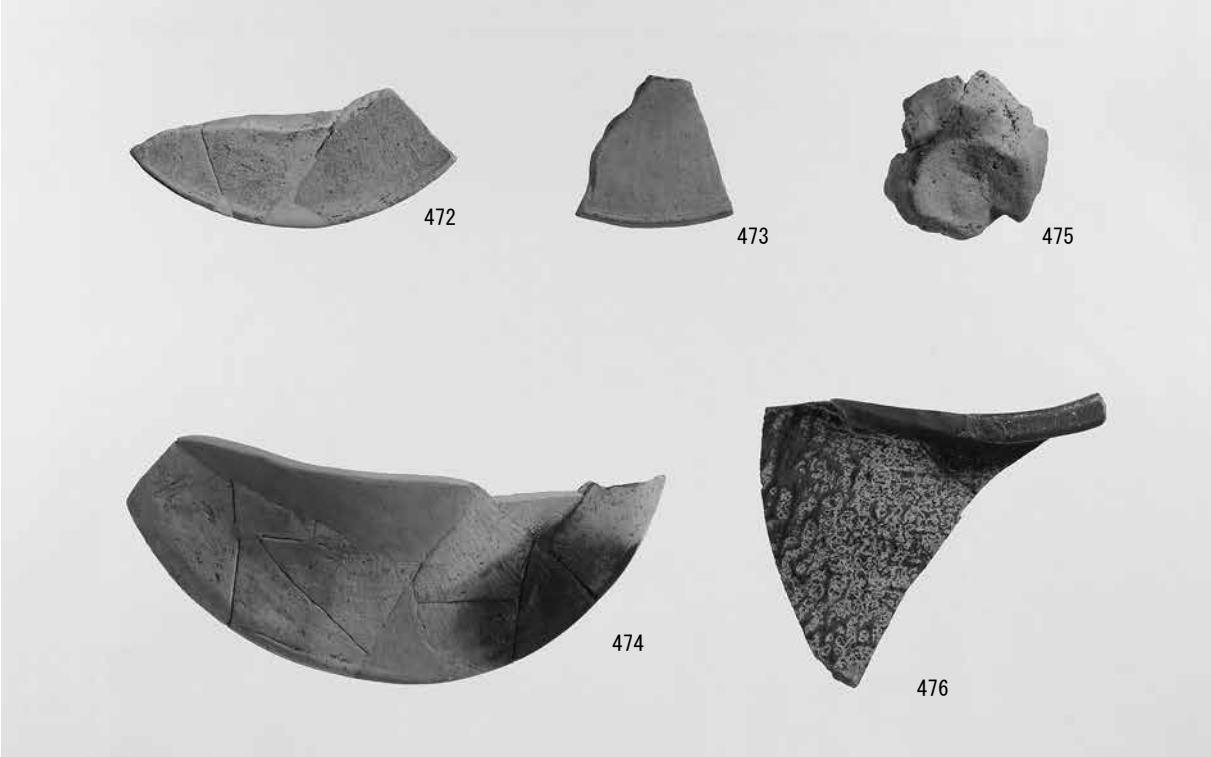


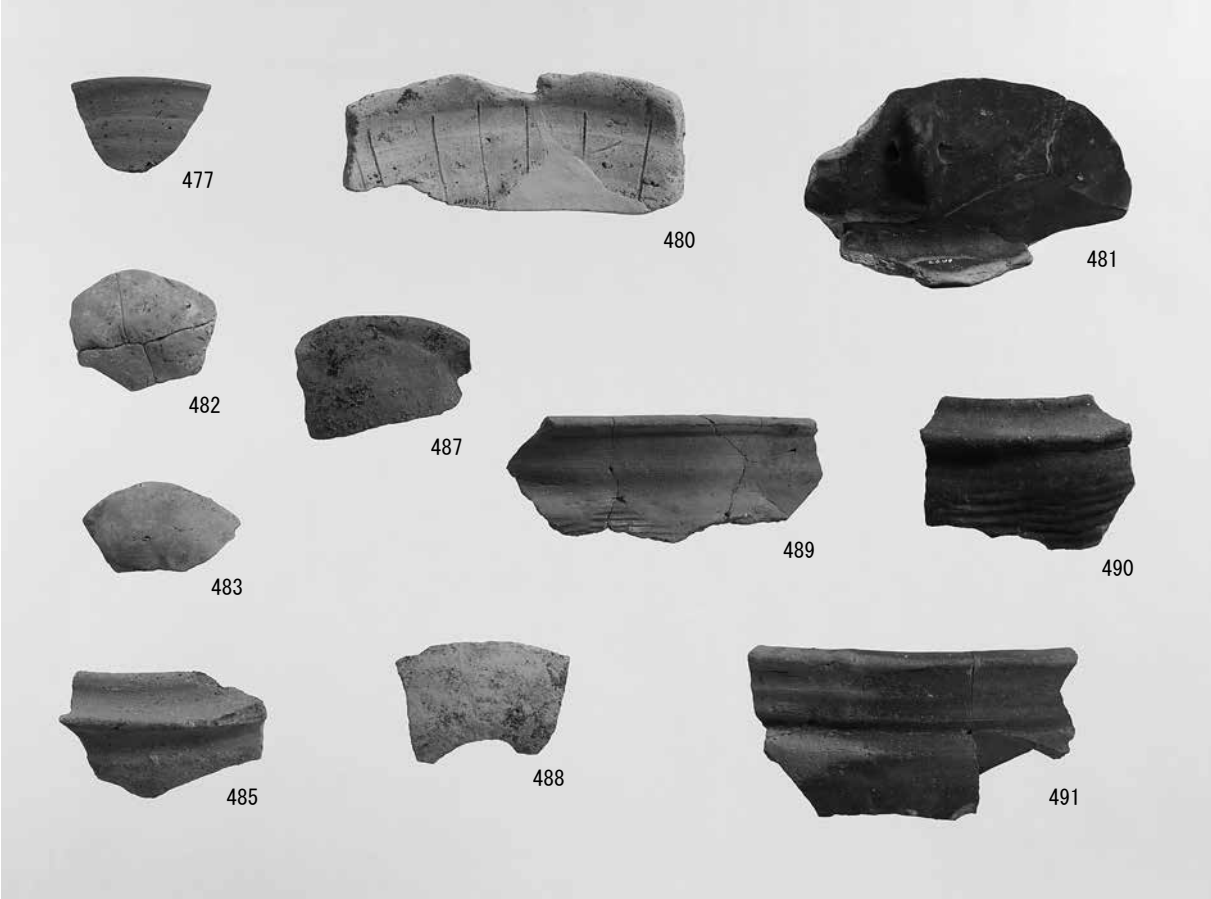


出土土器⑫

478

479

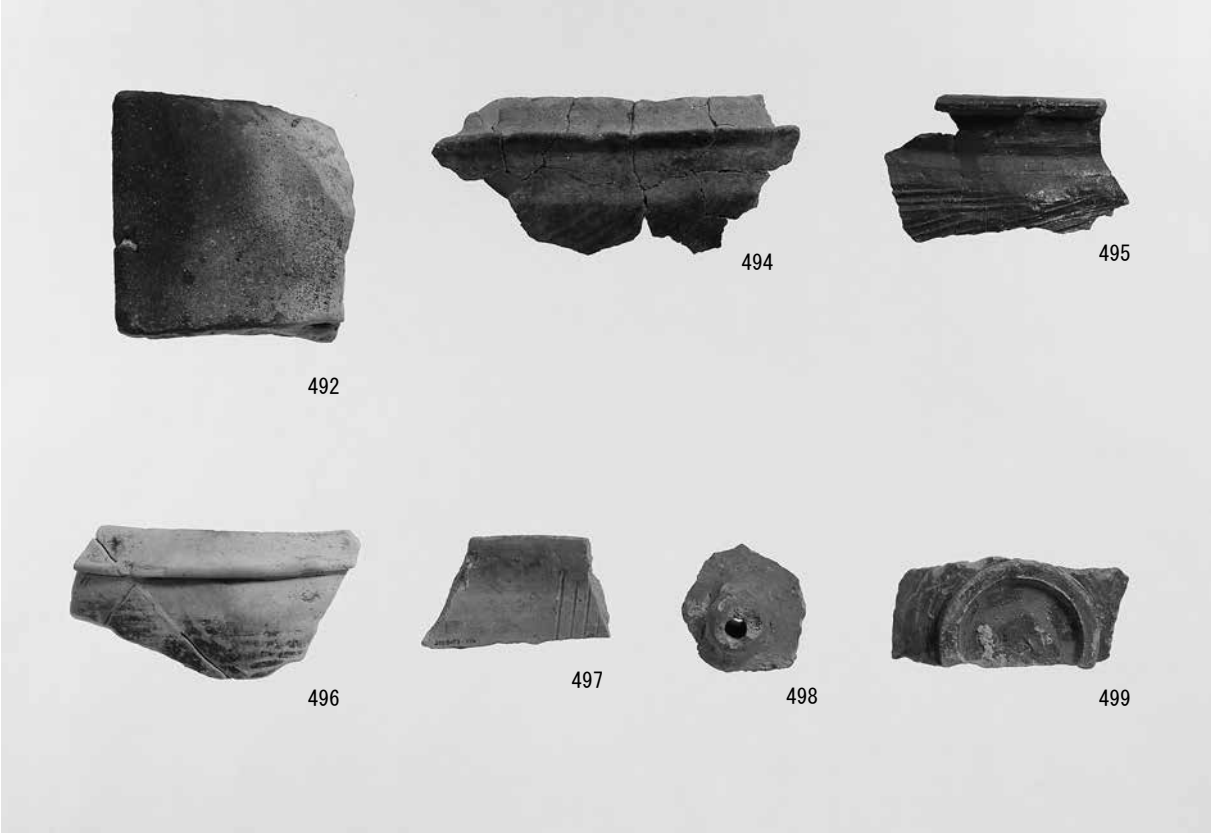

472
473
475
474
476


477
480
481
482
487
489
490
483
485
488
491

出土土器⑬

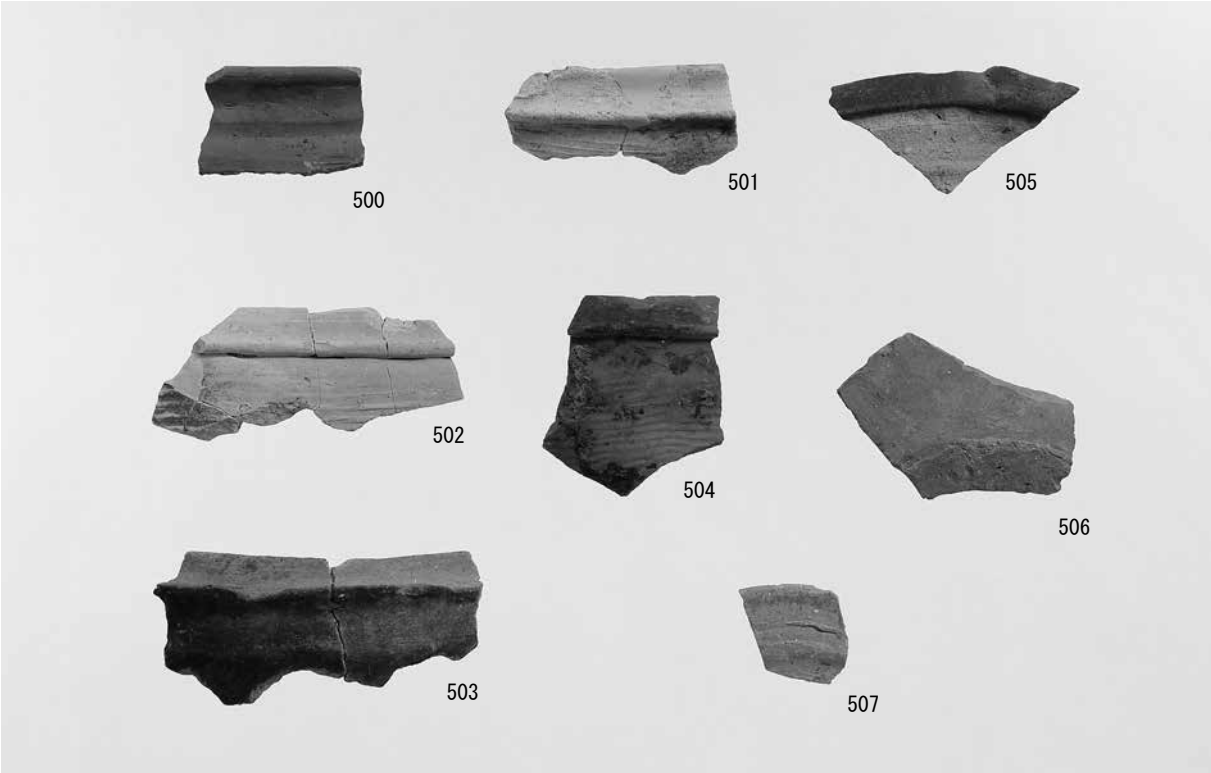
484

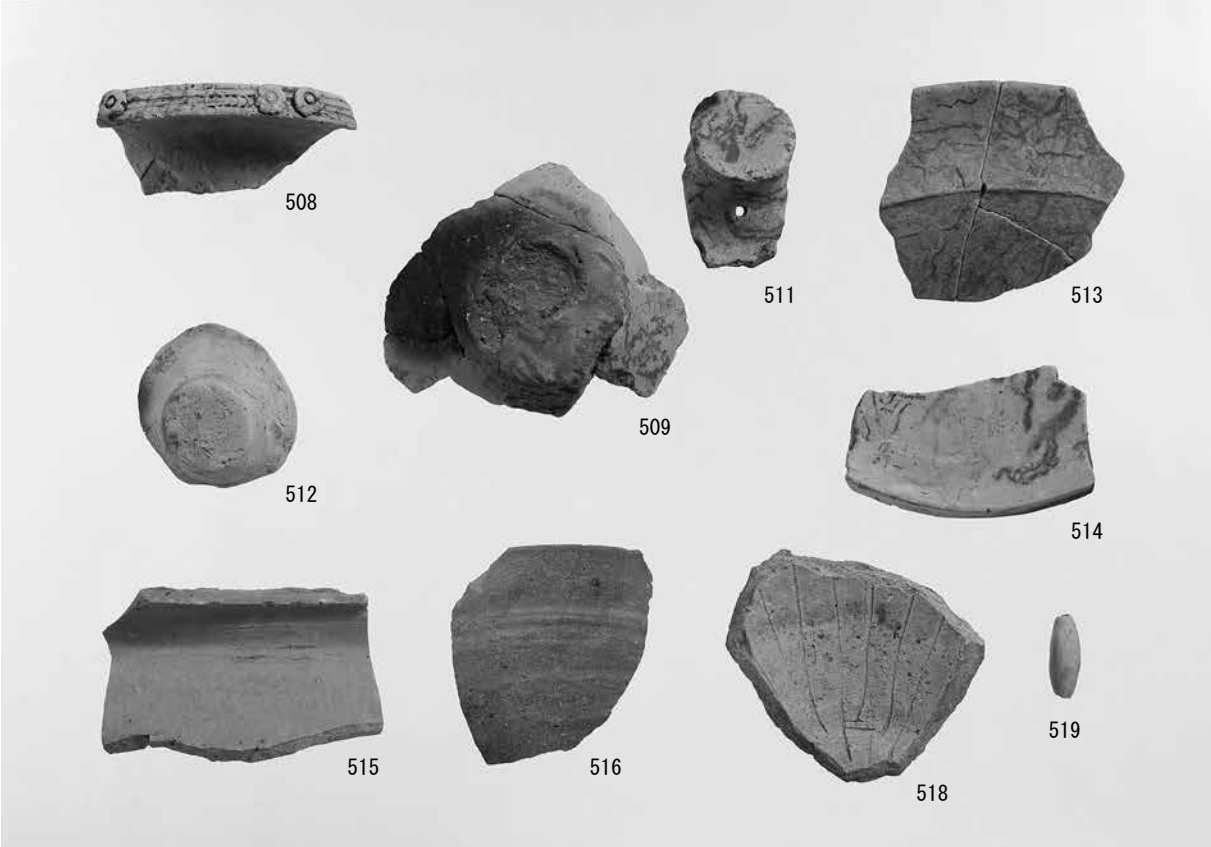
486



493

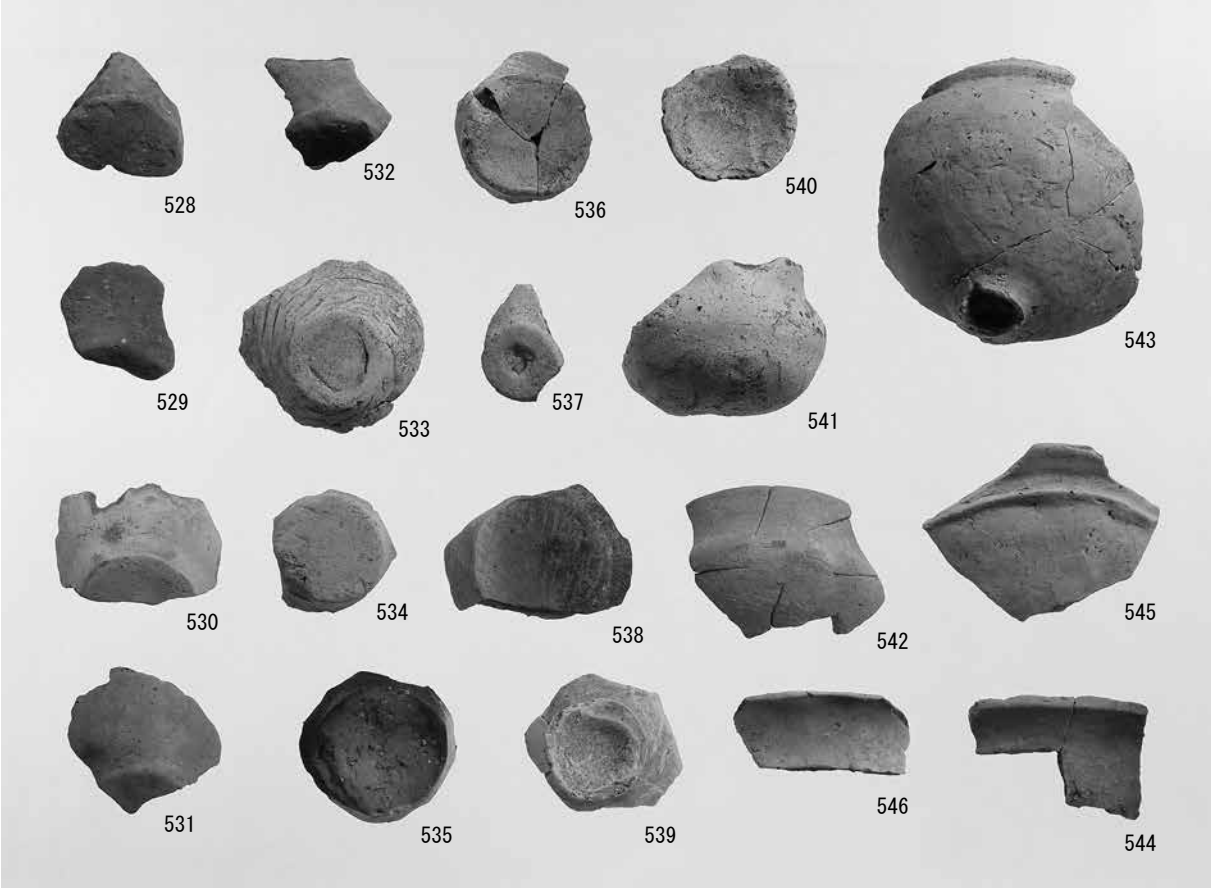
出土土器⑭





津万 2 区出土土器⑮・津万遺跡群 3 旧河道出土土器

520
521
522
525
526
524
527


528
532
536
540
543
529
533
537
541
530
534
538
542
545
531
535
539
546
544

包含層出土土器①

523

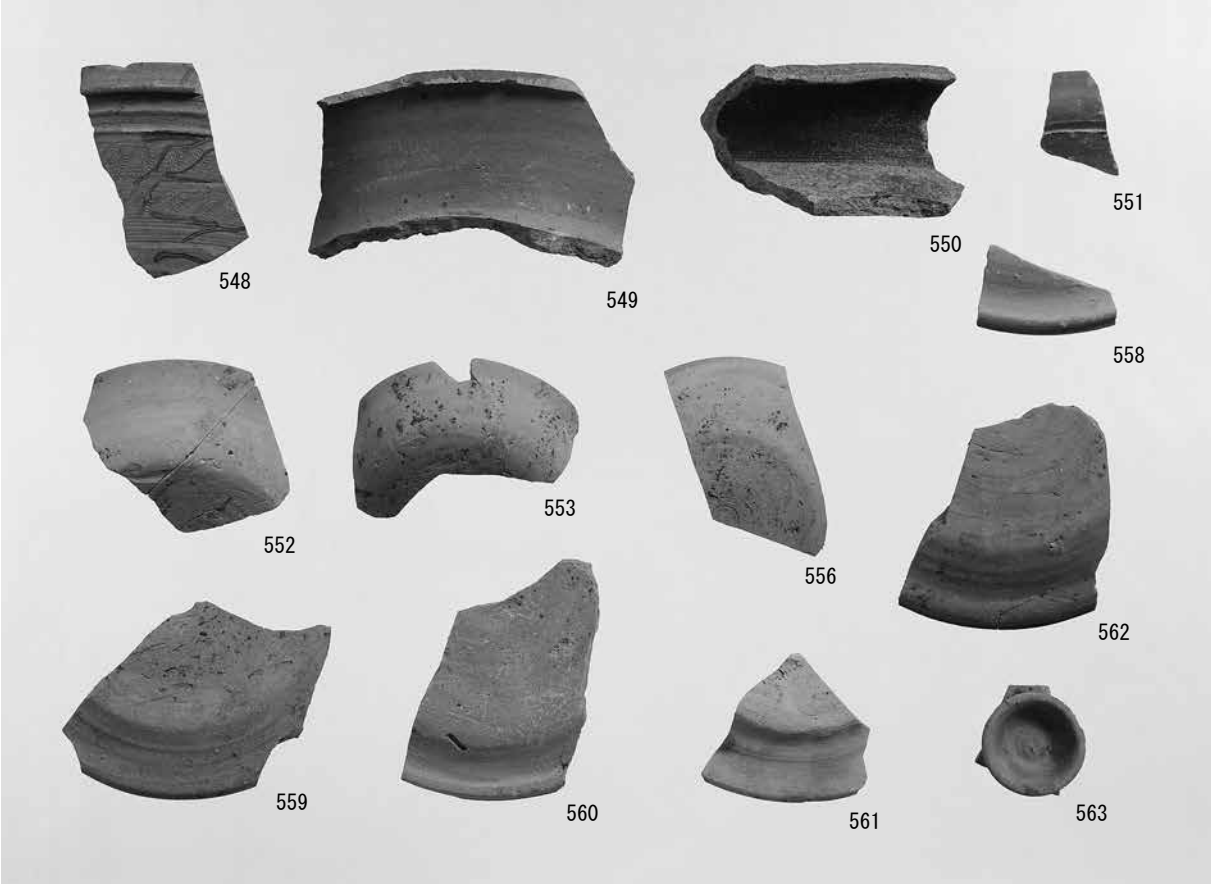
555

547

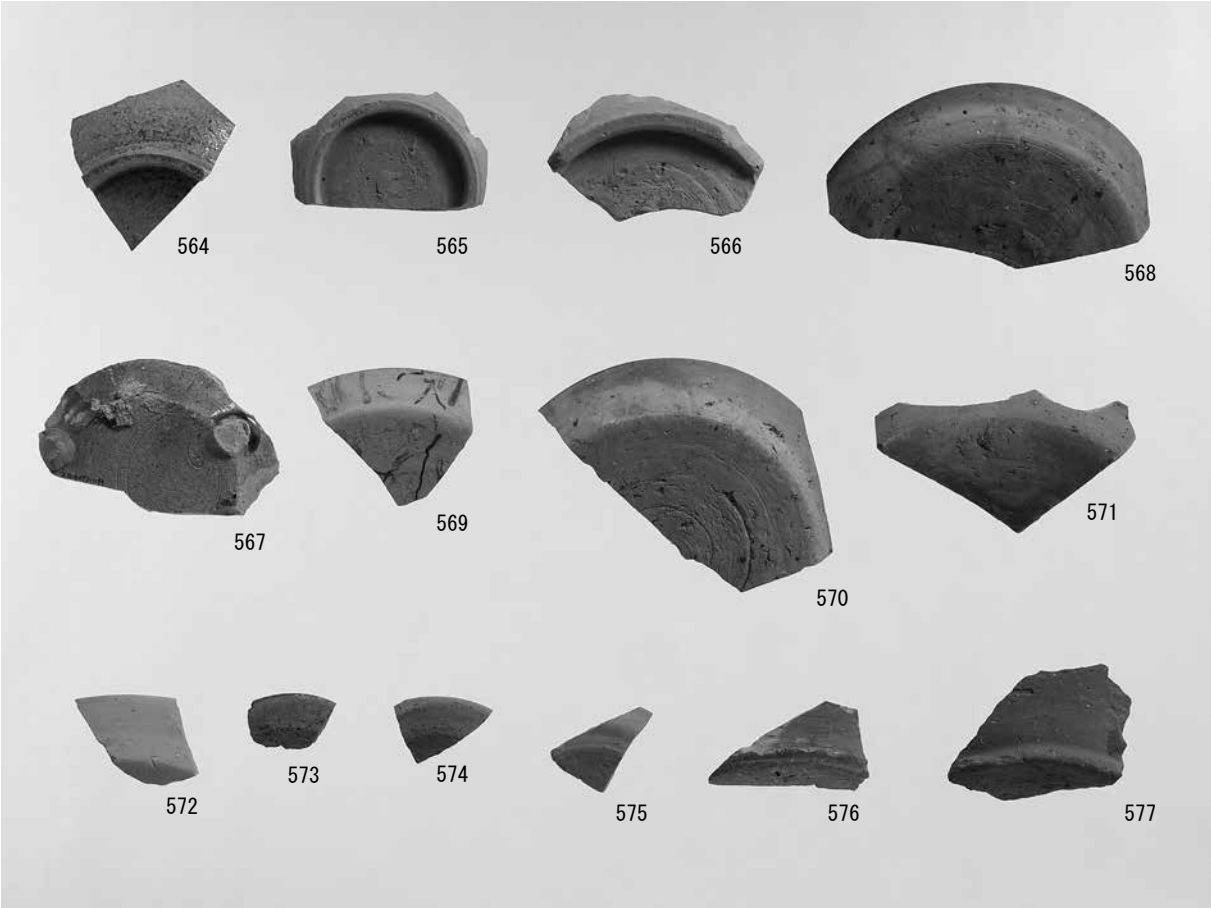
557

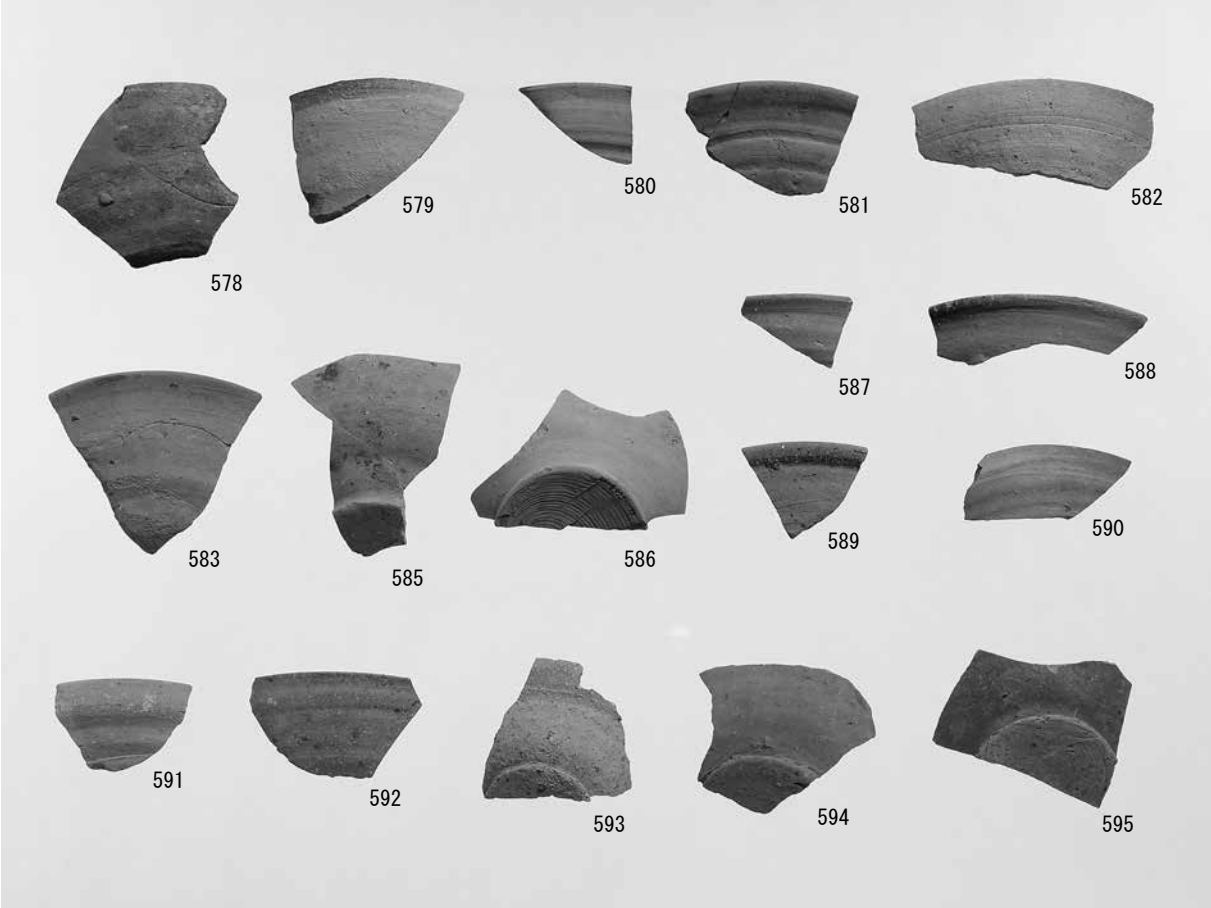
554

584

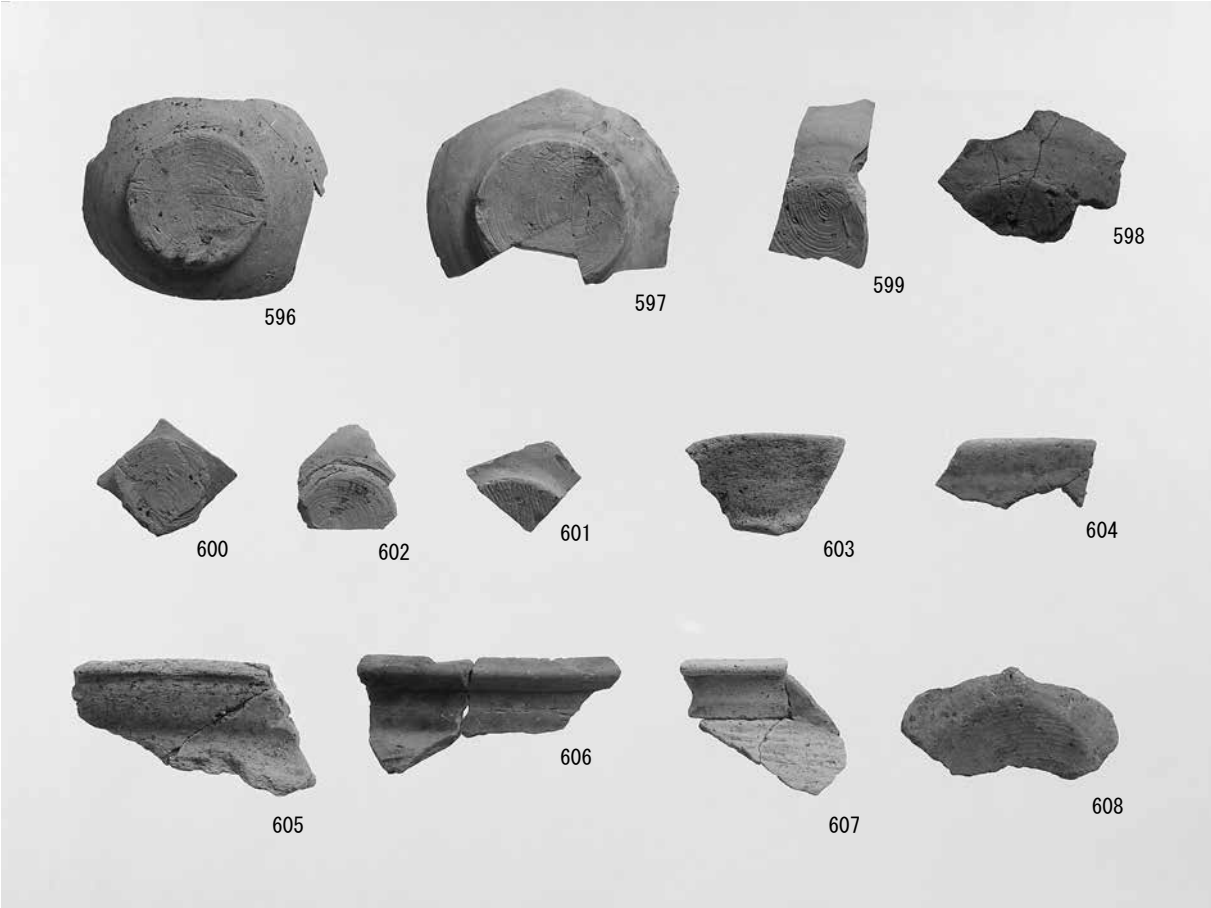

548
549
550
551
558
552
553
556
562
559
560
561
563

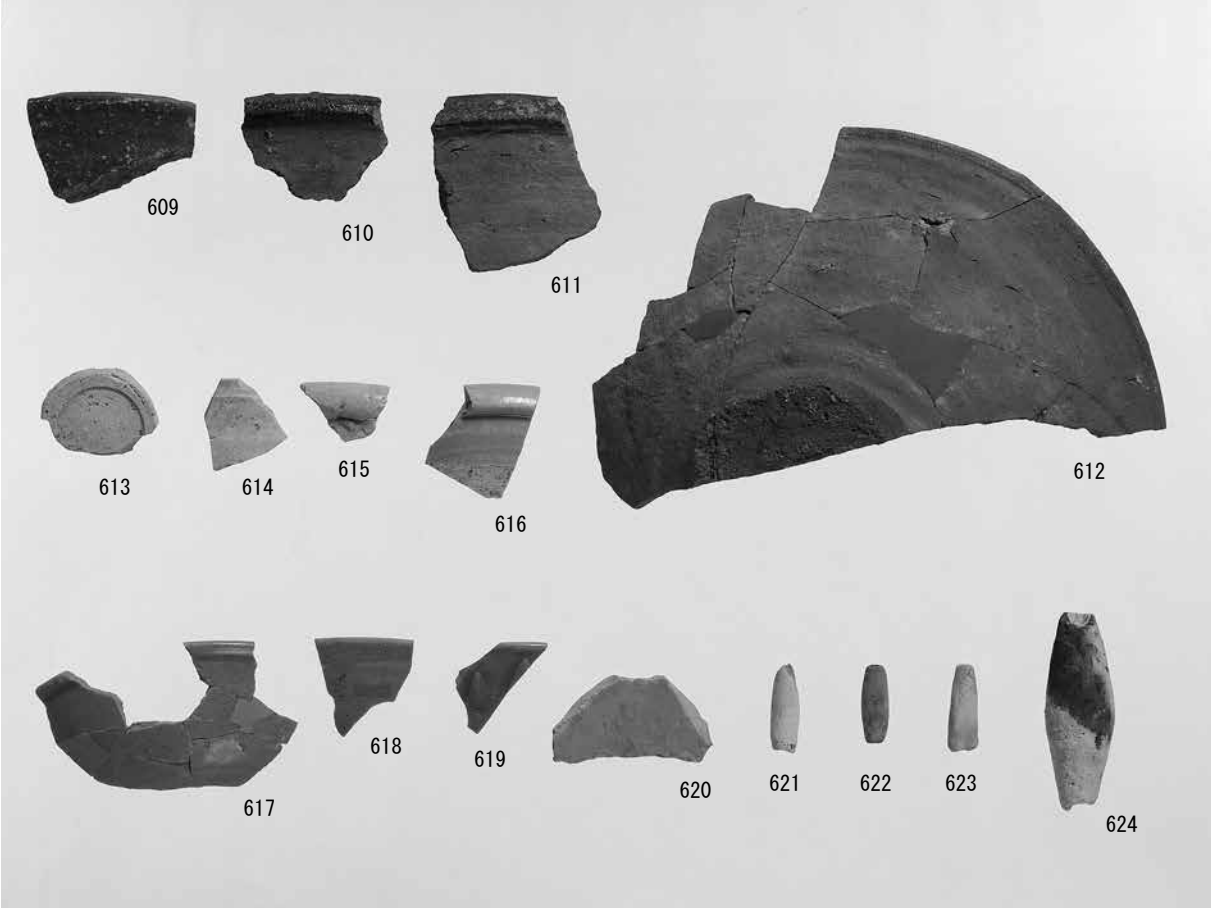
包含層出土土器②


564
565
566
568
567
569
570
571
572
573
574
575
576
577


578
579
580
581
582
587
588
583
585
586
589
590
591
592
593
594
595

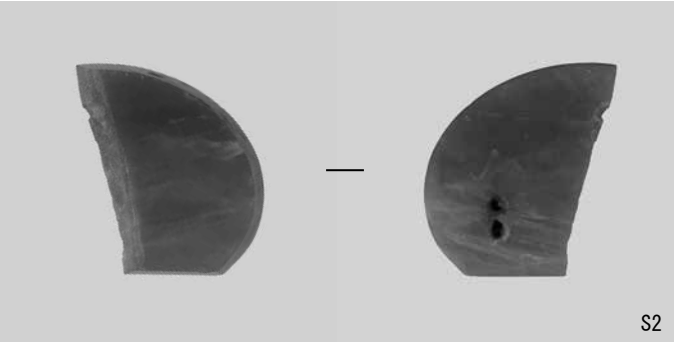
包含層出土土器③


596
597
599
598
600
602
601
603
604
605
606
607
608


609
610
611
613
614
615
616
612
617
618
619
620
621
622
623
624

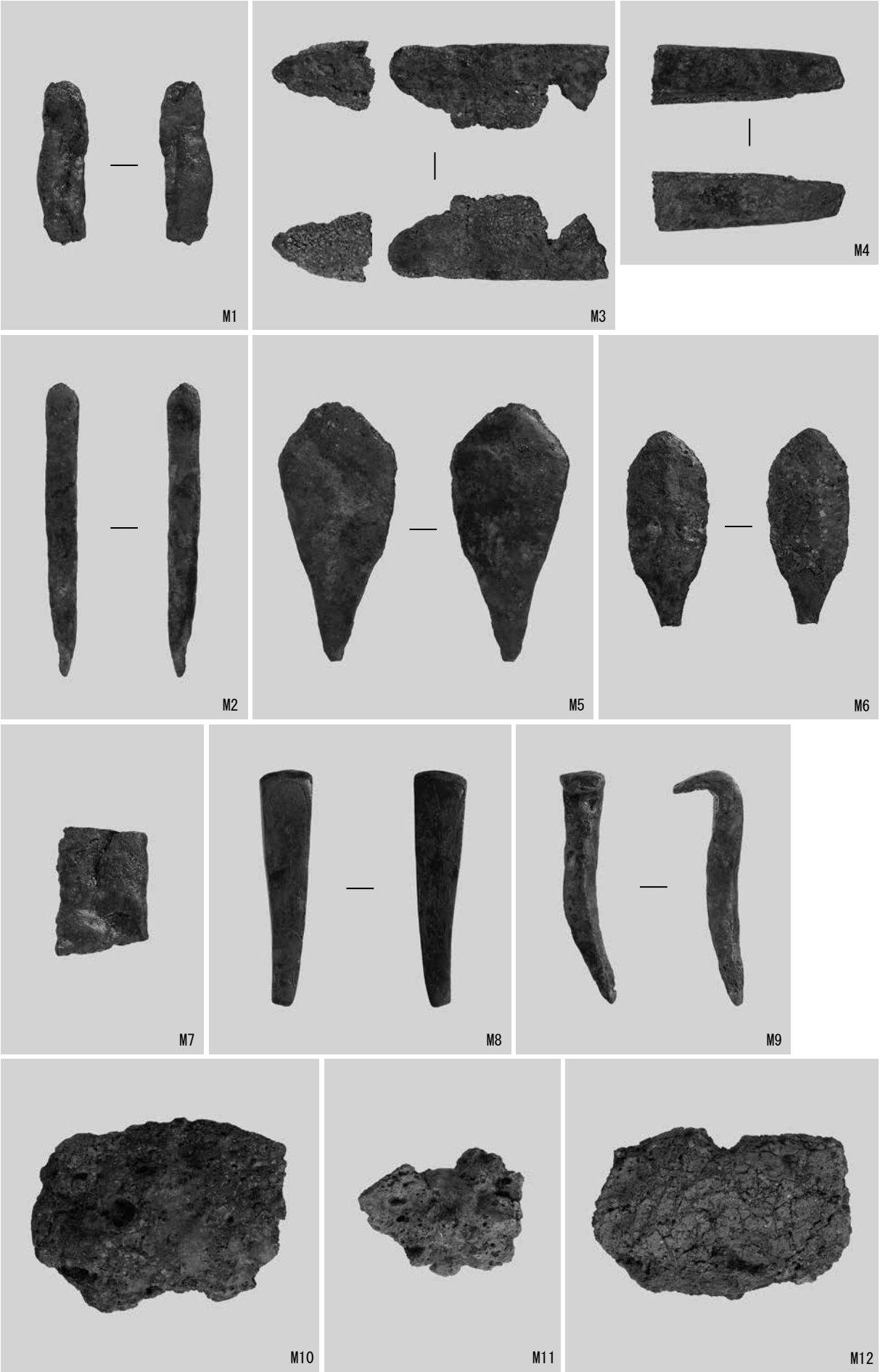
包含層出土土器④

S1

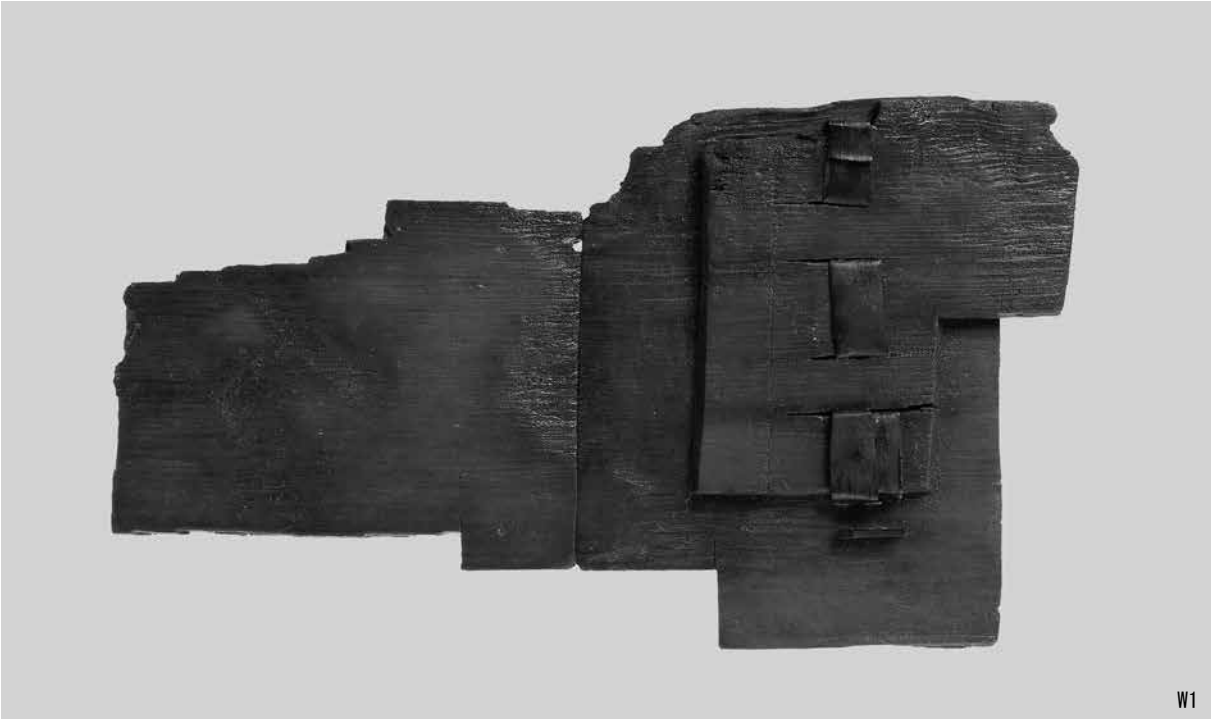

S2

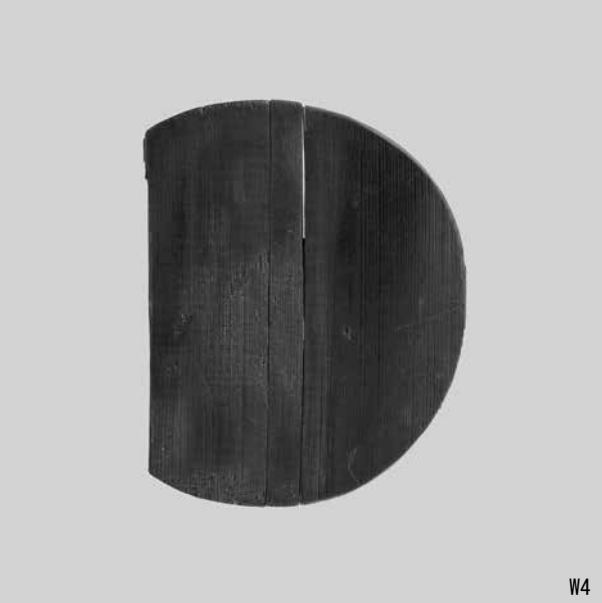
S3

B1



出土金属器





出土木製品

報　告　書　抄　録

ふ り が な	つまいせきぐんさん
書　　名	津万遺跡群３
副　書　名	１７５号西脇北バイパス事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	兵庫県文化財調査報告
シリーズ番号	第５０３冊
編 著 者 名	深江　英憲・別府　洋二
編 集 機 関	公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
所　在　地	〒675-0142　兵庫県加古郡播磨町大中1丁目1番1号（兵庫県立考古博物館内）　TEL 079-437-5561
発 行 機 関	兵庫県教育委員会
所　在　地	〒650-8567　兵庫県神戸市中央区下山手通５丁目10番１号　TEL 078-362-3784
発行年月日	平成31（2019）年３月25日
資料保管機関	兵庫県立考古博物館
所　在　地	〒675-0142　兵庫県加古郡播磨町大中１丁目１番１号　TEL 079-437-5589

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間（遺跡調査番号）	調査面積（㎡）	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
津万遺跡群３	西脇市津万地先	282138	140481	34°59′49″	134°59′19″	20080619～20081202（2008073）	6,565㎡	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
津万遺跡群３	集落	弥生時代・古墳時代・奈良時代～中世	竪穴建物跡・掘立柱建物跡・土坑・木棺墓・井戸	弥生土器・土師器・須恵器 石鏃・鉄鏃・曲物	「妻」墨書土器 石帯

要　　約

津万遺跡群は、加古川西岸の平野部に位置し、加古川が形成した沖積低地に立地している。本報告書における本発掘調査地は、南北に延伸する道路建設予定範囲で周知の埋蔵文化財包蔵地として登録された津万遺跡群のうち、嶋５区、嶋６区、津万１W区、津万１E区、津万２区と呼称した地区である。

調査では、弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴建物跡・土坑・木棺墓・溝、古墳時代後期の土坑、奈良時代の溝、中世の掘立柱建物跡・土坑・溝・井戸、弥生時代以降の流路等を検出した。

出土遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器・青白磁等の土器、石鏃・砥石・石帯等の石器、鉄鏃・刀子等の金属器、曲物等の木器、スラッグ等が出土した。

兵庫県文化財調査報告　第５０３冊

西脇市

津万遺跡群３

－１７５号西脇北バイパス事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－

平成３１（２０１９）年３月２５日　発行

編集：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
〒675-0142　兵庫県加古郡播磨町大中１丁目１番１号
（兵庫県立考古博物館内）

発行：兵庫県教育委員会
〒650-8567　兵庫県神戸市中央区下山手通５丁目10番１号

印刷：ウニスガ印刷株式会社
〒677-0053　兵庫県西脇市和布町39-1